

ひ き ま ろ っ こ く  
引 間 六 石 遺 跡  
ひ き ま ま つ ば  
引 間 松 葉 遺 跡  
っ か た ま と ば  
塚 田 的 場 遺 跡  
っ か た な か は ら  
塚 田 中 原 遺 跡

一般県道前橋・足門線バイパス（西毛広域幹線道路）  
建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集

第一分冊 本文・遺構図版編

2007

群馬県高崎土木事務所  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



<sup>ひき</sup> 引	<sup>ま</sup> 間	<sup>ろっ</sup> 六	<sup>こく</sup> 石	遺跡
<sup>ひき</sup> 引	<sup>ま</sup> 間	<sup>まつ</sup> 松	<sup>ば</sup> 葉	遺跡
<sup>つか</sup> 塚	<sup>た</sup> 田	<sup>まと</sup> 的	<sup>ば</sup> 場	遺跡
<sup>つか</sup> 塚	<sup>た</sup> 田	<sup>なか</sup> 中	<sup>はら</sup> 原	遺跡

一般県道前橋・足門線バイパス(西毛広域幹線道路)  
建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集

第一分冊 本文・遺構図版編

2007

群馬県高崎土木事務所  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団









## 序

群馬県は、増大する交通量に対応するため、各地で道路の整備を進めています。その一環として、前橋市から富岡市を結ぶ西毛広域幹線道路の建設が計画されました。この道路建設に伴う発掘調査は、平成11年から5年かけて実施され、そして整理作業を経てすでに3冊の報告書が刊行されています。

本報告書に掲載される引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡の発掘調査は、平成13年6月から10月にかけて、さらに平成14年11月から同15年9月末日まで実施されました。

本遺跡周辺には、上野国分寺、山王院寺などの著名な寺院跡や、推定上野国府の跡等があり、古代群馬の中心地であったことが知られています。発掘調査では、奈良・平安時代の集落跡を中心に中世・近世、さらに近代にいたる様々な資料を得ることができました。昨年度に報告書を刊行した榎高辻久保遺跡に続く連続の遺跡群です。

発掘調査時に、住所が群馬県群馬郡群馬町と「群馬」が3つも重なる所在地であった遺跡も、平成18年1月23日には合併に伴い、高崎市に変更になりました。また、すでに、一部ではありますが、道路も開通して県民に供用が開始されています。

最後になりますが、群馬県高崎土木事務所・群馬県教育委員会文化課・旧群馬町教育委員会、そして地元関係者の皆様には終始ご協力を賜りましたことに、心から感謝の意を表します。

平成19年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 高橋 勇 夫

## 例 言

1. 本書は、一般県道前橋・足門線バイパス（西毛広域幹線道路）建設工事に伴う、「引間六石遺跡」「引間松葉遺跡」「塚田の場遺跡」「塚田中原遺跡」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

昨年度報告した「棟高辻久保遺跡」の東側一帯の一連の遺跡群にあたる。

2. 発掘調査地の所在地は、下記の通りである（調査時）。

引間六石遺跡－群馬郡群馬町大字引間字三社免1263、1252-1ほか 引間松葉遺跡－群馬郡群馬町大字引間字松葉13-1、27-1ほか 塚田の場遺跡－群馬郡群馬町大字塚田字的場31-1、36-5ほか 塚田中原遺跡－群馬郡群馬町大字塚田字中原215-3、223-2ほか

3. 発掘調査は、群馬県高崎土木事務所の委託を受け、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。発掘調査期間、発掘調査組織は下記のとおりである。

調査期間 塚田中原遺跡 平成13年6月20日～平成13年10月24日

引間六石遺跡・引間松葉遺跡 平成14年11月8日～平成15年3月25日

引間六石遺跡・塚田の場遺跡・引間松葉遺跡 平成15年4月4日～平成15年9月30日

調査面積 19538.8㎡ 遺跡毎の内訳は下記のとおりである。

引間六石遺跡 5,089.1㎡

引間松葉遺跡（Ⅰ・Ⅱ区） 8,746.7㎡

塚田の場遺跡 2,127.5㎡

塚田中原遺跡（Ⅰ・Ⅲ区） 3,575.5㎡

### 調査組織

事務担当 小野宇三郎（13～15年度）、赤山容造（13年度）、吉田 豊（13年度）、住谷永市（15年度）、神保侑史（14・15年度）、住谷 進（13年度）、萩原利通（14・15年度）、坂本敏夫（13年度）、大島信夫（13年度）、植原恒夫（14・15年度）、笠原秀樹（13年度）、小山建夫（13・14年度）、高橋房雄（14・15年度）、須田朋子（13～15年度）、吉田有光（13～15年度）、森下弘美（13・14年度）、阿久澤玄洋（15年度）、片岡徳雄（13年度）、田中賢一（14・15年度）、能登 健（13年度）、巾 隆之（14年度）、右島和夫（15年度）、中東耕志（13・15年度）、小山友孝（14年度）吉田恵子（13年度）、並木綾子（13年度）、今井もと子（13～15年度）、内山佳子（13～15年度）、佐藤美佐子（13～15年度）、本間久美子（13～15年度）、北原かおり（13～15年度）、狩野真子（13～15年度）、若田 誠（13～15年度）、松下次男（13～15年度）、吉田 茂（13～15年度）、藤原正義（13年度）

調査担当 菊池 実（13～15年度）、橋崎修一郎（13年度）、岡部 豊（13年度）、廣津英一（14年度）、渡會未央（14・15年度）、石原真人（15年度）、小林 正（15年度）

4. 整理作業・報告書作成期間は下記のとおりである。

整理期間 平成17年4月1日～平成19年3月31日

### 整理組織

事務担当 小野宇三郎（17年度）、高橋勇夫（17・18年度）、木村裕紀（17・18年度）、津金澤吉茂（17・18年度）、矢崎俊夫（17年度）、萩原 勉（18年度）、宮前結城雄（17年度）、竹内 宏（17年度）、笠原秀樹（18年度）、石井 清（17・18年度）、須田朋子（17・18年度）、吉田有光（17年度）、

齊藤恵利子（18年度）、柳岡良宏（18年度）、佐藤聖行（17・18年度）、栗原幸代（17・18年度）、今泉大作（17・18年度）、清水秀紀（17年度）、西田健彦（17・18年度）、中東耕志（17・18年度）、国定 均（17・18年度）、今井もと子（17・18年度）、内山佳子（17・18年度）、本間久美子（17・18年度）、北原かおり（17・18年度）、若田 誠（17・18年度）、武藤秀典（17・18年度）

整理担当 菊池 実（17・18年度）、橋崎修一郎（17年度）

整理作業 茂木範子（17・18年度）、嶋崎しづ子（17・18年度）、南雲繁子（17・18年度）、丸山 勉（17・18年度）、田子幸代（17・18年度）、中越裕子（17年度）、立川千栄子（17年度）、光安文字（17年度）、南雲素子（17年度）、森下和子（17年度）、菅井和枝（17年度）

5. 本書作成の担当者は下記のとおりである。

編 集 菊池 実

執 筆 菊池 実（第1分冊序章～第4章、第2分冊観察表）、橋崎修一郎（第5章）

なお、第一分冊序章には『棟高辻久保遺跡』報告書掲載原稿（橋崎執筆）の一部を改変して再録している。また、灰釉陶器については神谷佳明氏、瓦については高井佳弘氏、陶磁器については大西雅広氏、墨書土器については高島英之氏のご教示を受けた。

遺構写真撮影 調査担当者

遺物写真撮影 佐藤 元彦

保存処理 関 邦一（17・18年度）、土橋まり子（17・18年度）、小村浩一（17・18年度）、津久井桂一（17・18年度）、多田ひさ子（17・18年度）、森田智子（17年度）、長岡久幸（18年度）

機械実測 伊東博子（17・18年度）、岸 弘子（17・18年度）、田所順子（17・18年度）

6. 分析・委託 石材鑑定 株式会社 バレオ・ラボ

遺構デジタルトレース 技研測量設計株式会社

地上測量・空中写真 株式会社測研、技研測量設計株式会社、株式会社測設

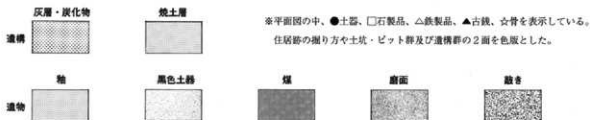
7. 本遺跡の出土遺物・図面・写真などの資料は、一括して財団法人群馬県組織文化財調査事業団に保管している。

8. 発掘調査及び本書作成にあたり、下記の関係機関・関係諸氏にご教示・ご協力を賜った。（敬称略）

群馬県教育委員会、群馬町教育委員会、村上章義、依田賢仁、株式会社歴史の社、十菱職式、伊藤厚史、金井安子、新井 悟、小宮俊久、角田真也、三宅敦気

## 凡 例

1. 挿図縮尺は図版に掲載した。概要は以下の通りである。ただし、他の縮尺を用いた場合もある。  
 遺構 堅穴住居 1/60、掘立柱建物跡 1/80、堅穴状遺構 1/60、建物跡 1/100、土坑・ピット 1/40、1/60、1/100、溝 1/60、1/100、1/200、堀 1/200、耕作痕 1/60、1/100、1/200、付図 1/250、1/300、1/2000  
 遺物 土器 1/3、1/4、1/6、石器 1/3、1/4、1/6、金属 1/1、1/3、石鏡・銭貨 1/1、ガラス製品 1/2、1/3
2. 本書における遺構図の北は、座標上の北である。座標系は、国家座標第IX系（旧測地系）である。
3. 遺構図版中にある+印とそれに記されるアルファベットと数字の組み合わせは、国家座標に基づいて、5m毎に設定した方眼杭の名称である。そこで使われているアルファベットは国家座標のY値を、数字はX値を置き換えたものである。遺構の位置は、方眼杭の範囲で表している。
4. 遺構断面実測図及び等高線に記した数値はL= mで表示し、標高値を示す。
5. 遺構番号は調査時に設定したものをそのまま使用したため、欠番がある。また、整理時に欠番になったものもある。
6. 住居跡の床面積は、デジタルプランメーターにより住居跡の壁の内側を3回計測し、その平均値である。
7. 住居跡の方位は、竈の付設された住居では、竈を持つ壁に直交する壁を主軸線とした。
8. 本書で使用したスクリーンパターンは、下記の通りである。



9. テフラの名称は次の略称で表した。  
 A s - A ・ ・ ・ 浅間A降下軽石層：浅間山噴出、1783（天明3）年降下  
 A s - B ・ ・ ・ 浅間B降下軽石層：浅間山噴出、1108（天仁元）年降下  
 A s - C ・ ・ ・ 浅間C降下軽石層：浅間山噴出、4世紀初頭降下（3世紀に遡る可能性もある）  
 H r - F A ・ ・ ・ 榛名ニッ岳洪水川テフラ（ニッ岳火山灰）：榛名山噴出、6世紀初頭降下  
 テフラの名称は、以下の文献を参考にして、表記した。

参考文献：『月刊 考古学ジャーナル 特集・火山地積物と遺跡 1』No157 1979年  
 群馬県史編さん委員会 『群馬県史 通史編1 原始古代1』群馬県 1990年  
 新井芳夫編 『火山考古学』古今書院 1993年  
 かみつけの里博物館 『第二回特別展 人が動く・土器も動く』1998年

10. 遺物番号は、原則として遺構ごとに登録した。本文、挿図、観察表、写真図版と同一である。
11. 土器・瓦の色調については、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修、新版標準土色帳（1987年）によった。
12. 第一分冊の挿図は①第○図とし、第二分冊の挿図は②第○図として表記してある。

# 目 次

序  
口絵  
例言・凡例

## 第一分冊 引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡 本文・遺構図版編

<b>序章</b> . . . . .	1
1 発掘調査に至る経緯 . . . . .	2
2 発掘調査の経過と方法 . . . . .	2
(1) 発掘調査の経過 . . . . .	2
(2) 調査区の設定 . . . . .	5
3 基本土層 . . . . .	5
4 遺跡の地理的・歴史的環境 . . . . .	
(1) 地理的環境 . . . . .	7
(2) 歴史的環境 . . . . .	9
<b>第1章 引間六石遺跡</b> . . . . .	15
(1) 竪穴住居跡(54軒) . . . . .	17
(2) 竪穴状遺構(2軒) . . . . .	66
(3) 土坑(117基)・ピット(179基) . . . . .	67
(4) 溝(36条) . . . . .	94
<b>第2章 引間松葉遺跡</b> . . . . .	103
(1) 竪穴住居跡(27軒) . . . . .	105
(2) 掘立柱建物跡(2棟) . . . . .	128
(3) 竪穴状遺構(5軒) . . . . .	132
(4) 土坑(382基)・ピット(414基)・溝(33条) . . . . .	134
<b>第3章 塚田の場遺跡</b> . . . . .	221
(1) 竪穴住居跡(5軒) . . . . .	222
(2) 建物跡(1軒) . . . . .	227
(3) 土坑(36基)・ピット(88基) . . . . .	228
(4) 溝(6条)と近代遺物 . . . . .	243
<b>第4章 塚田中原遺跡</b> . . . . .	249
(1) 竪穴住居跡(24軒) . . . . .	251
(2) 竪穴状遺構(1軒) . . . . .	276

(3) 土坑 (87基)・井戸 (2基)・ピット (102基) . . . . .	277
(4) 溝 (7条) . . . . .	294
(5) 堀 (2条) . . . . .	297
(6) 耕作痕 . . . . .	299
結 . . . . .	300

**第5章 自然科学分析 . . . . . 301**

(1) 引間松葉遺跡・塚田中原遺跡出土人骨 . . . . .	303
(2) 引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡出土獣骨 . . . . .	304

付図1 引間六石遺跡全体図

付図2 引間松葉遺跡全体図

付図3 塚田の場遺跡全体図・西毛幹線関連遺跡全体図

付図4 塚田中原遺跡全体図

第二分冊 引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡  
遺物図版編

第三分冊 引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡  
写真図版編

## 挿 図 目 次

- 第1図 遺跡位置図  
第2図 基本土層  
第3図 調査区域図  
第4図 周辺地質図  
第5図 周辺道路分布図

### 引間六石遺跡

- 第6図 1号住居跡  
第7図 2・3号住居跡  
第8図 4号住居跡  
第9図 5号住居跡  
第10図 6・14・26号住居跡  
第11図 6・14・26号住居跡掘り方  
第12図 7号住居跡  
第13図 8号住居跡  
第14図 10・11・17号住居跡  
第15図 12・20号住居跡  
第16図 13号住居跡  
第17図 15号住居跡  
第18図 16号住居跡  
第19図 18号住居跡  
第20図 19号住居跡  
第21図 21号住居跡  
第22図 22号住居跡  
第23図 23号住居跡  
第24図 25号住居跡  
第25図 27号住居跡  
第26図 28・29号住居跡、51号土坑  
第27図 30号住居跡  
第28図 31号住居跡  
第29図 32号住居跡、61号土坑  
第30図 33・44号住居跡  
第31図 34・35号住居跡(1)  
第32図 34・35号住居跡(2)  
第33図 36・49号住居跡  
第34図 37号住居跡  
第35図 38号住居跡  
第36図 39号住居跡  
第37図 40・41・48号住居跡  
第38図 42・43・47号住居跡、48・49号土坑  
第39図 45号住居跡  
第40図 46号住居跡  
第41図 51号住居跡、飛行場に伴う遺構か  
第42図 52号住居跡  
第43図 53号住居跡  
第44図 55・56号住居跡、2号竪穴状遺構  
第45図 57・58号住居跡  
第46図 59号住居跡  
第47図 1号竪穴状遺構  
第48図 1～5・20～23・25号土坑、69・70号ピット  
第49図 6・7・18・19号土坑  
第50図 土坑・ピット群(1)  
第51図 土坑・ピット群(1)～断面図(1)  
第52図 土坑・ピット群(1)～断面図(2)  
第53図 土坑・ピット群(1)～断面図(3)  
第54図 23・24・26～30・32・33号土坑  
第55図 31・37・39～43・50号土坑、80号ピット

- 第56図 土坑・ピット群(2)  
第57図 土坑・ピット群(3)  
第58図 土坑・ピット群(2・3)～断面図(1)  
第59図 44・47・52～54号土坑、106・107号ピット  
第60図 55～58号土坑  
第61図 59・60・62～68号土坑  
第62図 土坑・ピット群(4)  
第63図 土坑・ピット群(5)  
第64図 土坑・ピット群(4・5)～断面図(1)  
第65図 土坑・ピット群(4・5)～断面図(2)  
第66図 92～95・102・110・113・114号土坑  
第67図 96・97・99～101・115～119号土坑、177・178・180～184号ピット  
第68図 120・121号土坑、1～5・68・71・72・77・133～135号ピット  
第69図 73～76・77・108～111・136～138・149・150・152・153号ピット  
第70図 1・2・6・7号溝  
第71図 遺構群(1)  
第72図 4・5・8号溝  
第73図 9・25～27号溝  
第74図 28～30・34号溝  
第75図 31～33号溝

### 引間松葉遺跡

- 第76図 1号住居跡  
第77図 2号住居跡  
第78図 3号住居跡  
第79図 4号住居跡  
第80図 5号住居跡  
第81図 6号住居跡  
第82図 7号住居跡  
第83図 7・12号住居跡  
第84図 8号住居跡  
第85図 9号住居跡  
第86図 10号住居跡  
第87図 11号住居跡  
第88図 13号住居跡  
第89図 14号住居跡  
第90図 15号住居跡  
第91図 16号住居跡  
第92図 17号住居跡  
第93図 18号住居跡  
第94図 19号住居跡  
第95図 20号住居跡  
第96図 21号住居跡、5号竪穴状遺構  
第97図 22号住居跡  
第98図 23号住居跡  
第99図 23号住居跡  
第100図 25号住居跡  
第101図 26号住居跡  
第102図 27号住居跡  
第103図 1号竪立柱建物跡A・B(1)  
第104図 1号竪立柱建物跡A・B(2)  
第105図 1号竪立柱建物跡A・B(3)  
第106図 1号竪穴状遺構  
第107図 2・3号竪穴状遺構  
第108図 4号竪穴状遺構  
第109図 1～7号土坑、1～8・13・14・17号ピット  
第110図 9・10・13～16号土坑、9～12号ピット



第111回 8・11・12号土坑、15・16・18～27号ピット、1号溝  
 第112回 2～7号溝、1号道  
 第113回 177～180号土坑、303～307号ピット  
 第114回 遺構群(1)  
 第115回 127号土坑遺物出土状況、遺構群(1)～断面図(1)  
 第116回 遺構群(1)～断面図(2)  
 第117回 遺構群(1)～断面図(3)  
 第118回 遺構群(2)  
 第119回 131・133号土坑遺物出土状況、遺構群(2)～断面図(1)  
 第120回 遺構群(2)～断面図(2)  
 第121回 遺構群(2)～断面図(3)  
 第122回 遺構群(3)  
 第123回 17号土坑遺物出土状況、遺構群(3)～断面図(1)  
 第124回 遺構群(3)～断面図(2)  
 第125回 遺構群(4)  
 第126回 80号土坑遺物出土状況、遺構群(4)～断面図(1)  
 第127回 遺構群(4)～断面図(2)  
 第128回 遺構群(4)～断面図(3)  
 第129回 遺構群(4)～断面図(4)  
 第130回 遺構群(5)  
 第131回 145号土坑遺物出土状況、遺構群(5)～断面図(1)  
 第132回 遺構群(5)～断面図(2)  
 第133回 遺構群(5)～断面図(3)  
 第134回 遺構群(5)～断面図(4)  
 第135回 遺構群(6)、175号土坑遺物出土状況  
 第136回 遺構群(6)～断面図(1)  
 第137回 遺構群(7)～断面図(1)  
 第138回 遺構群(7)  
 第139回 遺構群(8)  
 第140回 遺構群(8)～断面図(1)  
 第141回 遺構群(9)  
 第142回 13・24～27・33号溝  
 第143回 溝～断面図(1)  
 第144回 遺構群(10)  
 第145回 遺構群(10)～断面図(1)  
 第146回 遺構群(10)～断面図(2)  
 第147回 遺構群(11)  
 第148回 遺構群(11)～断面図(1)  
 第149回 遺構群(11)～断面図(2)  
 第150回 遺構群(12)  
 第151回 195・197・290号土坑遺物出土状況、  
 遺構群(12)～断面図(1)  
 第152回 遺構群(12)～断面図(2)  
 第153回 遺構群(12)～断面図(3)  
 第154回 遺構群(12)～断面図(4)  
 第155回 遺構群(12)～断面図(5)  
 第156回 遺構群(13)  
 第157回 210号土坑遺物出土状況、遺構群(13)～断面図(1)  
 第158回 遺構群(13)～断面図(2)  
 第159回 遺構群(13)～断面図(3)  
 第160回 遺構群(14)  
 第161回 215号土坑遺物出土状況、遺構群(14)～断面図(1)  
 第162回 遺構群(14)～断面図(2)  
 第163回 遺構群(15)  
 第164回 遺構群(15)～断面図(1)  
 第165回 遺構群(15)～断面図(2)  
 第166回 遺構群(15)～断面図(3)  
 第167回 土坑群(1)  
 第168回 土坑群、192・335・336・348・368・369号土坑(1)

第169回 土坑群、192・335・336・348・368・369号土坑(2)  
 第170回 190・191・203・300・301号土坑  
 第171回 334・361・362・370・371・376号土坑  
 第172回 309・310・312・351・352号土坑  
 第173回 311・313～317・343・353号土坑  
 第174回 338号土坑、409号ピット

## 塚田の場遺跡

第175回 1号住居跡  
 第176回 2号住居跡  
 第177回 3号住居跡  
 第178回 4号住居跡  
 第179回 5号住居跡  
 第180回 建物跡  
 第181回 1～8号土坑  
 第182回 9～13号土坑、1～8号ピット  
 第183回 遺構群(1)～断面図(1)  
 第184回 遺構群(1)  
 第185回 遺構群(2)  
 第186回 遺構群(2)～断面図(1)  
 第187回 遺構群(2)～断面図(2)  
 第188回 遺構群(3)  
 第189回 遺構群(3)～断面図(1)  
 第190回 遺構群(4)  
 第191回 遺構群(5)  
 第192回 遺構群(4・5)～断面図(1)  
 第193回 1・4・5号溝  
 第194回 2号溝、近代遺物の出土状況(1)  
 第195回 近代遺物の出土状況(2)  
 第196回 7号溝、遺物出土状況  
 第197回 9・10号溝

## 塚田中原遺跡

第198回 1号住居跡  
 第199回 2号住居跡  
 第200回 3号住居跡  
 第201回 4号住居跡  
 第202回 5号住居跡  
 第203回 6号住居跡  
 第204回 7号住居跡  
 第205回 8・9号住居跡  
 第206回 8・9号住居跡掘り方  
 第207回 10号住居跡  
 第208回 11号住居跡  
 第209回 11号住居跡掘り方  
 第210回 12号住居跡  
 第211回 13号住居跡・カマド  
 第212回 14号住居跡・掘り方  
 第213回 15号住居跡  
 第214回 16・17・18号住居跡  
 第215回 19号住居跡  
 第216回 20号住居跡・カマド  
 第217回 21号住居跡  
 第218回 22・23号住居跡  
 第219回 24号住居跡  
 第220回 1号堅穴遺構  
 第221回 1～5・9号土坑、16～29号ピット

第222回 6・8・10～16・18・21号土坑、35号ビット  
第223回 17・19・20・22・24・25・27号土坑、44・52号ビット  
第224回 23・26・28～35号土坑、51号ビット  
第225回 36～46号土坑  
第226回 47～56・67号土坑  
第227回 57～66・68～71号土坑  
第228回 72～78・80～83号土坑、98・99・101・102号ビット  
第229回 79・84～87号土坑  
第230回 1・2号井戸  
第231回 1～15・30～34・36～43号ビット

第232回 45～50・53～68号ビット  
第233回 69～91号ビット  
第234回 92～97・100号ビット  
第235回 1・2号溝  
第236回 3・4・6号溝  
第237回 5・7号溝  
第238回 1号堀  
第239回 2号堀  
第240回 耕作痕



序章

五里河

五里河

五里河

## 1. 発掘調査に至る経緯

本事業地は、群馬県高崎市引間町及び塚田町（発掘調査時は、群馬県群馬郡群馬町大字引間及び大字塚田）地内に位置する。

一般県道前橋足門線は、前橋・高崎県央地域の一部であるとともに、前橋市と群馬町（現高崎市）を連絡する幹線道路である。本事業地である群馬町（現高崎市）は、前橋市及び高崎市のベッドタウンとして人口増加が著しく、路線も朝夕の交通渋滞が慢性化しているため、一般県道前橋足門線（西毛広域幹線道路）として、バイパスを整備することとなった。

高崎土木事務所からの依頼により、群馬県教育委員会文化財保護課（平成14年度から同文化課）が、平成11年度及び平成13年度に、工事前の試掘調査を実施した。その結果、竪穴住居跡・溝跡等の遺構、及び土師器・須恵器等の遺物が確認され、遺構密度に濃淡の差はあるが、ほぼ全域から遺構及び遺物が確認されたため、全面調査が必要との判断がなされた。

この試掘結果を受けて、高崎土木事務所と文化財保護課とで発掘調査の調整を行い、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を実施することとなった。

## 2. 発掘調査の経過と方法

### (1) 発掘調査の経過

引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡は、群馬県高崎市引間町及び塚田町（発掘調査時は、群馬県群馬郡群馬町大字引間及び大字塚田）に所在する。

発掘調査は、一般県道前橋足門線バイパス（西毛広域幹線道路）建設に伴う調査として、平成12(2000)年4月1日に棟高辻久保遺跡の調査に始まり、同15(2003)年9月30日に引間松葉遺跡の調査を終了、10月31日に塚田中原遺跡0区（現道拡幅部）の調査ですべてを終了した。

この間、調査した遺跡は8遺跡（棟高辻久保遺跡・

引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田の場遺跡・塚田中原遺跡・塚田村東IV遺跡・塚田中原遺跡0区・引間松葉遺跡Ⅲ区）で、縄文時代、弥生時代、古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡を中心に、中世から近世、そして近現代の昭和18(1943)年の飛行場造成面にまで及び、多くの遺構・遺物の調査が行われた。

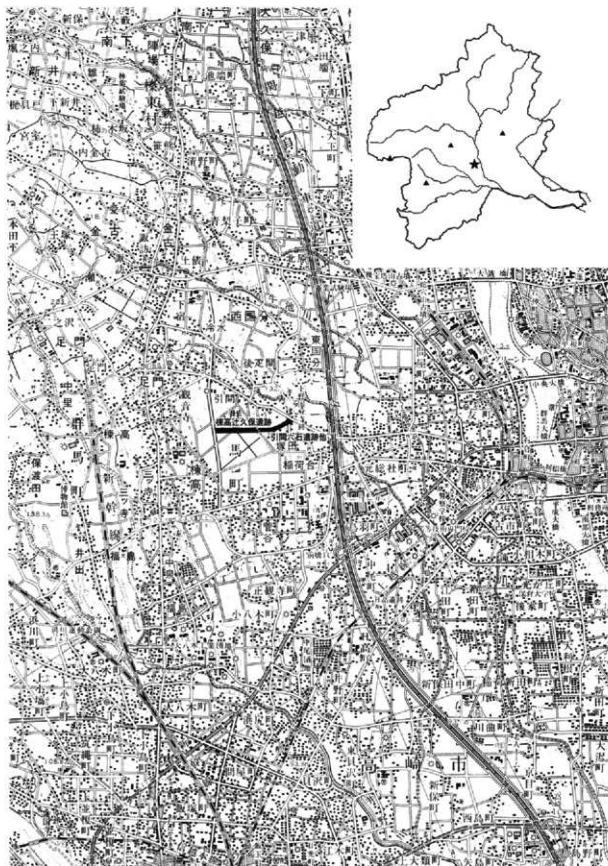
すでに、発掘調査区域は道路が完成し、一般県民への供用が開始されている。

平成15(2003)年10月からは整理作業を実施し、同17年3月に塚田村東IV遺跡・塚田中原遺跡0区・引間松葉遺跡Ⅲ区の報告書を刊行、同18年3月に棟高辻久保遺跡の報告書を刊行した。本報告の遺物整理は、平成17年4月からはじまり同19年3月をもって終了した。

調査日誌抄

#### 平成13(2001)年

- 6/20 塚田中原遺跡の重機掘削開始。担当は棟高辻久保遺跡に引き続き、菊池 実・檜崎修一郎・岡部 豊の3名である。
- 6/28 第1面の調査
- 7/ 2 遺構確認作業の開始
- 7/ 3 方眼杭打ち作業
- 7/ 5 住居跡、土坑、溝などの遺構を確認
- 7/ 9 1号堀・2号堀の調査
- 7/10 住居跡の調査を開始
- 7/12 2・3号住居跡の調査
- 8/ 2 住居跡、土坑、堀の調査
- 8/20 火葬墓の調査
- 8/24 5・7～10号住居跡の調査
- 8/30 住居跡の調査を継続、群馬町水道課来訪。
- 9/12 7～12号住居跡の調査、1号井戸の発掘と写真撮影。
- 9/19 8・10～16号住居跡の調査
- 9/27 8・9・13～15号住居跡の調査
- 10/ 3 10・11・14・15・17・21号住居跡の調査継続
- 10/12 高崎土木事務所との打ち合わせ会議
- 10/19 空撮を実施



第1図 遺跡位置図 (国土地理院 1:50,000「前橋」・「榛名山」使用)

10/22 塚田中原遺跡から棟高辻久保遺跡に引越  
し作業

10/24 塚田中原遺跡の調査終了

以後、棟高辻久保遺跡の調査に戻り、年度末の3  
月22日まで同遺跡の調査を実施した。3月末日まで  
埋め戻し作業。

#### 平成14(2002)年

4/ 1 担当者の植崎修一郎・岡部 豊がハッ場ダ  
ム調査事務所へ異動。あらたに担当者として廣津英  
一・渡會未央が転入。

4/ 8 平成14年度の遺跡担当者会議。現場担当者  
は、菊池 実・廣津英一・渡會未央の3名。

4月～11月7日まで、棟高辻久保遺跡V区・VI  
区・0区の調査を実施した。この間、8月12・13日  
の両日、引間松葉遺跡のプレハブ用地を先行調査。

9/12 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ  
会議を発掘調査事務所で行った。平成14年度の下半期  
の発掘調査の方針を決定。

11/ 8 引間松葉遺跡の調査を開始

11/12 引間松葉遺跡の2号溝調査

11/15 引間松葉遺跡の空撮実施

11/26 引間松葉遺跡の土坑、ピット、8・9号溝  
の調査。

12/ 2 引間六石遺跡の重機掘削開始

12/ 5 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ  
会議を発掘調査事務所で行った。

12/11 引間松葉遺跡の空撮実施、引間六石遺跡の  
遺構確認作業。

12/19 引間六石遺跡の空撮実施

#### 平成15(2003)年

1/ 6 仕事始め、ハッ場ダム調査現場から杉山秀  
宏、原 信行の2名が応援に入る。

1/ 8 引間松葉-掘削、引間六石-1・2号土坑  
調査。

1/16 引間松葉-空撮実施、引間六石-遺構確認  
作業。

1/29 引間六石遺跡の1～4・6・7号住居跡、1～  
4号土坑の調査。

2/ 3 引間六石-8～11号住居跡の写真撮影

2/19 引間六石遺跡の空撮

2/22 22号住居跡、41～58号ピットなどの調査。

3/ 7 石材鑑定を実施

3/ 8 石材鑑定2日目

3/11 引間六石遺跡の堀と溝の調査

3/19 引間六石遺跡の空撮実施、14年度の調査を  
終了。

3月末日まで重機による埋め戻し作業。

4/ 1 担当者の廣津英一がハッ場ダム調査事務所  
へ異動。担当者に石原良人・小林 正が転入。

4/ 3 平成15年度の遺跡担当者会議。現場担当者  
は、菊池 実・石原良人・渡會未央・小林 正の  
4名。渡會と小林の両名は、塚田村東IV遺跡・塚田  
中原遺跡0区・引間松葉遺跡Ⅲ区の調査を担当する  
ことになった。

4/ 9 現場代理人との打ち合わせ

4/11 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ  
会議を発掘調査事務所で行った。

4/14 平成15年度の発掘調査開始、引間六石遺跡  
の遺構確認と30～38号住居跡の調査。

4/15 引間松葉遺跡の測道部分の重機掘削

4/16 引間六石-30～47号住居跡の調査継続、引  
間松葉-177～180号土坑などの調査を続行。

5/ 7 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ  
会議を発掘調査事務所で行った、引間六石遺跡の空撮。

5/13 引間六石-土坑とピットの調査、塚田的場  
-表土はぎ作業。

5/26 引間六石-53・55・56号住居跡の調査、塚  
田的場-近代遺物が多数出土。

6/ 2 引間六石-土坑の調査、塚田的場-土坑の  
調査。

6/ 6 引間六石遺跡の空撮

6/16 塚田的場-遺構確認作業、引間松葉-表  
土はぎ作業。

6/23 県文化課、高崎土木事務所との調整会議。

6/27 塚田的場遺跡の1～4号住居跡の調査、土  
坑・ピット・溝の調査。

7/1 塚田の場-遺構調査の継続、引間松葉-遺構確認作業。

7/3 塚田の場-調査を終了、引間松葉-遺構掘削作業。

7/9 塚田の場-埋め戻し作業終了、引間松葉-ピットの調査。

7/16 引間松葉遺跡の1・3~5・7・9~11号住居跡、土坑・ピット・溝の調査。

7/18 県庁で文化課、高崎土木事務所、事業団3者で打ち合わせ会議。

7/31 県文化課、高崎土木事務所との打ち合わせ会議。

8/4 引間松葉遺跡の14~16号住居跡の調査、土坑とピットの調査継続。

8/7 引間松葉遺跡の17・19・21~23号住居跡、土坑・ピット・溝の調査。

8/18 引間松葉遺跡の18~20・23号住居跡の調査、土坑とピットの調査。

8/26 県文化課、高崎土木事務所、事業団3者の調整会議。

8/29 引間松葉遺跡の土坑とピット群の調査を終了。

9/1 本線の埋め戻し作業を開始。

9/10 本線の埋め戻し作業を終了。

以後、10月29日まで現道（前橋足門線）拡幅部の調査が行われた。

## (2) 調査区の設定

調査区は、西側から東側にかけて、引間六石遺跡、引間松葉遺跡、塚田の場遺跡、塚田中原遺跡の4遺跡に及んだ。この間、極高辻久保遺跡の調査や現道（前橋足門線）拡幅部の調査も実施している。

調査にあたっては、西毛広域幹線道路を覆うグリッドを設定し、遺構の測量等には、国家座標第Ⅸ系（旧座標系）を使用した。座標杭は、東西、南北それぞれ5m間隔で打ち、その範囲を小グリッドとした。そして100m進む毎に大グリッドを設定した。

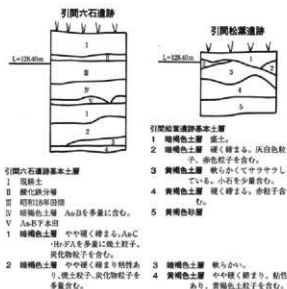
## 3. 基本土層

引間六石遺跡などは、榛名山東南麓に広がる相馬ヶ原原状地の先端近くに立地する。従って、土層は、榛名山の影響を大きく受けている他に、浅間山噴出物の堆積も見られる。

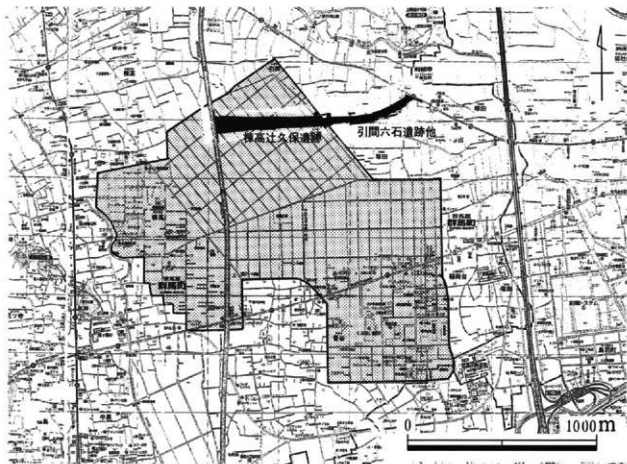
榛名山噴火の際の、6世紀前半の降下火山灰Hr-FA及び6世紀後半の降下火山軽石Hr-FPと浅間山噴火の際の、4世紀前半の降下軽石As-C、1108年の降下軽石As-B、1783年の降下軽石As-Aである。

当遺跡の立地する地域は、水田及び畑が広がる地域である。さらに、昭和18(1943)年に飛行場建設のために、周辺の微高地を削って埋土に転用した痕跡も認められている。

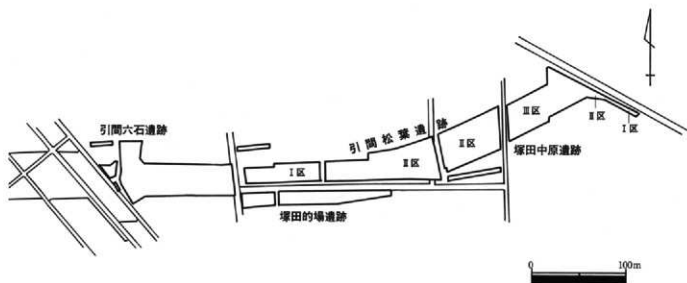
引間六石遺跡西端部土層は次のとおりである。最上層は現耕作土で、その下に現耕作土に伴う酸化鉄分層、昭和18(1943)年当時の田畑の耕土、昭和18年当時の田畑に伴う酸化鉄分層、暗褐色土層(As-Bを含む)、灰褐色土層(As-Bを多量に含む)、As-B下水田耕土、暗褐色土層(As-C・Hr-FAを含む)と続く。遺跡地の多くは榛名山のテフラHr-FAと浅間山のテフラAs-Cを含む黒褐色土ないしは暗褐色土が堆積し、この層が遺構の確認面である。



第2図 基本土層



※アミ部分は旧陸軍前橋飛行場跡



第3図 調査区域図



## 4. 遺跡の地理的・歴史的環境

### (1) 地理的環境

#### 遺跡の立地

引間六石遺跡をはじめとする4遺跡は、群馬県高崎市引間町及び塚田町(調査時は、群馬郡群馬町大字引間及び同大字塚田)に所在する。

遺跡は、前橋市の中心部から約4.5km西に位置する。一般県道前橋足門線は、南東から北西に通る。また、約1km東には関越自動車道が南北に通る。遺跡の北には、染谷川を挟んで国史跡上野国分僧寺跡がある。遺跡地からは、榛名山・赤城山・妙義山の上毛三山などを見渡すことができる。遺跡の標高は、130m前後である。

#### 地理的環境

遺跡地は、榛名山の東南麓に広がる相馬ヶ原扇状地の東端部近くにあり、傾斜は緩く前橋台地へと移り変わっていく場所に立地する。遺跡で、もっとも西に位置する引間六石遺跡の標高が一番高く、塚田中原遺跡の東端が最も低い。

相馬ヶ原扇状地は、榛名山東南麓の水沢と白川との間に広がる。その分布は、標高600m付近を扇頂として、標高110m付近にまで達している。これは行政区域で言えば、北は渋川市南部から始まり、北群馬郡榛東村、同吉岡町、群馬郡箕郷町(現高崎市)北東部、そして群馬町(現高崎市)にまで至る。扇状地を構成する堆積物は、層厚40m以上の相馬ヶ原扇状地礫層からなるとされ(森山、1971)、これは榛名山の活動に伴う噴出物及び山体崩壊によると考えられている。

榛名山は那須火山帯の最南端にあたる第四期複合成層火山で、海拔1,449m(搦ヶ岳)がある。現在では基底の直径約22kmに達する円形の大規模火山であるが、その形成は5期に分類される(大島、1986)。第1期は主成層火山体の形成期、第2期は主成層火山帯の爆発的崩壊・再構築期、第3期は側噴火期、第

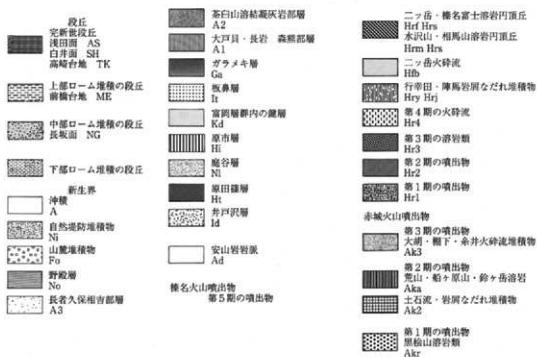
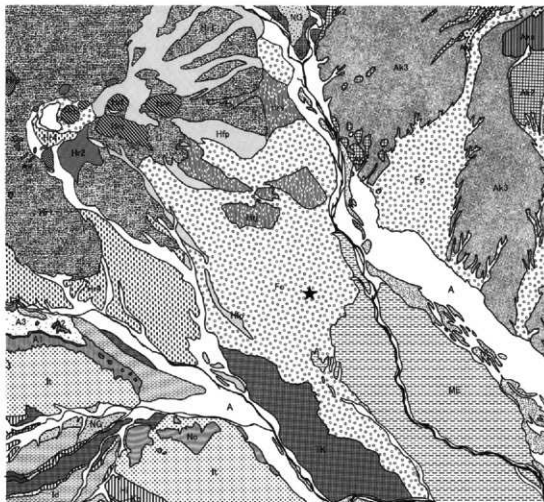
4期は火砕流噴出・カルデラ形成期、第5期は溶岩円頂丘期となっている。特に相馬ヶ原扇状地に関わりあるものとして、第4期の火砕流噴出による堆積物と山体崩壊に伴う堆積物があり、第5期では、陣馬岩屑なだれによる堆積とその上の総社砂層(早田、1990)が挙げられる。

これらによる相馬ヶ原扇状地の形成は、約17万年前に始まり、縄文時代前期の約5千年前まで続いた。陣馬岩屑なだれによる堆積の上層には、浅間板鼻黄色軽石が堆積しており、その年代から約14万年前には、扇状地の大部分が形成されていたことになる。一方、新しい堆積物である総社砂層は、前橋台地から相馬ヶ原扇状地にかけて広く分布し、浅間総社軽石層より上位に位置することから、約1万年前以降に始まったと考えられている。そして、その上位には縄文時代前期以降の遺跡が分布している。このことから、総社砂層の堆積が終了した年代は、まだ確定ではないが、約5千年前と考えられている。

遺跡に隣接する元総社西川・塚田中原遺跡では、総社砂層の上位からAs-Knらしきテフラ、As-C、Hr-FA、As-B、As-Aが検出されている。

#### 参考文献

- 大島 治 1986「榛名火山」『日本の地質3関東地方』、共立出版  
 東形秀夫 2001「原始古代の群馬町」『群馬町誌通史編上』群馬町史編纂委員会  
 群馬県地質調査委員会 1999『群馬県10万分の1地質図解説書』内外地図株式会社  
 早田 勉 1990『群馬県の自然と風土』『群馬県史通史編1原始古代1』、群馬県史編纂委員会  
 森山昭雄 1971「榛名山東・南麓の地形：特に軽石流の地形について」『地理学報告』36-37合併号  
 矢口裕之・新井雅之 1996「Ⅱ-2. 地理的環境」『元総社寺田遺跡Ⅲ(本編)―一校河川牛池川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



第4図 周辺地質図(群馬県10万分の1地質図 1999 より作成) 1/200,000

## (2) 歴史的環境

遺跡地は、相馬ヶ原扇状地に立地している。その扇状地の堆積が終了し、安定したのが約5千年前とされる。そのため、周辺で遺跡が見られるようになるのは縄文時代前期後半以降であり、それ以前の遺跡は確認できていない。

ここでは、時代毎に略述し、周辺の土地利用の変遷を概観したい。

### 縄文時代

縄文時代前期後半から、遺跡が見られるようになる。しかし前期では、遺構を伴う遺跡は限られている。上野国分僧寺・尼寺中間地域では諸磯C式期の竪穴住居跡が1軒あるのみである。集落なども含めて、遺跡の増加が見られるのは、中期の加曾利E式期である。上野国分僧寺・尼寺中間地域で竪穴住居跡や土坑が多数確認されているほか、北原遺跡、産業道路東遺跡などで遺構が検出されている。後期になると遺跡数はやや減少するようである。産業道路西遺跡で遺構が確認されているほか、上野国分僧寺・尼寺中間地域、西国分Ⅱ遺跡、諏訪西遺跡などで遺物が出土している。晩期では、鳥羽遺跡や上野国分僧寺・尼寺中間地域で遺構と遺物が確認されている。

西毛広域幹線道路関係では塚田村東Ⅳ遺跡・塚田中屋遺跡(0区)・引間松雲遺跡(Ⅲ区)や元総社西川・塚田中原遺跡などでも前期から後期に属する遺物が出土しているが、遺構は確認できていない。榎高辻久保遺跡から中期の土坑が検出されている。そして本4遺跡からは遺構の検出はなく、少量の土器片が出土している。

### 弥生時代

当該期の遺構や遺物の量は少ない。前期末に属する遺物が西三社免遺跡で出土している。中期では、上野国分僧寺・尼寺中間地域や北原遺跡で遺物が出土している。遺構が確認できるようになるのは、後期以降である。上野国分僧寺・尼寺中間地域や下東

西遺跡で、集落が確認されている。

引間六石遺跡をはじめ4遺跡では、弥生時代に属する遺物や遺構は検出されていないが、元総社西川遺跡、榎高辻久保遺跡では弥生時代末から古墳時代初頭にかけてに位置付けられる土坑や竪穴住居跡が検出されている。

### 古墳時代

古墳時代になると周辺地域における遺跡の数が増加してくる。遠見山古墳、王山古墳、総社二子山古墳、愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳などからなる総社古墳群があり、やや離れた南西には井出二子山古墳、八幡塚古墳、薬師塚古墳などからなる保渡田古墳群がある。しかし、遺跡地周辺には大型の古墳はなく、集落が広がっている。弥生時代後期から集落が営まれている上野国分僧寺・尼寺中間地域では、断絶はあるが、前期から集落が確認されている。他に鳥羽遺跡、西三社免遺跡、小池遺跡、元総社西川遺跡、塚田中原遺跡、稲荷塚道東遺跡などでも竪穴住居跡など前期の集落が確認されている。

中期になると、三ツ寺遺跡周辺で遺跡の密度が急速に高まる。しかし、遺跡地周辺ではそのような極端な変化はない。鳥羽遺跡、西三社免遺跡、小池遺跡、後元間遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域、稲荷塚道東遺跡などで中期の集落が営まれている。また、北谷遺跡では、三ツ寺Ⅰ遺跡のような豪族居館が確認されている。

後期も引き続き各所で集落が営まれている。遺跡地において、継続的に土地利用がなされるようになるのが、この時期からである。鳥羽遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域、後元間遺跡、小池遺跡、西国分遺跡、諏訪西遺跡、冷水村東遺跡、元総社西川遺跡などで集落など遺構が確認できる。また、元総社西川・塚田中原遺跡、榎高辻久保遺跡では、Hr-FA下の畠跡が確認されている。

この古墳時代には、榛名山の噴火に伴う火山灰及び軽石の降下がみられる。6世紀前半の榛名山二ッ岳火山灰(Hr-FA)及び6世紀後半の榛名山二ッ岳

石(Hr-FP)である。

### 奈良・平安時代

周辺では古墳時代に引き続き、集落などの遺跡が増加するようになる。

特に前橋市元総社町に置かれたと考えられる国府や群馬町(現高崎市)から前橋市にかけての地域に置かれた国分僧寺・国分尼寺により、このあたりは上野国の中心地として栄えるようになっていく。前橋市西部から旧群馬町東部にかけての地域で、集落が濃い密度で分布している。上野国分僧寺・尼寺中間地域、鳥羽遺跡、国分境遺跡、北原遺跡などを代表として、周辺はほぼ集落で埋め尽くされているといっても過言ではない。近隣の元総社西川・塚田中原遺跡、塚田村東IV遺跡でもこの時代が中心である。しかし、これらの集落は11世紀までで、それ以降は不明瞭となっていく。11世紀から、関東地方一円で、堅穴住居から平地住居や掘立柱建物に移行するためと推定されている。平地住居は、発掘調査で検出するのがほぼ不可能であり、掘立柱建物は遺構の年代決定が困難であるからである。

平安時代には1108(天仁元)年に浅間山が噴火し、As-Bと呼ばれる軽石が降下している。

### 中世

鎌倉時代に属する遺構や遺物は明らかではない。しかし、時代は下がるが室町時代でも土坑墓や大溝など遺構が確認できることから、古代に引き続き土地利用が続けられていたことが推測できる。国分境Ⅲ遺跡、西国分六ッ割遺跡、元総社西川・塚田中原遺跡などで、中世に属する遺構や遺物が確認されている。古代から続く重要地域であったためか、城跡も多い。15世紀に上野国守護代長尾氏が、国衙内に蒼海城を築くが、その他金尾城跡など、周辺にはいくつかの城跡が確認されている。上野国衙に関する遺構がきちんと確認できないのは、蒼海城を築いたことによる破壊が、その理由として考えられている。

その後、16世紀に入るとしだいに長野氏が勢力を

伸ばすようになる。上野国分僧寺・尼寺中間地域や鳥羽遺跡では、長尾・長野両氏に関する遺構が確認されている。遺跡地では、戦国時代の様相を表すような資料は出土していない。しかしながら、土坑墓・火葬墓や溝など、中世に属すると考えられる遺構が検出されている。

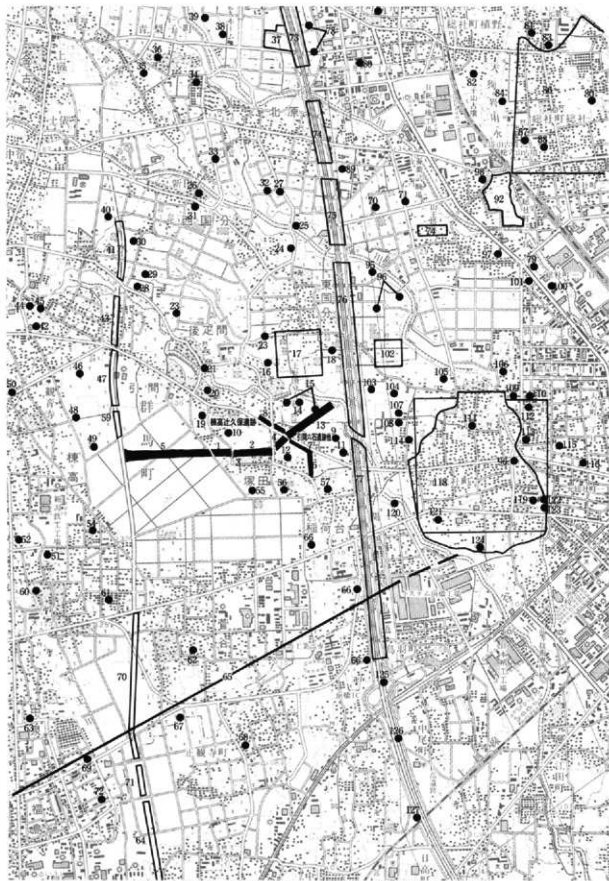
### 近世及び近代

上野国分僧寺・尼寺中間地域では寺院跡と推定される溝・土坑墓が、元総社西川遺跡では大溝が、小池遺跡では土坑墓が確認されるなどしている。塚田村東IV遺跡でも、畠跡や土坑墓が検出されており、郊外の土地利用の一端が伺える。

昭和118(1943)年から翌年にかけて建設された陸軍前橋飛行場に関連するものとしては、塚田村東IV遺跡及び引間松葉遺跡で、対空高射機関銃座や迫撃砲砲弾、兵士が使用したと思われる飯盒炊飯の跡も検出されている。

### 参考文献

- 『元総社西川遺跡』(財)群馬県歴史文化財調査事業団 2001
- 『元総社西川・塚田中原遺跡』(財)群馬県歴史文化財調査事業団 2003
- 『塚田村東IV遺跡・塚田中原遺跡(0区)・引間松葉遺跡(Ⅲ区)』(財)群馬県歴史文化財調査事業団 2005
- 『榎高辻久保遺跡』(財)群馬県歴史文化財調査事業団 2006
- 『群馬県史 通史編1 原始古代1』群馬県史編纂委員会 1990
- 『群馬町誌 通史編上 原始古代・中世・近世編』群馬町誌編纂委員会 2001
- 『群馬町誌 資料編1 原始古代・中世編』群馬町誌編纂委員会 1998
- 『前橋市史1・2』前橋市史編纂委員会 1971・1973



第5図 周辺遺跡分布図(国土地理院:1:25,000「前橋」使用)

## 周辺遺跡一覧表

NO	遺跡名	時代	主な文献
1	引開六石遺跡	奈良・平安～近現代	本報告書
2	引開松葉遺跡	奈良・平安～近現代	本報告書
3	塚田の場遺跡	奈良・平安～近現代	本報告書
4	塚田中原遺跡	奈良・平安～近現代	本報告書
5	棟高辻久保遺跡	縄文・近現代	「棟高辻久保遺跡」県埋文事業団 2006
6	塚田村東IV遺跡	古墳・奈良平安～近代	「塚田村東IV遺跡、塚田中原遺跡、引開松葉遺跡」県埋文事業団 2005
7	塚田中原遺跡0区	古墳～中近世	「塚田村東IV遺跡、塚田中原遺跡、引開松葉遺跡」県埋文事業団 2005
8	引開松葉遺跡Ⅲ区	奈良～近代	「塚田村東IV遺跡、塚田中原遺跡、引開松葉遺跡」県埋文事業団 2005
9	塚田中原遺跡	古墳～近世	「国府南部遺跡群Ⅰ・Ⅱ」群馬町教育委員会 2000
10	引開松葉、塚田の場遺跡	古墳～近世	「国府南部遺跡群Ⅰ・Ⅱ」群馬町教育委員会 2000
11	塚田村東遺跡	平安	「塚田村東遺跡調査概報」群馬町教育委員会 1986
12	塚田村東IV遺跡	奈良・平安	「国府南部遺跡群Ⅳ」群馬町教育委員会 2002
13	元総社西川、塚田中原遺跡	古墳～中世	「元総社西川、塚田中原遺跡」県埋文事業団 2003
14	元総社西川遺跡	古墳～中世	「元総社西川遺跡」県埋文事業団 2001
15	上野園分寺参道遺跡	古墳～平安	「上野園分寺参道遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1997
16	引開字石堂	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
17	上野園分御寺	奈良～	「史跡上野園分寺跡発掘調査報告書」群馬町教育委員会 1989ほか
18	上野園分二寺中間地城	奈良・平安	「上野園分二寺跡、上野園分二寺中間地城」県埋文事業団、県教委 1993
19	引開字花園、三社免	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
20	引開字花園	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
21	後近間字屋敷敷、引開字古屋敷	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
22	後近間遺跡	古墳～平安	「後近間遺跡(Ⅰ)～(Ⅲ)」群馬町教育委員会 1986～1988
23	引開古屋敷Ⅱ遺跡	平安	「引開遺跡Ⅱ」群馬町教育委員会 2003
24	西園分字葉巻廻り、東園分字元屋敷	縄文	県台帳2502
25	園分境Ⅱ遺跡	古墳～平安・中世	「園分境Ⅱ遺跡」群馬町教育委員会 1993
26	西園分Ⅰ遺跡	縄文・弥生・古墳～中世	「西園分Ⅰ遺跡」群馬町教育委員会 1989
27	西園分Ⅱ遺跡	縄文・弥生・古墳～中世	「西園分Ⅱ遺跡」群馬町教育委員会 1990
28	北谷遺跡	古墳	「平成13年度調査遺跡発表会」県埋文事業団 2001
29	引開城址	中世	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
30	冷水村東Ⅱ遺跡、北谷遺跡	古墳	「引開遺跡Ⅱ」群馬町教育委員会 2001
31	西園分六ツ瀬遺跡	古墳後～中世	「西園分六ツ瀬遺跡」群馬町教育委員会 1997
32	北原字下屋敷、ゴツクイ	縄文・古墳	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
33	西園分守向原	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
34	熊野谷遺跡	縄文・平安	「熊野谷遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1989
35	柳原遺跡	奈良・平安	「清里南部遺跡群Ⅲ」前橋市教育委員会 1981
36	松ノ木遺跡	平安・近世	「清里南部遺跡群Ⅲ」前橋市教育委員会 1981
37	下東西清水上遺跡	縄文～中・近世	「下東西清水上遺跡」県埋文事業団 1998
38	青梨子母跡	中世	山崎 一「群馬県古墳址の研究」上巻 群馬県文化事業振興会 1971
39	中崎遺跡	奈良・平安・中世	「中崎遺跡発掘調査概報」前橋市教育委員会 1980
40	冷水字牛池遺跡	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
41	冷水村東遺跡	古墳～中世	「冷水村東遺跡、西園分新田遺跡、金古十三町遺跡」県埋文事業団 1998
42	北原保古墳	古墳後	「群馬県遺跡台帳(西毛編)」群馬町教育委員会 1972
43	諏訪西遺跡	古墳～平安・近世	「諏訪西遺跡」群馬町教育委員会 1995
44	棟高北嶽保康b号古墳	古墳	「町内遺跡Ⅰ」群馬町教育委員会 1993 「町内遺跡Ⅱ」群馬町教育委員会 2000
45	棟高北嶽保康c号古墳	古墳	「町内遺跡Ⅰ」群馬町教育委員会 1993
46	棟高南嶽保康Ⅱ遺跡	古墳～平安	「町内遺跡Ⅱ」群馬町教育委員会 2003
47	小池遺跡	古墳～平安・近世	「小池遺跡」群馬町教育委員会 1992
48	棟高辻ノ内Ⅱ遺跡	古墳	「町内遺跡Ⅲ」群馬町教育委員会 2001
49	棟高辻ノ内Ⅲ遺跡	古墳～平安	「町内遺跡Ⅳ」群馬町教育委員会 2003
50	棟高平石遺跡	古墳	「町内遺跡Ⅱ」群馬町教育委員会 1994
51	棟高南八幡街道遺跡	古墳～平安か	「町内遺跡Ⅴ」群馬町教育委員会 2000
52	棟高南八幡街道Ⅱ遺跡	古墳～平安か	「町内遺跡Ⅵ」群馬町教育委員会 2000
53	福寿台東金尾遺跡	平安	「町内遺跡Ⅶ」群馬町教育委員会 2000
54	棟高字村北	縄文	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1968
55	塚田村前Ⅱ遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	「国府南部遺跡群Ⅴ」群馬町教育委員会 2003

NO	遺跡名	時代	主な文献
56	塚田村前遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	『国府南部遺跡群Ⅴ』群馬町教育委員会 2003 『国分南部遺跡群Ⅳ』群馬町教育委員会 2002
57	塚田村東Ⅱ・稲荷台村北遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	『国府南部遺跡群Ⅲ』群馬町教育委員会 2001
58	稲荷台村南遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	『国府南部遺跡群Ⅲ』群馬町教育委員会 2001
59	西三社免遺跡	古墳中～平安	『西三社免遺跡』群馬町教育委員会 1990
60	三ツ寺字南八幡街道	縄文	『群馬県遺跡台帳』（西毛編）群馬県教育委員会 1972
61	棟高字東弥三郎街道	縄文	『群馬町誌』資料編1 群馬町誌編纂委員会 1998
62	菅谷城跡	中世	山崎 一『群馬県古城遺址の研究』下巻 群馬県文化事業振興会 1972 『群馬町誌』資料編1 群馬町誌編纂委員会 1998
63	中泉中筋遺跡	古代	『中泉中筋遺跡』群馬町歴史調査報告 第60号町内遺跡Ⅹ
64	小八木志志貝戸	縄文・古墳～平安	『小八木志志貝戸遺跡群1～4』県歴史事業団 1999～2002
65	郷定東山道	奈良・平安	『郷定東山道』群馬町教育委員会 1986
66	金尾城（中尾城）	中世	『前橋市史』1 前橋市教育委員会 1971
67	菅谷遺跡	弥生・平安	『菅谷遺跡発掘調査報告』群馬町教育委員会 1980
68	正観寺遺跡群	弥生	『正観寺遺跡群1～Ⅳ』高崎市教育委員会 1979～1982
69	福島口Ⅴ遺跡	弥生・古墳後	『町内遺跡Ⅴ』群馬町教育委員会 2001
70	菅谷石塚遺跡	古墳	『小八木志志貝戸遺跡群1・2』県歴史事業団 1999・2001 『菅谷石塚遺跡』県歴史事業団 2003
71	正観寺西原	古代	『小八木志志貝戸遺跡群1・2』県歴史事業団 1999・2001
72	河口遺跡	弥生～古墳	『河口遺跡Ⅲ』群馬町教育委員会 1985
73	下東西遺跡	縄文前～中世	『下東西遺跡』県歴史事業団 1987
74	北原遺跡	縄文・弥生・古墳後～平安	『北原遺跡』群馬町教育委員会 1986
75	国分境遺跡	古墳後～平安	『国分境遺跡』県歴史事業団 1990
76	上野国分僧寺・尼寺中間地域	縄文～中・近世	『上野国分僧寺・尼寺中間地域1～8』県歴史事業団 1987～1992
77	鳥羽遺跡	古墳～中近世	『鳥羽遺跡』県歴史事業団 1986・1988・1990・1992
78	清里南部遺跡群（下東西遺跡）	古墳・奈良・平安	『清里南部遺跡群Ⅲ』前橋市教育委員会 1986
79	高井樋ノ木遺跡	縄文～中世	『高井樋ノ木遺跡』大友町西通発掘調査会 1999
80	柿木遺跡	縄文～中・近世	『柿木遺跡』前橋市教育委員会 1984
81	稲荷山古墳（総社総社社）	古墳	『稲荷山古墳』前橋市教育委員会 1988
82	総社二子山古墳	古墳後	『群馬総社古墳群』観光資源保護財団 1977
83	大小路山古墳	古墳	『柿木遺跡』前橋市教育委員会 1984
84	愛宕山古墳	古墳	『群馬総社古墳群』観光資源保護財団 1977
85	滝見山古墳	古墳	『平成6年度市内遺跡発掘調査報告書』前橋市教育委員会 1996
86	総社城跡	近世	山崎 一『群馬県古城遺址の研究』上巻 群馬県文化事業振興会 1971
87	宝塚山古墳	古墳後	『群馬県史』資料編3 群馬県教育委員会 1981
88	総穴山古墳	古墳中	『群馬総社古墳群』観光資源保護財団 1977
89	北原一町堀遺跡	奈良・平安	『町内遺跡Ⅳ』群馬町教育委員会 2001
90	国分境Ⅳ遺跡	古墳～平安	『国分境Ⅳ遺跡』群馬町教育委員会 1998
91	国分境Ⅱ遺跡	古墳・奈良	『国分境Ⅱ遺跡』前橋市教育委員会 1992
92	大屋敷遺跡群	縄文・古墳前～中世	『大屋敷遺跡1～Ⅳ』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1993～1996
93	大友原敷Ⅱ遺跡	縄文・古墳～中・近世	『大友原敷Ⅱ遺跡』前橋市教育委員会・前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1987
94	山王廟寺	白鳳～平安	『山王廟寺発掘調査報告1～8』前橋市教育委員会 1976～1982
95	東国分高井道東Ⅱ遺跡	古墳	『町内遺跡Ⅲ』群馬町教育委員会 2001
96	上野国分尼寺跡北Ⅱ遺跡	奈良・平安	『上野国分尼寺跡北Ⅱ遺跡』群馬町教育委員会 2002
97	昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡	奈良・平安	『昌楽寺廻向Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1988
98	村東遺跡	古墳～平安	『村東遺跡』前橋市教育委員会・前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1988
99	産業道路東遺跡	縄文前～中	『前橋市史』前橋市教育委員会 1971
100	稲荷塚道東遺跡	古墳～中世	『稲荷塚道東遺跡』県歴史事業団 2003
101	産業道路西遺跡	縄文前～中	『前橋市史』前橋市教育委員会 1971
102	上野国分尼寺	奈良・平安	『上野国分尼寺跡調査報告書』群馬県教育委員会 1969・1970
103	元総社小見遺跡	縄文・古墳～平安	『元総社小見遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001
104	元総社小見Ⅱ遺跡	縄文・古墳～中世	『元総社小見Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003

NO	遺跡名	時代	主な文献
105	元総社小見内宮遺跡	弥生・古墳～近世	『元総社小見内宮遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2002
106	総社甲稲荷塚大道西遺跡、 総社甲稲荷大道西Ⅱ・Ⅲ遺跡	古墳～平安	『総社甲稲荷塚大道西遺跡・総社開泉明神北Ⅱ遺跡・総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2002 『総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡・総社開泉明神北Ⅲ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
107	元総社草作V遺跡	古墳～中世	『元総社小見内宮遺跡・元総社草作V遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
108	元総社小見内宮遺跡	縄文・古墳～中世	『元総社小見内宮遺跡・元総社草作V遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
109	総社開泉明神北遺跡、総社 開泉明神北Ⅱ・Ⅲ遺跡	古墳・平安～中世	『総社開泉明神北遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2000 『総社甲稲荷塚大道西遺跡・総社開泉明神北Ⅱ遺跡・総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2002 『総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡・総社開泉明神北Ⅲ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
110	開泉橋遺跡	奈良・平安	『開泉橋遺跡』前橋市教育委員会 1983
111	元総社宅地遺跡	古墳～平安	『元総社宅地遺跡・上野園分尼寺寺域確認調査Ⅱ』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001
112	開泉橋南遺跡	古墳～奈良・平安	『開泉橋南遺跡』前橋市教育委員会 1986
113	屋敷遺跡	古墳～中・近世	『屋敷遺跡』前橋市教育委員会 1987
114	草作遺跡	縄文～中・近世	『草作遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1985
115	堰越Ⅱ遺跡	奈良・平安	『堰越Ⅱ遺跡』前橋市教育委員会・前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1988
116	堰越遺跡	奈良・平安	『堰越遺跡』山武考古学研究所 1988
117	上野園府推定城	奈良～	『開泉橋南遺跡』前橋市教育委員会 1983
118	着海城遺跡	中世	山崎 一『群馬県古蹟遺址の研究』上巻 群馬県文化事業振興会 1971
119	元総社小学校校庭遺跡	奈良・平安	『前橋市史』第1巻 前橋市教育委員会 1971
120	弥助遺跡	古墳～奈良・平安	『弥助遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1990
121	染谷川古墳	古墳	
122	元総社寺田遺跡	縄文～中・近世	『元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ』県埋文事業団 1993・1994・1996
123	寺田遺跡	奈良・平安	『寺田遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1987
124	早道遺跡	奈良・中世	『平成6年度 市内遺跡発掘調査報告書』前橋市教育委員会 1995
125	中尾遺跡	古墳～中世	『中尾遺跡』県埋文事業団 1983・1984
126	吹屋遺跡	縄文～中世	『元鳥名目・吹屋遺跡』県埋文事業団 1982
127	日高遺跡	弥生～平安	『日高遺跡』県埋文事業団 1982 (ほか)



# 第1章

## 引間六石遺跡



## (1) 竪穴住居跡



第6図 1号住居跡

## 1号住居跡 (①第6図②第1図、PL.2・58)

**位置** Jj-79グリッドにおいて検出した。2号住居跡の北約15mの所に位置している。

**形状** 長辺約2.7m、短辺約2.4mの方形を呈する。

**方位** N-73°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約14cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約5.3㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向86cm、両袖方向47cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面東南の隅から検出した。長径50cm、短径28cm、深さ20cmである。

**遺物** 竈から須恵器の坏が出土している。遺物の出土は少ない。

**時期** 8世紀前半。

**備考** 5号土坑に壊されている。

## 1号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子、黄褐色粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりやや暗い色調、やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土層粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を多量に含み、炭化物、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土、炭化物を含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。白色土粒子、炭化物を含む。
- 6 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。白色土粒子を含む。

## 1号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物、焼土粒子、黄褐色土を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土を多量に、炭化物を含む。
- 5 灰層 焼土を含む。
- 6 灰層 暗褐色土を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを含む。

## 2号住居跡 (①第7図②第1図、PL.2・58)

**位置** Jj・Ik-80・81グリッドにかけて検出した。3号住居跡・30号住居跡と重複している。

**形状** 現状では長辺約4.3m、短辺約3.3mを測る。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層(4・5層は床下土坑の覆土)である。

**壁高** 住居跡確認面より約34cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。面積は約13.2㎡。中央やや北から土坑を検出した。規模は長径100cm、短径88cm、深さ20cmである。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。

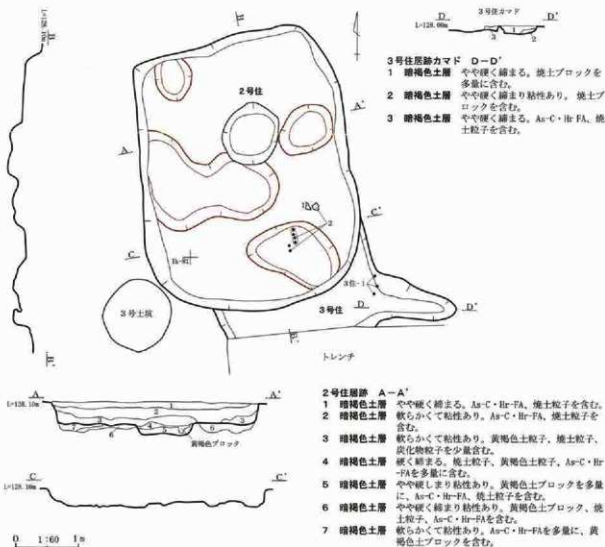
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 床面や掘り方から土師器の甕、須恵器の坏が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 重複関係のために当住居跡は不明瞭である。あるいは3号住居跡と同一になるかもしれない。



第7図 2・3号住居跡

3号住居跡 (①第7図②第1図、PL2-56)

位置 Ij80・81グリッドにかけて検出した。2号住居跡・30号住居跡と重複している。

形状 現状で一辺2.6mを確認できる。

方位 N-79°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築されている。

壁高 住居跡確認面より約4~10cmで床面。

床面 やや凹凸が認められる。

周溝 検出できなかった。

電 東壁に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向60cmである。

柱穴 検出できなかった。

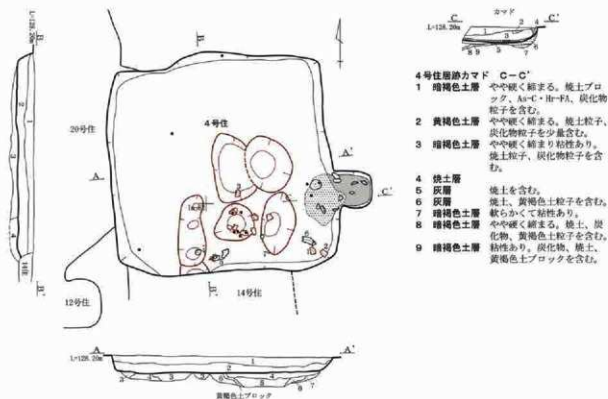
貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈から土師器の甕が出土している。遺物の出土は少ない。

時期 9世紀後半。

備考 当住居跡は2号住居跡と同一住居を構成する可能性がある。

## (1) 竪穴住居跡



## 4号住居跡 A-A' B-B'

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Faを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。</p> <p>2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土ブロックを含む。</p> <p>3 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土粒子、As-C・Hr-Faを含む。</p> <p>4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に、As-C・Hr-Fa、炭化物を含む。</p> | <p>5 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Fa、炭化物、焼土粒子、多量の焼土を含む。</p> <p>6 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Fa、炭化物、焼土粒子を含む。</p> <p>7 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。白色土粒子、焼土粒子を含む。</p> |
|--|---|

第8図 4号住居跡

## 4号住居跡 (①第6図②第1・2図、PL.3-58)

位置 Im・In-81・82グリッドにかけて検出した。

14号住居跡・20号住居跡と重複している。

形状 長辺約35m、短辺約34mの方形を呈する。

方位 N-88°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~26cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向110cm、両袖方向60cmである。

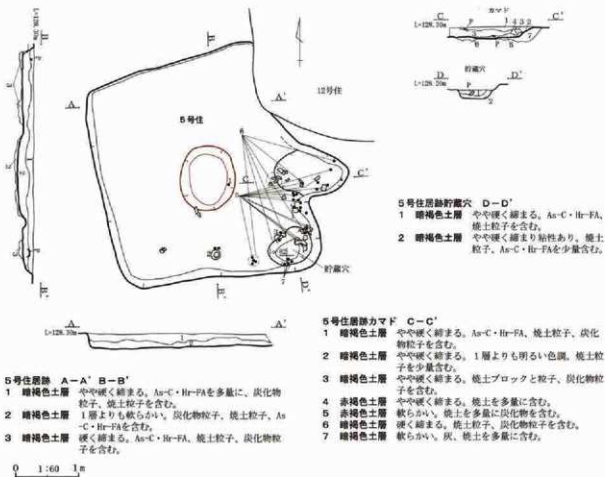
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 甕や掘り方覆土から須恵器の坏や埴・甕などが出土している。

時期 9世紀後半。

備考 当住居跡は14号住居跡によって、その一部を壊されている。



第9図 5号住居跡

5号住居跡 (①第9図③第2図、PL4・56)

位置 In・Io-82・83グリッドにかけて検出した。12号住居跡と重複している。

形状 長辺3.3~3.7m、短辺2.9~3.2mの方形を呈する。

方位 N-83°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層である。

壁高 住居跡確認面より約14~22cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は約11㎡。中央部から床下土坑を検出した。長径100cm、短径90cm、深さ5cmである。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方

向120cm、両袖方向75cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面東南隅から検出した。長径72cm、短径54cm、深さ20cmである。

遺物 竈と貯蔵穴周辺から土師器の甕、須恵器の埴や緑釉陶器片が出土している。

時期 9世紀後半~10世紀初頭。

備考 当住居跡は12号住居跡の一部を壊している。

**6号住居跡** (①第10.11回②第3回、PL.5-59)

**位置** Im・In-82・83グリッドにかけて検出した。14号住居跡・26号住居跡と重複している。

**形状** 現状では長辺約2.9m、短辺約2.3mを測る。路線外に延びているために完掘できなかった。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4(1・2・8・9)層に分かれた。3～7層は竪覆土である。

**壁高** 住居跡確認面より約30～46cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** 凹凸がある。現状での面積は約6.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向は完掘できなかったために不明である。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第3回8)、周辺から須恵器の埴が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 覆土からは、26号住居跡との境は明瞭でなかった。

**14号住居跡** (①第10.11回②第7・8回、PL.5-61)

**位置** Im・In-82グリッドにかけて検出した。4号住居跡・6号住居跡・26号住居跡と重複している。

**形状** 現状で一辺約2.7mを測る。

**方位** N-85°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。ただしこの中には竪覆土も含まれている。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約7.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁から検出した。燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、

両袖方向64cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 6号住居跡の床面北東から検出した土坑が、この住居跡の貯蔵穴となるのであろうか。断定は出来ないが、その規模は長径70cm、短径58cm、深さ13cmを測る。

**遺物** 竈周辺や床面上から須恵器の埴や埴が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**26号住居跡** (①第10・11回②第14回、PL.5-64)

**位置** In-82・83グリッドにかけて検出した。6号住居跡と重複している。

**形状** 明瞭に把握することはできなかった。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は2層を確認できたが、全体的に不明瞭であり、6号住居跡とは分けることができなかった。

**壁高** 住居跡確認面より約10～20cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。

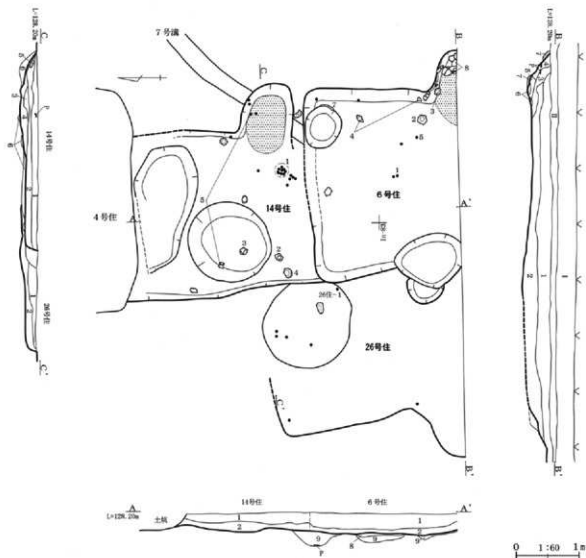
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 覆土から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 8世紀。

**備考** 14号住居跡によって壊されている。



6号住居跡 A-A' B-B'

I 耕作土

II 暗褐色土層 軟らかい。As-Bを多量に含む。

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

2 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物を含む。

3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

4 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を多量に、黄褐色土粒子を含む。

5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを含む。

6 灰層

7 焼土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。

8 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

9 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。

14号住居跡 A-A' C-C'

1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰を多量に、焼土粒子を含む。

4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。

5 焼土層

6 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土ブロックを含む。

土坑 A-A'

暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土ブロックを少量含む。

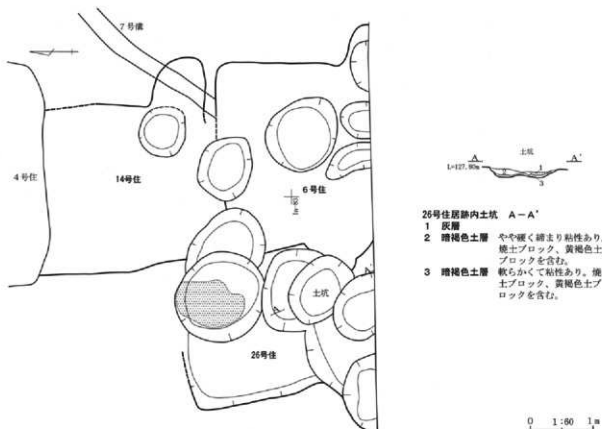
26号住居跡 C-C'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を多量に含む。

2 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。

第10図 6・14・26号住居跡





第11図 6・14・26号住居跡掘り方

**7号住居跡** (①第12図②第3図、PL.6-59)

**位置** Ip・Iq-81・82グリッドにかけて検出した。25号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.2m、短辺約3.4mの方形を呈する。

**方位** N-83°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4(1-2-5-6)層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** はほぼ平坦である。現状での面積は約127㎡。

**周溝** 南壁と西壁の一部で検出した。幅12~26cm、深さ3~10cmである。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向112cm、両袖方向54cmである。袖石が残っていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径・短径ともに66cm、深さ21cmである。

**遺物** 床面から遺物の出土はほとんどなかった。

**時期** 不明。

**備考** 25号住居跡よりも新しい。

**8号住居跡** (①第13図②第3~5図、PL.7-59)

**位置** In-81、Io-81・82グリッドにかけて検出した。12号住居跡・19号住居跡・20号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約3.7~4m、短辺約3.4mの方形を呈する。

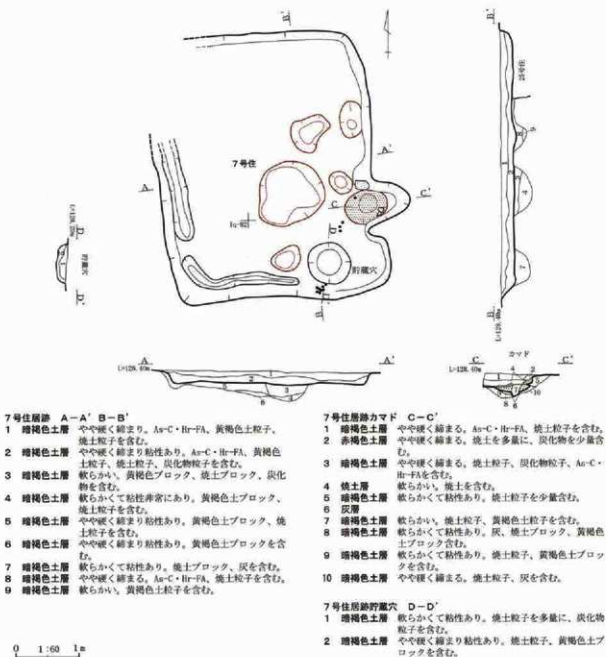
**方位** N-83°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は12層(床下土坑の覆土も含まれている)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約36~44cmで床面に達する。

**床面** はほぼ平坦である。面積は約13.6㎡。

**周溝** 検出できなかった。



第12図 7号住居跡

**窟** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向184cm、両軸方向60cmである。

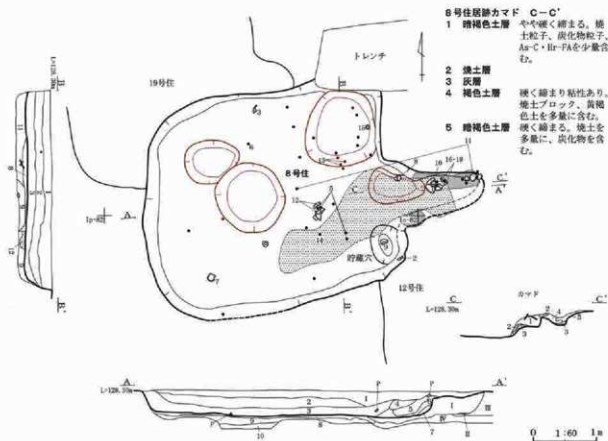
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径60cm、短径45cm、深さ16cmである。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第4図10-11)、貯蔵穴から灰釉陶器の皿(②第4図9)が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 12号住居跡・20号住居跡を壊している。



- 8号住居跡カマド C-C'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 焼土層
- 3 灰層
- 4 褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。焼土を多量に、炭化物を含む。

## 8号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。炭化物、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 6 赤褐色土層 焼土を多量に、炭化物粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。

- 9 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 11 褐色土層 軟らかく粘性あり。焼土ブロックを多量に、炭化物を含む。
- 12 灰層 焼土粒子、黄褐色土を含む。
- I 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。焼土粒子、炭化物を含む。
- II 灰層
- III 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- IV 暗褐色土層 やや硬く締まる。白色粒子、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。

第13図 8号住居跡

## 10号住居跡 (①第14②第5・6図、PL.7-8)

位置 Ip・Iq-80・81グリッドにかけて検出した。

11号住居跡と重複している。

形状 一辺約4.3mを測る。

方位 N-102°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築されている。

壁高 住居跡確認面より約25~40cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

床面 凹凸がある。重複しているために全容を把

握ることはできなかった。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向110cm、両袖方向54cmである。袖石が残っていた。

柱穴 ビット4個を検出した。ビット1は長径44cm、短径40cm、深さ20cm、ビット2は長径34cm、短径30cm、深さ50cm、ビット3は長径44cm、短径28cm、深さ31cm、ビット4は長径30cm、短径29cm、深さ38cmである。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈や東壁下から、須恵器の坏、土師器の甕が出土している。

時期 8世紀前半。

備考 重複関係がはげしいために、住居跡南側は不明瞭であった。

11号住居跡 (①第14回②第6図、PL7-60)

位置 Ip・Iq-80・81グリッドにかけて検出した。10号住居跡・17号住居跡と重複している。

形状 重複関係が複雑で明瞭に確認できなかった。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築されている。

壁高 住居跡確認面より約24cmで床面に達する。

床面 明瞭でなかった。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁からその痕跡と思われる遺構を検出した。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 ほとんど出土しなかった。

時期 不明。

備考 17号住居跡に壊され、10号住居跡を壊しているものと思われるが、詳細は不明であった。

17号住居跡 (①第14回②第9-10図、PL7-61-62)

位置 Iq-81グリッドにおいて検出した。11号住居跡・25号住居跡と重複している。

形状 重複関係が複雑なために不明瞭であった。

方位 推定でN-62°-Eか

覆土 明瞭ではなかった。

壁高 検出できなかった。

床面 明瞭ではなかった。

周溝 検出できなかった。

竈 燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られているものと思われる。規模は煙道方向120cm、両袖

方向75cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈やその周辺から須恵器の埴・皿・羽釜・甕、土師器の甕が出土している。

時期 10世紀前半。

12号住居跡 (①第15回②第6・7図、PL8-60)

位置 In・Io-82グリッドにかけて検出した。8号住居跡・20号住居跡と重複している。

形状 現状で一辺約3.2mを確認できる。

方位 N-89°-E

覆土 掘り方覆土は12(3~14)層に分かれた。

壁高 15~25cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 やや凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁のほぼ中央に位置するものと思われる。燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向128cm、両袖方向50cmである。

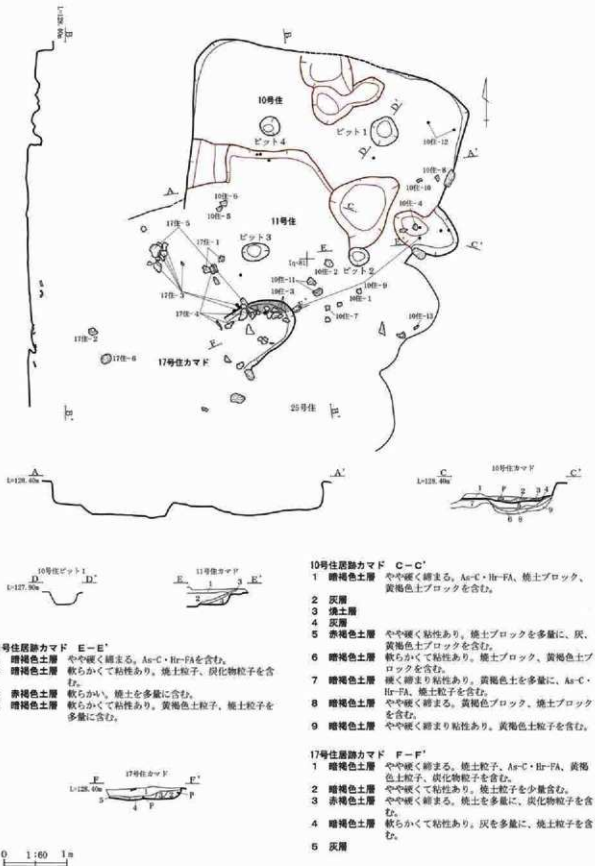
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径84cm、短径70cm、深さ12cmである。

遺物 竈や貯蔵穴(②第6図1・12)掘り方覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や埴が出土している。

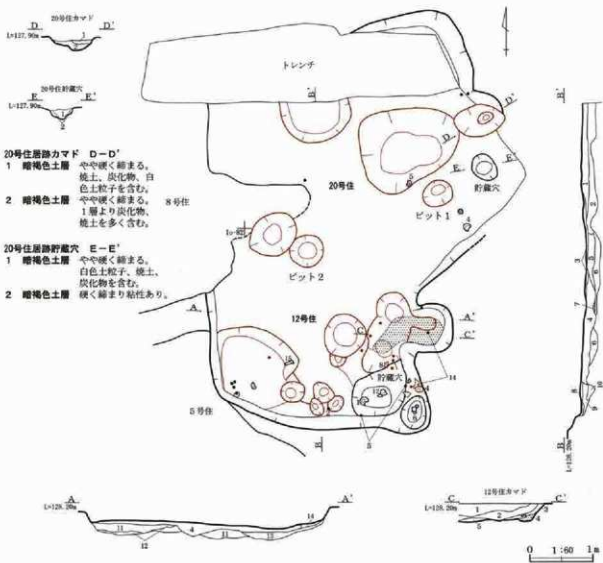
時期 8世紀後半~9世紀前半。

備考 重複のために、北壁は明瞭に検出することはできなかった。



第14図 10・11・17号住居跡

第1章 引開六石遺跡



- 12・20号住居跡掘り方 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
  - 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
  - 3 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土ブロック、炭化物を含む。
  - 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、灰、黄褐色土ブロックを含む。
  - 5 灰褐色土層 灰を多量に、焼土粒子を含む。
  - 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、灰、黄褐色土ブロックを含む。
  - 7 灰層
  - 8 暗褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
  - 9 黄褐色土層 硬く締まる。
  - 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
  - 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土ブロック多量に、炭化物を少量含む。
  - 12 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。
  - 13 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
  - 14 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に、灰を含む。

- 12号住居跡カマド C-C'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に、As-C・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
  - 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、炭化物、黄褐色土粒子を含む。
  - 3 赤褐色土層 焼土主体の層。
  - 4 灰層
  - 5 暗褐色土層 やや軟らかい。焼土ブロックを多量に、炭化物を含む。

第15図 12・20号住居跡

## 20号住居跡 (①第15図②第11図、PL12-62)

**位置** In-81・82グリッドにかけて検出した。8号住居跡・12号住居跡・4号住居跡と重複している。

**形状** 不明瞭であるが、一辺約3.7mを測る。

**方位** N-72°-E

**覆土** 重複関係が激しく不明瞭であった。

**壁高** 不明瞭であった。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央に位置しているが、明瞭に検出できなかった。

**柱穴** ビット1とビット2は柱穴になるものと思われる。1は長径45cm、短径40cm、深さ18cm、2は長径・短径ともに54cm、深さ6cmである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径44cm、短径39cm、深さ22cmである。

**遺物** 掘り方覆土から土師器の坏、須恵器の坏や碗が出土している。

**時期** 9世紀後半。

## 13号住居跡 (①第16図②第7図、PL9-60)

**位置** Ip-82・83グリッドにかけて検出した。7号住居跡の南約1mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.8m、短辺約3mの方形を呈する。

**方位** N-81°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は9層(床下土坑の覆土を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約36cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約11㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向96cm、両袖方向46cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径70cm、短径50cm、深さ24cmである。

**遺物** 床面や掘り方覆土から少量の遺物が出土している。土師器の甕(②第7図2)は掘り方から出土。

**時期** 9世紀。

## 15号住居跡 (①第17図②第8図、PL9-61)

**位置** Iq-82グリッドにおいて検出した。1号溝によって壊され、また現道下に延びるために完掘できなかった。

**形状** 現状で一辺約3.8mを確認できる。

**方位** N-94°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約4㎡。

**周溝** 北壁から東壁にかけて検出できた。幅10~16cm、深さ5cmである。

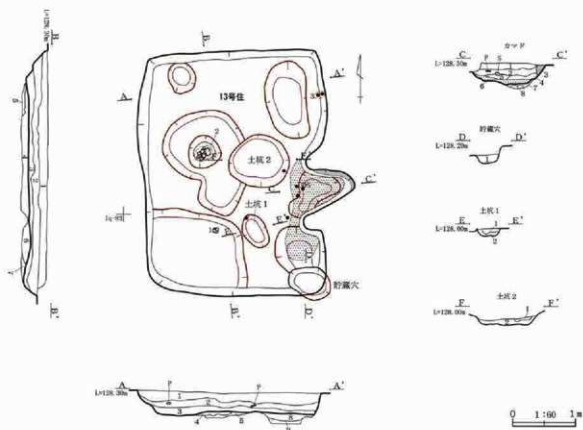
**竈** 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向102cm、両袖方向46cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈やその周辺から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

**時期** 8世紀後半。



13号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、炭化物を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 9 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量を含む。

13号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロック、炭化物、黄褐色粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 3 焼土層
- 4 灰褐色土層 軟らかい。灰を多量に含み、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土と灰を含む。
- 6 灰層
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土ブロックを多量に含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を含む。

13号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

13号住居跡内土坑1 E-E'

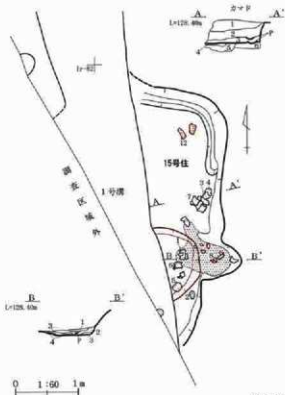
- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 2 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、炭化物を含む。

13号住居跡内土坑2 F-F'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物粒子、焼土粒子を含む。

第16図 13号住居跡





第17図 15号住居跡

**16号住居跡** (①第18図、②第9図、PL.10-61)

**位置** In・Io-80・81グリッドにかけて検出した。19号住居跡と接している。

**形状** 長辺約3.5m、短辺は現状で約3.3mの方形を呈する。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は10層(床下土坑の覆土7~10層を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約14~26cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約11.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向46cmである。袖石が残っている。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。トレンチによって壊されてしまったと思われる。

**15号住居跡 A-A'**

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、白色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。

**15号住居跡カマド B-B'**

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物を含む。
- 2 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物、灰を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。

**遺物** 竈や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や坑が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**18号住居跡** (①第19図、②第10図、PL.11-62)

**位置** Ip・Iq-79・80グリッドにかけて検出した。10号住居跡・23号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約3.8m、短辺約3mの方形を呈する。

**方位** N-82°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

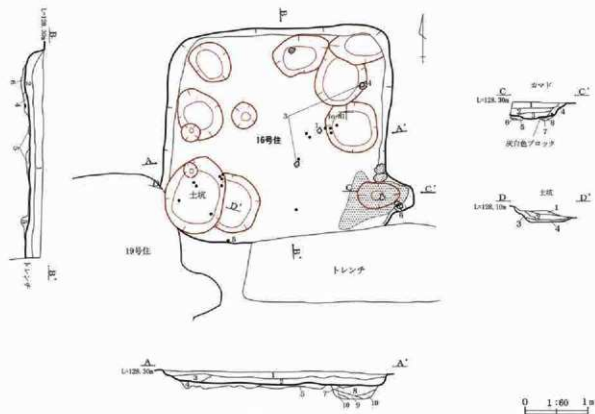
**壁高** 住居跡確認面より約12~20cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約11.1㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向130cm、両袖方向50cmである。

**柱穴** 検出できなかった。



16号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。焼土粒子、炭化物を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、炭化物を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土、灰を多量に含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰を多量に、焼土を含む。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

16号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、灰を含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 焼土、灰を多量に含む。
- 6 灰層
- 7 赤褐色土層 硬く締まる。焼土ブロックを多量に含む。
- 8 褐色土層 硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

16号住居跡内土坑 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、灰を多量に含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかい。灰を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。

第18図 16号住居跡

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径40cm、短径32cm、深さ28cmである。

**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

壺から須恵器の壺(②第10図1)が出土した。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 2号溝によって南壁周辺を壊されている。

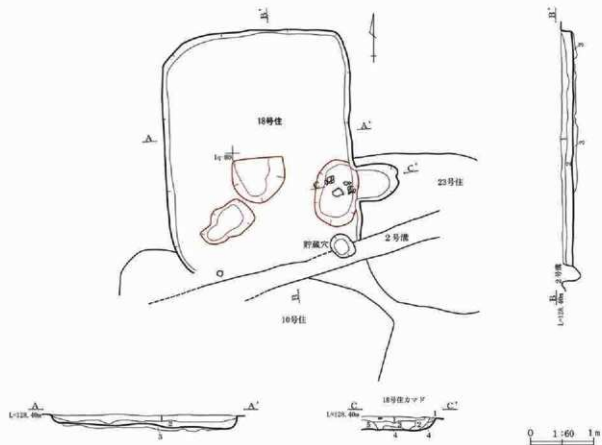
19号住居跡 ③第20図2第11圖、PL11-62

**位置** Io・Ip-81グリッドにかけて検出した。8号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約33m、短辺約327mの方形を呈する。

**方位** N-78°-E

**覆土** 地山を掘り込んで整穴住居跡は構築され、そこに堆積した覆土9層(1層~3層と掘り方1層~6層)に分かれた。



## 18号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。

## 18号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 赤褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に含む。
- 3 褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土主体の層。焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子を少量含む。

第19図 18号住居跡

**壁 高** 住居跡確認面より約20~50cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床 面** やや凹凸がある。現状での面積は約10㎡。

**周 溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向130cm、両袖方向70cmである。

**柱 穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺 物** 竈から須恵器の埴(②第11図3)が出土し、耳皿(②第11図7)は北東隅から、鉄鏝(②第11図10)は覆土からの出土であった。

**時 期** 10世紀前半。

## 21号住居跡 (①第21図②第12図、PL.12-63)

**位 置** Iq-78・79グリッドにかけて検出した。18号住居跡の北西約1mの所に位置している。

**形 状** 長辺約3.8m、短辺約3mの方形を呈する。

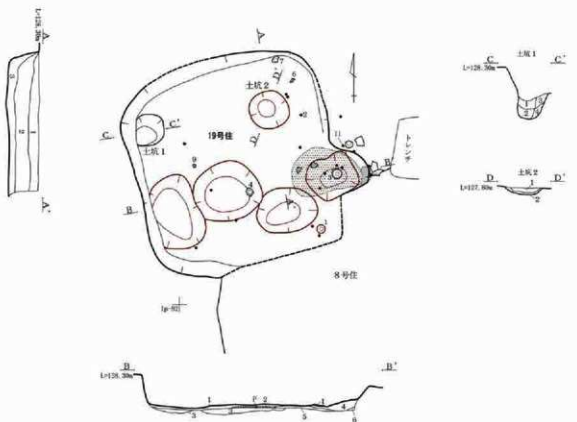
**方 位** N-95°-E

**覆 土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は12層に分かれた。

**壁 高** 住居跡確認面より約16~32cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床 面** やや凹凸がある。面積は約11.5㎡。中央部やや西で検出した。土坑覆土には、焼土が堆積していた。

**周 溝** 検出できなかった。



19号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物を含む。

19号住居跡掘り方 B-B'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。(配味)
- 2 灰層
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土と灰を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

19号住居跡内土坑1 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

19号住居跡内土坑2 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

0 1:60 1m

第20図 19号住居跡

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向146cm、両袖方向42cmである。

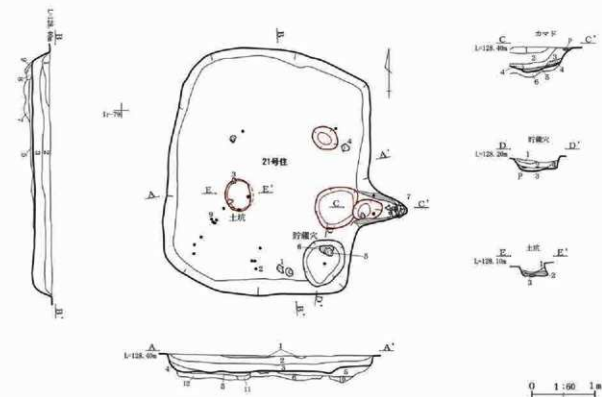
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径80cm、短径64cm、深さ21cmである。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第12図7)、貯蔵穴から須恵器の碗と皿(②第12図5・6)などが出土し

ている。

**時期** 9世紀後半。



## 21号住居跡 A-A' B-B'

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土ブロック、炭化物を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土を含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、炭化物を少量含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。
- 11 暗褐色土層 軟らかい。焼土を多量に含む。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性が非常にあり。黄褐色土を多量に含む。

## 21号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土を多量に含む。
- 4 灰層
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土、炭化物を含む。

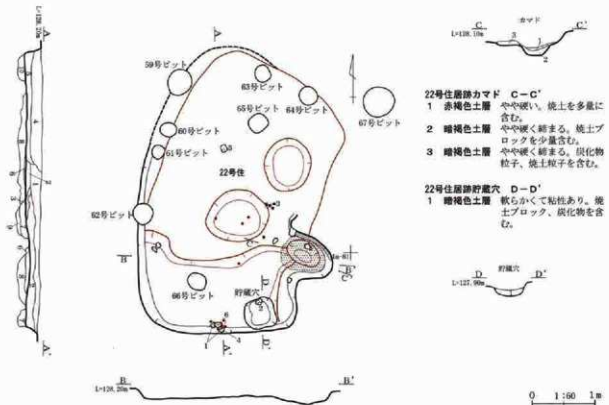
## 21号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。炭化物、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土粒子を少量含む。
- 3 褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。

## 21号住居跡内土坑 E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子を含む。
- 2 焼土層
- 3 黄褐色土層 軟らかい粘質土。

第21図 21号住居跡



22号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 赤褐色土層 軟らかい。焼土と灰を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰、焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 7 赤褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロックを多量に、灰を含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬い。焼土ブロックを含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、炭化物粒子、焼土粒を含む。

第22図 22号住居跡

22号住居跡 (①第22図②第12図、PL.13-63)

位置 1m80・81グリッドにかけて検出した。4号住居跡の北東約15mの所に位置している。

形状 東西約25m、南北については不明瞭であった。

方位 N-95°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は10層(4・5層は別か、また7・9層は床下土坑の覆土)に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約14~26cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向94cm、両袖方向57cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径50cm、短径42cm、深さ13cmである。

遺物 南壁下から須恵器の坏(②第12図1・4)と土師器の甕(②第12図6)、貯蔵穴から須恵器の坏(②第12図2)が出土している。

時期 8世紀後半。



第23図 23号住居跡

## 23号住居跡 (①第23図, PL-14)

**位置** Ip-80グリッドにおいて検出した。18号住居跡・2号溝と重複している。

**形状** 南北約2.5mを測る。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は9層(竈覆土を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約4.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向84cm、両袖方向40cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径34cm、短径29cm、深さ10cmである。

**遺物** 覆土から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 不明。

**備考** 18号住居跡と2号溝によって壊されている。

## 23号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 炭化物層
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。炭化物、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土を多量に、炭化物を少量含む。
- 9 赤褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土を多量に、灰白色土ブロックを含む。

## 23号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、灰白色土を含む。
- 2 焼土層
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰を含む。
- 4 灰層 骨片を含む。



## 25号住居跡 (①第24図②第13-14図, PL-15-63-64)

**位置** Ip・Iq-80・81グリッドにかけて検出した。7号住居跡・11号住居跡・17号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.8m、短辺約4.1mの方形を呈する。

**方位** N-70°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20~40cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

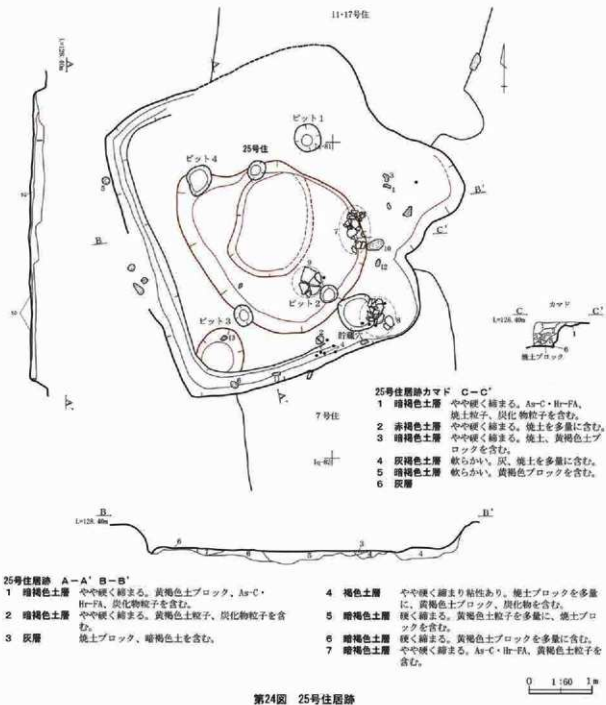
**床面** ほほ平坦である。現状で面積は約21㎡。

**周溝** 南壁・西壁・北壁の一部で検出できた。幅16~30cm、深さ3~10cmである。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られていたものと思われるが、不明瞭であった。袖石(②第13図10)が残っていた。

**柱穴** ビット4個が検出した。ビット1は長径45cm、短径40cm、深さ55cm。ビット2は長径25cm、短径25cm、深さ29cm。ビット3は長径32cm、短径25cm、深さ33cm。ビット4は長径50cm、短径42cm、深さ34cmである。

**貯蔵穴** 床面東南隅から検出した。長径58cm、短径



第24図 25号住居跡

56cm、深さ27cmである。

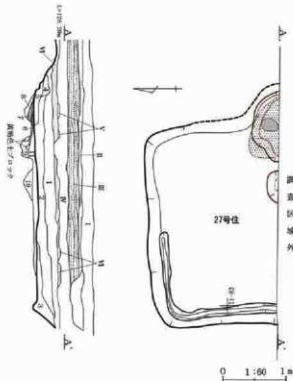
遺物 竈周辺から土師器の甕(②第13図7)、貯蔵穴周辺から土師器の甕(②第13図8)と須恵器の甕(②第13図9)が出土している。

時期 8世紀前半。



## 27号住居跡 A-A'

- I 砂礫土  
 II 酸化鉄分層  
 III 昭和13年面層  
 IV 暗褐色土層 As-Bを多量に含む。  
 V As-B  
 VI As-B下水田  
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・H-Faを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。  
 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。  
 3 暗褐色土層 軟らかい。  
 4 暗褐色土層 やや硬い。焼土を多量に、炭化物粒子を含む。  
 5 褐色土層 軟らかい。灰、焼土を多量に含む。  
 6 灰層  
 7 焼土層  
 8 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。  
 9 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、灰を含む。  
 10 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。  
 11 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。



第25図 27号住居跡

## 27号住居跡 (①第25圖②第14圖, PL.16-64)

位置 II・Ij-82・83グリッドにかけて検出した。路線外に延びているために完掘できなかった。

形状 現状で一辺約3.2mを検出した。

方位 N-88°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は11層(産覆土を含む)に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほほ平坦である。現状で面積は約6.6㎡。

周溝 西壁から北壁の一部で検出した。幅8~14cm、深さ3cmである。

竈 東壁に位置し、燃焼部の一部は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向110cm、両袖方向は現状40cmである。完掘できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 8世紀。

備考 当住居跡はAs-B下水田下から検出したものである。

## 28号住居跡 (①第26圖②第14-15, PL.16-17-64)

位置 H6-80・81グリッドにかけて検出した。29号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.5m、短辺約2.6mの方形を呈する。

方位 N-75°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

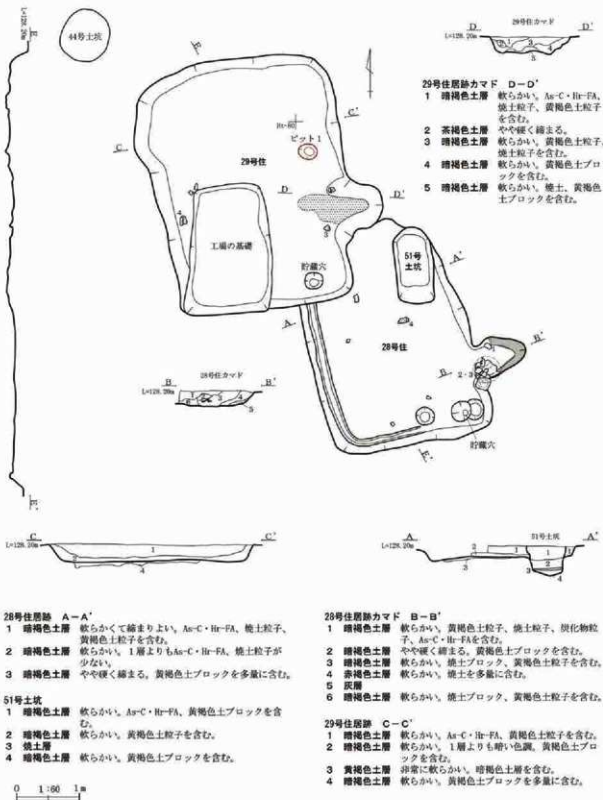
壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

床面 やや凹凸がある。現状での面積は約8㎡。

周溝 西壁から南壁の一部にかけて検出できた。幅10~16cm、深さ3~6cmである。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向104cm、両袖方向38cmである。袖石が残っていた。

柱穴 検出できなかった。



第26図 28・29号住居跡・51号土坑

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径32cm、短径30cm、深さ28cmである。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第14図2・3)、坏(②第14図1)が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 51号土坑によって一部が壊されている。

#### 29号住居跡(①第26図②第15図、PL16-17-64)

**位置** Hs・Ht-79・80グリッドにかけて検出した。28号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.2m、短辺約3.2mの方形を呈する。

**方位** N-84°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居跡は構築され、そこに堆積した覆土は4層(3層は図示されていない)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約28cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約12.2㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向136cm、両袖方向44cmである。

**柱穴** ビット1個を検出したが、柱穴とはならなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径28cm、短径26cm、深さ29cmである。

**遺物** 覆土中から土師器の甕、須恵器の坏が出土している。

**時期** 8世紀前半。

**備考** 工場の基礎によって一部が壊されている。

#### 30号住居跡(①第27図②第15-16図、PL17-64)

**位置** li・lj-80・81グリッドにかけて検出した。

2号住居跡・3号住居跡と重複している。

**形状** 現状で東西約3.7m、南北約3.1mを確認できる。

**方位** N-87°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そ

こに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 不明瞭であったが、約6cmを確認できた。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約10.1㎡。中央部から床下土坑長径123cm、短径115cm、深さ16cmである。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向44cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈周辺から遺物が出土している。

**時期** 9世紀後半。

#### 31号住居跡(①第28図②第16-17図、PL18-65)

**位置** Ie・If-78グリッドにかけて検出した。32号住居跡の北西約5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.2~4.4m、短辺約2.9mの長方形を呈する。

**方位** N-85°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は10層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約36~48cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約12.9㎡。

**周溝** ほほ全周している。幅6~15cm、深さ4~10cmである。

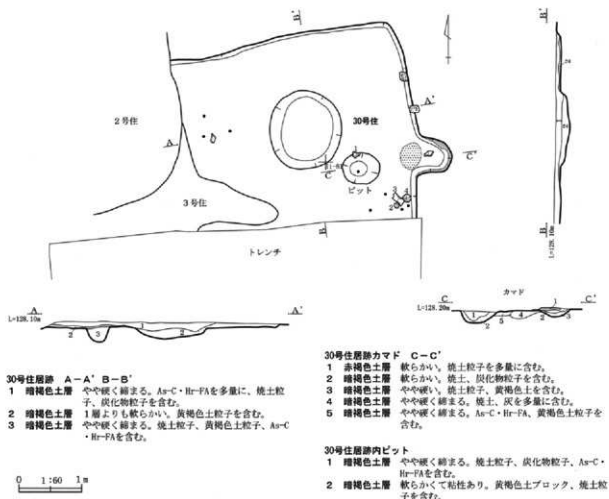
**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向25cm、両袖方向60cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径94cm、短径50cm、深さ22cmである。

**遺物** 竈や貯蔵穴、その周辺から土師器の坏や甕、須恵器の坏・坑、西壁下から須恵器の蓋が出土している。

**時期** 9世紀後半。



- 30号住居跡 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-Faを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
  - 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
  - 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子、As・C・Hr-Faを含む。

- 30号住居跡カマド C-C'
- 1 赤褐色土層 軟らかい。焼土粒子を多量に含む。
  - 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土、炭化物粒子を含む。
  - 3 暗褐色土層 やや硬い。焼土粒子、黄褐色土を含む。
  - 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土、灰を多量に含む。
  - 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-Fa、黄褐色土粒子を含む。

- 30号住居跡内ピット
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、As・C・Hr-Faを含む。
  - 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。

第27図 30号住居跡

32号住居跡 (①第29図②第17-18図、PL19-65)

位置 Id・Ie-79・80グリッドにかけて検出した。

33住居跡の南西約1.5mの所に位置している。

形状 長辺約3.6m、短辺約3mの方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は10層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約30~36cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。床面下から61号土坑を検出した。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向150cm、両袖方向38cmである。支脚が残っていた。

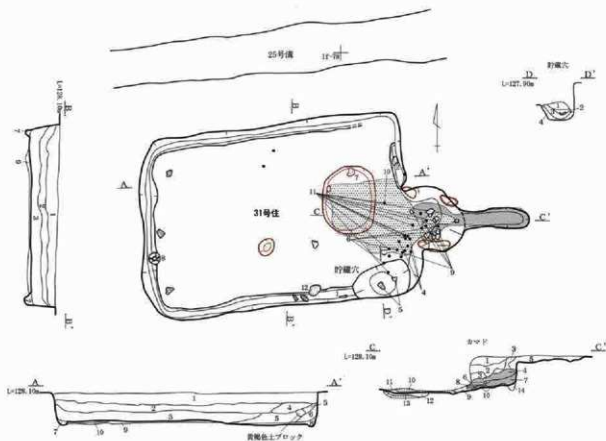
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈周辺から須恵器の坏や瑣、羽釜、灰釉陶器の皿や埴などが出土している。

時期 10世紀前半。

備考 61号土坑の埋没後に当住居跡は構築されたと思われる。



## 31号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に、黄褐色土粒子、灰を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 8 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物を含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。

## 31号住居跡カマド C-C'

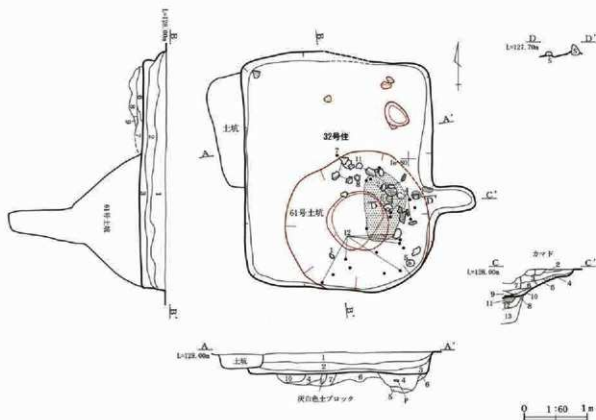
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土を多量に、焼土粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、灰を少量含む。
- 4 焼土層
- 5 赤褐色土層 狭い。焼土主体の層。
- 6 灰層
- 7 焼土層
- 8 灰層
- 9 褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土粒子を含む。
- 10 灰層
- 11 黄褐色土層 硬く締まり、粘性あり。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、灰を含む。
- 13 灰層
- 14 褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に、黄褐色土ブロックを含む。

## 31号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性が非常にあり。黄褐色ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性が非常にあり。焼土、炭化物を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。灰白色土ブロックを含む。

0 1:60 1m

第28図 31号住居跡



32号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr・FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、As・C・Hr・FAを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As・C・Hr・FA、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、灰白色土ブロックを含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As・C・Hr・FAを少量含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、灰白色土ブロックを含む。

32号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr・FA、焼土粒子を含む。焼土主体の層。
- 2 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に、黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 焼土を含む。
- 4 灰層 焼土を含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 6 赤褐色土層 焼土粒子を多量に、灰を含む。
- 7 黄褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を少量含む。
- 8 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰を多量に、焼土を含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰を含む。
- 11 焼土層
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr・FA、焼土粒子を少量含む。
- 13 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As・C・Hr・FA、炭化物粒子を少量含む。

第29図 32号住居跡・61号土坑

**33号住居跡** (①第30図②第18~20図、PL20-66)

**位置** Id-78・79グリッドにかけて検出した。44号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.4~4.7m、短辺約3.2~3.5mの方形を呈する。

**方位** N-102°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層(9・10層は44号住居跡の覆土)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。

**床面** 凹凸がある。現状での面積は約15.2㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向52cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径82cm、短径74cm、深さ22cmである。

**遺物** 貯蔵穴から土師器の坏、須恵器の坏・埴・皿がまとめて出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 44号住居跡を壊している。

**44号住居跡** (①第30図②第25・26図、PL21-68)

**位置** Ic・Id-78・79グリッドにかけて検出した。33・35号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.2m、短辺約2.2mの方形を呈する。

**方位** N-101°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約15~27cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約8.6㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向は64cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈から須恵器の埴、土師器の壺、南壁寄りから須恵器の埴、紡錘車は東壁寄りから出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 当住居跡は33号住居跡によって壊されている。

**34号住居跡** (①第31・32図②第20図、PL21-66)

**位置** Ic-79・80、Id-79グリッドにかけて検出した。35号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約3.9~4m、短辺約3.2~3.4mの方形を呈する。

**方位** N-87°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約12~28cmで床面に達する。

**床面** ほほ平坦である。面積は約12.8㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向は現状36cmである。

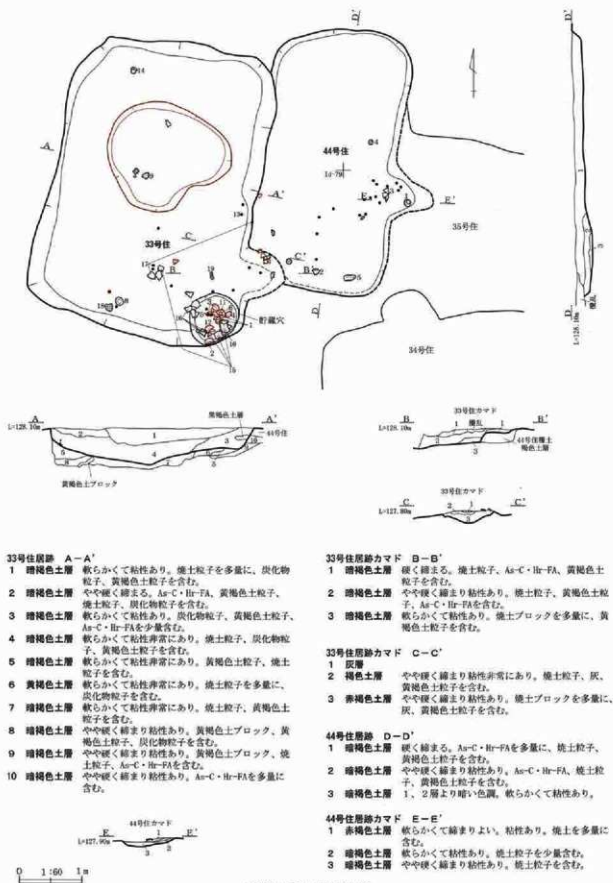
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径56cm、短径53cm、深さ30cmである。

**遺物** 覆土や床面からの遺物の出土は少なかった。

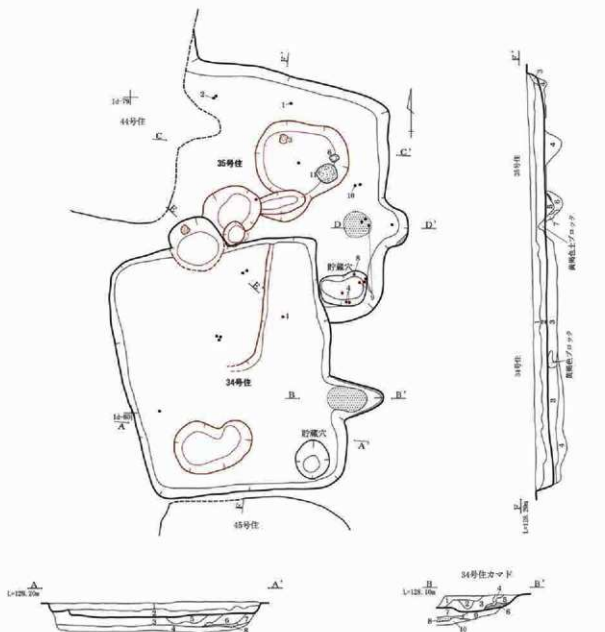
**時期** 8世紀。

**備考** 覆土からは34号住居跡と35号住居跡の分離は難しかった。



第30図 33・44号住居跡





## 34号住居跡 A-A' F-F'

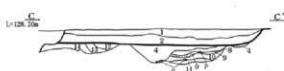
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 4 茶褐色土層 軟らかくて締まりよい。粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 5 黄褐色土層 硬く締まる。
- 6 黄褐色土層 硬く締まる。焼土ブロックを含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 8 灰層 焼土を含む。

## 34号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を少量含む。
- 4 黄褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に、焼土ブロックを含む。
- 6 焼土層 灰を含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まる。焼土ブロックを含む。
- 8 灰層 焼土を含む。
- 9 褐色土層 軟らかい。灰、焼土、黄褐色土を含む。
- 10 茶褐色土層 軟らかくて締まりよい。粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

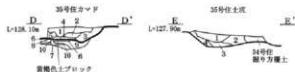
0 1:60 1m

第31図 34・35号住居跡(1)



## 35号住居跡 C-C' F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を少量含む。
- 7 褐色土層 やや硬い。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を少量含む。
- 8 褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 9 灰層
- 10 黄褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。
- 11 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、灰を含む。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 13 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 14 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。



## 35号住居跡カマド D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 3 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、黄褐色土ブロック、暗褐色土を含む。
- 4 灰層 焼土を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 6 灰層
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土、As-C・Hr-FAを含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土を含む。

## 35号住居跡内土坑 E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。



第32図 34・35号住居跡(2)

## 35号住居跡 ①第31・32回②第20-21回、PL21-66-67

**位置** Ic-78・79グリッドにかけて検出した。34号住居跡・44号住居跡と重複している。

**形状** 現状では一辺約3.5m、方形を呈するものと思われる。

**方位** N-95°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は14層(床下土坑の覆土を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20~27cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。

**周溝** 検出できなかった。

**電** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の一部は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向102cm、両袖方向は現状60cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径80cm、短

径55cm、深さ26cmである。

**遺物** 貯蔵穴から須恵器の坏、土師器の甕が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 当住居跡は、34号住居跡を壊している。

## 36号住居跡 ①第33回②第21回、PL22-67

**位置** Hs・Hl-76・77グリッドにかけて検出した。49号住居跡の南約1.2mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.6m、短辺約3.5mの方形を呈する。

**方位** N-102°-E

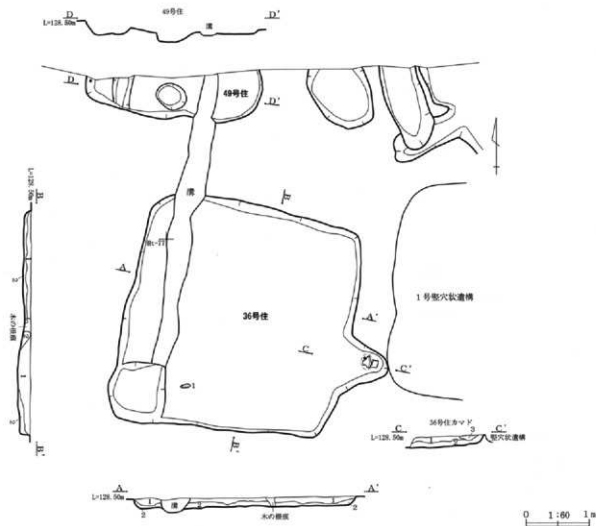
**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は2層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約10~16cmで床面に達する。

**床面** ほぼ平坦である。現状で面積は約12.6㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**電** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部



## 36号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを多量に含む。

## 36号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい、焼土ブロック、焼土粒子を含む。

第33図 36・49号住居跡

分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向は現状80cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 不明。

## 49号住居跡 (①第33図、PL.28)

位置 Hs・Hr-76グリッドにかけて検出した。36号住居跡の北約1.1mの所に位置している。

形状 現状で東西約2.8m、南北約0.4~0.8mを測る。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築されている。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

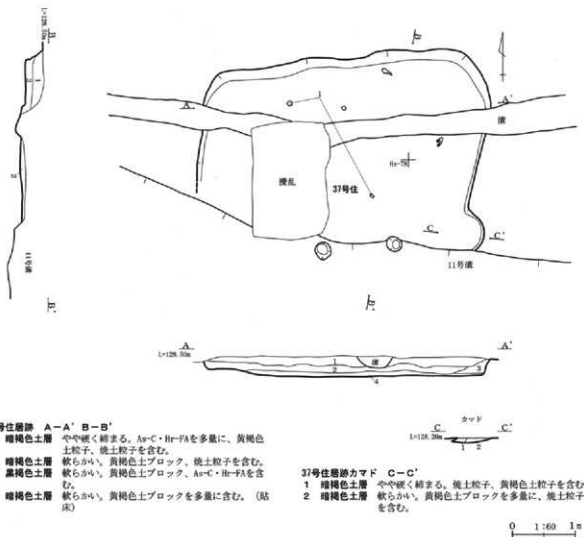
竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土は、ほとんどなかった。

時期 不明。



第34図 37号住居跡

37号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 3 黒褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを多量に含む。(貼床)

37号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を含む。

37号住居跡 (第34図③第21図、PL22-67)

位置 Hr・Hs-77・78グリッドにかけて検出した。36号住居跡の南東約0.5mの所に位置している。

形状 東西約4.2~4.4m、南北は現状で2.4~3mを検出した。

方位 N-85°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~30cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。現状で面積は約11.9㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置し、燃焼部の一部は壁を掘り込

んで造られている。規模は煙道方向10cm、両袖方向は現状70cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 8世紀。

備考 11号溝によって壊されている。

**38号住居跡** (①第36図②第21・22図、PL23-67)

**位置** J・Ik-78グリッドにかけて検出した。1号住居跡の北約2.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.2～4.4m、短辺約3.5～3.6mの方形を呈する

**方位** N-77°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約5～10cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。面積は約14.6㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向70cm、両袖方向46cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径42cm、短径37cm、深さ10cmである。

**遺物** 竈や貯蔵穴の周辺から須恵器の坏が出土している。

**時期** 10世紀。

**39号住居跡** (①第36図②第22・23図、PL23-67)

**位置** Id-82、Ie-81・82グリッドにかけて検出した。32号住居跡の南約7.5mの所に位置している。

**形状** 現状で南北約2.5m、東西約1.4～1.6mである。

**方位** N-105°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居跡は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。現状での面積は約3.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向98cm、両袖方向32cmである。袖に石と瓦(②第22図3)を使用している。

**柱穴** ビット3個を検出したが、柱穴とはならなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径48cm、短径34cm、深さ30cmである。

**遺物** 竈覆土から須恵器の坏(②第22図2)、北東隅のビットから土師器の坏(②第22図1)が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 住居跡西側部分が壊されている。

**40号住居跡** (①第37図②第23図、PL24-67)

**位置** Id-77・78グリッドにかけて検出した。41住居跡・48号住居跡と重複している。

**形状** 現状で南北約4.7m、東西約3.2mを確認できる。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約30～42cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約10.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向80cmである。袖石と支脚が残っている。

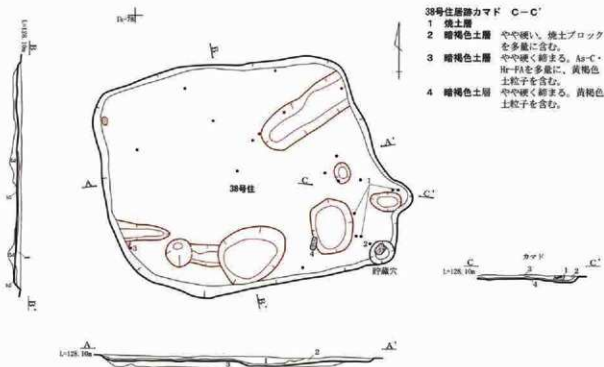
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第23図4)が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 当住居跡は41号住居跡を壊し、48号住居跡によって壊されている。



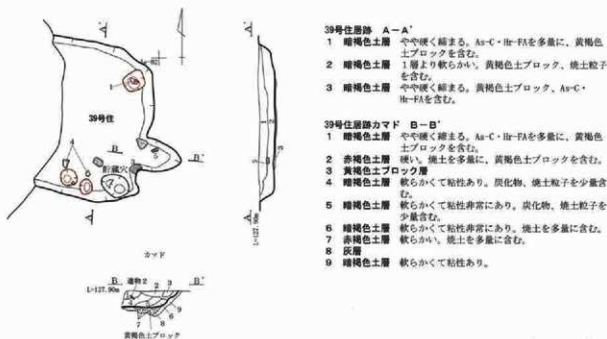
38号住居跡 A-A' B-B'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。  
3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

0 1:60 1m

第35図 38号住居跡



39号住居跡 A-A'

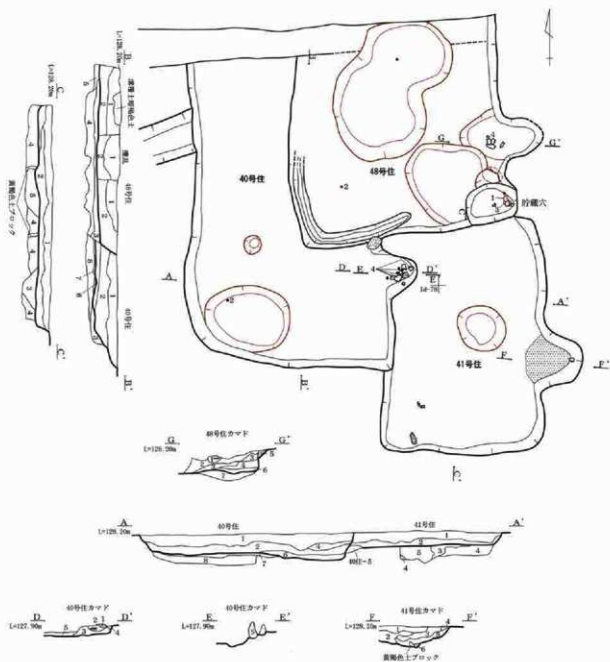
1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土ブロックを含む。  
2 暗褐色土層 1層より軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。  
3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。

39号住居跡のみマド B-B'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土ブロックを含む。  
2 赤褐色土層 硬い。焼土を多量に、黄褐色土ブロックを含む。  
3 黄褐色土ブロック層  
4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、焼土粒子を少量含む。  
5 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。炭化物、焼土粒子を少量含む。  
6 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土を多量に含む。  
7 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に含む。  
8 灰層  
9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

0 1:60 1m

第36図 39号住居跡



## 40号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 5 赤褐色土層 焼土を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬い。焼土を多量に、灰を含む。
- 7 黄褐色土層 硬く締まる。跡床。
- 8 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。

## 41号住居跡 A-A' C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。

第37図 40・41・48号住居跡

## 第1章 引間六石遺跡

### 48号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、黄褐色土粒子、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。

### 掘削

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。As-Bを含む。

### 40号住居跡カマド D-D'

- 1 焼土層
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、粘性あり。焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、灰化物粒子、As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。

### 41号住居跡 (①第37回②第24回、PL-24-67)

位置 Ic・Id-77・78グリッドにかけて検出した。

40号住居跡・48号住居跡と重複している。

形状 現状で長辺約3.7m、短辺約2.6mの方形を呈する。

方位 N-87°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約9㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向92cm、両袖方向70cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 不明。

備考 当住居跡は40号住居跡・48号住居跡によって壊されている。

### 41号住居跡カマド F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロックを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。
- 5 褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土、灰を多量に含む。
- 6 灰層

### 48号住居跡カマド G-G'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土、焼土ブロックを含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土を多量に、焼土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4 褐色土層 軟らかい。焼土、灰、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 軟らかい。灰、焼土、黄褐色土ブロックを含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

### 48号住居跡 (①第37回②第29回、PL-28-69)

位置 Ic・Id-77グリッドにかけて検出した。40・

41住居跡と重複している。

形状 東西約3.5m、現状で南北約3.3mを測る。方形を呈するものと思われる。

方位 N-83°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約26~36cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。

周溝 南壁から西壁の一部にかけて検出できた。幅16~20cm、深さ1~5cmである。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向130cm、両袖方向66cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径80cm、短径61cm、深さ10cmである。

遺物 竈覆土から土師器の甕(②第29回4)、貯蔵穴から須恵器の甕(②第29回1・3)が出土している。

時期 8世紀後半。

備考 重複する3軒のなかでは一番新しい。



## 42号住居跡 (①第38図②第24図、PL25-67)

**位置** Hr・Hs-79グリッドにかけて検出した。43号住居跡・47号住居跡と重複している。

**形状** 現状で東西約3.3m、南北約2.5mを測る。方形を呈するものと思われる。

**方位** N-79°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約10~14cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。現状での面積は約6.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向54cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径72cm、短径70cm、深さ15cmである。

**遺物** 貯蔵穴周辺から土師器の坏(②第24図1)や須恵器の蓋(②第24図2)が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 48・49号土坑によって壊されている。

## 43号住居跡 (①第38図②第24-25図、PL26-68)

**位置** Hr・Hs-79・80グリッドにかけて検出した。42号住居跡と重複している。

**形状** 現状では東西約3m、南北約2.6mの方形を呈するものと思われる。

**方位** N-84°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約8~11cmで床面に達する。

**床面** ほほ平坦である。現状での面積は約7.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向70cm、両袖方向は現状30cmである。

**柱穴** ビット1個を検出したが、柱穴にはならなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。あるいは前記のビットが貯蔵穴になるものであろうか。長径26cm、短径25cm、深さ20cmである。

**遺物** 竈周辺やビット周辺から土師器の坏や甕、須恵器の坏が出土している。

**時期** 8世紀前半。

**備考** 17号溝によって壊されている。

## 47号住居跡 (①第38図、PL25)

**位置** Hs-79グリッドにおいて検出した。42号住居跡と重複している。

**形状** 現状で東西約1.9m、南北約1.1mを測る。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約10~14cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。

**周溝** 南壁から西壁にかけて検出できた。幅10cm、深さ3~6cmである。

**竈** 検出できなかった。

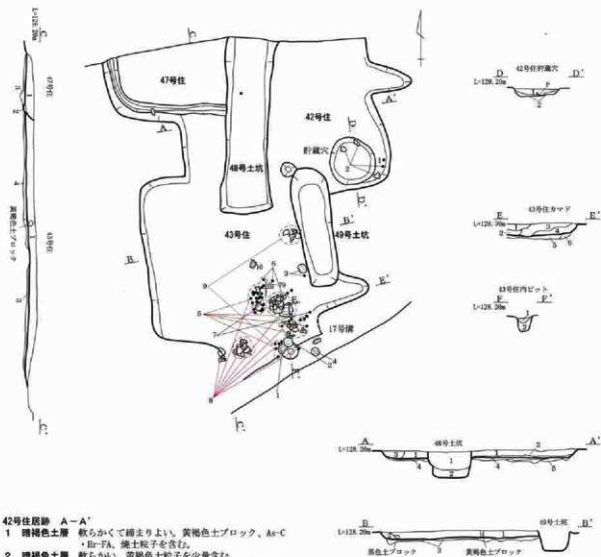
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 覆土から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 不明。

**備考** 48号土坑によって竈や貯蔵穴などは壊されてしまったものと思われる。42号住居跡よりも新しい。



42号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

48号土坑

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。

43号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、焼土粒子As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬い。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。

47号住居跡 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。焼土粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。

42号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

43号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 4 赤褐色土層 やや硬く締まる。焼土主体の層。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを含む。

43号住居跡内ピット F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

第38図 42・43・47号住居跡・48・49号土坑

## 45号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、As・C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

## 45号住居跡カマド B-B'

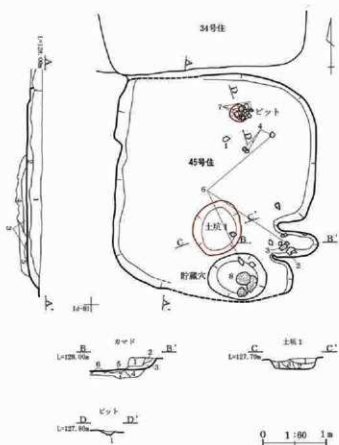
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 1・2層よりも暗い色調。やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 5 赤褐色土層 焼土主体の層。
- 6 灰層
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。

## 45号住居跡内土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

## 45号住居跡内ピット D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼けた凝灰岩を多量に含む。



第39図 45号住居跡

## 45号住居跡 (①第39図②第26・27図、PL.26-68-69)

位置 Ic-80グリッドにおいて検出した。34号住居跡と接している。

形状 長辺約3.4m、短辺約2.8mの方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~25cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は約9.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向は現状80cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径90cm、短径73cm、深さ20cmである。

遺物 竈から須恵器の埴(②第26図2・3)が出土している。

時期 9世紀後半~10世紀前半。

## 46号住居跡 (①第40図②第27・28、PL.27-69)

位置 Ia・Ib-80・81グリッドにかけて検出した。45号住居跡の東南約4.5mの所に位置している。

形状 長辺約4m、短辺約3.5~3.6mの方形を呈する。

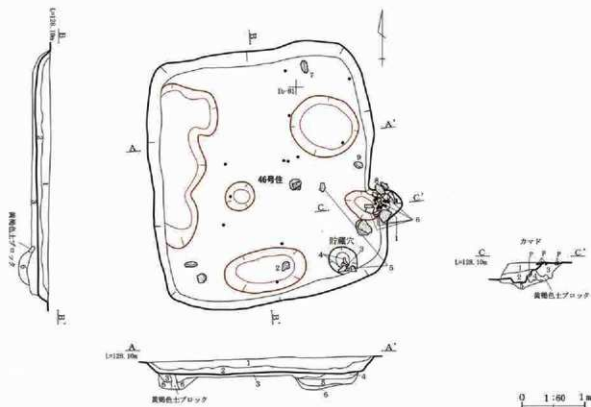
方位 N-82°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層(床下土坑覆土を含む)に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約16~25cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほほ平坦である。面積は約13.7㎡。

周溝 検出できなかった。



46号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい、As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

46号住居跡カマド A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい、As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 4 黄褐色土層 軟らかい、黄褐色土主体の層。
- 5 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを含む。

第40図 46号住居跡

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃烧部の一部は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向は40cmである。揃石が残っていた。

**柱 穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南部から検出した。長径45cm、短径43cm、深さ20cmである。

**遺 物** 竈から須恵器の坏と甕、石、貯蔵穴から須恵器の坏、土師器の甕が出土している。

**時 期** 9世紀後半。

**形 状** 竈のみ検出した。

**方 位** 不明

**覆 土** 竈は2層に分かれた。

**壁 高** 不明。

**竈** 燃烧部の大部分は壁を掘り込んで造られている。現状での規模は煙道方向60cm、両袖方向は60cmである。

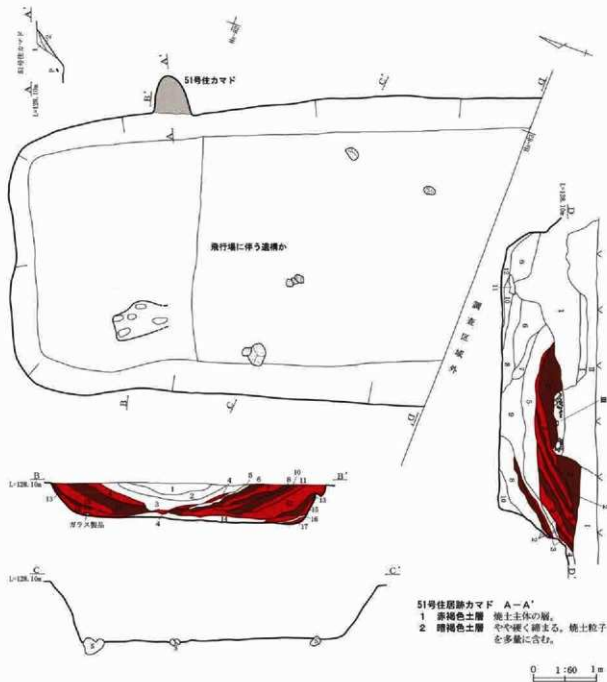
**遺 物** 竈から須恵器の坏や甕の破片が出土している。

**時 期** 9世紀。

**備 考** 新しい遺構によって、そのほとんどを壊されている。

51号住居跡 ①第41図②第29図、PL28-69

**位 置** Hs-81グリッドにおいて検出した。28号住居跡の南約4mの所に位置している。



## 飛行場に伴う遺構か B-B'

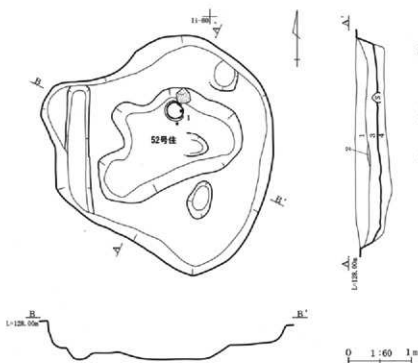
- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。黄褐色土ブロック、粒子を多量に含む。  
2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。  
3 暗褐色土層 軟らかい。上層よりも明るい色調。黄褐色土ブロックを多量に含む。  
4 暗褐色土層 軟らかい。  
5 暗褐色土層 3層とは区別なし。  
6 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土をわずかに含む。  
7 暗褐色土層 軟らかい。4層よりも黄褐色土ブロックを多く含む。

第41図 51号住居跡・飛行場に伴う遺構か

兩壁セクション D-D'

- I 表土  
 II 工場基礎  
 III コンクリート基礎  
 1 黄褐色土層 暗褐色土層と黄褐色土層の混土。  
 2 黄褐色土層 軟らかい。暗褐色土を少量含む。  
 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。  
 4 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Itr-FAを少量含む。  
 5 黄褐色土層 黄褐色ブロックと暗褐色土の混土。  
 6 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。  
 7 黄褐色土層 黄褐色土ブロックと暗褐色土ブロックの混土。

- 8 白褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、灰白色土ブロック主体の層。  
 9 黄褐色土層 黄褐色土ブロック、灰白色土ブロック主体の層。  
 10 暗褐色土層 軟らかい。灰白色土ブロックを含む。  
 11 黄褐色土層  
 12 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。



52号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Itr-FAを多量に。塵土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。  
 2 暗褐色土層 砂利を含む。  
 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、As-C・Itr-FAを含む。  
 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックをやや多く含む。

第42図 52号住居跡

52号住居跡 (①第42図②第29図、PL.29-69)

位置 Ih・Ii-80グリッドにかけて検出した。30号住居跡の北東約15mの所に位置している。

形状 南北約3.3m、東西約2.5～3.8mの不整形を呈する。

方位 不明

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約30～40cmで床面に達する。

床面 凹凸がある。面積は約9.8㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 土師器の甕(②第29図1)が床面の中央やや北で出土した。

時期 8世紀前半。

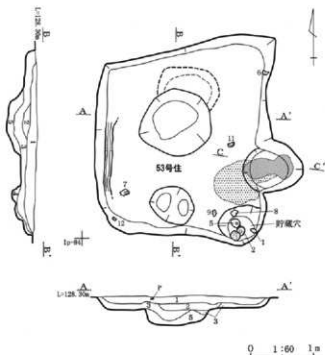
備考 住居跡と断定することはできないかもしれない。

## 53号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

## 53号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、炭化物を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰を多量に含む。



第43図 53号住居跡

## 53号住居跡 (①第43図②第30図、PL.29-70)

**位置** Io-83グリッドにおいて検出した。5号住居跡の南約15mの所に位置している。

**形状** 長辺約27~33m、短辺約27mの方形を呈する。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層(床下土坑の覆土を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約15~20cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。面積は約8.3㎡。

**周溝** 西壁下でその痕跡を検出した。幅10cm、深さ3cmである。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向94cm、両袖方向は67cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径65cm、短径60cm、深さ15cmである。

**遺物** 貯蔵穴から須恵器の坏と埴 (②第30図1・2・

5・8) が出土している。

**時期** 9世紀後半。

## 55号住居跡 (①第44図②第31図、PL.30-70)

**位置** Ip-84、Iq-83-84グリッドにかけて検出した。56号住居跡と接している。

**形状** 現状では南北約3.1m、東西約1mを測る。

**方位** N-65°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4(3~6)層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。現状での面積は約2.4㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向は68cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈覆土から須恵器の坏(②第31図2)、掘り方覆土から瓦(②第31図3)東壁下から鎌(②第31図

4) が出土した。

**時期** 9世紀前半。

**備考** 現道下に延びるため完掘できなかった。

**56号住居跡** (①第44図②第31-32図、PL.31-70)

**位置** Ip-84・85グリッドにかけて検出した。55号住居跡と接している。

**形状** 現状では南北2.8m、東西1.1mを測る。

**方位** N-95°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3(3~5)層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20~40cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向70cm、両袖方向は45cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈やその周辺から土師器の甕が多量に出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 竪穴状遺構によって壊され、また現道下に延びるために完掘できなかった。

**57号住居跡** (③第45図②第32-33図、PL.32-71)

**位置** Io-71・72グリッドにかけて検出した。58号住居跡と重複している。

**形状** 現状で南北約2.8m、東西約3.2mの方形を呈するものと思われる。

**方位** N-88°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は12層(床下土坑の覆土を含む)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約35~40cmで床面に達する。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約2.8㎡。

**周溝** 西壁下の一部で検出した。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向94cm、両袖方向は48cmである。石組みの竈である。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径63cm、短径60cm、深さ22cmである。

**遺物** 竈や貯蔵穴周辺から土師器の坏や甕、須恵器の坑が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 58号住居跡を壊している。

**58号住居跡** (③第45図②第34図、PL.32-71)

**位置** Io-71・72グリッドにかけて検出した。57号住居跡と重複している。

**形状** 現状で東西約3.5m、南北約1.7mを測る。

**方位** N-84°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約26cmで床面に達する。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約2.8㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁に位置し、燃焼部の一部は壁を掘り込んで造られている。規模は現状で煙道方向43cm、両袖方向は40cmである。

**柱穴** 床面の南西隅からピットを検出したが柱穴とはならなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

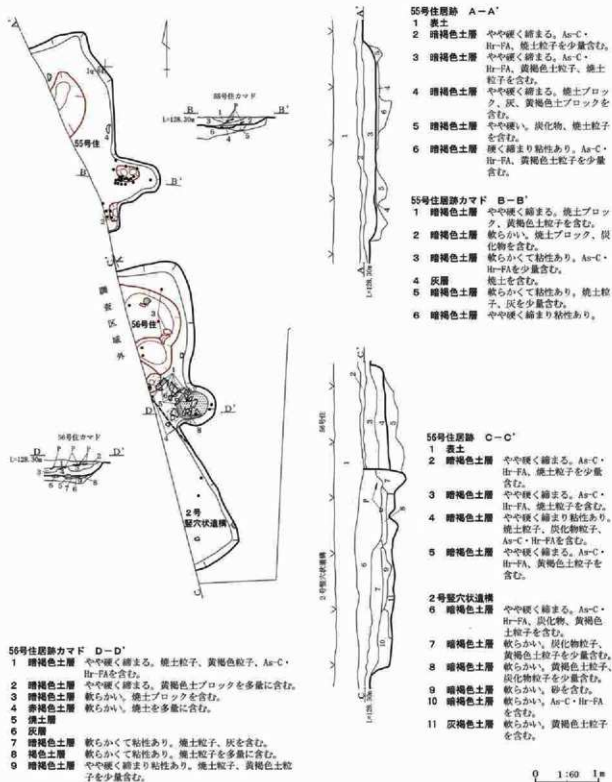
**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

**時期** 不明。

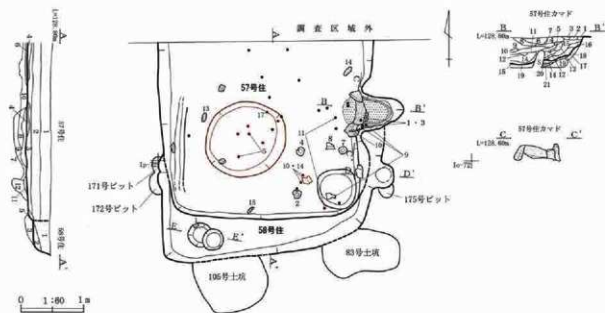
**備考** 57号住居跡によって壊されている。



## (1) 竪穴住居跡



第44図 55・56号住居跡・2号竪穴状遺構



57号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子。炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 6 褐色土層 やや硬く粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 12 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

58号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。焼土ブロックを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。



57号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 締まり粘性弱い。焼土粒子を多量に、灰をやや多く含む。
- 2 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-C、ロームブロック、灰、焼土粒子をやや多く含む。
- 3 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-C、焼土粒子を少量、灰をやや多く含む。
- 4 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-C、ロームブロックをやや多く、焼土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子、灰を多く、As-Cを少量含む。
- 6 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cをやや多く、焼土粒子、灰を少量含む。
- 7 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cをやや多く、焼土粒子、灰、炭を少量含む。
- 8 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cをやや多く、焼土粒子を少量含む。
- 9 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-C、ローム粒子をやや多く、焼土粒子を少量含む。
- 10 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-C、ロームブロック、焼土粒子を少量含む。
- 11 暗褐色土層 締まり固く粘性あり。As-C、焼土粒子、炭、ロームブロックを少量含む。
- 12 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を含む。
- 13 灰褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子を含む。
- 14 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を含む。
- 15 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 16 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 17 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に、灰を含む。
- 18 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰を含む。
- 19 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子を少量含む。
- 20 灰層
- 21 焼土層

58号住居跡カマド D-D'

- 1 焼土層
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 4 灰層

58号住居跡内ピット E-E'

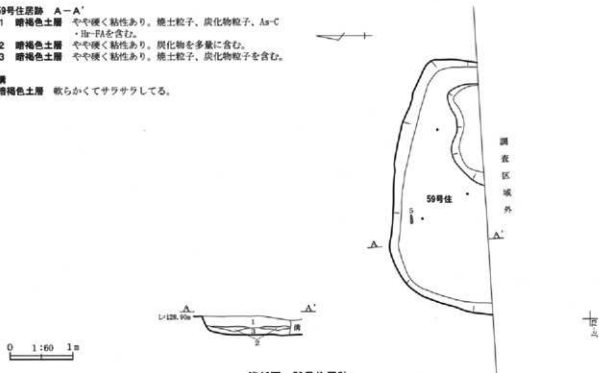
- 1 暗褐色土層 締まり固く粘性あり。As-C、ロームブロック、焼土粒子が少量入る。
- 2 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cをやや多く、焼土粒子、ロームブロックを少量含む。

## 59号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Iir-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。炭化物を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

## 溝

暗褐色土層 軟らかくてサラサラしてる。



第46図 59号住居跡

## 59号住居跡 (①第46図、PL33-71)

位置 Fb-72グリッドにおいて検出した。

形状 現状では東西約3.9m、南北約0.9-1.6を測る。

方位 不明

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

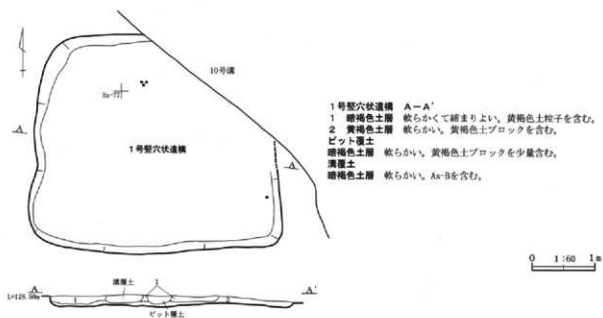
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から土師器の坏、須恵器の坏が出土している。

時期 9世紀。

## (2) 竪穴状遺構



第47図 1号竪穴状遺構

### 1号竪穴状遺構 (①第47図、PL.33)

**位置** Hr・Hs-76・77グリッドにかけて検出した。10号溝によって壊されている。

**形状** 東西約3.8m、南北約3.5mの方形を呈するものと思われる。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴は構築され、そこに堆積した覆土は2層に分かれた。

**壁高** 確認面より約10～16cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 覆土中から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 不明。

### 2号竪穴状遺構 (①第44図、PL.31)

**位置** Ip-85グリッドにおいて検出した。56号住居跡と重複している。

**形状** 現状で東西0.8約m、南北約2.8mを測る。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴は構築され、そこに堆積した覆土は6(6～11)層に分かれた。

**壁高** 確認面より約60cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 覆土中から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 56号住居跡(9世紀後半)を壊している。

## (3) 土坑・ピット

引間六石遺跡からは117基の土坑を検出した。

これらの土坑は、その形状から円形を呈するもの35基、楕円形を呈するもの45基、長方形を呈するもの7基、方形を呈するもの8基、その他21基に分けることができる。欠番は98・103・108・111である。

遺物の出土している土坑は、6・7・12・16・18・19・24・25・52・57・61・67・68・110・112・113・120号の計17基の土坑である。また15号土坑からは馬骨、馬歯、犬の上下離歯歯が出土した。

井戸は6・7・18・50・61・90・110号土坑の7基

を検出した。いずれも深いために完掘することはできなかった。6・7号土坑覆土からは9世紀の遺物が出土している。61号土坑覆土からは8世紀後半～9世紀前半にかけての遺物が出土しているが、灰釉陶器城(②第39図11)は、重複している32号住居跡の遺物と思われる。

ピットは総計179基を検出した。円形・楕円形を呈するものが主体である。

土坑一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Im-82	楕円形	109×89×26	土師器片・須恵器片		第48図		PL 34
2	Ik-82	円形	70×70×16	土師器片・須恵器片		48		34
3	Ik-81	円形	113×108×45			48		34
4	B-81	楕円形	100×85×26			48		34
5	Ir-Ik-79	ほぼ円形	112×112×25			48		2
6	Il-Ik-81	楕円形	351×(279)×(152)	土師器片・須恵器片・灰釉・石器	1号住居と重複	49	第34図	34.71
7	Il-80-81	楕円形	247×(190)×(119)	土師器片・須恵器片・灰釉・瓦	7号土坑と重複 618号土坑と重複	49	34	34.71
8	In-79-80	円形	63×61×11	土師器片・須恵器片		50.51		34
9	In-80	楕円形	65×61×29	土師器片・須恵器片		50.51		34
10	In-80	楕円形	72×52×22	土師器片・須恵器片		50.51		34
11	Im-In-80	ほぼ円形	67×63×24			50.51		35
12	In-80-81	ほぼ円形	73×71×18	土師器片・須恵器片		50.51	34	35.71
13	Io-80	円形	74×71×12			50.51		35
14	In-80	楕円形	85×65×16	土師器片・須恵器片		50.51		34
15	Ir-76-77	楕円形	190×125×57	馬骨・馬歯・犬の歯	3号溝内	71		
16	Io-79	楕円形	70×47×6	須恵器片		50.51	34	35.71
17	Im-In-79	ほぼ円形	55×50×11			50.51		35
18	Il-80-81	不明	261×249×-	土師器片・須恵器片		49	35.36	34.71.72
19	Il-81-82	不整形	278×205×23	土師器片・須恵器片		49	36.37	35.72
20	Ik-79-80	不整形	101×90×20			48		35
21	Ik-79	楕円形	95×76×22			48		36
22	Il-80	楕円形	94×87×20	土師器片		48		37
23	Ik-82	ほぼ長方形	157×97×37	土師器片		54		36
24	Ik-81	方形	(120)×112×17	土師器片・須恵器片	26号土坑と重複	54	37	36.72
25	Ik-82	楕円形	96×82×16	土師器片		48	37	36.72
26	Il-Ik-61	楕円形	183×158×44			54		36
27	Ip-76	楕円形	97×55×16			54		36
28	Ho-76	楕円形	65×56×32			54		36
29	Hr-77	楕円形	122×83×31			54		36
30	Is-79-80	方形	110×76×19	土師器片		54		36
31	It-77-78	長方形	(293)×134×20			55		37
32	It-80	ほぼ円形	96×80×27	土師器片・須恵器片		54		37
33	It-78	方形	103×82×37	土師器片・須恵器片・瓦		54		37
34	Ig-78	隅丸方形	212×171×24	土師器片・須恵器片		56		37
35	Ig-78	楕円形	92×74×42			56		37
36	Ie-79	楕円形	65×45×15			56		37
37	Ia-81	円形	122×116×23	土師器片・須恵器片		55		37
38	Ie-79	(円形)	52×50×25	土師器片	101号ピットと重複	56.57		37
39	Ia-81	楕円形	75×40×13			55		37
40	Ic-Ia-81	楕円形	132×45×20			55		37
41	Ic-81-82	楕円形	115×80×20			55		38
42	Ia-79	楕円形	95×72×20			55		38
43	Ia-80	不整形	80×59×12			55		38
44	Hr-79	円形	81×79×26	土師器片		59		38
45	Hq-hr-76	不明	105×(36)×51			59		38
46	Hq-Hr-76	方形	115×89×22			59		38

## 第1章 引開六石遺跡

番号	位置	形状	長さ×短さ×高さ (cm)	出土物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
47	Hq-Hr-76	楕円形	110×71×48			第59回		PL. 38
48	Hr-Hs-79	長方形	189×57×40	土師器片	42.43号住居内	38		38
49	Hr-79	(長方形)	(275)×79×30		42.43号住居内	38		38
50	lb-lc-81	円形	128×127×(165)	土師器片・須恵器片		55		38
51	Hs-80	長方形	119×60×46		28号住居内	26		16
52	la-lb-81-82	不整形	331×189×80	土師器片・須恵器片		59	表37. 38回	39. 72
53	Ig-82	不整形	143×127×15			59		39
54	Ig-82	ほぼ円形	85×80×17			59		39
55	lb-79	楕円形	171×156×46	土師器片・須恵器片	57号土坑と重複	60		39
56	lb-79	不整形	179×(158)×51	土師器片・須恵器片	57号土坑と重複	60		39
57	lb-lb-79	不整形	(230)×172×47	土師器片・須恵器片	55号土坑と重複	60	38	39. 72
58	lb-lb-79-80	不整形	375×295×30			60		39
59	lb-lb-78-79	楕円形	(102)×143×28	土師器片・須恵器片・灰軸	60号土坑と重複	61		39
60	lb-78	不整形	(208)×(145)×43		59号土坑と重複	61		39
61	ld-lc-79-80	ほぼ円形	228×225×248	土師器片・須恵器片・灰軸・瓦	32号住居内	29	38. 39	39. 72. 73
62	lc-81	楕円形	139×123×89			61		40
63	lc-81	不明	157×110×58	土師器片・須恵器片・陶器		61	39	40. 73
64	lc-81	楕円形	79×43×58			61		40
65	lc-80-81	不整形	103×80×77	土師器片		61		40
66	lc-81	楕円形	60×54×28			61		40
67	lc-81	不明	71×63×70			61	39	40. 73
68	Ig-lb-79-80	不整形	448×286×62	須恵器片		61	40	40. 73
69	lp-75	ほぼ円形	96×91×18	土師器片・須恵器片		62. 63		40
70	lo-lp-75	楕円形	100×80×38			62. 63		40
71	lo-75	円形	90×90×31			62. 63		41
72	lo-75	円形	75×70×23	土師器片・須恵器片		62. 63		41
73	lo-74	円形	92×90×22	土師器片・須恵器片		63		41
74	lo-74	不明	76×(33)×29			63		41
75	lo-74	円形	92×81×32	土師器片		63		41
76	lo-74	円形	92×90×25	灰軸		63		41
77	lo-74	円形	106×102×39	土師器片・須恵器片		63. 64		41
78	lo-74	楕円形	90×35×9	土師器片・須恵器片・灰軸		63. 64		41
79	lo-74	ほぼ円形	127×120×39	土師器片・須恵器片		63. 64		41
80	lo-73	楕円形	91×65×13	土師器片		62. 64		41
81	lo-73	楕円形	86×66×28	土師器片・須恵器片		62. 64		44
82	lc-72	方形	92×90×13	土師器片・須恵器片	151号ビットと重複	62. 64		41
83	lo-72	楕円形	125×80×31	土師器片・須恵器片・灰軸		62. 64		42
84	lo-71-72	ほぼ円形	92×74×22	土師器片・須恵器片・陶器		62. 64		42
85	lo-72	円形	111×108×46	土師器片・須恵器片		62. 64		42
86	lo-72	不整形	89×78×6			62. 64		42
87	lp-71	楕円形	136×119×22	土師器片・須恵器片		62. 64		42
88	lp-71	楕円形	95×55×8			62. 64		42
89	lp-73	円形	56×49×4	土師器片・須恵器片		62. 64		42
90	lo-75	ほぼ円形	86×80×(101)	土師器片・須恵器片		63. 64		42
91	lo-73	楕円形	92×67×44	土師器片		62. 64		42
92	Je-72	楕円形	105×88×31			66		42
93	Je-72	楕円形	134×86×29	土師器片・須恵器片		66		42
94	Je-72	楕円形	100×87×26			66		42
95	ld-71	不明	71×(53)×23			66		42
96	lp-83	円形	140×128×45	土師器片・須恵器片		67		43
97	lp-83	ほぼ円形	111×96×16			67		43
98	lp-83-84	(円形)	80×77×33	土師器片	178号ビットと重複	67		43
100	lp-84	不整形	118×90×11	土師器片・須恵器片		67		43
101	lo-lp-83	楕円形	172×133×39	土師器片・須恵器片・石		67		43
102	lp-85	不明	139×(44)×20			66		43
104	lo-73-74	長方形	227×77×19	土師器片		63. 64		43
105	lo-72	(方形)	112×(86)×25	土師器片	58号住居と重複	62. 64		44
106	lo-73	ほぼ円形	91×82×36		30号溝内	62. 64		44
107	lo-72-73	長方形	215×80×10	土師器片		62. 64		44
109	lo-73	楕円形	68×45×22		30号溝内	62. 64		44
110	lo-Op-84	不明	229×130×117	土師器片・須恵器片・灰軸		66	40. 41	44. 73
112	lp-lq-74-75	楕円形	216×176×25	土師器片・須恵器片・石	34号溝と重複	63. 64	41	44. 73
113	lb-72	楕円形	85×70×13	須恵器片		66	42	44. 73
114	ld-72	円形	83×80×12			66		45
115	lc-72	円形	80×79×6			67		45
116	ld-72	ほぼ円形	69×66×12			67		45
117	lc-72	楕円形	75×57×16			67		45
118	ld-lc-72	楕円形	49×36×12			67		45
119	ld-72	ほぼ円形	78×66×10		184号ビットと重複	67		45
120	lc-72	方形	137×134×22	土師器片・須恵器片		68	42	45. 74
121	lb-72	楕円形	49×41×22			68		33

ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Ir-79	不明	(30)×29×28		1号溝内	第88図		PL.49
2	Ir-80	円形	48×46×36		1号溝内	68		49
3	Ir-80	円形	46×41×27		1号溝内	68		49
4	Ir-80	楕円形	46×36×36		1号溝内	68		49
5	Ir-81-82	(円形)	36×(20)×51			68		
6	Im-80	楕円形	45×37×21			50.51		46
7	Im-80	楕円形	42×29×19			50.51		46
8	Im-80	ほぼ円形	28×22×18			50.51		35
9	In-80	楕円形	45×39×17			50.51		46
10	In-80	楕円形	40×34×12			50.51		46
11	In-80	ほぼ円形	37×35×12			50.51		46
12	In-80	楕円形	39×33×23	土師器片・須恵器片		50.51		46
13	In-80	楕丸方形	29×27×13			50.51		35
14	In-80	円形	30×19×10			50.51		35
15	In-80	楕丸長方形	20×16×10			50.51		35
16	In-Im-80	楕丸長方形	78×68×64	土師器片・須恵器片		50.51		46
17	Im-81	ほぼ円形	35×30×20	須恵器片		50.51		35
18	In-80-81	楕円形	36×30×10			50.51		35
19	In-81	楕丸方形	32×31×9			50.51		35
20	In-80	楕円形	21×19×7			50.52		35
21	In-81	円形	45×42×12	土師器片		50.52		35
22	In-81	円形	66×65×14	土師器片・須恵器片		50.52		35
23	In-80	円形	28×26×14	須恵器片		50.52		35
24	In-80	楕円形	41×35×11			50.52		35
25	In-80	楕円形	25×19×25			50.52		46
26	In-80	円形	41×40×15			50.52		34
27	In-79-80	ほぼ円形	32×31×17			50.52		34
28	In-79	楕円形	40×32×15			50.52		34
29	In-79	楕円形	50×42×28			50.52		34
30	In-80	楕円形	48×36×18			50.52		46
31	Io-80	円形	32×32×15	須恵器片		50.52		46
32	Io-80	円形	25×24×13			50.52		46
33	Io-80	円形	24×23×12	須恵器片		50.52		46
34	Io-80	円形	32×30×11	須恵器片		50.52		46
35	Io-80	ほぼ円形	29×27×26	須恵器片		50.52		35
36	Io-80	円形	38×35×24	土師器片・須恵器片		50.52		35
37	Io-Ip-80	ほぼ円形	55×48×15			50.52		35
38	Io-80	円形	28×27×11			50.52		35
39	Io-80	円形	28×28×10			50.52		35
40	Io-80	円形	25×25×15			50.52		46
41	Io-Ip-79	楕円形	66×25×11			50.52		35
42	Io-79	円形	25×25×8			50.52		35
43	Io-79	円形	32×30×9	土師器片		50.52		35
44	Io-79	楕円形	44×33×19			50.52		35
45	Io-79	円形	34×34×13			50.52		35
46	Io-79	円形	40×37×15			50.52		35
47	Io-79	円形	38×35×11			50.52		46
48	Io-79	円形	24×24×7			50.52		46
49	Io-79	円形	26×24×9			50.52		46
50	Io-79	円形	30×30×12	土師器片・須恵器片		50.52		46
51	Io-79	円形	24×22×7			50.52		46
52	Io-79	円形	33×32×21			50.53		46
53	Io-79	楕円形	32×16×27			50.53		46
54	Io-79	ほぼ円形	50×46×44			50.53		46
55	Im-In-79	楕円形	65×55×51	土師器片・須恵器片		50.53		34
56	欠番							
57	Im-80	ほぼ円形	29×27×38		58号ピットと重複	50.53		34
58	Im-80	ほぼ円形	31×30×44	土師器片	57号ピットと重複	50.53		34
59	Im-80	円形	39×38×28			50.53		46
60	Im-80	楕円形	26×21×15			50.53		46
61	Im-80	円形	22×20×12			50.53		46
62	Im-80	円形	33×30×15			50.53		46
63	Im-80	円形	26×25×19			50.53		46
64	Im-80	円形	30×30×18			50.53		46
65	Im-80	楕円形	31×27×18			50.53		46
66	Im-81	楕円形	31×25×18			50.53		46
67	Il-80	ほぼ円形	57×51×45			50.53		46
68	Il-Il-80	楕円形	58×30×15			68		35
69	Ik-80	楕丸方形	30×28×17			48		35
70	Ik-79	不整形	65×38×15			48		36
71	Il-79	楕円形	43×35×22			68		46

## 第1章 引開六石遺跡

番号	位置	形状	長さ×幅×高さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
72	Ib-79-80	楕円形	60×46×13	土師器片		第68図		PL-66
73	Ib-82	楕円形	44×31×16			69		46
74	Ib-82	円形	28×26×35	土師器片・須恵器片		69		46
75	Ib-82	円形	25×23×33	土師器片		69		46
76	Ib-82	円形	31×30×15			69		46
77	Ia-82	円形	38×38×77	土師器片・須恵器片		68		46
78	Ib-82	円形	30×28×38		7号溝内	69		
79	欠番							
80	Ib-77	ほぼ円形	48×48×116			35		46
81	Ib-Ig-78	楕円形	41×35×12	土師器片		56		37
82	Ib-78	円形	21×21×11			56		37
83	Ib-78	(円形)	30×(25)×15	土師器片・須恵器片	84, 85号ピットと重複	56		37
84	Ib-78	不明	(25)×24×15		83, 85号ピットと重複	56		37
85	Ib-78	ほぼ円形	34×30×10		83, 84号ピットと重複	56, 57		37
86	Ib-78-79	円形	28×27×12			56, 57		46
87	Ib-79	円形	23×21×12			56, 57		46
88	Ib-79	円形	26×25×41			56, 57		46
89	Ib-79	ほぼ円形	34×30×10			56, 58		46
90	Ib-79	円形	28×27×11			56, 58		46
91	Ib-79	円形	25×24×7			56, 58		46
92	Ib-79	(楕円形)	33×25×10		93号ピットと重複	56, 58		46
93	Ib-79	(楕円形)	(27)×26×10		92号ピットと重複	56, 58		46
94	Ib-79	ほぼ円形	40×36×11			56, 58		46
95	Ib-79	楕円形	38×34×20	土師器片		56, 58		46
96	Ib-79	楕円形	38×29×9			56, 58		46
97	Ie-79	(円形)	48×46×9	土師器片・鉄器	98号ピットと重複	56, 58		37
98	Ie-79	(円形)	29×27×7		97号ピットと重複	56, 58		37
99	Ie-79	楕円形	51×33×18	土師器片		56, 58		37
100	Ie-79	円形	28×27×44	土師器片		56, 58		37
101	Ie-79	(楕円形)	(33)×32×27		38号土坑と重複	56, 57		37
102	Ie-80	楕円形	50×42×15			57, 58		47
103	Ie-80	(楕円形)	51×(36)×10		104号ピットと重複	57, 58		47
104	Ie-80	(円形)	45×(37)×9		103号ピットと重複	57, 58		47
105	Ie-80	円形	40×39×8			57, 58		47
106	Ih-76	円形	57×55×29			59		47
107	Ih-76	楕円形	72×69×22			59		47
108	Ih-76	円形	50×48×20			69		47
109	Ih-76	(円形)	43×43×10			69		47
110	Ih-76	楕円形	36×28×15			69		47
111	Ih-76	円形	40×40×11			69		47
112	Ig-78	楕円形	38×30×12			56, 58		47
113	Ib-80	円形	28×25×13			57, 58		47
114	Ib-79	楕円形	25×22×24			56, 58		47
115	Ig-79	楕円形	24×19×15			56, 58		47
116	Ig-80	楕円形	20×15×15			57, 58		47
117	Ig-80	円形	25×25×22			57, 58		47
118	Ib-80	楕円形	40×29×23			57, 58		47
119	Ib-80	ほぼ円形	25×25×25			57, 58		47
120	Ig-80	楕円形	24×19×19			57, 58		47
121	Ig-80	楕円形	29×24×23			57, 58		47
122	Ig-80	円形	27×26×18			57, 58		47
123	Ig-80	円形	25×24×31			57, 58		47
124	Ig-81	楕円形	35×30×16			57, 58		47
125	Ib-80	円形	32×30×10			57, 58		47
126	Ib-80	楕円形	26×22×8			57, 58		47
127	Ib-80	ほぼ円形	25×21×7			57, 58		47
128	Ib-81	楕円形	24×21×22			57, 58		47
129	Ib-81	楕円形	40×35×21			57, 58		47
130	Ib-81	ほぼ円形	41×36×25			57, 58		47
131	Ie-Ib-81	円形	35×35×29			57, 58		47
132	Ig-79	円形	29×28×26	土師器片		56, 58		47
133	Ib-82	楕円形	50×27×22			68		47
134	Ia-83	楕円形	37×29×10	土師器片		68		47
135	Ia-83	楕円形	38×31×8	土師器片・須恵器片		68		47
136	Ib-80-81	円形	54×51×24			69		47
137	Ib-80	円形	39×37×15	土師器片		69		47
138	Ib-80	円形	50×48×55			69		47
139	Ib-75	ほぼ円形	56×56×35			63, 65		48
140	Ib-74	ほぼ円形	30×29×23		34号溝と重複	63, 65		48
141	Ib-74	楕円形	48×40×7			63, 65		48
142	Ia-74	(円形)	44×(20)×22			63, 65		41
143	Ia-73	楕円形	33×29×61	土師器片	30号溝内	62, 65	第42図	48, 74
144	Ib-73	楕円形	31×25×29			62, 65		48



番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
145	1a-73	楕円形	36×28×26			第62.65図		PL. 48
146	1a-71	(楕円形)	(28)×38×54			62.65		48
147		欠番						
148	1a-74	円形	28×26×52		73号土坑内	63		41
149	1a-72	円形	34×29×31			69		48
150	1f-72	楕円形	32×26×34			69		48
151	1a-72	楕円形	43×32×46		82号土坑と重複	62.65		48
152	1a-71	楕円形	30×30×32	土師器片		69		48
153	1p-84	楕丸長方形	54×39×12	土師器片・須恵器片		69		48
154	1p-76	円形	26×26×11	土師器片		63.65		40
155	1p-76	楕丸方形	27×27×15			63.65		40
156	1a-74	楕円形	28×19×13			63.65		48
157	1a-75	ほぼ円形	35×32×10			63.65		40
158	1p-75	楕円形	19×14×24			63.65		40
159	1p-75	楕円形	27×22×23			63.65		40
160	1p-75	円形	30×29×12			63.65		40
161	1p-75	円形	30×29×13			63.65		40
162	1a-75	円形	32×27×21			63.65		40
163	1a-1a-75	円形	31×29×39			63.65		48
164	1p-74	円形	30×28×16			63.65		40
165	1a-74	楕円形	35×30×16		34号溝と重複	63.65		40
166		欠番						
167	1a-74	円形	28×26×38	須恵器片		63.65		40
168		欠番						
169	1p-74	円形	32×32×11		30号溝内	63.65		40
170	1p-73	円形	34×32×29			62.65		48
171	1a-1p-71-72	円形	27×25×37		172号ピットと重複	62.65		48
172	1a-1p-72	円形	36×35×45		171号ピットと重複	62.65		48
173	1a-72	楕円形	29×23×6			62.65		48
174	1a-72	円形	20×20×10	土師器片・須恵器片		62.65		48
175	1a-72	円形	22×19×15			62.65		48
176	1a-75	円形	26×27×19			63.65		49
177	1p-84	楕円形	76×60×30	土師器片		67		43
178	1p-83-84	不明	50×(46)×25		99号土坑と重複	67		43
179	1p-74	円形	16×15×9	須恵器片		63.65		49
180	1p-83	円形	40×34×48	土師器片・須恵器片		67		49
181	1p-83	円形	32×29×35			67		49
182	1e-72	円形	34×33×10			67		45
183	1e-72	円形	43×40×45			67		45
184	1d-72	楕円形	43×33×19		119号土坑と重複	67		45

(94ページより)

21号溝は、幅(0.5~0.8)m、深さ55cmで、長さ11.3mにわたって検出した。29号溝と併行する。

22号溝は、幅0.5~0.6m、深さ27cmで、長さ7.9mにわたって検出した。

23号溝は、幅0.3~1.1m、深さ11cmで、長さ19.4mにわたって検出した。畑の区画溝である。

24号溝は欠番である。

26号溝は、幅0.25~0.4m、深さ18cmで、長さ8.5mにわたって検出した。

27号溝は、幅0.6~0.8m、深さ41cmで、長さ4.3mにわたって検出した。

28号溝は、幅0.35m、深さ13cmで、長さ10.8mにわたって検出した。

29号溝は、幅0.15~0.25m、深さ15cmで、長さ3.9mにわたって検出した。

30号溝は、幅0.7~1.45m、深さ4cmで、長さ15mにわたって検出した。

31号溝は、幅0.5~0.9m、深さ18cmで、長さ16.9mにわたって検出した。

32号溝は、幅0.9~1.25m、深さ16~50cmで、長さ17.3mにわたって検出した。

33号溝は、幅(0.2~0.45)m、深さ5cmで、長さ9.3mにわたって検出した。

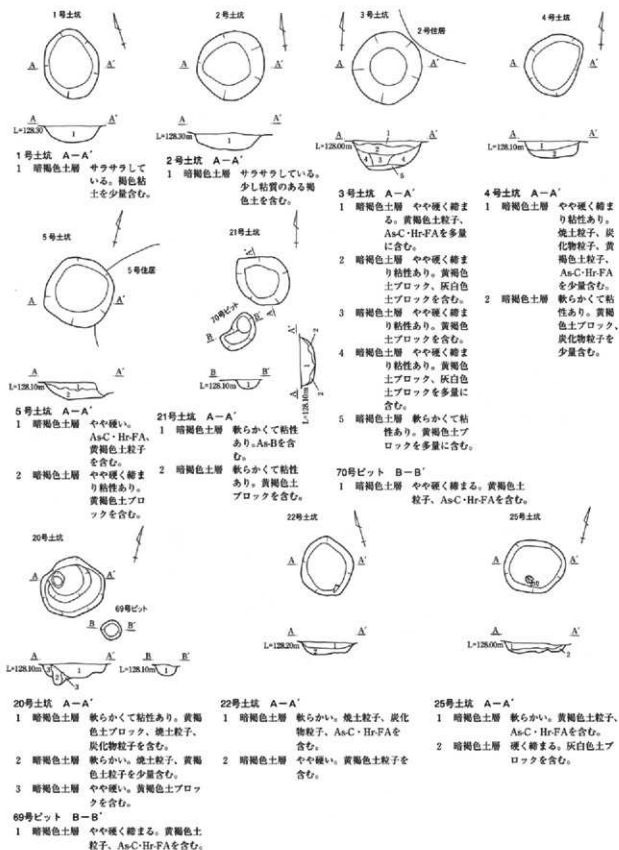
34号溝は、幅0.35~0.5m、深さ7cmで、長さ11.3mにわたって検出した。置土から土師器の坏や須恵器の坏が出土している。

47号溝は、幅0.33~1.1m、深さ11cmで、長さ8.75mにわたって検出した。雑高辻久保遺跡0区の47号溝と同一遺構である。

48号溝は、幅1.1~1.9m、深さ42cmで、長さ10.5mにわたって検出した。

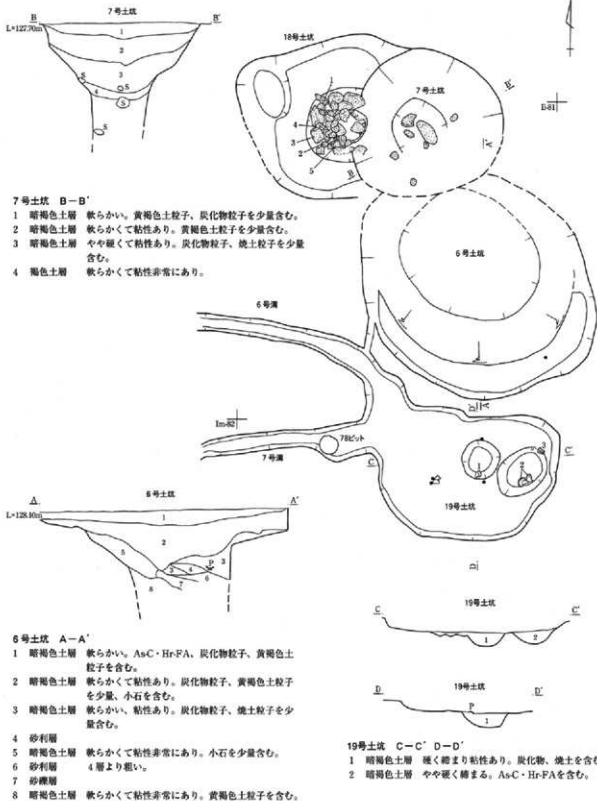
49号溝は、幅0.6~0.9m、深さ16cmで、長さ6.9mにわたって検出した。

32・47~49号溝は、ほぼ東西方向に併走している。



0 1:60 2m

第48図 1～5・20～23・25号土坑、69・70号ピット

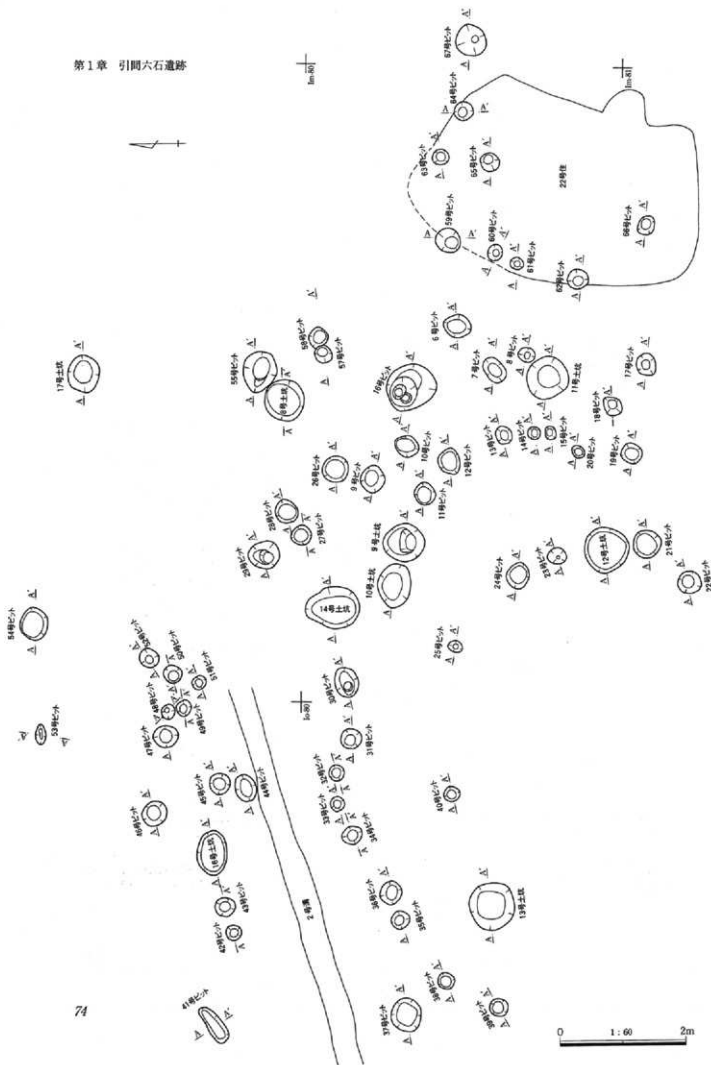


第49図 6・7・18・19号土坑

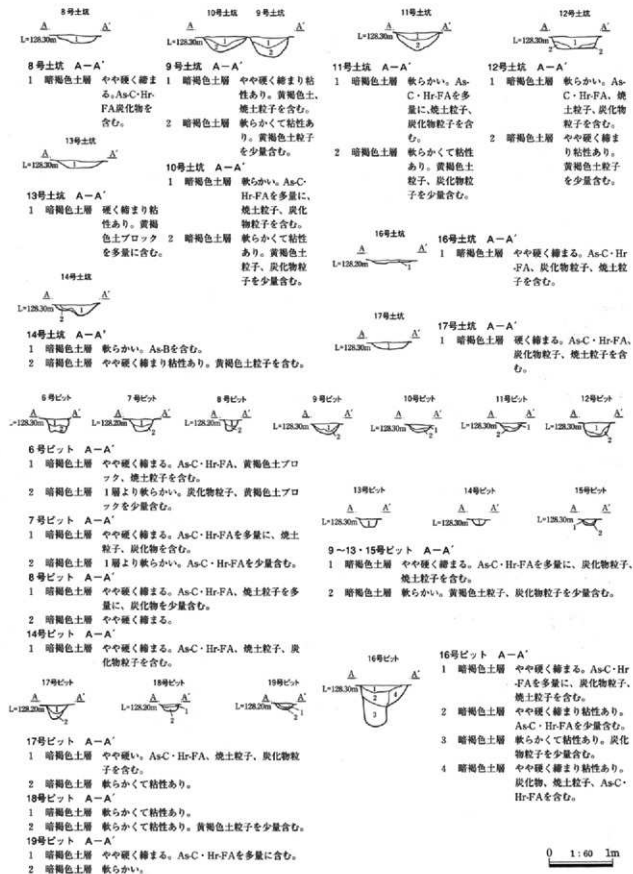


1m 50

1m 50



第50図 土坑・ピット群 (1)

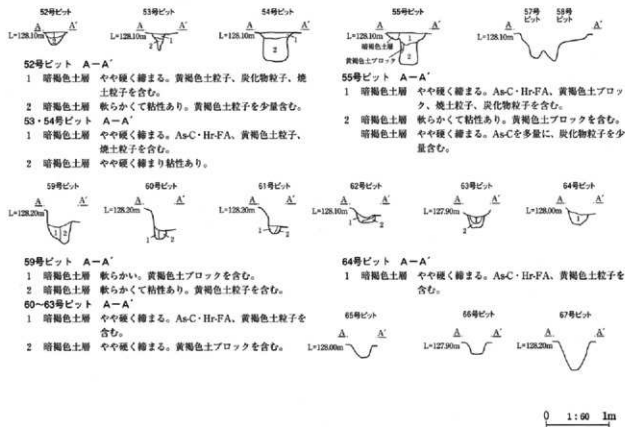


第51図 土坑・ピット群 (1) -断面図 (1)



第52図 土坑・ピット群(1)-断面図(2)

## (3) 土坑・ビット



第53図 土坑・ビット群(1)一断面図(3)

24号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr・FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。



23号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 炭化物層 暗褐色土を含む ※壁面の全面が焼けている。



26号土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、As・Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。



27号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、As・C・Hr・FAを含む。



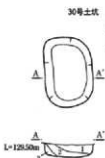
28号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 2 褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 褐色土層 黄褐色土ブロックを少量含む。



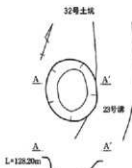
29号土坑 A-A'

- 1 褐灰色土層 やや軟らかい。白色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 褐灰色土層 やや軟らかい。黄褐色土ブロックをまばらに含む。



30号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黒褐色土を含む。
- 2 褐灰色土層 軟らかい。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黒褐色土を含む。



32号土坑

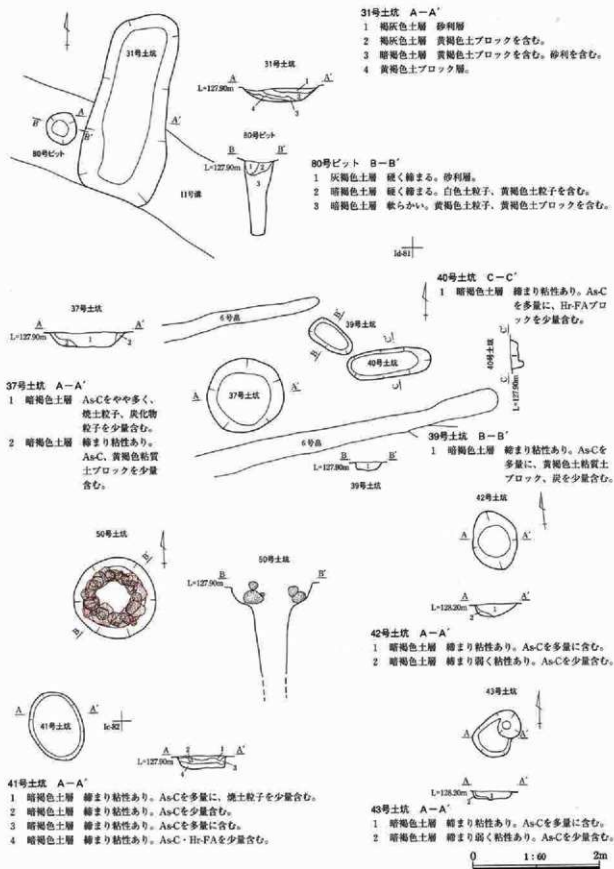


33号土坑



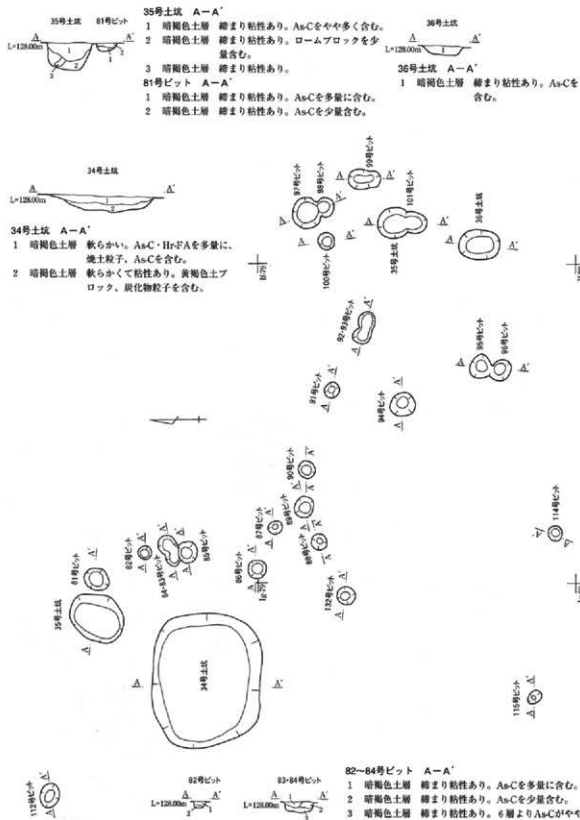
第54図 23・24・26～30・32・33号土坑





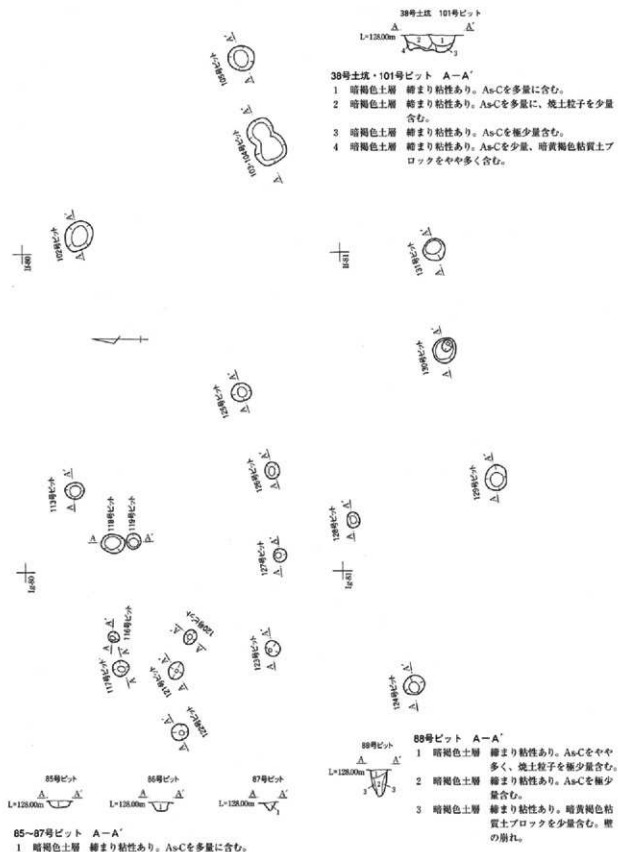
第55図 31・37・39~43・50号土坑、80号ピット

第1章 引間六石遺跡



第56図 土坑・ピット群 (2)

## (3) 土坑・ピット



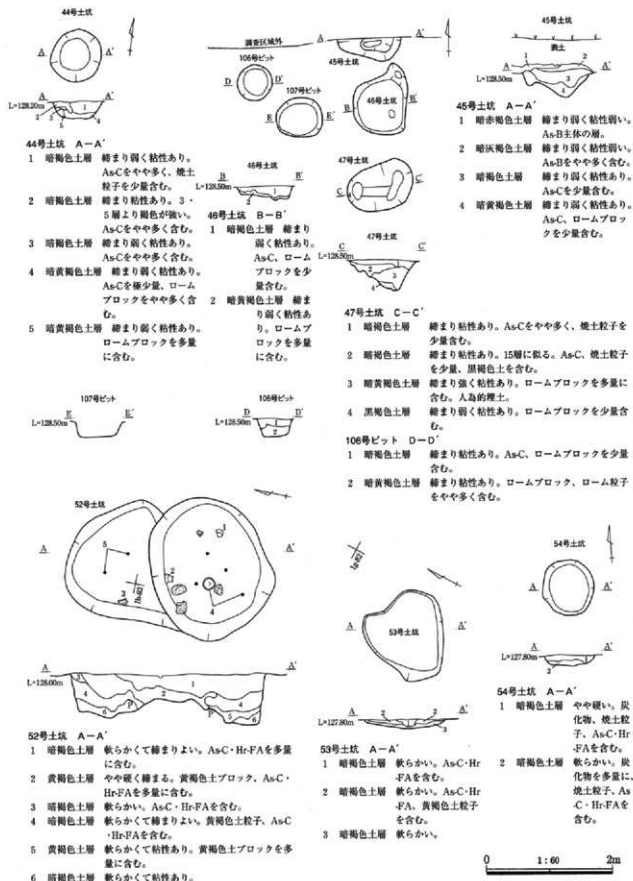
第57図 土坑・ピット群 (3)

第1章 引開六石遺跡



第58図 土坑・ピット群(2・3)-断面図(1)

0 1:60 1m



第59図 44~47・52~54号土坑、106・107号ピット

第1章 引間六石遺跡

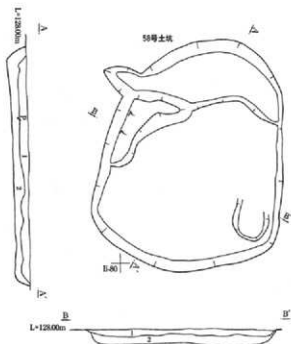
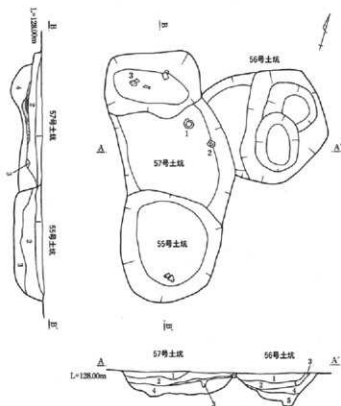
55号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。焼土粒子、AsC・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。AsC、黄褐色土ブロックを含む。

57号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 炭化物層
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物を含む。

焼土層



56・57号土坑 A-A'

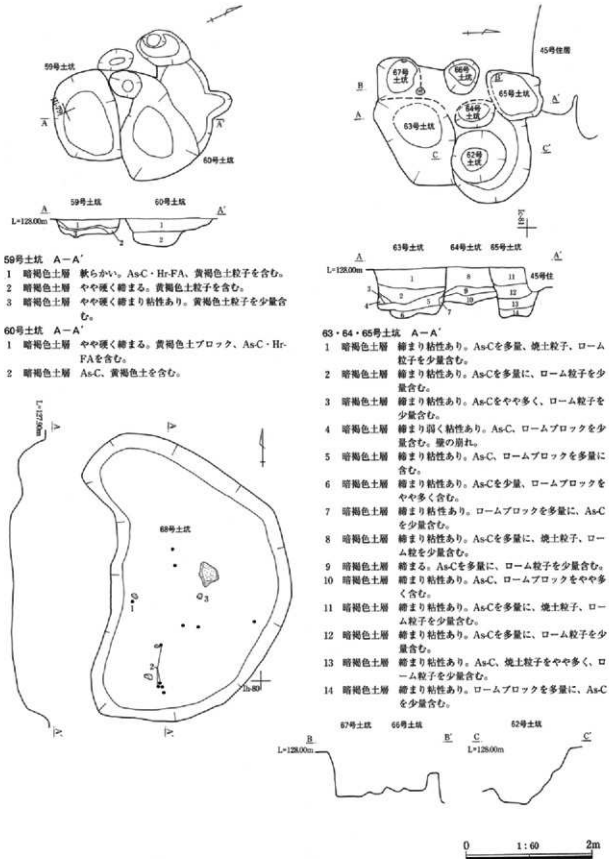
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FAを多量に、炭化物、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FAを少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを少量含む。

58号土坑 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、AsC・Hr-FAを含む。

第60図 55～58号土坑

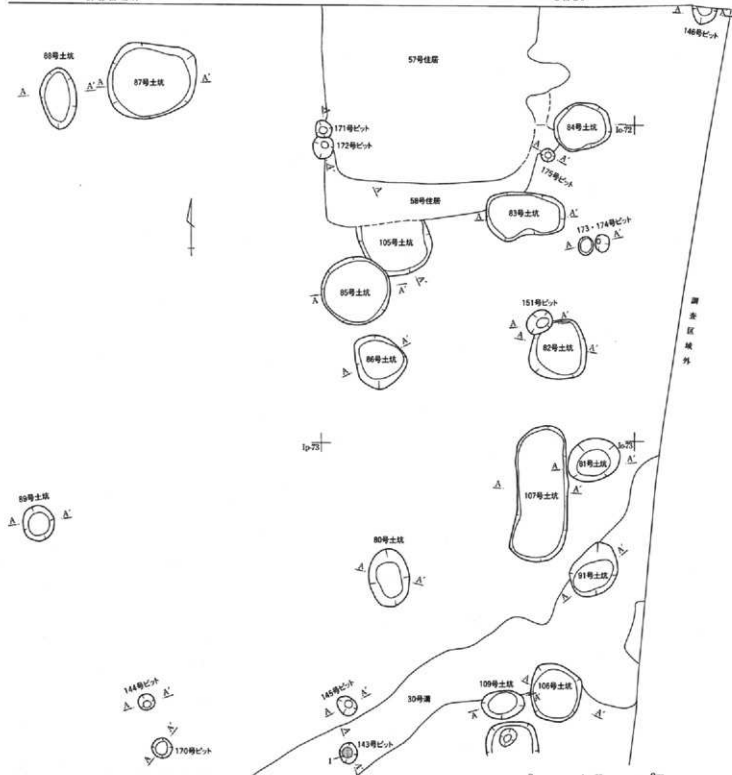
0 1:60 2m



第61図 59・60・62~68号土坑

第1章 引開六石遺跡

- 69号土坑 A-A' L=128.60m  
 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。  
 調査区域外
- 70号土坑 L=128.70m  
 70・72号土坑 A-A'  
 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。  
 2 暗褐色土層 軟らかい。As-B、黄褐色土ブロックを含む。
- 71号土坑 L=128.60m  
 2
- 72号土坑 L=128.60m  
 2
- 71号土坑 A-A'  
 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-B、炭化物、As-C・Hr-FAを含む。  
 2 暗褐色土層 軟らかい。As-B、黄褐色土ブロックを含む。



第62図 土坑・ピット群 (4)



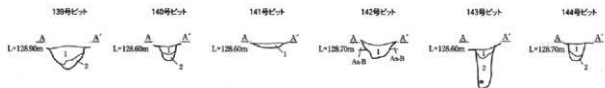


第1章 引開六石遺跡



第64図 土坑・ピット群(4・5)-断面図(1)

0 1:60 1m



139・141・142号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-B、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。

140・143・144号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-B、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。



145号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-B、炭化物粒子を含む。

156号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを含む。

154号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。

155号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。



157・158・160～162号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。As-Bを含む。

159号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。



163～165・167・169・170号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。As-Bを含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬い。



171・173～176・179号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。

172号ピット A-A'

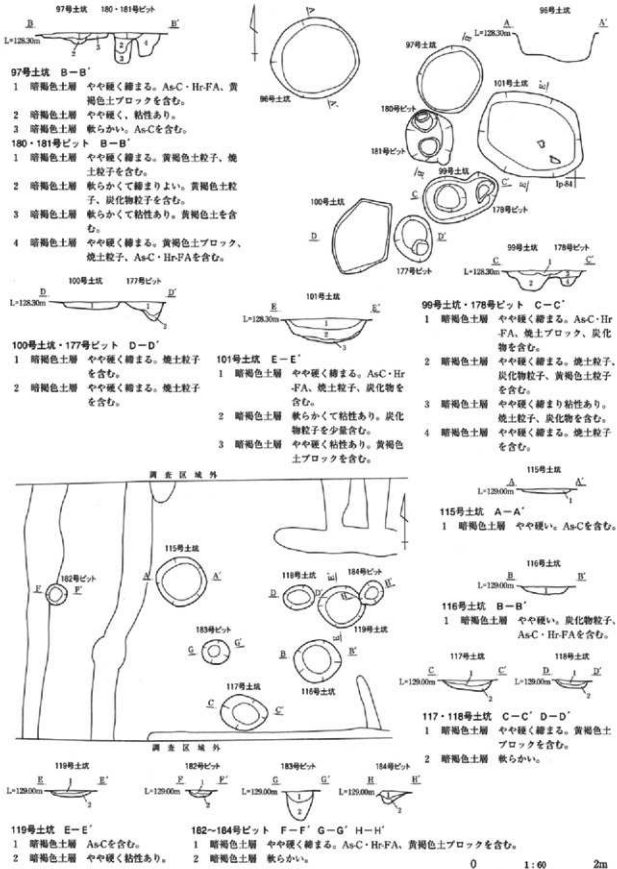
- ① 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、As-Bを含む。

0 1:60 1m

第65図 土坑・ピット群(4・5)-断面図(2)

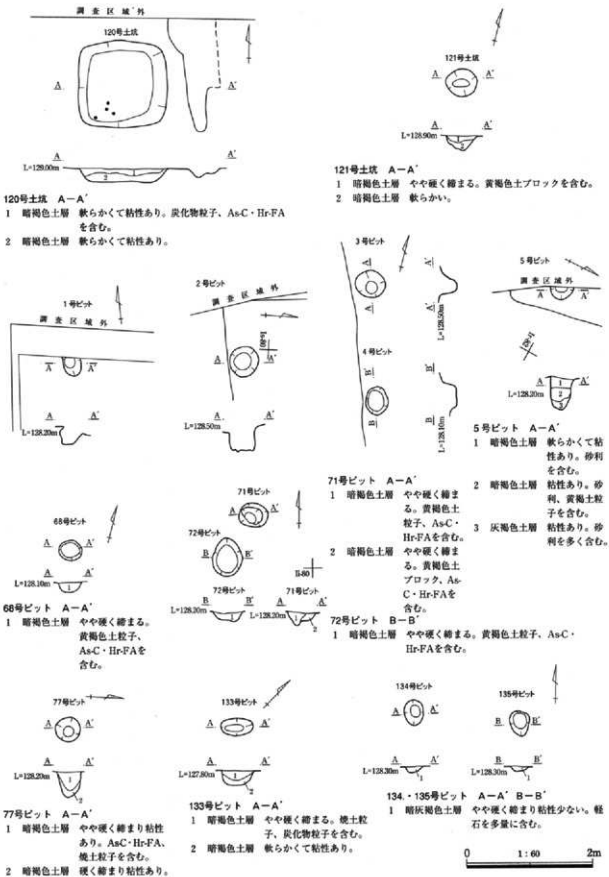


## (3) 土坑・ピット



第67図 96・97・99~101・115~119号土坑、177・178・180~184号ピット

第1章 引開六石遺跡



第68図 120-121号土坑、1~5・68-71-72-77-133~135号ピット



## (4) 溝 ①新70-75②第42-46區、PL.49-54・74-75)

溝36条を検出した。

1号溝は、幅1.2-2.2m、深さ13-62cmで、長さ17.6mにわたって検出した。ほぼ南北走向で、15号住居跡(8世紀後半)を横切っている。

2号溝は、幅0.3-0.5m、深さ18cmで、長さ16.9mにわたって検出した。1号溝に繋がる。10・18・23号住居跡を横切っている。

3号溝は、ほぼ東西走向に約53m、南北走向に約35mを検出した。幅6.4-17.5m、深さ0.6-1.4mを測る。西側部分に凹凸がある。

4・5号溝は、ほぼ東西走向である。3号溝によって横切られている。覆土から須恵器の坏や碗が出土している。いずれも9世紀代の遺物である。

6号溝は、幅0.25-0.6m、深さ18cmで、長さ6.2mにわたって検出した。東西走向である。4号住居跡よりも新しい。

7号溝は、幅0.2-0.55m、深さ21cmで、長さ6.1mにわたって検出した。14号住居跡よりも新しい。

8号溝は、幅2.8-3.4m、深さ14-30cmで、長さ6.5mにわたって検出した。3号溝に横切られている。

9号溝は、幅0.4-0.7m、深さ27cmで、長さ5.3mにわたって検出した。3号溝に横切られている。

10号溝は、幅0.8-2.58m、深さ54cmで、長さ17.2mにわたって検

出した。北西から南東走向である。

11号溝は、幅0.85-2.7m、深さ9-35cmで、長さ50.1mにわたって検出した。北西から南東へ、そして南北走向である。10号溝と交わる。

12号溝は、幅0.5m、深さ12cmで、長さ7.4mにわたって検出した。10号溝と交わる。

13号溝は、幅3.2-3.95m、深さ1.93mで、長さ37mにわたって検出した。東西・南北走向で、引間松原遺跡の2号溝と同一遺構である。10・11号溝を横切っている。

14号溝は、幅0.4-1.65m、深さ10cmで、長さ14.8mにわたって検出した。南北走向である。

15号溝は、幅1.8m、深さ30cmで、長さ16.7mにわたって検出した。南北走向である。11号溝から分岐する。

16号溝は、幅1.05-1.85m、深さ18cmで、長さ3.8mを検出した。

17号溝は、幅0.5m、深さ7cmで、長さ25.2mにわたって検出した。南西から北東走向である。

18号溝は、部分的な検出にとどまった。覆土からガラス瓶が出土している。

19号溝は、幅0.5m、深さ13cmで、長さ8.8mにわたって検出した。南北走向である。

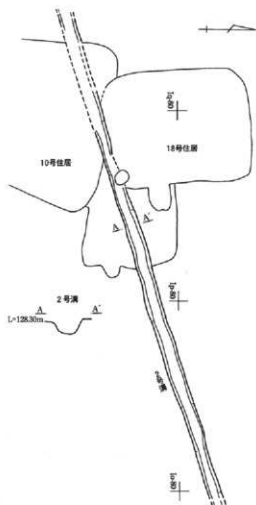
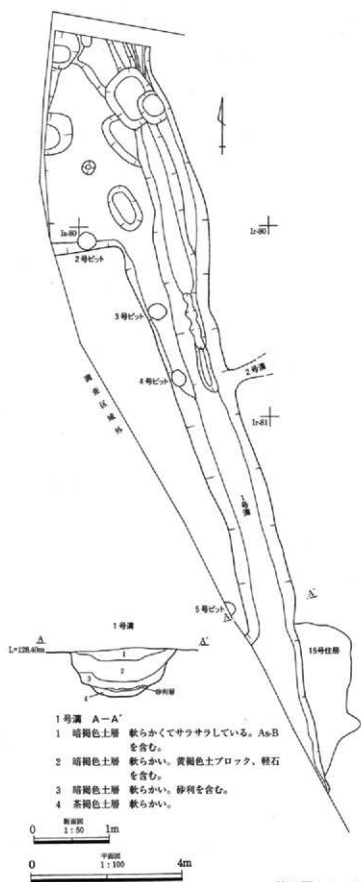
20号溝は、幅0.8-1.5m、深さ50cmで、長さ77.3mにわたって検出した。ほぼ東西走向である。3号溝よりも新しい。

(71ページへ)

## 溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	lq-82-Ir-79	17.5×1.2-2.2×0.13-0.62	土師器片・須恵器片・灰輪・陶器・ガラス・瓦		第70図	第42図	PL.49, 74
2	ln-79-Ir-80	16.9×0.3-0.5×0.18	土師器片・須恵器片・瓦・石器	1溝と合流	70		
3	lb-76-Ir-79 lq-71-Ir-76	8.8×6.4-17.5×0.6-1.42	土師器片・須恵器片・灰輪・瓦・石器・軟質銅		71	43, 44	49, 74
4	lk-78-Ir-78	18.0×0.6-1.1×0.32	土師器片・須恵器片・灰輪・石器	並列して流れる。	72	44, 45	50, 74
5	lk-78-Ir-78	19.3×0.5-0.7×0.24	土師器片・須恵器片・灰輪・瓦・石器		72	45	50, 74
6	ll-81-Ir-81	6.2×0.25-0.6×0.18	土師器片・須恵器片		70		
7	ll-82-Ir-81	6.1×0.2-0.55×0.21	土師器片・須恵器片		70		
8	lo-lp-77-Ir-lq-76	6.5×2.8-3.4×0.14-0.3	土師器片・須恵器片・灰輪・瓦		72	45	50, 75
9	lo-76-Ir-76	5.3×0.4-0.7×0.27		3溝内	73		90
10	llq-79-Ir-lr-76	17.2×0.8-2.55×0.54	土師器片・須恵器片		71		51
11	llp-83-Ir-76-77	50.1×0.85-2.7×0.09-0.35	土師器片・須恵器片・瓦		71		51, 75
12	llr-76-Ir-77	7.4×0.5×0.12	土師器片・須恵器片	10溝に合流	71		51
13	llr-88-Ir-lr-77	37×3.2-3.95×1.93 llr-78-lr-79で田圃内に繋がるとも	土師器片・須恵器片・石器	引間松原2号溝と同一	71		52
14	llr-80-Ir-83	14.8×0.4-1.65×0.1			71		51
15	llr-79-Ir-lp-Hg-83	16.7×1.0-1.8×0.3		11溝から分岐	71		50
16	llr-79	3.8×1.05-1.85×0.18	土師器片・須恵器片・石器		71		51
17	llq-79-Ir-82	25.2×0.6×0.07	土師器片	11溝に合流	71		51
18	llr-81-Ir-82	2.1×0.4-0.5×0.21	土師器片・陶器		71	45	51, 75
19	llr-81-Ir-83	8.8×0.5×0.13	土師器片・須恵器片		71		53
20	llr-lc-76-Ir-78	77.3×0.8-1.5×0.5	土師器片・須恵器片・灰輪・瓦・その他	3溝よりも新しい	71	46	75
21	llr-76-Ir-76	11.3×0.5-0.8×0.56	須恵器片		71		
22	llr-80-Ir-81	7.9×0.5-0.6×0.27	土師器片・須恵器片・陶器		71		53
23	llr-79-Ir-83	19.4×0.3-1.1×0.11	土師器片・須恵器片・瓦・軟質銅		71	46	53, 75
24	欠番						
25	llr-78-Ir-78	30×0.4-0.8×0.1			73		
26	llr-83-Ir-83	8.5×0.25-0.4×0.18	土師器片・須恵器片・灰輪・瓦		73		53
27	llr-81-Ir-82	4.3×0.6-0.8×0.41	土師器片・須恵器片		73		54
28	ln-73-Ir-73	10.8×0.35×0.13	土師器片・須恵器片・石器		74		
29	ln-75-Ir-75	3.9×0.15-0.25×0.15	土師器片・須恵器片		74		
30	llr-73-Ir-75	15.0×0.7-1.45×0.04	土師器片・須恵器片・瓦・石器		74	46	75
31	llr-76-Ir-77	16.9×0.5-0.9×0.18	土師器片・須恵器片・瓦		75		
32	llr-77-Ir-77	17.3×0.9-1.28×0.16-0.51	土師器片・須恵器片		75		54
33	llr-72-Ir-72	9.3×0.2-0.45×0.05-0.18	土師器片・須恵器片		75		
34	llr-74-Ir-75	11.3×0.35-0.5×0.07	土師器片・須恵器片・瓦		74	46	75
47	llr-78-Ir-78	8.75×0.33-1.1×0.11		榑高江久保0区47溝と同一	71		54
48	llr-78-Ir-77-78	10.5×1.1-1.9×0.42	土師器片・須恵器片		71		54
49	llr-79-Ir-78-79	6.9×0.6-0.9×0.16	土師器片・須恵器片・石器		71		54





第70図 1・2・6・7号溝

第1章 引間六石遺跡

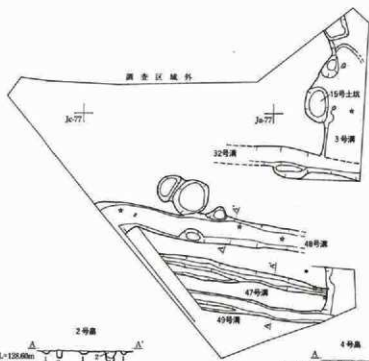


遺2 A-A'

- 1 褐色土層 硬く締まる。白色土粒子を含む。
- 2 褐色土層 非常に硬く締まる。白色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まる。白色土粒子、黒褐色土ブロックを含む。

遺2 B-B'

- 1 褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 褐色土層 非常に硬く締まる。As-C・Hr-FA、黒褐色土粒子を含む。
- 3 黒褐色土層 非常に硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。



遺2 A-A'

- 1 灰褐色土層 サラサラしている。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。

遺4 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。



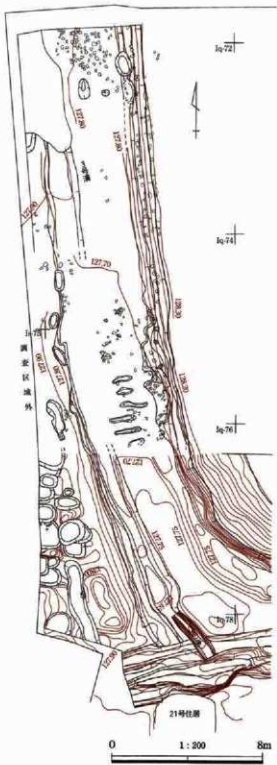
遺3 A-A'

- 1 黒褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。



遺5 A-A'

- 1 灰褐色土層 砂状土。



遺6 A-A' B-B' C-C'

- 1 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 締まり粘性あり。1層と似るが、As-Cが多い。
- 3 暗褐色土層 締まり粘性あり。As-Cを少量含む。

第71図 遺構群 (1)

- 3号溝 A-A' (継?)
- 暗褐色土層 やや締まる。灰土粒子、炭化物を含む。
  - 暗褐色土層 やや締まる。AsC・Hr-FA、赤色土粒子を含む。
  - 暗褐色土層 2層とAsBの混土。
- 3号溝 A-A'
- 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA粒、灰白色土粒子を多量に、炭化物、赤色土粒子を含む。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。1層よりAsC・Hr-FAが少なく、炭化物を含む。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。2層よりAsC・Hr-FAが少なく、炭化物を含む。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、砂利を少量含む。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。1層よりAsC・Hr-FAを少量、炭化物、灰白色土、橙色土粒子を含む。

- 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、炭化物を含む。
- 暗褐色土層 やや締まる。頗かな砂を含む。
- 暗褐色土層 やや締まる。砂状土。AsC・Hr-FAを多量に含む。
- 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを少量含む。
- 暗褐色土層 軟らかい。白色土粒子、赤色土粒子を含む。
- 暗褐色土層 粘りあり。灰白色粘土粒子を含む。
- 暗褐色土層 非常に硬く締まる。
- 暗褐色土層 硬く締まる。18層より粘りあり。
- 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。

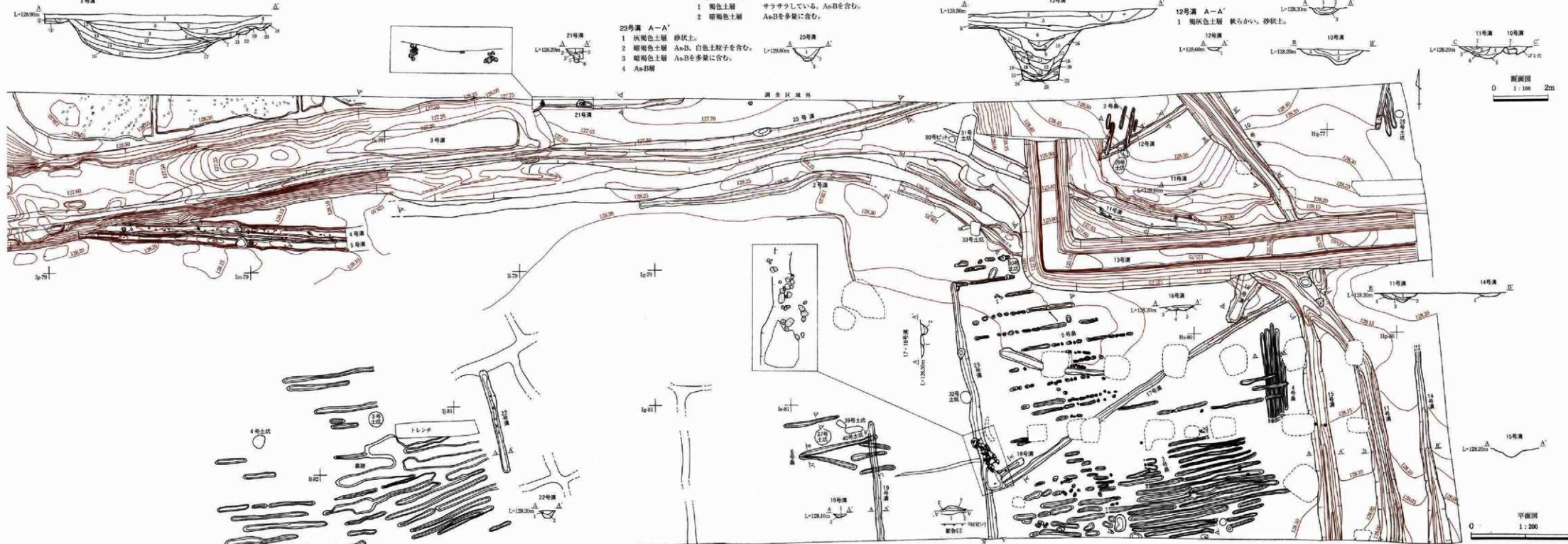
- 17・18号溝 A-A'
- 灰褐色土層 硬く締まる。砂状土。AsC・Hr-FAを含む。
  - 暗褐色土層 やや硬く締まる。白色土粒子を含む。
- 19号溝 A-A'
- 暗褐色土層 サラサラしている。AsBを多く含む。
  - 暗褐色土層 軟らかい。白色土粒子、赤色土粒子を含む。
- 21号溝 A-A'
- 暗褐色粘質土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを含む。
  - 暗褐色粘質土層 硬く締まる。黄色土粒子を含む。
  - 暗褐色粘質土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
  - 暗褐色粘質土層 粘り土。白色粘土粒子を含む。

- 13号溝 A-A'
- 褐色土層 硬く締まる。砂状土。砂利、白色土粒子、炭化物を含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。砂状土。白色土粒子を含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。砂状土。細かな白色土粒子を含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。3層より細かな砂状土。
  - 褐色土層 砂利層。
  - 褐色土層 砂利、小石を含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。砂利と黄褐色土粒子を多く含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。砂状土。
  - 褐色土層 硬く締まる。白色土粒子、小石と黄褐色土ブロックを少量含む。
- 20号溝 A-A'
- 暗褐色砂質土層 硬く締まる。白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
  - 暗褐色粘質土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に含む。
  - 暗褐色土層 白色粘土ブロックを含む。

- 11 黒褐色土層 やや軟らかくて粘りあり。黄褐色土粒子を含む。
- 12 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を多く含む。
- 13 暗褐色土層 軟らかい。砂状土。黄褐色土粒子を少量含む。
- 14 暗褐色土層 硬く締まる。白色土粒子を含む。
- 15 暗褐色土層 粘り土。黄褐色土粒子を多く含む。
- 16 暗褐色土層 粘り土。明黄褐色土ブロックを含む。
- 17 明黄褐色土層 砂状土(硬土の層)。
- 18 暗褐色土層 粘り土。
- 19 暗褐色土層 軟らかい。砂利、黄褐色土粒子を含む。
- 21 黄褐色土層 黄褐色土を含む。
- 22 暗褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子を含む。
- 23 暗褐色土層 砂利層。流れ込み。
- 24 黄褐色土層 砂状土。
- 25 暗褐色土層 軟らかくて粘りあり。

- 10号溝 A-A'
- 黄褐色土層 ボソボソして軟らかい。黄色土ブロックを含む。
  - 黄褐色土層 黄褐色土ブロックからなる層。
  - 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを少量含む。
- 10号溝 B-B'
- 褐色砂質土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、白色土粒子を含む。
  - 褐色土層 硬く締まる。白色土粒子、赤色土粒子を含む。
  - 褐色土層 やや軟らかい。白色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 10・11号溝 C-C'
- 褐色土層 軟らかい。砂利、黄褐色土粒子を含む。
  - 褐色土層 軟らかい。1層と2層。砂利を多く含む。
  - 褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子、砂利を含む。
  - 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、白色土粒子を含む。
  - 褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子を多く含む。
  - 褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子と砂利の混土。
  - 褐色土層 白色土粒子を含む。

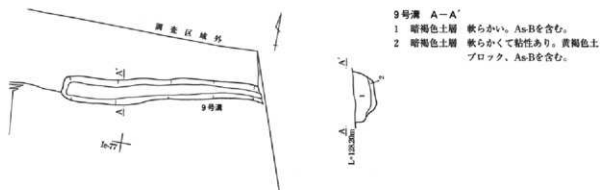
- 11号溝 A-A'
- 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 11号溝 B-B'
- 褐色土層 軟らかい。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
  - 褐色土層 砂状土。砂利を含む。
  - 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を多く含む。
  - 褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子を少量含む。
- 14号溝 B-B'
- 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 16号溝 A-A'
- 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。砂利層。
  - 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、白色土粒子を含む。
  - 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土と3層の混土。





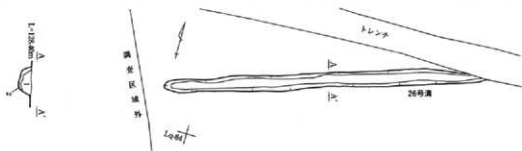


第1章 引間六石遺跡



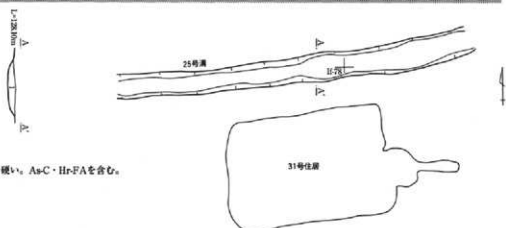
9号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック。As-Bを含む。



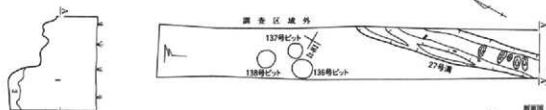
26号溝 A-A'

- 1 暗灰褐色土層 縦く締まり粘性少ない。軽石を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや縦く締まり粘性少ない。軽石を多量に含む。



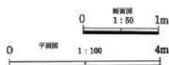
25号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FAを含む。



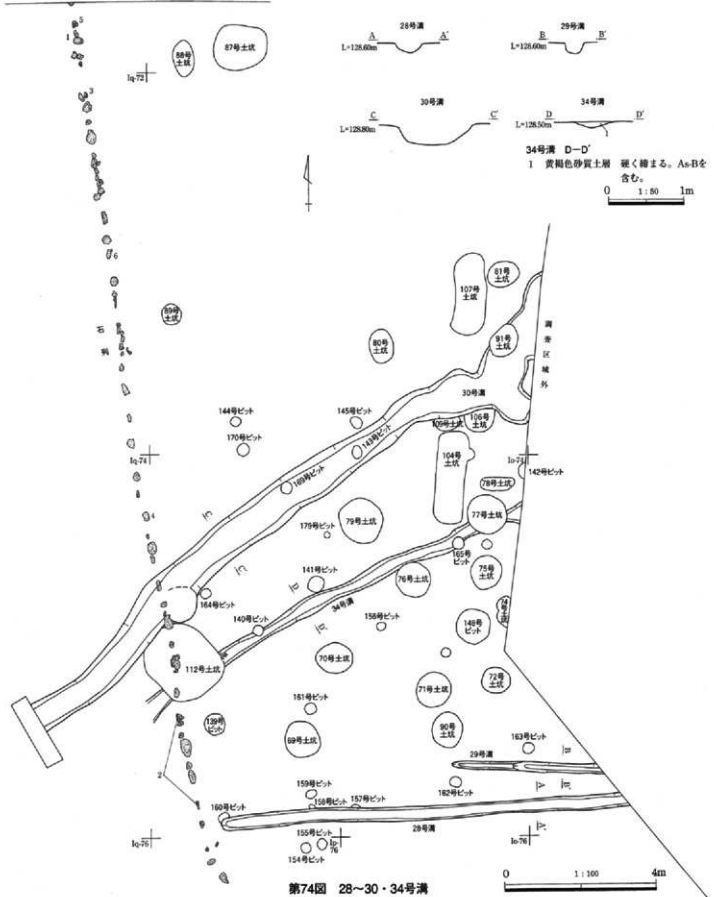
27号溝 A-A'

- 1 暗灰褐色土層 軟らかくて締まり少ない。軽石を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや縦く締まり粘性が高い。軽石を少量含む。

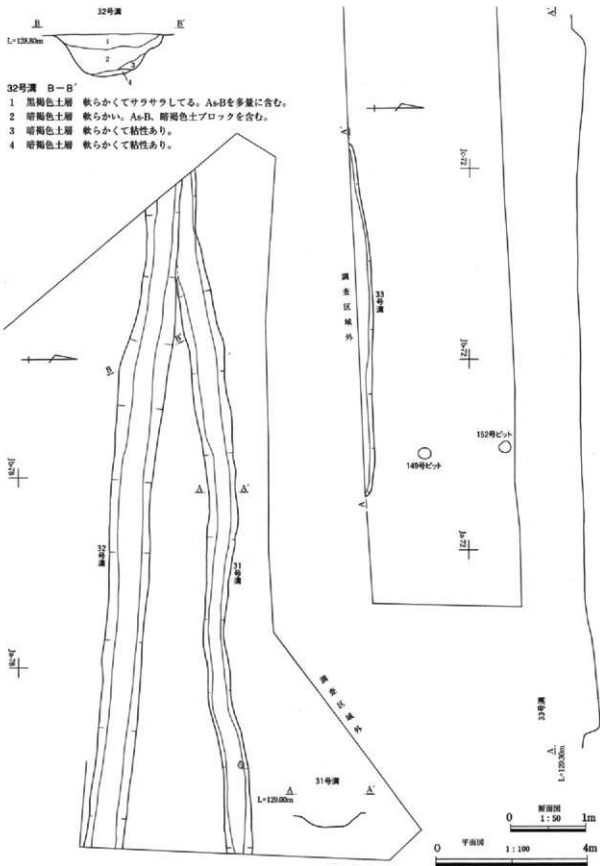


第73図 9・25～27号溝

調査区域外



第1章 引開六石遺跡



第75図 31~33号溝



## 第2章

### 引間松葉遺跡



## (1) 竪穴住居跡

### 1号住居跡 (①第76図②第50図、PL78-146)

**位置** Fi-72・73グリッドにかけて検出した。27号住居跡の南東約15mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.2m、短辺約2.6～3mの方形を呈する。

**方位** N-110°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は2層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約5～14cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約9.9㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 南東隅に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向100cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面南西の隅からビット1基が検出された。長径48cm、短径46cm、深さ58cmである。貯蔵穴になるものであろうか。竈

**遺物** 竈周辺から須恵器の埴、瓦が出土している。瓦は支脚として使用されたものであろうか。

**時期** 10世紀初頭(前半)。

**備考** 216号土坑と重複している。

### 2号住居跡 (①第77図②第50～56図、PL79-146～148)

**位置** Fi-69グリッドにおいて検出した。4号住居跡の北西約5mの所に位置している。24号溝によって壊されている。

**形状** 現状では長辺約2.9m、短辺約2.1mを測る。完掘できなかった。

**方位** N-89°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約60cmで床面に達する。東壁と南壁の一部検出にとどまった。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約5.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向132cm、両袖方向60cmである。

**柱穴** 検出できなかった。床面上にみられる土坑やビットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の南東隅から検出した。長径60cm、短径56cm、深さ20cmを測る。

**遺物** 竈や貯蔵穴周辺から瓦や羽釜、須恵器の埴や埴が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 当住居跡は24号溝によって壊され、さらに調査区域外に延びているために完掘できなかった。

### 3号住居跡 (①第78図②第56図、PL80-148)

**位置** Fi-72グリッドにおいて検出した。26号住居跡の南東約4mの所に位置している。

**形状** 現状で長辺2.9m、短辺2.5mを呈する。24号溝によって壊されている。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20～30cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸が認められる。現状での面積は約6.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁のやや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向64cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。床面上にみられる土坑は、長径78cm、短径62cm、深さ14cmである。

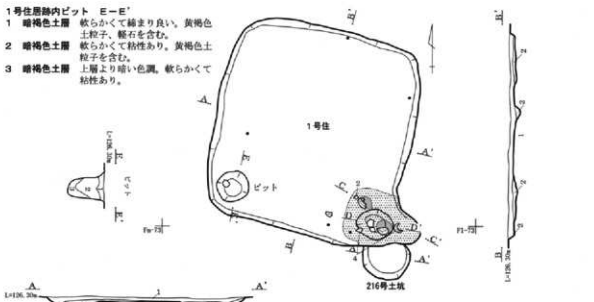
**遺物** 床面から遺物の出土は、ほとんどなかった。

**時期** 10世紀。

**備考** 当住居跡は24号溝と217号土坑によって壊されている。

1号住居跡内ピット E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い、黄褐色土粒子、軽石を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 上層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。



1号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い、軽石、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黒色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

216号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかい。



1号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い、軽石、黄褐色土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土、灰白色土ブロック、灰を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物、黄褐色土粒子を含む。
- 4 灰褐色土層 軟らかくて締まり良い、粘性あり。焼土粒子、黄褐色土ブロック、灰を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。
- 6 赤褐色土層 焼土を多量に含む。
- 7 黒色土層 軟らかい。焼土と灰を含む。
- 8 褐色土層 軟らかい。焼土を含む。

第76図 1号住居跡

4号住居跡 (①第79図②第56・57図、PL.90-148-149)

位置 Fh・Fi-70・71グリッドにかけて検出した。

5号住居跡の西約1.5mの所に位置している。

形状 長辺約3.6m、短辺約3.4mの方形を呈する。

方位 N-87°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約36~46cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

床面 はほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁のやや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向66cmである。

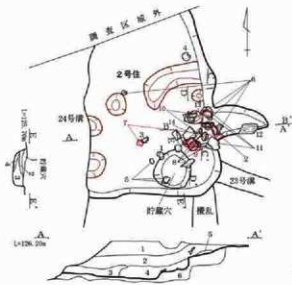
柱穴 検出できなかった。掘り方調査時にピット

5個を検出した。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径52cm、短径48cm、深さ23cmである。

遺物 竈から羽釜 (②第56図7・8)、貯蔵穴から須恵器の坏 (②第56図3)、土師器の甕 (②第56図6) が出土している。

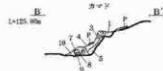
時期 10世紀前半。



## 2号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 上層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロック、炭化物を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。灰白色土ブロックを含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを多量に含む。

第77図 2号住居跡



## 2号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子を多量に、灰、炭を含む。
- 2 暗褐色土層 締まり粘性あり。ロームブロックを主体とする層。天井部の崩れか。灰、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 締まり粘性少しあり。灰を多量に含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかい。焼土、炭化物、黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、灰を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 7 灰層
- 8 灰白色土ブロック
- 9 灰層
- 10 黄褐色土ブロック



## 2号住居跡貯蔵穴 E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、灰を含む。
- 2 黒色土層 軟らかい。灰を多量に、黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。



## 217号土坑 E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

第78図 3号住居跡

## 3号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。軽石、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。黒色土、黄褐色土粒子を含む。
- 5 灰層
- 6 赤褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、黒色土、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。



## 3号住居跡カマド C-C'

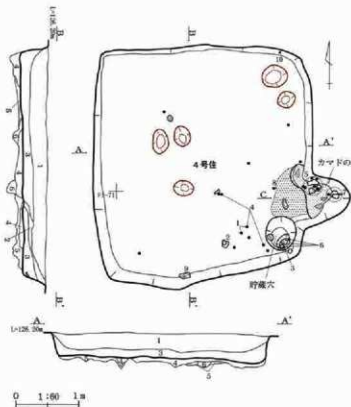
- 1 褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、灰白色土ブロックを含む。



## 3号住居跡内土坑 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黒色土、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。





4号住居跡 A-A' B-B'

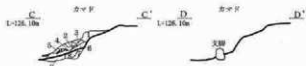
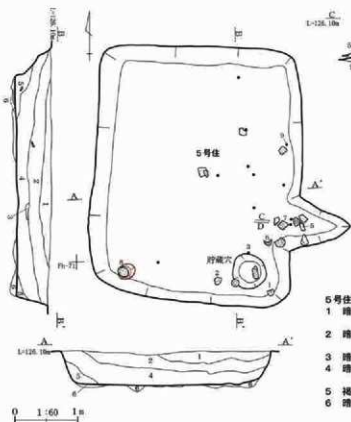
- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。焼土粒子を少量含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を多量に含む。



4号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰白色土を含む。
- 3 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、焼土粒子を含む。
- 4 褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 5 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを含む。
- 6 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を含む。
- 7 灰層
- 8 焼土層
- 9 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土を含む。
- 10 灰層

第79図 4号住居跡



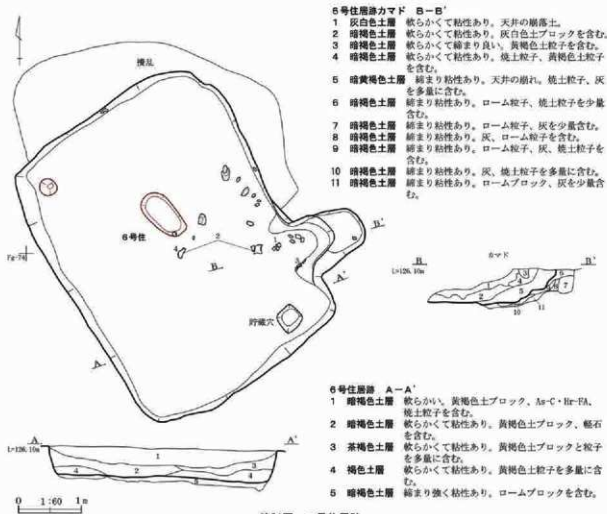
5号住居跡カマド C-C'

- 1 茶褐色土層 軟らかい。焼土を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
- 3 褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを含む。
- 4 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰白色土ブロックを含む。
- 6 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に含む。
- 7 黒褐色土層 締まり粘性少しあり。ローム粒子、灰を少量含む。
- 8 黒褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子、灰、灰を含む。
- 9 黒褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子、灰、灰、ロームブロックを含む。

5号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色砂質土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黒色土を含む。
- 5 褐色土層 軟らかくて粘性あり。ロームブロックを多量に、焼土粒子、炭化物を少量含む。

第80図 5号住居跡



第81図 6号住居跡

## 5号住居跡 (①第80図②第57-58図、PL.81-149)

位置 Fg-70・71グリッドにかけて検出した。4号住居跡の東約1.5mの所に位置している。

形状 長辺4.1m、短辺約3.2mの方形を呈する。

方位 N-97°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約44~56cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約13.2㎡。

周溝 検出できなかった。

竪穴 東壁中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は竪道方向130cm、両袖方向74cmである。袖に瓦、支脚に石を使用している。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径56cm、短径52cm、深さ16cmである。

遺物 竪と覆土中から遺物が出土している。鎌などの鉄製品(②第57図9~11)はいずれも覆土からの出土である。

時期 10世紀。

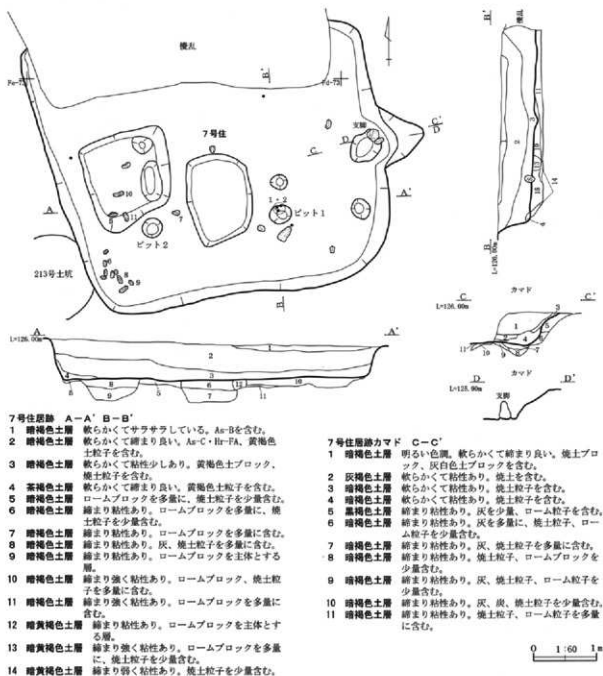
## 6号住居跡 (①第81図②第59-59図、PL.82-149)

位置 Fe-73、Ff-73・74、Fg-73グリッドにかけて検出した。8号住居跡の西約3.5mの所に位置している。

形状 長辺約4.6m、短辺約3.6mの方形を呈する。

方位 N-65°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そ



第32図 7号住居跡

ここに堆積した覆土は5層に分かれた

**壁 高** 住居跡確認面より約45~50cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床 面** ほぼ平坦である。面積は約17.1㎡。

**周 溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向130cm、両袖方向70cmである。

**柱 穴** 検出できなかった。

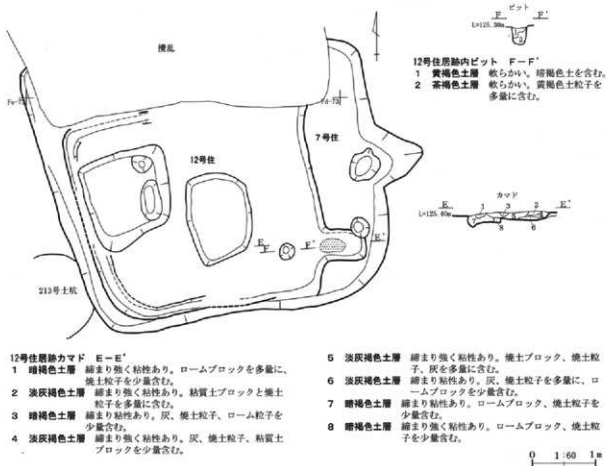
**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出したピットが該当するものであろうか。一辺約36cm、深さ約16cmを測る。

**遺 物** 竈の袖として土師器の甕(②第59図3)が、また竈周辺からも土師器の坏と甕が出土している。

**時 期** 7世紀後半。



## (1) 竪穴住居跡



## 12号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 締まり強く粘性あり。ロームブロックを多量に、焼土粒子を少量含む。
- 2 淡灰褐色土層 締まり強く粘性あり。粘質土ブロックと焼土粒子を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 締まり粘性あり。灰、焼土粒子、ローム粒子を少量含む。
- 4 淡灰褐色土層 締まり強く粘性あり。灰、焼土粒子、粘質土ブロックを少量含む。

- 5 淡灰褐色土層 締まり強く粘性あり。焼土ブロック、焼土粒子、灰を多量に含む。
- 6 淡灰褐色土層 締まり粘性あり。灰、焼土粒子を多量に、ロームブロックを少量含む。
- 7 暗褐色土層 締まり粘性あり。ロームブロック、焼土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 締まり強く粘性あり。ロームブロック、焼土粒子を少量含む。

第83図 7・12号住居跡

## 7号住居跡 (①第82・83図②第59-60図、PL.83-150)

位置 Fc・Fd-72・73グリッドにかけて検出した。

12号住居跡と重複している。

形状 長辺約5.3m、短辺約4.4mの方形を呈する。

方位 N-83°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7(1~5・10・11)層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約46~64cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。面積は約17.5㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の一部は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向82cmである。支脚が残っていた。

柱穴 ビット2個を検出した。ビット1は長径35

cm、短径28cm、深さ40cm。ビット2は長径33cm、短径30cm、深さ37cmである。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出したビットが該当するのであろうか。長径32cm、短径28cm、深さ21cmである。

遺物 床面の南西隅からも福み石が、覆土から土師器の坏が出土している。

時期 8世紀前半。

備考 住居跡の北端は攪乱によって壊されている。

## 12号住居跡 (①第83図、PL.87)

位置 Fc・Fd-73グリッドにかけて検出した。7号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.5m、短辺約3.4mの方形を呈する。

方位 N-83°-E

覆土 7号住居跡調査の過程で検出されたため

に、詳細は不明である。

**壁高** 7号住居跡の床面より下約3cmで床面になる。

**床面** ほほ平坦である。

**周溝** 南壁・西壁・北壁の一部で検出できた。幅19~27cm、深さ2cmである。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向35cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** ほとんど出土していない。

**時期** 不明。

**8号住居跡** (①第84図②第60~63図、PL.84・150-151)

**位置** Fd・Fe-74グリッドにかけて検出した。7号住居跡の南西約1.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.9m、短辺約3.8mの方形を呈する。

**方位** N-92°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約40cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。床面中央部にかけて硬化面が認められた。面積は約14.4㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁のほほ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向70cmである。支脚が残っていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径32cm、短径30cm、深さ41cmである。また、南西の隅から土坑を検出している。長径54cm、短径51cm、深さ26cmである。

**遺物** 竈周辺から瓦、東壁下から須恵器の坏が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**9号住居跡** (①第85図②第63図、PL.85・151)

**位置** Fb・Fc-73グリッドにかけて検出した。7号住居跡の東約2.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.2m、短辺約3.8mの方形を呈する。

**方位** 推定N-136°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約26~38cmで床面。

**床面** ほほ平坦である。面積は約14.6㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 床面の東南隅からその痕跡を検出することができた。竈本体は攪乱によってこわされてしまったものと思われる。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の南西隅から土坑を検出した。長径60cm、短径58cm、深さ10cmである。貯蔵穴に該当するものであろう。

**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

**時期** 不明。

**10号住居跡** (①第86図②第63図、PL.86・151)

**位置** Fb-71グリッドにおいて検出した。13号住居跡の南西約3.6mの所に位置している。

**形状** 長辺約2.5m、短辺約2.3mの方形を呈する。

**方位** N-123°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。床面からほほ垂直に立ち上がる。

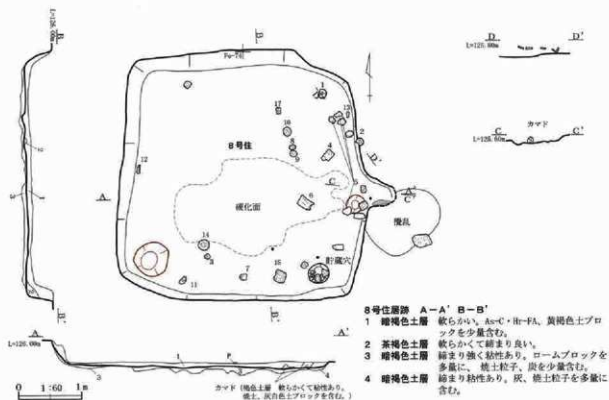
**床面** ほほ平坦である。面積は約6.4㎡。

**周溝** 検出できなかった。

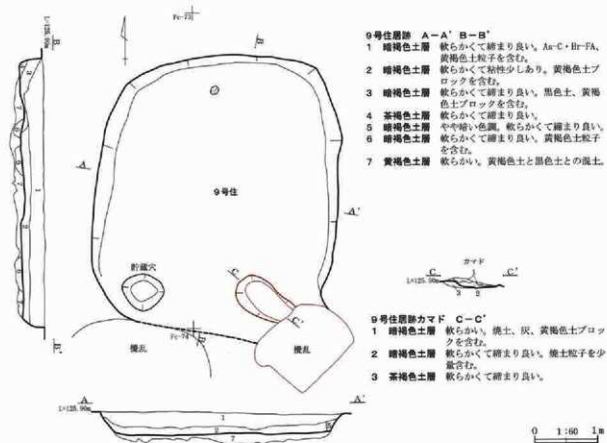
**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向110cmである。218号土坑によって一部を壊されている。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の南西隅から検出した。長径54cm、短径52cm、深さ22cmである。



第84図 8号住居跡



第85図 9号住居跡



10号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい、軽石、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 上層より暗い色調。軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 締まり強く粘性中あり。ロームブロックを多量に、灰、炭を少量含む。



10号住居跡カマド B-B'

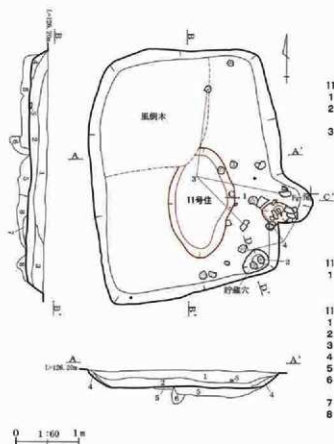
- 1 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、灰を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 3 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子を少量含む。
- 4 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 暗褐色土層 締まり強く粘性あり。ロームブロックを多量に、灰、炭化物を少量含む。

10号住居跡内土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりも明るい色調。軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。



第86図 10号住居跡



11号住居跡カマド C-C'

- 1 褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土、灰白色土を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 3 褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。



11号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 締まり粘性あり。ロームブロック、焼土粒子を少量含む。

11号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい、軽石、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロック、黒色土を含む。
- 4 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 5 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。
- 6 黒色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を少量含む。
- 7 黄褐色土層 やや硬く締まる。暗褐色土と黄褐色土の混土。
- 8 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロックを含む。

第87図 11号住居跡

**遺物** 竈から須恵器の埴(②第63図1)、土坑からは石が出土している。

**時期** 9世紀前半。

#### 11号住居跡 (①第87図②第63-64図、PL.87-151)

**位置** Fg・75・76グリッドにかけて検出した。6号住居跡の南西約6mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.6~3.9m、短辺約2.7mの方形を呈する。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約25cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約11㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向110cm、両袖方向75cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径42cm、短径32cm、深さ18cmである。

**遺物** 竈や周辺から羽釜(②第64図3・4)、貯蔵穴から須恵器の埴(②第63図2)が出土している。

**時期** 10世紀前半。

#### 13号住居跡 (①第88図②第64-65図、PL.88-151)

**位置** Et・Fa・70・71グリッドにかけて検出した。24号住居跡の南約1mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.1m、短辺約2.7mの方形を呈する。

**方位** N-122°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5(2~6)層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約38cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** はほぼ平坦である。面積は約8.4㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を

掘り込んで造られている。規模は煙道方向70cm、両袖方向60cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の南西隅から土坑を検出した。長径80cm、短径55cm、深さ25cmである。貯蔵穴になるものと思われる。

**遺物** 竈から羽釜(②第65図3)が出土している。

**時期** 10世紀。

#### 14号住居跡 (①第89図②第65-66図、PL.89-152)

**位置** Fc・Fd・67・68グリッドにかけて検出した。15号住居跡の南約1.7mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.6m、短辺約2.9mの方形を呈する。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5(6層を除く)層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約25~40cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** はほぼ平坦である。面積は約11.1㎡。

**周溝** 検出できなかった。

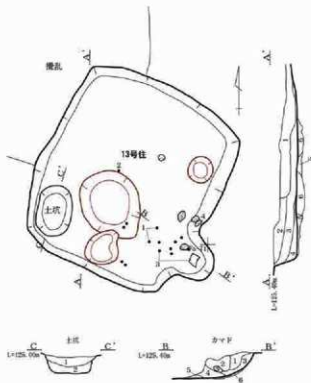
**竈** 南東隅と東壁の南の2カ所から検出した。いずれも燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。竈1の規模は煙道方向72cm、両袖方向30cmである。天井石が残っていた。竈2は煙道方向90cm、両袖方向26cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の南西隅の土坑2は長径86cm、短径60cm、深さ20cmを測る。貯蔵穴になるものであろうか。

**遺物** 竈から瓦や土師器の甕、須恵器の埴が出土している。

**時期** 10世紀後半。



第88図 13号住居跡

13号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。擾乱。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Ib-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。

13号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや薄い色調。硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを少量含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物、灰白色土ブロックを多量に含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。

13号住居跡内土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。

15号住居跡 (第90回調査第66図、PL.90-152)

**位置** Fc-66グリッドにおいて検出した。路線外に延びるために完掘できなかった。

**形状** 現状で一辺約2.6mを確認できる。

**方位** N-17°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は9層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約24~32cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約4.5㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 北東の隅に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られているが、246号土坑によってその一部が壊されている。現状での規模は煙道方向50cm、両袖方向44cmである。袖石が残っていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 須恵器の坏や埴が出土している。

**時期** 9世紀後半。

16号住居跡 (第91回調査第67図、PL.91-152)

**位置** Et・Fa-65グリッドにかけて検出した。15号住居跡の北東約11mの所に位置している。

**形状** 現状で一辺約2.5m。路線外と現道下に延びているために完掘できなかった。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20~30cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約5.4㎡。

**周溝** 検出できなかった。

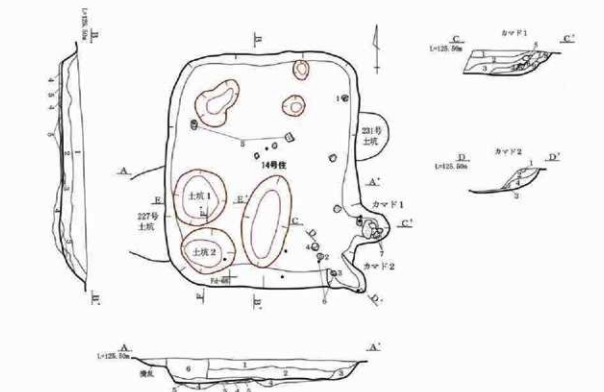
**竈** 検出できなかった。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 覆土中から須恵器の坏や埴が出土している。

**時期** 10世紀後半。



## 14号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 茶褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に。焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 5 茶褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物を少量含む。

## 14号住居跡カマドF1 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 茶褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に。焼土粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土を多量に。灰白色土ブロックを含む。
- 5 黄褐色土層 硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を少量含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかい。焼土、灰を含む。

## 14号住居跡カマドF2 D-D'

- 1 黄褐色土層 硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 やや硬く締まる。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。



## 14号住居跡内土坑1 E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土ブロックを含む。

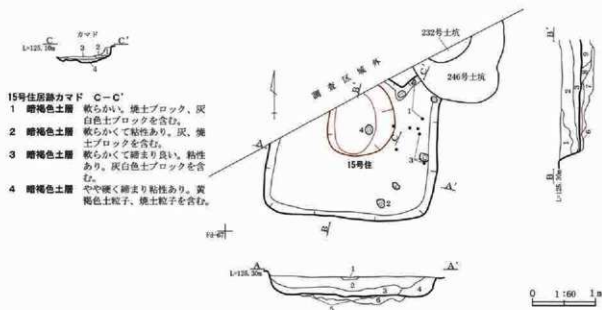
## 14号住居跡内土坑2 F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 茶褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。



第89図 14号住居跡

第2章 引間松葉遺跡



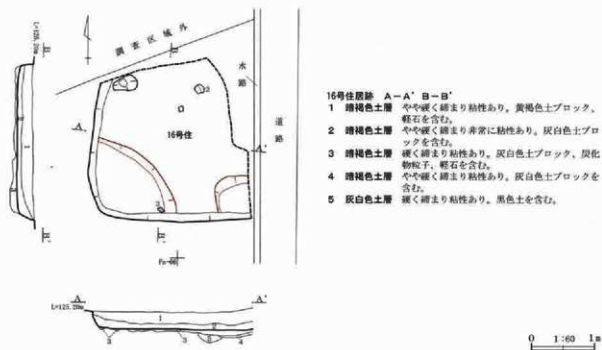
15号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、灰白色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰、焼土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い、粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。

15号住居跡 A-A' B-B'

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に。灰白色土ブロックを含む。</li> <li>2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを少量含む。</li> <li>3 赤褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に含む。</li> <li>4 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。</li> <li>5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6 黄褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。暗褐色土を少量含む。</li> <li>7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを含む。</li> <li>8 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土と暗褐色土との混土。</li> <li>9 暗褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に含む。</li> </ol> |
|---|---|

第90図 15号住居跡



16号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、軽石を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり非常に粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロック、炭化物粒子、軽石を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
- 5 灰白色土層 硬く締まり粘性あり。黒色土を含む。

第91図 16号住居跡



## 17号住居跡 (①第92図②第67-68図、PL92-152)

**位置** Ff-68・69・Fg-69グリッドにかけて検出した。5号住居跡の北北東約2mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.3m、短辺約4.2mの方形を呈する。

**方位** N-77°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4(5・6層はビット覆土)に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約40~58cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約17.9㎡。中央部から土坑を検出した。長径168cm、短径146cm、深さ20cmである。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向180cm、両軸方向70cmである。

**柱穴** ビット4個を検出した。ビット1は長径40cm、短径34cm、深さ22cm、ビット2は長径30cm、短径23cm、深さ43cm、ビット3は長径38cm、短径27cm、深さ43cm、ビット4は長径60cm、短径33cm、深さ24cmである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径44cm、短径40cm、深さ13cmである。

**遺物** 竈から土師器の甕(②第67図2)が出土している。

**時期** 8世紀前半。

## 18号住居跡 (①第93図②第68図、PL93-152)

**位置** Fg-72グリッドにおいて検出した。5号住居跡の南約5mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.8m、短辺約2.7mの方形を呈する

**方位** N-94°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約24~30cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約10.2㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両軸方向80cmである。袖石が残っていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径50cm、短径48cm、深さ15cmである。

**遺物** 竈周辺から須恵器の壺、灰軸陶器の壺、瓦が出土している。

**時期** 10世紀前半。

## 19号住居跡 (①第94図②第69図、PL94-153)

**位置** Fh-73・74グリッドにかけて検出した。18号住居跡の南西約4.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約2.9m、短辺約2.7mの方形を呈する。

**方位** N-173°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居跡は構築され、そこに堆積した覆土5層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約8~14cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約8㎡。

**周溝** 西壁下の一部から検出できた。

**竈** 南壁のほほ中央に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両軸方向50cmである。

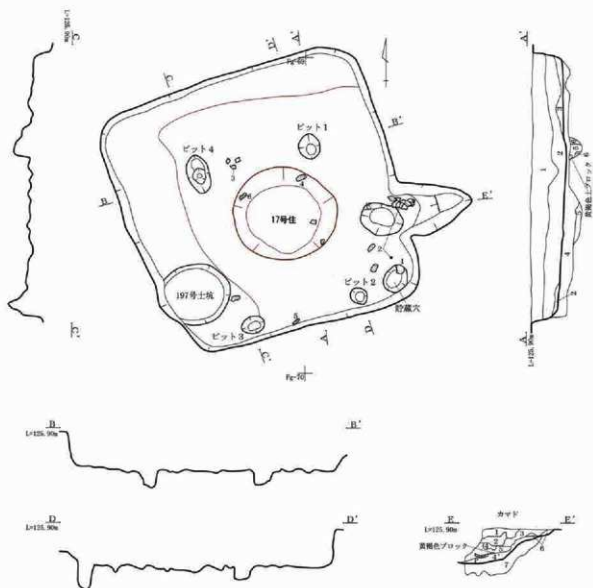
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈周辺から須恵器の坏や壺が出土している。ガラス瓶(②第69図3)は覆土中からの出土である。

**時期** 10世紀後半。

**備考** 当住居跡の竈は南向きである。



17号住居跡 A-A'

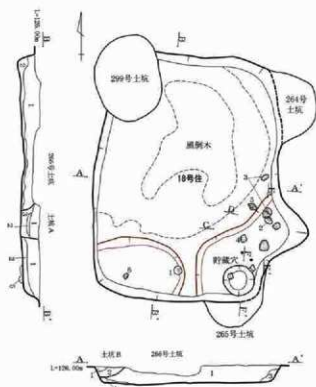
- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土と暗褐色土との混土。
- 6 黄褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土と暗褐色土の混土。

17号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 4 焼土層 黄褐色土ブロックを含む。
- 5 褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。焼土を多量に含む。
- 6 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、黄褐色土ブロック、灰を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土ブロック、黄褐色土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。焼土粒子、黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。

0 1:60 1m

第92図 17号住居跡



## 18号住居跡 A-A' B-B'

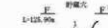
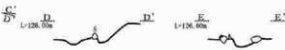
- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 軟らかい。
- 3 黒色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。
- 4 黒色土層 軟らかい。As-Cを含む。壁の跡。
- 5 黒色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。

0 1:60 1m



## 16号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土を含む。
- 3 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 7 褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。



## 18号住居跡野塚穴 F-F'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。炭化物、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土粒子を含む。

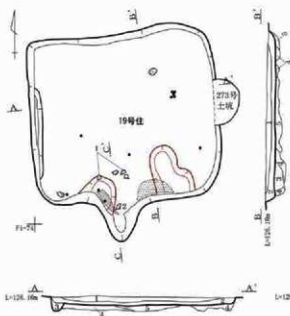
## 土坑A A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 軟らかい。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。

## 土坑B

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 黒褐色土層 As-Cを含む。

第93図 18号住居跡



## 19号住居跡 A-A' B-B'

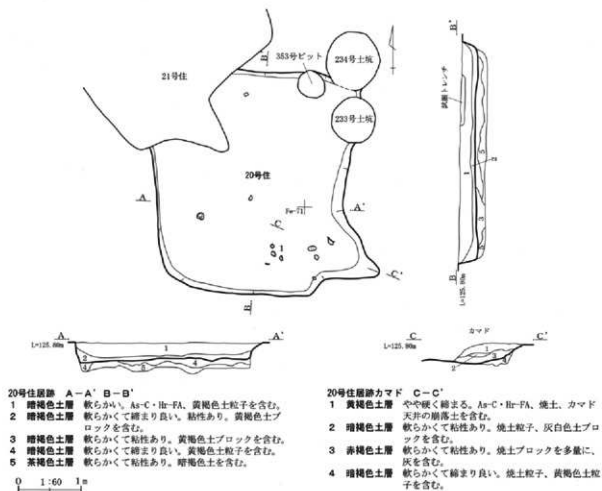
- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 5 黄褐色土層 軟らかくて締まり良い。暗褐色土を含む。

## 19号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロック、灰白色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 6 褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。

第94図 19号住居跡

0 1:60 1m



第95図 20号住居跡

20号住居跡 ①第95図②第69図、PL.95-152

位置 Fd・Fe-70・71グリッドにかけて検出した。

21号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.5m、短辺約3.1mの方形を呈する。

方位 N-97°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層である。

壁高 住居跡確認面より約22~32cmで床面に達する。床面からはほぼ垂直に立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。現状での面積は約9.6㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置している。燃焼部の多くは壁を彫り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向90cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈を中心に少量の遺物が出土している。

時期 10世紀。

備考 21号住居跡に壊されている。

21号住居跡 ③第96図④第69図、PL.95-153

位置 Fe-70グリッドにおいて検出した。5号堅穴状遺構と重複している。

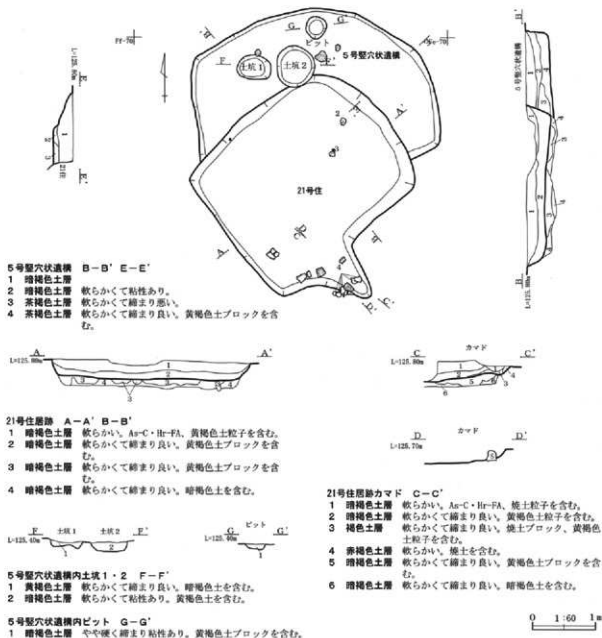
形状 長辺約3.1m、短辺約2.5mの方形を呈する。

方位 N-135°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約28~38cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。面積は約7.9㎡。



第96図 21号住居跡・5号竪穴状遺構

周溝 検出できなかった。

竈 東南壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向90cmである。

柱穴 検出できなかった。

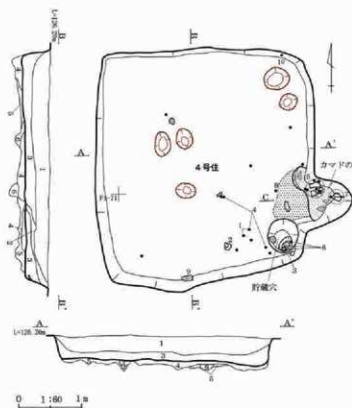
貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈から土師器の甕(②第69図4)、覆土中か

ら須恵器の坏・埴が出土している。

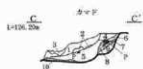
時期 11世紀前半。

備考 5号竪穴状遺構を壊している。



4号住居跡 A-A' B-B'

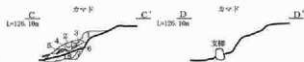
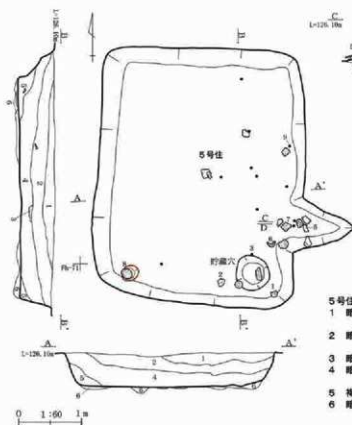
- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-Fh、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。焼土粒子を少量含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を多量に含む。



4号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰白色土を含む。
- 3 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、焼土粒子を含む。
- 4 褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 5 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを含む。
- 6 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を含む。
- 7 灰層
- 8 焼土層
- 9 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土を含む。
- 10 灰層

第79図 4号住居跡



5号住居跡カマド C-C'

- 1 茶褐色土層 軟らかい。焼土を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
- 3 褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを含む。
- 4 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰白色土ブロックを含む。
- 6 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロックを多量に含む。
- 7 黒褐色土層 締まり粘性少しあり。ローム粒子、灰を少量含む。
- 8 黒褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子、灰、炭を含む。
- 9 黒褐色土層 締まり粘性あり。焼土粒子、灰、炭、ロームブロックを含む。

5号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-Fh、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As-C・Hr-Fh、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色砂質土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黒色土を含む。
- 5 褐色土層 締まり良い粘性あり。ロームブロックを多量に、焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 6 暗褐色土層

第80図 5号住居跡

## 22号住居跡 (①第97図②第69-70図、PL.96-153)

位置 Fa-69、Fb-69・70グリッドにかけて検出した。24号住居跡の西約3mの所に位置している。

形状 長辺約3.7m、短辺約3.2mの隅丸方形を呈する。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~28cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約11.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。230号土坑によって壊されたものと思われる。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から須恵器の壺、土師器の壺、瓦が出土している。

時期 9世紀前半。

## 23号住居跡 (①第98図②第70図、PL.96-153)

位置 Ff-68グリッドにおいて検出した。17号住居跡の北東に接している。

形状 長辺約3.2m、短辺約3mの方形を呈する。

方位 N-85°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~28cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。面積は約9.3㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東南隅に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向44cmである。袖石が1個残っていた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から少量の遺物が出土している。瓦(②第70図1)は東壁下から出土した。

時期 不明。

## 24号住居跡 (①第99図②第70-71図、PL.97-153)

位置 Et・Fa-69・70グリッドにかけて検出した。32号溝と重複している。

形状 長辺約3.1m、短辺約2.6mの方形を呈する。

方位 N-101°-E

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~28cmで床面に達する。床面からは垂直に立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。面積は約8.5㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向72cm、両袖方向60cmである。袖石が残っている。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈から須恵器の坏や壺、灰釉陶器の壺、瓦が出土している。須恵器の坏(②第70図1)は墨書土器である。

時期 10世紀前半。

## 25号住居跡 (①第100図、PL.98)

位置 Fj-73グリッドにおいて検出した。24号溝によって壊されている。

形状 現状で長辺約3.6m、短辺約2mである。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約16cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。現状で面積は約6.2㎡。床面から2個土坑を検出した。土坑1は長径54cm、短径50cm、深さ9cm。土坑2は長径52cm、短径50cm、深さ8cmである。

周溝 検出できなかった。

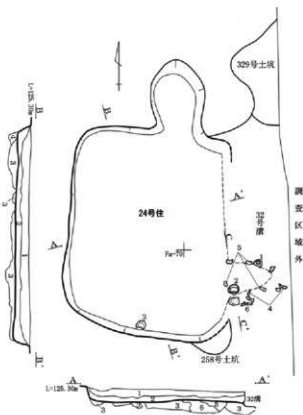
竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

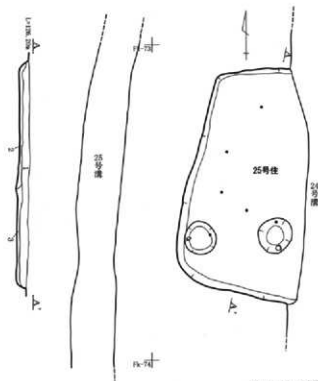
(127ページへ)

24号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。暗褐色土を含む。
- 4 黄褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかく粘性悪い。黄褐色土ブロックを含む。
- 6 褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。



第99図 24号住居跡



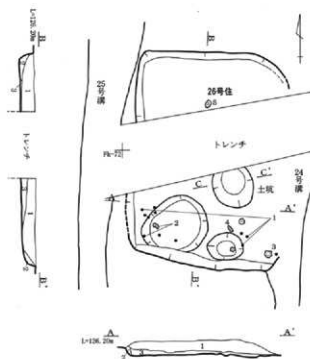
25号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかく締まり良い。暗褐色土を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかく締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。



第100図 25号住居跡





## 26号住居跡 A-A' B-B'

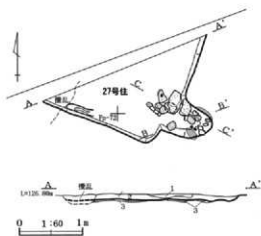
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 3 黄褐色土層 軟らかい。暗褐色土を含む。



## 26号住居跡内土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、黒色土を含む。
- 3 黄褐色土層 軟らかくて締まり悪い。暗褐色土を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 5 黄褐色土層 軟らかい。暗褐色土を少量含む。

第101図 26号住居跡



## 27号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土を含む。

## 27号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を含む。
- 3 褐色土層 軟らかい。焼土を含む。
- 4 茶褐色土層 軟らかい。焼土、黄褐色土粒子を含む。



第102図 27号住居跡

(125ページより)

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 不明。

**26号住居跡** ①第101図②第71・72図、PL.98・154

**位置** Fj-71・72グリッドにかけて検出した。24号溝によって壊されている。

**形状** 長辺約3.4m、短辺約2.3mの方形を呈するものと思われる。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。現状で面積は約8㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。24号溝によって壊されている。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 須恵器の坏や埴が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**27号住居跡** ①第102図②第72図、PL.99・154

**位置** Fo・Fp-71・72グリッドにかけて検出した。路線外に延びているために完掘できなかった。

**形状** 現状で一辺約2mを検出した。

**方位** N-114°-E

**覆土** 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約8cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約2.2㎡。

**周溝** 南壁下でその一部痕跡を検出した。

**竈** 東南隅に位置し、燃焼部の大部分は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向50cmである。石組みの竈で支脚が残っている。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 竈から土師器の甕が出土している。

**時期** 10世紀後半。

## (2) 掘立柱(礎石ピットのある)建物跡

**1号掘立柱建物跡** ①第103～105図②第72・73図、PL.100～102・154

**位置** Ga・Gb-75～78、Gc-76・77グリッドにかけて検出した。

**形状** 発掘当初は1軒として調査を進めたが、その後、ピットのあり方から2軒となることが判明した。このために、1A・1Bとした。

1号Aは石を配置したピット22個、その可能性のあるピット1個、石のないピット3個からなる。

A列ではP6・P7、B列ではP10～P16、C列ではP17～P23、D列ではP24～P29、E列ではP30～P32が該当する。P21・P26・P27の3個のピットからは石の出土はなかった。P17とP18間からの石の出土は、ピットの存在を予想できる。各ピットの形状と規模については、一覧表を参照のこと。ピット間隔は、東西南北ともに基本は約2.4mを測る。ただし、P6-P14間、P7-P15間、P15-P16間、P22-P23間は約1.4

m、P25-P30間、P26-P31間、P27-P32間の距離は約2.8mとなる。またP10-P11間、P17-P18間は、約3.6mでこの間にピットが介在する可能性が高い。

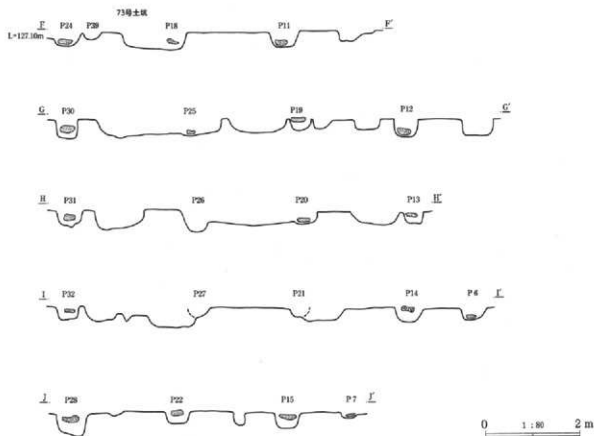
1号Bは石の配置のないピット群である。A列のP1～P5・P8、B列のP33～P35、C列のP36～P38、D列のP39～P41、D-E列間のP42～P45、E列のP46が該当するであろう。南北間約2.2m、東西間も約2.2mを測る。ただし、A-B列間は狭く約1.6mであった。

**遺物** ピット覆土から遺物の出土はほとんどなかった。礎石として一部に多孔石を使用していた。

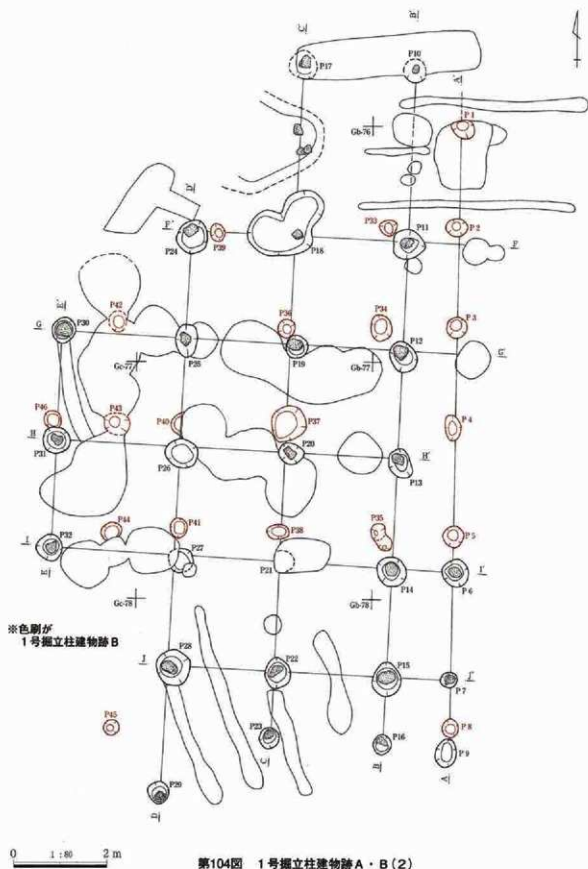
**時期** 不明。

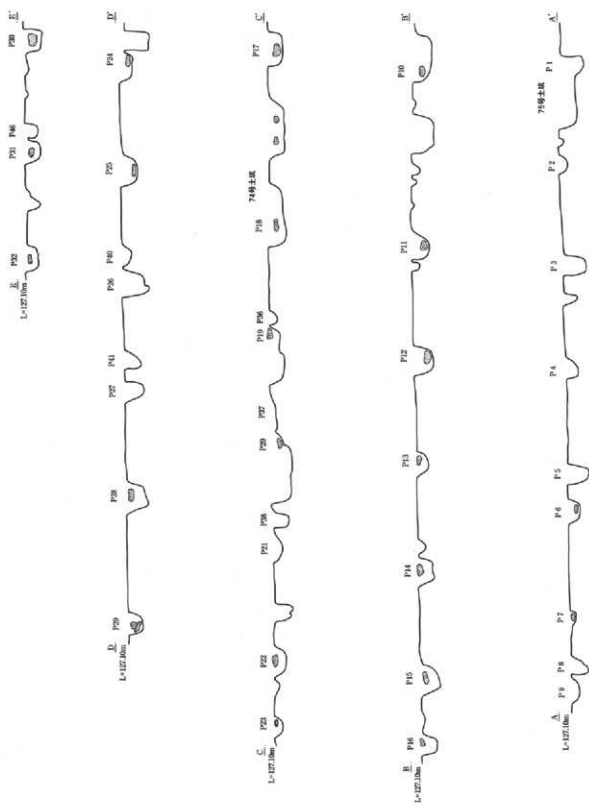
掘立柱建物跡一覽表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	遺構図版	写真図版	番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	遺構図版	写真図版
P-1	Ga-75-76	不整形	51×41×24	第104-106図	PL. 101	24	Gb-76	円形	72×68×24	第109-106図	PL. 102
2	Ga-76	楕円形	46×37×18	104. 105		25	Gb-76	楕円形	70×46×35	103-105	
3	Ga-76	円形	44×42×46	104. 105	101	26	Gb-77	円形	69×62×57	103-105	101
4	Ga-77	楕円形	54×32×24	104. 105	100	27	Gb-77	(円形)	(56)×54×42	103-105	
5	Ga-77	楕円形	45×44×45	104. 105	100	28	Gb-78	円形	76×72×48	103-105	100
6	Ga-77	円形	58×56×23	103-105	100	29	Gb-78	楕円形	46×46×31	104. 105	102
7	Ga-78	円形	36×33×12	103-105		30	Gc-76	円形	54×52×38	103-105	
8	Ga-78	円形	40×36×34	104. 105		31	Gc-77	円形	60×58×34	103-105	101
9	Ga-78	楕円形	60×44×16	104. 105		32	Gc-77	円形	47×46×26	103-105	100
10	Ga-75	(円形)	(50)×(48)×39	104. 105	101	33	Ga-76	不整形	40×35×29	104	102
11	Ga-76	不整形	67×63×38	103-105	102	34	Ga-76	楕円形	57×45×15	104	101
12	Ga-76-77	楕円形	68×52×42	103-105	101	35	Ga-77	不整形	74×34×36	104	100
13	Ga-77	楕円形	68×48×13	103-105	100	36	Gb-76	円形	37×33×20	104. 105	101
14	Ga-77	円形	62×60×36	103-105	100	37	Ga-76	楕円形	79×75×14	104. 105	101
15	Ga-78	楕円形	72×62×40	103-105	100	38	Gb-77	楕円形	48×32×33	104. 105	101
16	Ga-78	円形	42×38×32	104. 105	100	39	Gb-76	楕円形	40×30×14	104	102
17	Gb-75	(円形)	(60)×(60)×32	104. 105	101	40	Gb-77	不明	- × - × 20	104. 105	101
18	Gb-76	不明	計測不能	103-105		41	Gb-77	円形	42×36×35	104. 05	100
19	Gb-76	円形	49×46×24	103-105		42	Gc-77	(円形)	44×38×51	104	
20	Gb-77	楕円形	54×43×26	103-105		43	Gc-77	楕円形	55×46×46	104	
21	Gb-77	(楕円形)	(48)×(46)×18	103-105	101	44	Gc-77	円形か	42×33×36	104	100
22	Gb-78	楕円形	66×54×26	103-105	100	45	Gc-78	円形	33×31×20	104	
23	Gb-78	円形	44×42×19	104. 105	100	46	Gc-77	円形	40×36×26	104. 105	101



第103図 1号掘立柱建物跡A・B(1)





第105图 1号掘立柱建物跡A·B(3)

### (3) 竪穴状遺構

#### 1号竪穴状遺構 (①第106図, PL. 102)

**位置** Go-77グリッドにおいて検出した。  
**形状** 長辺約2.8m、短辺約2.6mの方形を呈する。  
**覆土** 地山を掘り込んで竪穴状遺構は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。  
**壁高** 確認面より約30~38cmで底面に達する。  
**底面** やや凹凸がある。  
**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。  
**時期** 不明。

#### 2号竪穴状遺構 (①第107図②第74図, PL. 102-154)

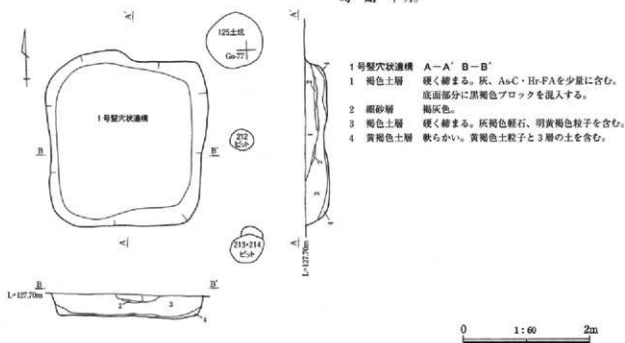
**位置** Gm-76・77グリッドにかけて検出した。144号土坑と重複している。  
**形状** 長辺約3.7m、短辺約2.7mの方形を呈する。  
**覆土** 地山を掘り込んで竪穴状遺構は構築され、そこに堆積した覆土は9層に分かれた。  
**壁高** 確認面より約50~70cmで底面に達する。  
**底面** 凹凸がある。炭化物が堆積している。  
**遺物** 須恵器の坏と埴が出土している。  
**時期** 9世紀後半。  
**備考** 当遺構は墓坑の可能性が高い。

#### 3号竪穴状遺構 (①第107図)

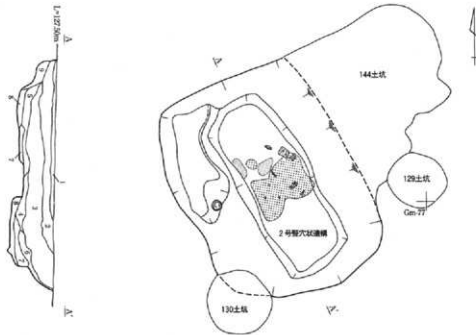
**位置** Ga-79グリッドにおいて検出した。  
**形状** 長辺約2.7m、短辺約1.9~2.1mの方形を呈する。  
**覆土** 地山を掘り込んで竪穴状遺構は構築されている。  
**壁高** 確認面より約20~40cmで底面に達する。  
**底面** はほぼ平坦である。  
**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。  
**時期** 不明。

#### 4号竪穴状遺構 (①第108図②第74図, PL. 154)

**位置** Fa-66・67グリッドにかけて検出した。  
**形状** 東西約4.2m、南北は推定約5mを呈するものと思われる。遺構の南側部分は掘りすぎの可能性が高い。  
**覆土** 地山を掘り込んで竪穴状遺構は構築されている。覆土は1層である。  
**壁高** 確認面より約5~10cmで底面に達する。  
**底面** はほぼ平坦である。  
**遺物** 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。わずかに台石が出土している。  
**時期** 不明。

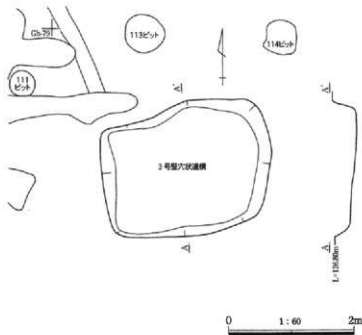


第106図 1号竪穴状遺構

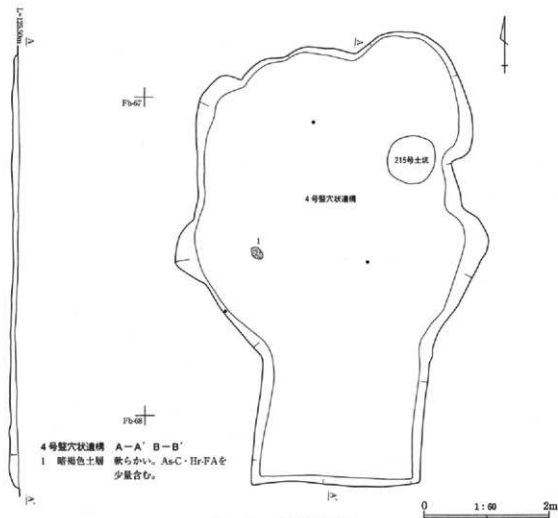


## 2号竪穴状遺構 A-A'

- |   |       |                                |
|---|-------|--------------------------------|
| 1 | 褐色土層  | 砂状土。As-C・Hr-FAを少量含む。           |
| 2 | 褐色土層  | やや締まる。1層より灰、As-C・Hr-FAを多く含む。   |
| 3 | 暗褐色土層 | 黒褐色土ブロック、黒褐色土、灰、As-C・Hr-FAを含む。 |
| 4 | 褐色土層  | 灰白色土粒子、黄褐色土粒子、炭化物を含む。          |
| 5 | 褐色土層  | 灰白色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。            |
| 6 | 暗褐色土層 | 灰白色土粒子を含む。                     |
| 7 | 暗褐色土層 | 黒褐色土、炭化物を含む。                   |
| 8 | 暗褐色土層 | 軟らかい。明黄褐色土ブロック、炭化物を含む。         |
| 9 | 褐色土層  | 硬く締まる。明黄褐色土ブロックを含む。            |



第107図 2・3号竪穴状遺構



第108図 4号竪穴状遺構

(4) 土坑・井戸・ピット(①第109~111・113~

141・144~174図②第74~80図, PL.100~137・142~145・154~156)

引間松葉遺跡からは382基の土坑を検出した。

これらの土坑は、その形状から円形を呈するもの106基、楕円形を呈するもの137基、長方形を呈するもの37基、方形を呈するもの29基、その他73基に分けることができる。

やままとまった遺物の出土している土坑は、17(10世紀後半)・80(10世紀)・127(10世紀後半)・131・133(9世紀後半)・145・175(9世紀前半)・192・195・197・198・210・215(9世紀後半)・262・290・300・301・309・334・335・336・349号の計22基の土坑である。

17・80・127・133・175・195・228・290号土坑は墓坑である。127号土坑からは約30歳代の女性人骨が1体、228号からも約30歳代の女性人骨1体が出土した。また144・167・281号土坑からは馬骨や馬

歯が出土した。

井戸は9・10・16・45・161・162・224・299・262・230・191・203号土坑の12基を検出した。いずれも深いために完掘することはできなかった。

192・312号土坑は陸軍前橋飛行場に関連した対空機関銃座の可能性が高い。また312号土坑に隣接して検出された309・310・311・313・314・315・316号の各土坑は、不整形を呈し、底面に焼土・灰・炭化物が堆積していた。また燃し木の残りがさすもあった。さらに309号土坑の覆土中から戦時中のガラス製品が出土していることを考えると、対空機関銃座を操作する兵士の飯盒炊飯をした場所と判断するに至った。192号土坑に隣接する335号土坑も戦時中の構築であろう。なお、これらの遺構群については、あらためて論考を準備したいと考えている。

ピットは総計414基を検出した。円形・楕円形を呈するものが主体である。



## 土坑索引一覽表

番号	位置	遺構図番	遺物図番	写真図番	番号	位置	遺構図番	遺物図番	写真図番	番号	位置	遺構図番	遺物図番	写真図番
1	Hg-77	第109回		PL103	78	Gb-78	第130回		PL100	156	Fh-73	第133回		PL109
2	Hf-78-79	109		103	79	Gf-Gg-77	125, 126		106	157	Fh-73	135, 136		109
3	He-77	109		103	80	Ge-77	125, 126	第74回	106, 154	158	Fh-72-73	135, 136		109
4	He-Hf-76	109		103	81	Gh-77	122, 123		104	159	Fp-Fp-73	135, 136		110
5	He-Hf-76	109		103	82	Gh-77	122, 123		104	160	Fp-73	135, 136		110
6	He-79	109		103	83	Gh-77	122, 123		104	161	Fp-78	137, 138		110
7	Hd-78	109		103	84	Gh-78	122, 123		104	162	Fm-Fm-79-80	137, 138		110
8	Ha-Hb-77	111		103	85	Gh-Gh-78	122, 123		104	163	Ft-79	138		110
9	Hb-77	110		103	86	Gh-77-78	122, 123		106	164	Ft-79	138		110
10	Gr-77	110		104	87	Gi-76-77	122, 123		106	165	Fq-Fr-73	135, 136		110
11	Ha-79	111		137	88	Gi-76-77	122, 123		106	166	Fp-73	135, 136		110
12	Ha-79	111		137	89	Gi-76-77	122, 123		106	167	Fr-78	138		110
13	Gr-79	110			90	久重				168	Fr-79	137, 138		110
14	Gr-79	110			91	Gk-Gk-75	118, 119			169	Ft-79	137, 138		110
15	Gr-79	110		104	92	Gm-76	118, 119			170	Ft-79	137, 138		110
16	Hf-76-77	110			93	Gi-Gk-77	122, 123		106	171	Fs-79	137, 138		111
17	Gh-79	122, 123	第74回	104, 154	94	Gi-Gk-78	122, 123		106	172	Fs-79-80	137, 138		111
18	Gf-79-80	125, 126		104	95	Gi-78	122, 123		142	173	Pt-80	137, 138		110
19	Ge-78	125, 126		104	96	Go-79	114, 115		107	174	Fa-Ft-79	137, 138		110
20	Ge-78	125, 126		104	97	Go-79	114, 115		107	175	Fa-Ft-74-75	135		111, 155
21	Gg-78	125, 126		104	98	Go-79	118, 119		143	176	Fa-Ft-74	135, 136		111
22	Gg-Gh-78	122, 123		104	99	Go-79	114, 115		143, 154	177	Hh-Hh-72	113		145
23	Gg-78	125, 126		104	100	Go-79	118, 119		107	178	Hh-72	113		145
24	Gg-78	125, 126		104	101	Go-78-79	114, 115		107	179	Hh-72	113		145
25	Gh-77	122, 123		104	102	Go-78	114, 115		107	180	Hh-72	113		145
26	Gh-Gi-76-77	122, 123		104	103	Gp-Gg-76	114, 115		107	181	Fc-66	160, 161		111
27	Gg-79	125, 126		104	104	Gm-Go-78-79	114, 115		107	182	Fc-67	160, 161		111
28	Gi-76	122, 123		104	105	Gm-Go-78	114, 115		107	183	Fc-67	160, 161		111
29	Gi-76	122, 123		104	106	Gn-79	118, 119		143	184	Fa-Fb-66	160, 161		111
30	Gg-Gh-77	122, 123		104	107	Gn-79	118, 119		143	185	Fb-68-69	160, 161		111
31	Gi-76	125, 126		105	108	Gn-Go-79	114, 115		143	186	Fa-Fb-68-69	160, 161		111
32	Gf-Gg-77	125, 126		105	109	Gn-79	114, 115		143	187	Fa-Fb-68-69	160, 161		111
33	Gg-76	125, 126		105	110	Gn-Go-79-80	114, 115		143	188	Fa-71	163, 164		112
34	Gf-Gg-76	125, 126		105	111	Gn-79-80	114, 115		143	189	Gt-71	163, 164		112
35	Gi-76	125, 126		105	112	Go-79	114, 115		107	190	Gt-74	167, 170		112
36	Gi-76	125, 126		105	113	Go-79	114, 115		107	191	Fc-74-75	167, 170		112
37	Ge-77-78	125, 126		105	114	Go-78	114, 115		107	192	Fc-75	167, 169	76	112, 136
38	Gc-79	130, 131		105	115	Go-Gp-76	114, 115		107	193	Ed-75	163, 164		112
39	Ge-77	125, 126		132	116	Go-Gp-77	114, 115		107	194	Fg-69-70	150, 151		112
40	Ge-77	125, 126		132	117	Go-77-78	114, 115		107	195	Fg-69	150, 151	76	112, 136
41	Ge-75-76	125, 126		105	118	Go-77	114, 115		107	196	Fg-69	144, 145		112
42	Gd-Ce-75	125, 126		105	119	Go-78	114, 115		108	197	Fg-69	150, 151	76	112, 136
43	Ge-77	125, 126		104	120	Go-77	114, 115		108	198	Fg-70	144, 145	76	112, 136
44	Gd-75	125, 126		105	121	Go-77	114, 115		108	199	Fg-70	144, 145		112
45	Gd-78	128, 130			122	Gn-Go-78-79	114, 116		107	200	Fh-70	144, 145		113
46	Ge-78	130, 131		105	123	Gg-77	114, 116		108	201	Fh-6-69-70	144, 145		113
47	Ge-77-78	130, 131		100	124	Gg-77	114, 116		108	202	Ft-70-71	144, 145		113
48	Ge-77	130, 131		100	125	Gn-Go-76-77	114, 116		108	203	Fd-Fe-75	167, 170		126
49	Gb-77	130, 131		100	126	Gg-77	118, 119		143	204	Fg-72	144, 145		113
50	Go-79	130, 131		106	127	Gn-Go-76	114, 115	75	108, 154	205	Fh-72	144, 145		113
51	Gb-79	130, 131		106	128	Gn-75-76	130, 132		101	206	Fg-Fh-72	144, 145		113
52	Ga-79	130, 131		106	129	Gi-Gm-76-77	118, 119		102	207	Fh-69	144, 145		113
53	Gc-77	130, 131		100	130	Gm-77	118, 119		146	208	Ff-Fg-71	150, 151		113
54	Gh-78	130, 131		106	131	Gm-77	118, 119	75	108, 155	209	Fh-71	144, 145		113
55	Gb-78-79	130, 131		106	132	Gi-77	118, 119		143	210	Pf-74-75	156, 157	76, 77	113, 155
56	Gb-77-78	130, 131		100	133	Gi-76	118, 119	75	108, 155	211	Pf-73	156, 157		113
57	Gb-77	130, 131		101	134	Gp-Gg-77	114, 116		108	212	Pf-73	156, 157		114
58	1期ⅡP26				135	Gp-Gg-76	114, 116		108	213	Fd-Fe-73	156, 157		114
59	Gb-77	130, 131		101	136	1期ⅢP37				214	Fg-Fh-69	144, 145		114
60	Ga-Gb-77	130, 131		100	137	Gk-77-78	118, 119		108	215	Fa-67	160, 161	77	155
61	Gb-77	130, 131		101	138	Gg-76	125, 126		104	216	Fb-73	76		114
62	Gc-77	130, 131		101	139	Gf-76	125, 126		105	217	Ft-72	76		114
63	Gc-77	130, 131		101	140	Ge-77	125, 127			218	Fa-Fb-71	163, 164		114
64	Gc-76	130, 131		101	141	Gf-Gg-79	125, 127		104	219	Pf-74	156, 157		114
65	Gb-Gc-76	130, 131		101	142	Gm-80	118, 119			220	Fb-69-70	163, 164		115
66	Gb-76	130, 131		101	143	Gh-75-77	122, 123			221	Fc-69-70	163, 164		115
67	Gb-76-77	130, 131		101	144	Gi-Gm-76	118, 119		109	222	Fc-69	160, 161		115
68	Gb-76-77	130, 131		101	145	Gh-76	130, 131	75	109, 155	223	Fb-69	160, 161		115
69	Ga-Gb-76-77	130, 131		101	146	Fm-Fh-76-77	138		109	224	Fa-67-68	160, 161		115
70	Gb-76	130, 132		101	147	Fh-77	138		109	225	Fc-68	160, 161		115
71	Ga-77	130, 132		100	148	Fh-77	138		109	226	Fc-68	160, 161		115
72	Ga-75-77	130, 132		101	149	Fo-77	138		109	227	Fh-67	150, 152		115
73	Gb-76	130, 132		102	150	Fo-76	135		109	228	Fa-Es-68	160, 161		115
74	Gb-76	130, 132		102	151	Fh-73	135		109	229	Fc-69	163, 164		116
75	Ga-76	130, 132		101	152	Fh-73	135		109	230	Fa-Fb-69	163, 164		116
76	Ga-Gb-75	130, 132		101	153	Fh-73	135		109	231	Fc-67	160, 161		116
77	Gb-77	130		101	154	Fp-Fq-78	138		109	232	Fc-66	160		116
					155	Fp-78	138		109	233	Fb-70	150, 152		116

## 第2章 引間松葉道跡

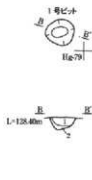
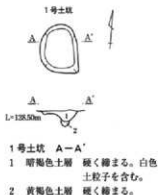
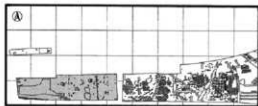
番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	ビット索引一覧表				
224	Fb-70	第150,152H		PL 116	312	Fb-78	第67,172H		PL 123	番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版
225	Fb-70	150,152		116	313	Fb-79	167,173		124	1	He-78	第109H		
226	Fe-69	150,152		116	314	Fc-78	167,173		124	2	Hf-77			
227	Fd-69	150,152		116	315	Fb-79	167,173		124	3	Hf-77			
228	Fd-69	150,152		117	316	Fc-79	167,173		124	4	Hf-77			PL 103
229	Fe-70-71	163,164		117	317	Fc-79	167,173		127	5	He-77			103
240	Fe-71	163,164		117	318	Fg-73	156,157		127	6	He-Hf-77			103
241	Fe-70	163,164		117	319	Fg-73	144,146		127	7	He-Hf-77			103
242	Fe-69	150,152		117	320	Fg-73	144,146		127	8	He-Hf-77			103
243	Ff-70	150,152		117	321	Fg-73	147,148		127	9	Hf-76			103
244	Ff-70	150,152		117	322	Fg-73	147,148		127	10	He-Hf-76			103
245	欠番				323	Fg-Fb-73	144,146		127	11	He-76			103
246	Fe-66	160,161		116	324	Ff-72	156,158		127	12	He-78			103
247	Fa-66-67	160,162		117	325	Ff-73	156,158		127	13	He-79			103
248	Es-69	160,162		141	326	Fg-74	147,148		127	14	He-79			103
249	Fe-68	150,152		118	327	Ff-72	156,158		127	15	He-77			111
250	Fe-67	150,152		118	328	Fb-74-75	147,148		127	16	Hf-77			111
251	Fd-Fe-68	150,152		118	329	Es-69	163		117	17	Hd-He-78			109
252	Fe-68	150,152		118	330	Fi-75	147,148		128	18	Ha-77			137
253	Fd-67	150,152		118	331	Fi-75	147,148		128	19	Ha-77			137
254	Fc-Fd-68	150,152		118	332	Fi-74	147,148		128	20	Ha-77			137
255	Fd-68	150,152		118	333	Fi-75	156,158		128	21	Gt-Ha-77			137
256	Fe-70-71	163,165		118	334	Fd-74-75	167,171	第79H	126,156	22	Gt-76			111
257	Fe-70	163,165		118	335	Fb-Fc-74	167-169	79	128,156	23	Gt-76			111
258	Es-70	163,165		118	336	Fb-74-75	167-169	79	128,156	24	Ha-78			137
259	Es-Fa-69	163		118	337	Fe-74	156,158		128	25	Gs-77			111
260	Fd-67	150,152		118	338	Fb-78	167,174		125	26	Gr-75-76			111
261	Fa-71	163,165		118	339	Fi-75-76	147,148		128	27	Gr-76			111
262	Fb-66	160,162	第77H	119,155	340	Fb-73	144,146		128	28	Gh-77	122,123		104
263	Fg-69-70	150,152		119	341	Fg-Fb-72	144,146		128	29	Gh-79	125,127		132
264	Fg-72	150,152		119	342	Fb-73	144,146		129	30	Gh-79	125,127		104
265	Fg-72	144,146		119	343	Fc-Fb-78	167,173		129	31	Gh-79	125,127		104
266	Fg-72	144,146		119	344	Fg-72	156,158		129	32	Gh-77	122,123		104
267	Fg-72	144,146		119	345	-			129	33	Gh-77	122,123		104
268	Fd-70	150,152		119	346	Fg-77	147,148		129	34	Gh-76	125,127		132
269	Fd-69	150,153		119	347	Ff-71	150,154		129	35	Gh-76	125,127		105
270	Fe-70	163,165		119	348	Fd-74	167-169		129	36	Gh-75	125,127		105
271	Fa-69-70	163,165		120	349	Fe-72	150,154		80	37	Ge-75-76	125,127		105
272	Fg-72	150,153		120	350	Ff-71	150,154		129,156	38	Ge-75	125,127		105
273	Fb-73	147,148		120	351	Fb-78	167,172		125	39	Ge-76	125,127		105
274	Fb-73	144,146		120	352	Fb-78-79	167,172		124,156	40	Ge-76	125,127		105
275	Fb-72-73	144,146		120	353	Fc-79	167,173		125	41	Gf-75-76	125,127		105
276	Fb-72	144,146		120	354	欠番				42	Gf-Gh-76	125,127		105
277	Fi-Fg-71	150,153		120	355	Fb-71-72	144,146		129	43	Gf-77	125,127		132
278	Fi-Fg-71	150,153		120	356	Fb-71	144,146		129	44	Gf-77	125,127		132
279	Fg-71	150,153		120	357	Fg-71	144,146		129	45	Gf-77	125,127		132
280	Fe-68	150,153		121	358	Fi-75	156,158		130	46	Gf-77	125,127		132
281	Fi-73	147		121	359	Fi-75	156,158		130	47	Gf-77	125,127		132
282	Fi-71	150,153		121	360	Fe-Ff-75	156,158		126	48	Gg-76	125,127		104
283	Fi-70-71	150,153		121	361	Fe-75	167,171		126	49	Gf-77-78	125,127		132
284	Fi-70	150,153		121	362	Fe-75	167,171		126	50	Gh-80	125,127		132
285	Fi-70	150,153		121	363	-			130	51	Gf-77	125,127		132
286	Fi-69-70	150,153	121,155		364	Fi-75	156,158		130	52	Gf-77	125,127		132
287	Fe-69	150,153		121	365	Fi-75-76	156,158		130	53	Gf-77	125,127		132
288	Fe-69	150,153		122	366	Fe-74	156,158		130	54	Ge-76	125,127		105
289	Fe-69	150,153		122	367	Fe-73	156,158		130	55	Ge-76	125,127		105
290	Fe-68	150,151	77	122,155	368	Fd-75	167-169		125	56	Ge-76	125,127		105
291	Fi-72	156,157		122	369	Fc-75	167-169		126	57	Ge-76	125,127		105
292	Fi-72	156,157		122	370	Fe-76	167,171		126	58	Ge-76	125,127		105
293	Fi-72	156,157		122	371	Fe-75-76	167,171		126	59	Ge-76	125,127		106
294	Fi-72	150,153		122	372	Fi-71-72	150,154		130	60	Ge-75-76	125,127		105
295	Ff-72	150,153		122	373	Fd-70	150,154		130	61	Gd-76	125,127		105
296	Fe-71	150,153		122	374	Fd-69	150,154		130	62	Ge-75	125,127		105
297	Fd-71	150,153		122	375	Fe-67-68	150,154		130	63	Gd-75	125,127		105
298	Es-70	156,165		118	376	Fe-75	167,171		130	64	Gd-75	125,127		105
299	Fg-72	144,146		122	377	Ga-73			131	65	Gd-75	125,127		105
300	Fd-75-76	167,170	77,78	126,155	378	Pt-74	139		131	66	Ge-78	125,126		104
301	Fd-75	167,170	78	126,156	379	Ga-73	139		131	67	1編2 P24			
302	Fe-Ff-73	156,157		123	380	Gd-Ge-74	139		131	68	1編2 P39			
303	Fe-73	156,157		123	381	Gd-Ge-74	139		131	69	Gc-Gb-76	130,132		101
304	Fe-73	156,157		123	382	Gc-74	139		131	70	Gd-75	130,132		101
305	Fi-74	156,157		123	383	Gc-74	139,140		131	71	Gc-75	130,132		101
306	Fe-Ff-68-69	150,153		123	384	Gb-74	139,140		131	72	Ge-78	125,127		132
307	Fe-69	150,154		123	385	Pt-74	139,140		131	73	Gd-78	125,127		132
308	欠番				386	Gc-74	139,140		131	74	Gd-78	125,127		132
309	Fa-78-79	167,172	79	124,156	387	Gb-74-75	139,140		131	75	Gd-79	130,132		132
310	Fa-78-79	167,172		124						76	Gd-79	130,132		132
311	Fa-78-79	167,173		124						77	Gd-79	130,132		132

## (4) 土坑・ピット・溝

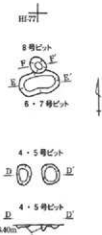
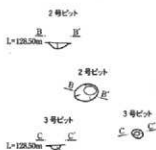
番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版
78	G4-79	81.30.133		PL. 132	156	G4-75	81.30.127		FL. 106	294	1 堀立P7			
79	G4-79	130. 132			157	G4-77	125. 127		105	295	1 堀立P8			
80	G4-78	130. 132		132	158	G4-77	125. 127		105	296	1 堀立P9			
81	G4-78	130. 132		132	159	G4-Gb-79	122. 123			297	Gb-78	81.30.133		
82	G4-78	130. 132		132	160	G4-79	122. 123		142	298	Gb-78	130. 133		
83	G4-78	130. 132		132	161	G4-79	122. 123			299	Gb-77	122. 124		PL. 104
84	G4-78	130. 132		132	162	GI-G4-78	122. 123			300	1 堀立P45			
85	Gc-G4-78	130. 132		132	163	G4-77	122. 123		132	301	Gb-78	130. 133		
86	G4-78	130. 132		132	164	G4-77	122. 123		132	302	Gb-78	130. 133		
87	G4-78	130. 132		132	165	GI-G4-77	122. 123		106	303	Gb-77	130. 133		
88	G4-78	130. 132		132	166	G4-76	122. 123			304	G4-78	130. 133		
89	1 堀立P32				167	G4-75	118. 120			305	G4-77	125. 127		
90	G4-78	130. 132		132	168	G4-77	122. 123		107	306	G4-77	125. 127		132
91	G4-79	130. 132		105	169	G4-77	122. 123		107	307	G4-78	125. 127		132
92	Gb-79	130. 132		132	170	G4-GI-76	118. 120		108	308	G4-78	125. 127		
93	G4-79	130. 132		132	171	G4-GI-76	118. 120		108	309	G4-78	125. 127		
94	G4-79	130. 132		132	172	Gm-76	118. 119			310	G4-78	125. 127		
95	G4-79	130. 132		105	173	GI-77-78	118. 120			311	G4-78	125. 128		
96	Gb-G4-78	130. 132		102	174	Gm-78	118. 120		143	312	G4-77-78	125. 128		
97	1 堀立P29				175	GI-78	118. 120		143	313	G4-77	125. 128		
98	Gb-78	130. 132		102	176	Gm-77	118. 120		143	314	G4-77	125. 128		
99	1 堀立P28				177	Gm-77	118. 120		143	315	Gb-78	122. 124		104
100	1 堀立P42				178	G4-78	114. 116			316	G4-77	125. 128		106
101	G4-79	130. 132		132	179	G4-78	114. 116			317	GI-76-77	125. 128		
102	G4-79	130. 133		132	180	G4-79	118. 120		143	318	GI-77	125. 128		
103	Gb-G4-79	130. 131		106	181	G4-79	118. 120		143	319	GI-77	125. 128		
104	Gb-G4-79	130. 131		106	182	G4-79	114. 116		143	320	GI-77	125. 128		
105	G4-79	130. 133		132	183	G4-78	118. 120		143	321	GI-77	125. 128		
106	G4-78	130. 133		106	184	Gm-78	118. 120		143	322	GI-77	125. 128		
107	1 堀立P23				185	Gm-78	118. 120		143	323	GI-77	125. 128		
108	Gb-78	130. 133		100	186	Gm-79	118. 120		143	324	GI-76	125. 128		
109	1 堀立P22				187	Gm-78	118. 120		143	325	GI-76	125. 128		
110	Gb-78	130. 133		100	188	Gm-78	118. 120		143	326	欠番			
111	Gb-79	130. 133		106	189	G4-79	114. 116			327	G4-76	125. 128		
112	1 堀立P16				190	G4-79	125. 127		132	328	GI-76	125. 128		106
113	G4-78-79	130. 133		132	191	G4-79	114. 116		107	329	Gb-78	122. 124		104
114	G4-78-79	130. 133		106	192	Gc-G4-79	114. 116		107	330	GI-77	122. 124		104
115	1 堀立P15				193	G4-79	114. 116		107	331	GI-76	118. 120		108
116	Gb-78-79	130. 133		106	194	Gc-G4-79	114. 116		107	332	GI-76	118. 120		108
117	Gb-78	130. 133		100	195	G4-79	114. 116		107	333	GI-77	122. 124		104
118	Ga-Gb-77	130. 133		100	196	G4-79	114. 116		143	334	GI-78	125. 128		
119	1 堀立P35				197	G4-79	114. 115			335	GI-78	125. 128		
120	1 堀立P14				198	G4-79	114. 115		107	336	欠番			
121	1 堀立P14				199	G4-80	114. 116		107	337	GI-78	122. 124		
122	1 堀立P5				200	G4-79-80	114. 116			338	欠番			
123	1 堀立P38				201	G4-79-80	114. 116		107	339	Gb-GI-78	122. 124		
124	1 堀立P13				202	G4-79-80	114. 116			340	G4-78	122. 124		
125	1 堀立P42				203	G4-79	114. 115		107	341	G4-79	122. 124		
126	1 堀立P12				204	G4-79	114. 116		107	342	G4-79	122. 124		
127	G4-76	130. 133		101	205	G4-79	114. 116		107	343	GI-77	122. 124		104
128	G4-76	130. 133		102	206	G4-79	114. 116		107	344	GI-77	122. 124		104
129	1 堀立P11				207	G4-78	114. 116		107	345	GI-77	122. 124		104
130	1 堀立P33				208	G4-78	114. 116		107	346	GI-78	125. 128		
131	G4-77	125. 127		132	209	G4-78	114. 116		108	347	G4-77	114. 117		132
132	Gb-79	130. 133		106	210	G4-77	114. 116		108	348	Gc-G4-77	114. 117		132
133	G4-76	130. 133		102	211	G4-77	114. 116			349	GI-76	114. 117		108
134	G4-76	130. 133		102	212	Gc-G4-77	114. 117		102	350	GI-76	114. 117		108
135	G4-76	130. 133		101	213	Gc-G4-77	114. 117		108	351	GI-76	114. 117		108
136	G4-76	130. 133		101	214	Gc-G4-77	114. 117		108	352	GI-76	114. 117		108
137	1 堀立P36				215	G4-78-79	114. 117		107	353	Fe-73	135. 136		110
138	G4-76	130. 133		101	216	G4-79	114. 117		143	354	Fe-73	135. 136		110
139	1 堀立P6				217	G4-79	114. 117		143	355	Fe-79	137. 138		110
140	1 堀立P34				218	Gm-79	118. 120			356	Fe-Fr-79	137. 138		110
141	1 堀立P3				219	欠番				357	Fe-79	137. 138		110
142	G4-76	130. 133		101	220	G4-77	114. 117		108	358	Fr-80	137. 138		110
143	G4-77	130. 133		100	221	G4-79	114. 117			359	Fe-73	135. 136		110
144	1 堀立P44				222	G4-76-77	114. 117		143	360	Fe-73	135. 136		110
145	G4-77	130. 133		101	223	G4-78	114. 117		107	361	Fe-73	135. 136		110
146	1 堀立P30				224	G4-76	114. 117			362	Fe-73	135. 136		110
147	1 堀立P31				225	G4-77	114. 117		108	363	Ht-72	113		145
148	1 堀立P46				226	G4-77	114. 117		108	364	Ht-71-72	113		145
149	Gb-77	130. 133		100	227	G4-76	114. 117		108	365	Ht-72	113		145
150	Gb-78	130. 133		100	228	G4-76	114. 117		108	366	Hm-72	113		145
151	Gb-78	130. 133		100	229	G4-77	114. 117		108	367	Ht-72	113		145
152	Gb-78	130. 133		100	230	G4-77	114. 117		108	368	Fe-73	163. 164		132
153	GI-G4-77	125. 127		106	231	Gm-77	118. 120		143	369	Fe-73	163. 164		132
154	G4-77	125. 127		106	232	G4-77	118. 120		143	370	Fr-69	163. 164		132
155	G4-75	125. 127		105	233	G4-77	114. 117		143	371	Fe-70	163. 164		132

第2章 引開松葉道跡

番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	番号	位置	遺構図版	遺物図版	写真図版	番号	位置	遺構図版	写真図版
312	Fb-70	163, 164			380	Fg-73	156, 158		PL 135	1	Ha-76-Ha-79		
313	Fc-67	160, 161	PL 133		391	Fg-73	156, 158			2(1)	Hb-Hi-71-72	112	137, 156
314	Eb-Ec-67	160, 161			392	Ff-72	156, 158			2(2)	Hb-Hj-76-Hm-79		
315	Fc-70	163, 164	134		393	Fg-71	150, 155		135	3	Hb-79-Hm-79	112	137
316	Fc-70	163, 164	132		394	欠番				4	Hj-79-Hm-79	112	137
317	Fc-70	163, 164	132		395	Ff-70	150, 155		135	5	Hk-79-Hm-79	112	137
318	Fc-70	163, 164	132		396	Ff-70	150, 155			6	Hm-77-Hm-77	112	138
319	Fc-70	163, 164	132		397	Fc-71	163, 165		135	7	Hg-79-Hh-78-79	112	137
320	Fc-70	163, 164	134		398	Ff-69	150, 155		135	8	Gd-80-Gj-75	122, 125, 128	138
321	Fe-71	150, 151	133		399	Fe-69	150, 155		121	9	Gb-73-Ge-79	125, 130, 139, 128, 134	138, 156
322	Fe-71	150, 151	133		400	Fb-Fi-75	147, 148		128	10	Gk-75-Gl-80	118, 120	139
323	Fe-71	150, 151	133		401	Fi-76	147, 148		135	11	欠番		
324	Fe-71	150, 151	133		402	Fi-76	147, 148		135	12	Go-80-Gq-80	114, 117	139
325	Fg-72	144, 145	133		403	Fi-76	147, 148		135	13(1)	Fm-75-Fq-Fr-72	135, 136, 141	139
326	Fg-71	150, 151	133		404	Fi-76	147, 148		136	13(2)	Fk-77-Fi-76	142	
327	Fj-71	144, 145	133		405	Fb-75-76	147, 148		136	13(3)	Fb-80-Fi-79	142	
328	Fg-69	144, 145	112		406	Fb-Fi-75	147, 148		136	14	Fm-79-Fs-79	137, 138, 139	
329	Fj-71	144, 145	133		407	Fi-74	147, 149		136	15	Fm-78-Fs-79	137, 138, 139	
330	Fc-71	163, 164	133		408	Fi-74	147, 149		136	16	Fn-78-Fr-78	137, 138, 139	
331	Fj-72	144, 145	133		409	Ec-78-79	167, 174		136	17	Fs-73-Fe-73	135, 136, 109	
332	Fc-70	163, 164	117		410	Fb-73	147, 149		136	18	Fs-76-Fs-80	138, 139	
333	Fc-70	163, 165	117		411	欠番				19	欠番		
334	Fc-70	163, 165	117		412	Ff-73	156, 158		136	20	Fs-73-Fs-74	135, 136, 141	140
335	Fe-67	150, 152	118		413	Fi-71	144, 146		136	21	Ea-66-Fc-66	160, 161, 140	
336	Fe-68	150, 154	118		414	Fb-70	144, 146		136	22	Ea-66-Fc-66	160, 161, 140	
337	Fe-68	160, 162	118		415	Fb-70	144, 146		136	23	Fb-69-Fi-69	144, 145, 113	
338	Fe-68	160, 162	118		416	Ff-71	150, 155		136	24(1)	Fi-Fj-69-Fi-Fj-77	142, 143, 141, 156	
339	Fd-68	150, 154	118		417	Fi-71	150, 155		136	24(2)	Fi-79-Fi-80	142	
340	Ei-Fa-69-70	163, 165	118		418	Fi-71	150, 155		136	25(1)	Fi-Fk-70-Fk-77	142, 143, 141	
341	Fd-67	150, 154	118		419	欠番				25(2)	Fk-79-Fk-80	142	
342	Fd-67	150, 154	118		420	Fd-71	150, 155		136	26	Fk-71-Fk-77	142, 141, 156	
343	Fd-67	150, 154	118		421	Fe-72	156, 158			27	Fk-70-Fi-76	142, 143, 141, 156, 157	
344	Fc-70	163, 165			422	Fc-70	150, 155			28	Fe-69-Fe-73	150, 156, 159	129
345	Fc-70	163, 165	133		423	Ga-74	139, 140		131	29	Fi-70-Fe-73	150, 156, 159	
346	Fc-70	163, 165	133		424	Gd-74	139, 140		136	30	Fi-70-Fe-73	150, 156, 159	121
347	Fb-70	163, 165	133		425	Ge-74	139, 140		136	31	Fi-69-Fi-73	150, 156, 159	121
348	Fb-70	163, 165	133		426	Ge-74	139, 140		136	32	Et-69-Et-71	163, 165, 141, 157	
349	Fb-70	163, 165	133		427	Gd-74	139, 140		136	33	Fi-76-Fi-77	142	
350	Fb-70	163, 165	133		428	Gd-74	139, 140		136	34	Fe-74-Fi-74	156, 159	
351	Fb-70	163, 165	133		429	Gd-74	139, 140		136				
352	Fb-70	163, 165	134		430	Ge-74	139, 140		131				
353	Fi-Fe-70	150, 154	134		431	Fp-72	141		137				
354	Fc-70	163, 165	117		432	Fp-72	141		137				
355	Fc-70	163, 165	117		433	Fp-72	141		137				
356	Fc-70	163, 165	117		434	Fo-72	141		137				
357	欠番				435	Fp-72	141		137				
358	Fc-70	163, 165	134		436	Fp-72	141		137				
359	Fc-70	163, 165	134		437	Fp-72	141		137				
360	Fe-Fd-69-70	150, 154	134		438	Ge-74	139, 140		137				
361	Fe-Fd-70	163, 165	134		439	Ge-74	139, 140		137				
362	Fc-70	163, 165	134		440	Ge-74	139, 140		137				
363	欠番				441	Fo-72	141						
364	Fd-70	150, 154	119		442	Fo-72	141						
365	Fd-70	150, 154	119		443	Fs-73	141						
366	Fd-68	150, 154	134		444	Gb-74	139, 140		131				
367	Fd-68	150, 154	134		445	Gd-75	139, 140						
368	Fd-68	150, 154	134										
369	Fd-68	150, 154	134										
370	Fe-68	150, 155	134										
371	欠番												
372	Fg-71	150, 155	134										
373	Fe-68	150, 155	121										
374	Fe-68	150, 155	121										
375	Fe-71	150, 155	135										
376	Fg-71	150, 155	134										
377	Fi-Fa-72	150, 155	135										
378	Fc-71	163, 165	135										
379	Fg-71	150, 155	134										
380	Fb-Fi-70	144, 146	135										
381	Fe-68	150, 155	135										
382	Fe-68	150, 155	135										
383	Fe-68	150, 155	135										
384	Fe-68	150, 155	122										
385	Fe-69	150, 155	135										
386	Fi-70	150, 155	135										
387	Fi-71	150, 153	121										
388	Fg-73	147, 148	135										
389	Fg-73	147, 148	127										

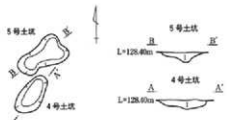


- 2号土坑 A-A'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。小石、黄褐色土ブロックを含む。
- 1号ピット B-B'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C·Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 砂状土。

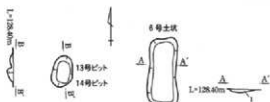


- 8号ピット F-F'
- 1 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 3号土坑 A-A'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。小石、黄褐色土ブロックを含む。

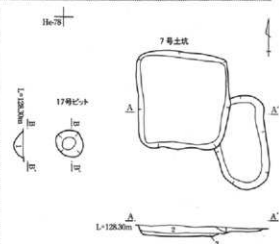
- 2・3号ピット B-B' C-C'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C·Hr-FAを含む。
- 4～7号ピット D-D' E-E'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。



- 4・5号土坑 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。暗褐色土に黄褐色土ブロックがモザイク状に混ざる。



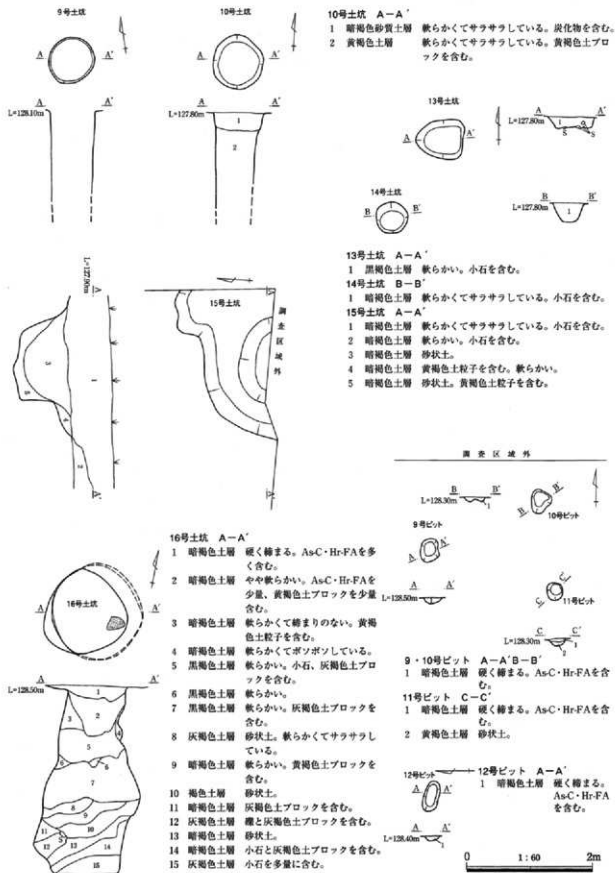
- 6号土坑 A-A'
- 1 黄褐色土層 サラサツしている。小石を含む。
- 13・14号ピット B-B'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C·Hr-FAを含む。



- 7号土坑 A-A'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。小石を含む。
  - 2 黄白褐色土層 硬く締まる。黄白色土ブロックと黄褐色土の土。
  - 3 暗褐色土層 砂状土。
- 17号ピット B-B'
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C·Hr-FAを含む。

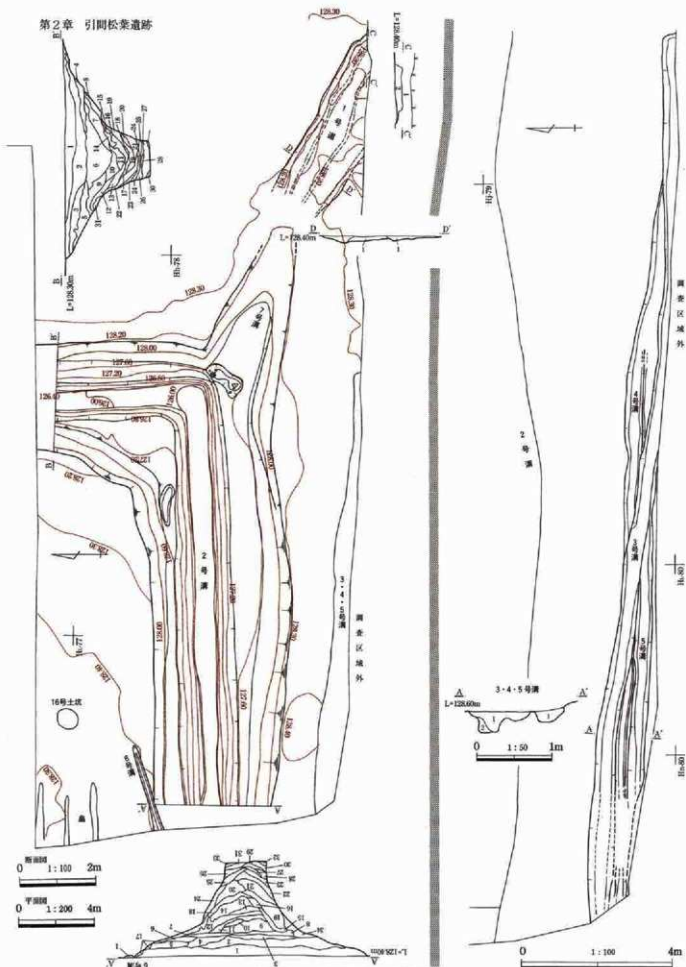
0 1:60 2m

第109図 1～7号土坑、1～8・13・14・17号ピット



第110図 9・10・13~16号土坑、9~12号ピット





第112圖 2~7号溝、1号道



## 2号溝 (西壁) A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、小石を多量に、明黄褐色土ブロックを少量含む。
- 3 褐色土層 硬く締まる。小石、黄褐色土粒子を含む。
- 4 褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。底辺に砂を含む。
- 5 褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを含む。
- 7 褐色土層 硬く締まる。黒褐色土、AsC・Hr-FA、小石を少量含む。
- 8 黒褐色土層 かなり硬く締まる(道路面)。AsC・Hr-FA、砂を含む。
- 9 褐色土層 硬く締まる。小石を多量に、AsC・Hr-FAを含む。
- 10 黒褐色土層 8層と同様であるが、やや軟らかい。
- 11 褐色土層 ボンボンとした土。締まりがない。AsC・Hr-FA、細砂を含む。
- 12 褐色土層 軟らかい。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 13 褐色土層 軟らかい。小石、黄褐色土粒子を含む。
- 14 明褐色土層 軟らかくてボンボンしている。小石、黄褐色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 15 褐色土層 細砂状土。小石、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 16 褐色土層 細砂状土。小石を多量に含む。
- 17 明黄褐色土層 サラサラしている。
- 18 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。小石、黄褐色土粒子を含む。
- 19 褐色土層 小石を含む。
- 20 黄褐色土層 軟らかくてサラサラしている。明黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 21 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。シルト、砂状土、石を少量含む。
- 22 黒褐色土層 上部に炭化物あり。小石、砂を多く含む。
- 23 褐灰色土層 砂状土。小石を含む。
- 24 黄褐色土層 サラサラしている。小石を含む。
- 25 褐色土層 砂状土。小石を含む。
- 26 褐色土層 砂状土。
- 27 褐灰色土層 砂状土。小石を含む。
- 28 灰褐色土層 砂状土。
- 29 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物を含む。
- 30 灰褐色土層 砂状土。
- 31 褐色土層 シルト状、砂を含む。
- 32 灰褐色砂層 小石を含む。
- 33 灰褐色砂層
- 34 明黄褐色土層 やや硬く締まる。小石を含む。

## 6号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを含む。

## 2号溝 B-B'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FAを多く含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、明黄褐色土ブロックを含む。
- 3 褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、明黄褐色土ブロック、明黄褐色土粒子を含む。
- 4 褐色土層 3層より多く明黄褐色土ブロックを含む。
- 5 褐色土層 やや締まる。黄褐色土粒子、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 褐色土層 やや締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子、小石を含む。
- 7 褐色土層 やや締まる。小石、砂、AsC・Hr-FAを含む。
- 8 褐色土層 やや締まる。小石、砂、黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 9 褐色土層 やや締まる。黄褐色土粒子、小石、AsC・Hr-FA

を含む。

- 10 暗褐色土層 サラサラしている。小石、黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 11 暗褐色土層 サラサラしている。石、小石を黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 12 褐色土層 サラサラしている。黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 13 褐色土層 サラサラしている。黄褐色土粒子を含む。
- 14 褐色土層 13層と同様の土。
- 15 黄褐色土層 褐色土と黄褐色土の混じり。
- 16 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。明黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。
- 17 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。16層より黄褐色土が多い。
- 18 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土粒子を含む。
- 19 褐色土層 やや締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 20 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。
- 21 黄褐色土層 黄褐色土粒子と砂状土の混じり。
- 22 黄褐色土層 軟らかくてサラサラしている。小石を含む。
- 23 褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 24 暗褐色土層 砂状土。黄褐色土ブロックを多く含む。
- 25 暗褐色土層 砂状土。
- 26 暗褐色土層 砂状土。黄褐色土粒子を多く含む。
- 27 黄褐色土層 砂状土。灰褐色粘土質ブロックを含む。
- 28 褐灰色土層 砂状土。灰褐色粘土質ブロックを含む。
- 29 暗褐色土層 砂状土。軟らかい。黄褐色土、灰褐色土ブロックを含む。
- 30 灰褐色砂層
- 31 灰褐色砂層 シルト状の土を含む。

## 1号溝 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。(盛土)
- 2 暗褐色土層 上面が硬く締まる。小石、灰白色土粒子を含む。

## 1号溝 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土、小石を含む。
- 2 暗褐色土層 上面が硬く締まる。小石、砂利を含む。

## 3・4号溝 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかくてサラサラしている。小石、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかくてサラサラしている。小石を少量含む。

## 5号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

## 第2章 引間松葉遺跡

## 土坑一覧表

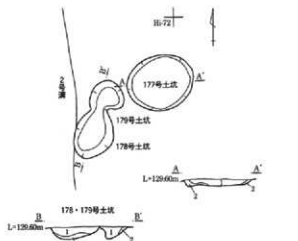
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Hg-77	楕円形	73×58×25			第109図		PL103
2	Hf-78-79	長方形	152×71×14			109		103
3	He-77	長方形	121×59×15			109		103
4	He-Hf-76	楕円形	67×37×14			109		103
5	He-Hf-76	不整形	77×46×13			109		103
6	He-79	長方形	104×42×5	その他		109		
7	Hd-78	方形	151×142×17	瓦		109		103
8	Ha-Hb-77	円形	75×70×34			111		103
9	Hb-77	円形	78×68×(127)	土師器片・須恵器片		110		103
10	Gt-77	円形	81×78×(147)			110		104
11	Ha-79	楕円形	60×45×12		12土坑-1溝と重複	111		137
12	Ha-79	ほぼ円形	66×61×45		11土坑-1溝と重複	111		137
13	Gt-79	不整形	72×61×15			110		
14	Gt-79	円形	48×47×30			110		
15	Gr-79	不明	(227)×145×82			110		104
16	Hb-76-77	ほぼ円形	128×114×293	瓦・石器・その他		110		

## ピット一覧表

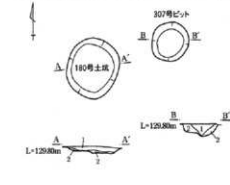
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Hg-78	方形	45×38×18			第109図		
2	Hf-77	楕円形	40×24×10			109		
3	Hf-77	楕円形	18×12×5			109		
4	Hf-77	楕円形	30×20×5			109		PL103
5	He-77	楕円形	32×28×10			109		103
6	He-Hf-77	不明	63×34×6		7ピットと重複	109		103
7	He-Hf-77	不明	63×34×10		6ピットと重複	109		103
8	He-Hf-77	円形	25×21×8			109		103
13	He-79	不明	47×30×10		14ピットと重複	109		103
14	He-79	不明	47×30×10		13ピットと重複	109		103
17	Hd-He-78	方形	40×39×15			109		
9	Hf-76	楕円形	30×30×10			110		103
10	He-Hf-76	不整形	34×30×8			110		103
11	He-76	円形	28×21×12			110		103
12	He-78	楕円形	50×23×7			110		103
15	He-77	楕円形	67×39×15		16ピットと重複	111		
16	He-77	不明	(60)×63×13		15ピットと重複	111		
18	Ha-77	長方形	63×41×17			111		137
19	Ha-77	ほぼ円形	37×35×12			111		137
20	Ha-77	楕円形	35×23×9			111		137
21	Gt-Ha-77	不整形	74×66×10			111		137
22	Gt-76	楕円形	50×47×15			111		
23	Gt-76	楕円形	42×38×15			111		
24	Ha-78	不整形	54×42×17		1溝と重複	111		137
25	Gt-77	方形	39×31×16			111		
26	Gr-75-76	不整形	42×40×9			111		
27	Gr-76	ほぼ円形	47×45×25			111		

## 溝一覧表

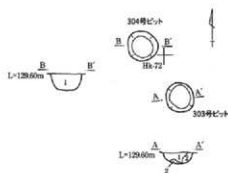
番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Ha-76-Ha-79	19.4×0.3-0.5×0.09			第111図		PL137
2(1)	Hf-Hf-71-72	4.5×6.2×-	土師器片・その他	Hf-79Hf-77でほぼ垂直方向に変わる	112	第80図	137,156
2(2)	Hh-Hj-76-Hm-79	31.0×5.7-7.8×1.22					137
3	Hj-79-Hm-79	23.5×0.4×0.28			112		137
4	Hj-79-Hm-79	19.5×0.3×0.1	土師器片・須恵器片・陶器・その他	重複	112		137
5	Hk-79-Hm-79	11.4×0.4×0.16	土師器片・陶器・その他		112		137
6	Hm-77-Ho-77	4.7×0.3×0.04	土師器片・須恵器片・瓦・その他		112		138
7	Hg-79-Hb-78-79	7.5×1.3-4.2×-		2溝と合流	112		137



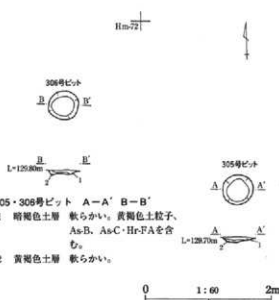
- 177~179号土坑 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 軟らかい。



- 180号土坑 A-A'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 軟らかい。
- 307号ピット B-B'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 軟らかい。



- 303号ピット A-A'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 軟らかい。
- 304号ピット B-B'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。



- 305・306号ピット A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
  - 2 黄褐色土層 軟らかい。

第113図 177~180号土坑、303~307号ピット

### 土坑一覧表

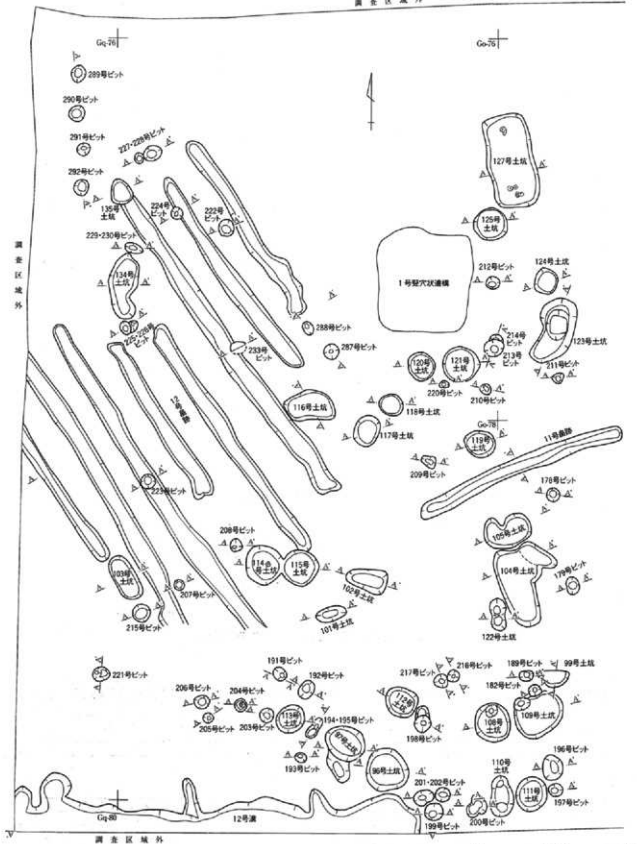
番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
177	Hh・Hs-72	楕円形	107×88×11			第113図		PL145
178	Hs-72	楕円形	75×60×19		179土坑と重複	113		145
179	Hs-72	不明	55×45×20		178土坑と重複	113		145
180	Hh-72	楕円形	92×81×10			113		145

### ピット一覧表

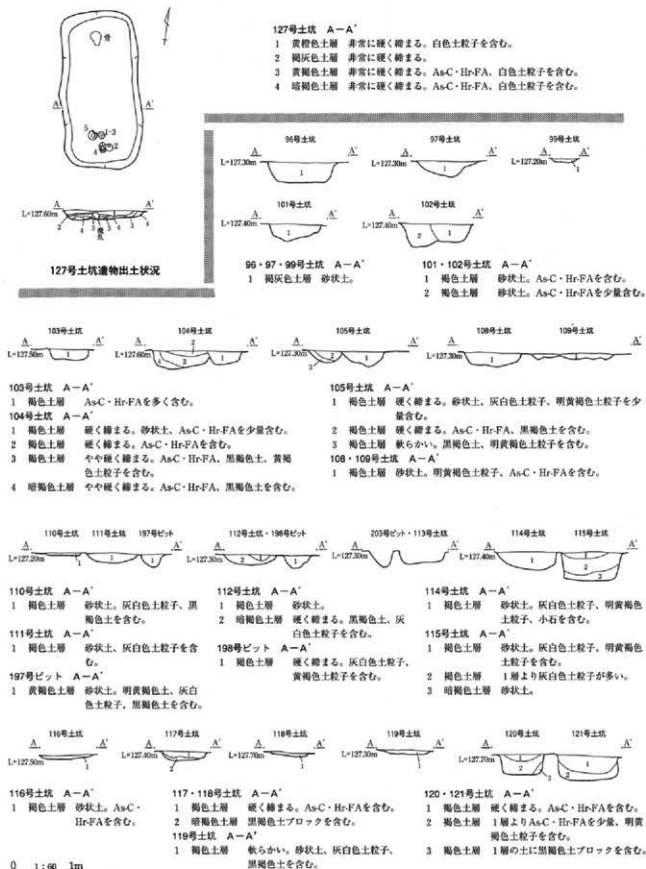
番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
303	Hs-72	円形	45×45×17			第113図		PL145
304	Hh-71-72	円形	47×46×25			113		145
305	Hs-72	円形	50×46×8	須恵器片・その他		113		145
306	Hh-72	ほぼ円形	48×47×7			113		145
307	Hh-72	円形	60×57×20			113		145



調査区域外

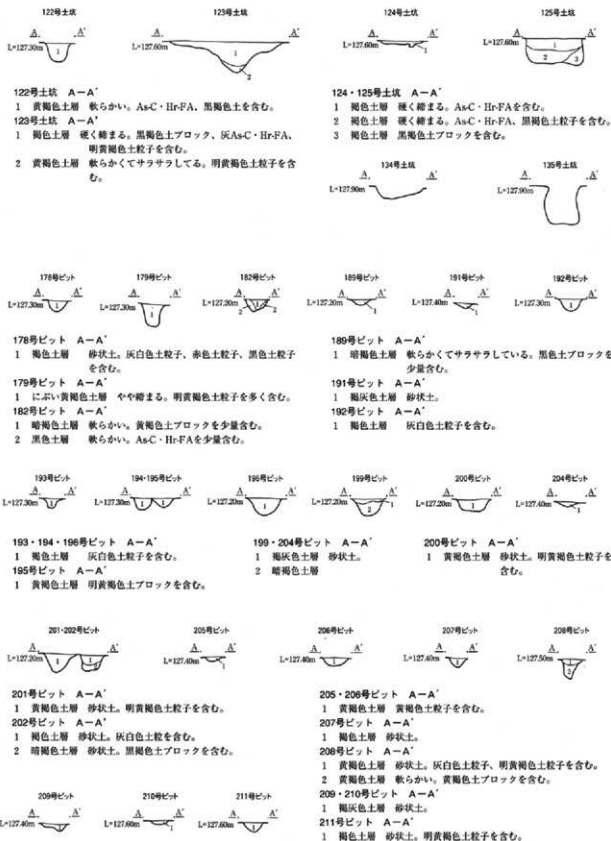


第114図 遺構群(1)

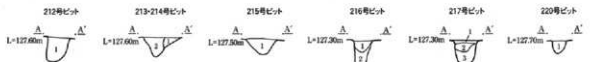


第115図 127号土坑遺物出土状況、遺構群(1)一断面図(1)

第2章 引間松葉遺跡



第116図 遺構群(1)-断面図(2)



## 212号ピット A-A'

1 黄褐色土層 硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。

## 213・214号ピット A-A'

1 褐色土層 砂状土。

2 黄褐色土層 砂状土。As・C・Hr・FA、黄褐色土粒子を含む。

## 215号ピット A-A'

1 黄褐色土層 軟らかくてボソボソしている。黒色土粒子、明黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。

## 216号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐色土層 軟らかい。黒褐色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。

## 217・220号ピット A-A'

1 褐色土層 砂状土。

2 黄褐色土層 黄褐色土ブロックを含む。

3 暗褐色土層 黒褐色土ブロックを含む。



## 221・223号ピット A-A'

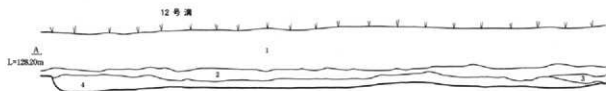
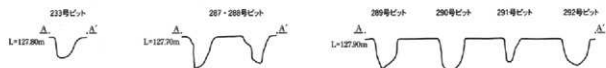
1 褐色土層 軟らかくてボソボソしている。

## 224~230号ピット A-A'

1 褐灰色土層

2 褐色土層

## 227・230号ピット



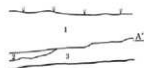
## 12号溝 A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐色土層 軟らかい。黒褐色土、灰白色土粒子を少量含む。

3 褐色土層 軟らかい。黒褐色土ブロック、黄褐色土粒子を含む。

4 褐色土層 軟らかい。灰白色土粒子、明黄褐色土ブロックを少量含む。



## 12号溝跡 A-A'

1 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、As・C・Hr・FAの混土。

2 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、黒褐色土、褐色土の混土。

3 褐色土層 硬く締まる。黒褐色土を含む。



0 1:60 1m

第117図 遺構群(1)一断面図(3)

## 第2章 引開松集遺跡

## 土坑一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
96	Go-79	ほぼ円形	111×109×32			影14、115B		PL.107
97	Go-79	楕円形	109×90×25			114.115		107
98	Gn-79	不明	90×(44)×6			114.115		143, 154
101	Go-78-79	楕円形	82×38×26			114.115		107
102	Go-78	不整形	112×66×25			114.115		107
103	Gp-Gq-78	楕円形	124×59×17			114.115		107
104	Gn-Go-78-79	不整形	215×151×28	土師器片・須恵器片		114.115		107
105	Gn-Go-78	不整形	127×85×23			114.115		107
108	Gn-Go-79	円形	104×91×22			114.115		143
109	Gn-79	楕円形	135×109×10			182ビットと重複		143
110	Gn-Go-79-80	不整形	109×61×4			114.115		143
111	Gn-79-80	円形	92×90×16			114.115		143
112	Go-79	楕円形	84×79×16			114.115		107
113	Gp-79	円形	77×68×18			114.115		107
114	Gp-78	円形	106×100×26			115土坑と重複		107
115	Go-Gp-78	ほぼ円形	94×94×45			114土坑と重複		107
116	Go-Gp-77	不整形	127×79×5			114.115		107
117	Go-77-78	楕円形	80×65×15			114.115		107
118	Go-77	円形	65×56×5			114.115		107
119	Go-78	楕円形	74×73×7			114.115		108
120	Go-77	円形	75×70×31	その他		114.115		108
121	Go-77	円形	94×93×38	土師器片		114.115		108
122	Gn-Go-78-79	不整形	82×42×29			114.116		107
123	Gn-77	不整形	181×102×49			114.116		108
124	Gn-77	方形	65×60×9			114.116		108
125	Gn-Go-76-77	円形	88×87×39			114.116		108
127	Gn-Go-78	長方形	243×126×15	土師器片・須恵器片・陶器・石器・鉄器・その他		114.115	第75図	108, 154
134	Gp-Gq-77	不整形	167×75×19			114.116		108
135	Gp-Gq-76	不整形	65×61×90			114.116		108

## ピット一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
178	Gn-78	楕円形	35×32×16			影14、116B		PL.107
179	Gn-78	長方形	43×34×34			114.116		107
182	Gn-79	方形	35×31×19			109土坑と重複		143
189	Gn-79	楕円形	41×30×8			114.116		107
191	Gp-79	楕円形	41×33×8			114.116		107
192	Go-Gp-79	楕円形	50×37×16			114.116		107
193	Gp-79	楕円形	32×26×16			114.116		107
194	Go-Gp-79	(楕円形)	(30)×28×18			195ビットと重複		107
195	Go-79	(楕円長方形)	(30)×22×14			194ビットと重複		143
196	Gn-79	楕円形	69×52×27			114.116		107
197	Gn-79	円形	35×35×20			114.115		107
198	Go-79	方形	43×39×21			114.115		107
199	Go-80	円形	50×46×25			114.116		107
200	Go-79-80	不整形	62×51×18			114.116		107
201	Go-79-80	不整形	54×43×29			114.116		107
202	Go-79-80	円形	40×37×25			114.116		107
203	Gp-79	楕円形	37×35×24			114.115		107
204	Gp-79	円形	33×33×8			114.116		107
205	Gp-79	円形	27×25×7			114.116		107
206	Gp-79	円形	42×39×13			114.116		107
207	Gp-78	円形	30×27×13			114.116		107
208	Gp-78	楕円形	35×33×31			114.116		107
209	Go-78	長方形	40×30×11			114.116		108
210	Go-77	方形	30×26×6			114.116		108
211	Gn-77	不整形	32×27×14			114.116		102
212	Gn-Go-77	円形	36×34×38			114.117		102
213	Gn-Go-77	楕円形	52×43×30			214ビットと重複		108
214	Gn-Go-77	(楕円形)	(20)×27×11			213ビットと重複		108
215	Gp-78-79	ほぼ円形	(50)×47×24			114.117		107
216	Go-79	ほぼ円形	33×32×45			114.117		143
217	Go-79	ほぼ円形	37×35×36			114.117		143
220	Go-77	不整形	25×17×19			114.117		108
221	Gq-79	楕円形	46×40×12			114.117		108
222	Gp-76-77	円形	44×42×30			114.117		143
223	Gp-78	円形	40×40×15			114.117		107
224	Gp-76	円形	32×32×10			114.117		108
225	Gp-77	長方形	35×27×17			226ビットと重複		108
226	Gp-77	(不明)	30×(20)×5			225ビットと重複		108
227	Gp-76	方形	26×22×8			228ビットと重複		108
228	Gp-76	楕円形	51×40×31			227ビットと重複		108
229	Gp-77	楕円形	50×27×13			230ビットと重複		108



ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
230	Gp-77	楕円形	50×27×15		229ピットと重複	第114.117図		PL108
233	Gp-77	—	45×35×30			114.117		143
287	Go-77	楕円形	40×27×45			114.117		132
288	Go-Gp-77	方形	40×38×43			114.117		132
289	Gq-76	方形	38×37×45			114.117		108
290	Gq-76	円形	45×42×51			114.117		108
291	Gq-76	円形	36×32×35			114.117		108
292	Gq-76	隅丸方形	43×35×41			114.117		108

溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
12	Go-80-Gq-80	4.2×0.6~1.5×0.35	瓦・その他		第114.117図		PL139

#### (4) 溝

溝33条を検出した。

**1号溝** (①第111図, PL137)は、幅30~50cm、深さ9cmで、長さ19.4mにわたって検出した。塚田的場遺跡にその痕跡を確認できる。遺物の出土はなかった。

**2号溝** (①第112図②第80図, PL137-156)は、堀になる。発掘区の西端に位置し、引間六石遺跡の13号溝と同一遺構となるものと思われる。上幅5.7~7.8m、深さ1.22m、東西方向に22m(引間六石遺跡13号溝と合わせると約65m)、南北方向は途中の未発掘部分を入れて33mの長さにわたって検出できた。

**3~5号溝** (①第112図, PL137)は、ほぼ東西走向の溝である。

**6号溝** (①第112図, PL138)は、その一部の検出にとどまった。

**7号溝** (①第112図, PL137)は、2号溝に繋がり、塚田的場遺跡の7号溝となる。北西から東南走向の溝である。

**8号溝** (①第122-125-128図, PL138)は、幅0.6~1m、深さ0.41mで、長さ34.4mにわたって検出した。北西から東南走向の溝で、塚田的場遺跡からは検出できなかった。

**9号溝** (①第125-130-139図②第80図, PL138-156)は、幅1.4~3.1m、深さ1.31~1.78mで、長さ34.6mにわたって検出した。北東から南西走向で、底面に段差があった。塚田的場遺跡の9号溝になる(あわせると約65m)。覆土から灰軸陶器(虎渓山1号窯式期)の塊が出土した。

**10号溝** (①第118-120図, PL139)は、幅0.8~1.2m、深さ0.2mで、長さ22.9mにわたって検出した。北東から南西走向で塚田的場遺跡10号溝に続く。

**11号溝**は欠番で、**12号溝** (①第114-117図, PL139)は溝になるかどうかは不明である。

**13号溝** (①第135-136-141-142図, PL139)は、幅1.6~3.8m、深さ0.2~0.38mで、長さ62mにわたって検出した。北西から東南走向の溝で、24・25溝と重複している。

**14~16号溝** (①第137-138図, PL139)は、東西走向で、14・15溝は18号溝と合流している。

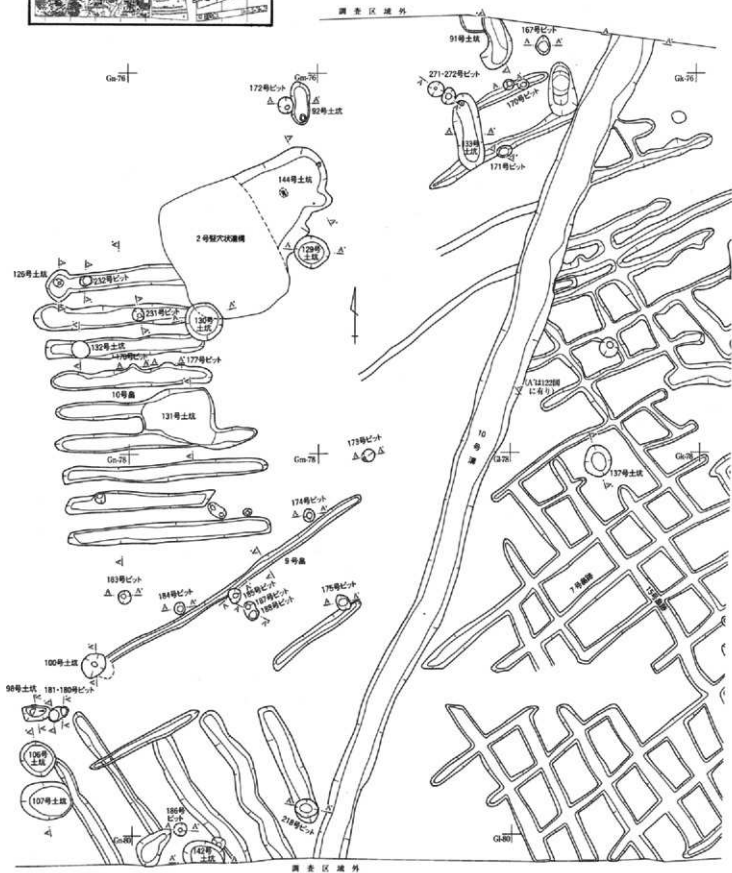
**18号溝** (①第135-138図, PL139)は南北走向である。

**17** (①第135-136図, PL109)・**20号溝** (①第135-141図, PL140)は、発掘時に溝として調査を進めたが、溝とはならなかった。

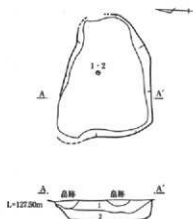
**21・22号溝** (①第160-161図, PL140)は、調査区の北東隅から検出した。ほぼ東西走向の溝である。塚田中原遺跡の6・7溝と対応するのであろうか。

**23号溝** (①第144-145図, PL113)もほぼ東西走向である。

**24~27号溝** (①第142-143図②第80-83図, PL141-156-157)は、ほぼ南北走向の溝である。24号溝は上幅3~4.7m、深さ2.13mで、長さ53mにわたって検出した。25号溝は24号溝に併行して走行している。上幅1.7~2.2m、深さ0.56mで、長さ51mにわたって検出した。26・27号溝と重複している。27号溝は上幅1.7~2.8m、深さ0.8~1.1mで、長さ32mにわたって検出した。覆土中から土師質の皿がまとまって多(182ページへ)



第118図 遺構群 (2)



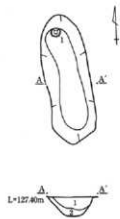
131号土坑遺物出土状況

## 131号土坑 A-A'

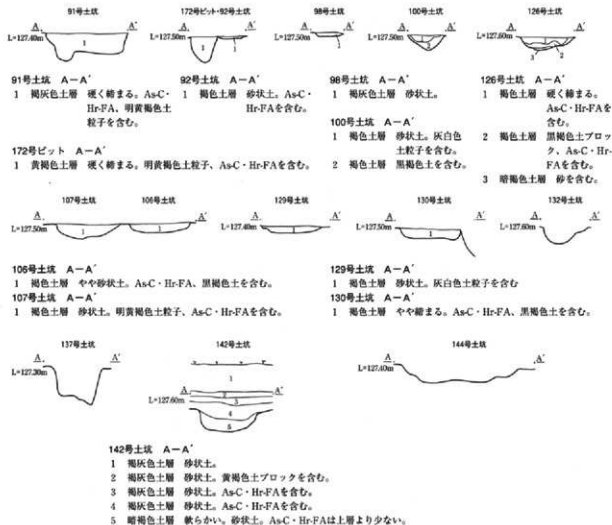
- 1 褐色土層 やや締まる。砂状土。黒褐色土、灰AsC・Hr-FAを含む。
- 2 黄褐色土層 灰AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

## 133号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、黒褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。

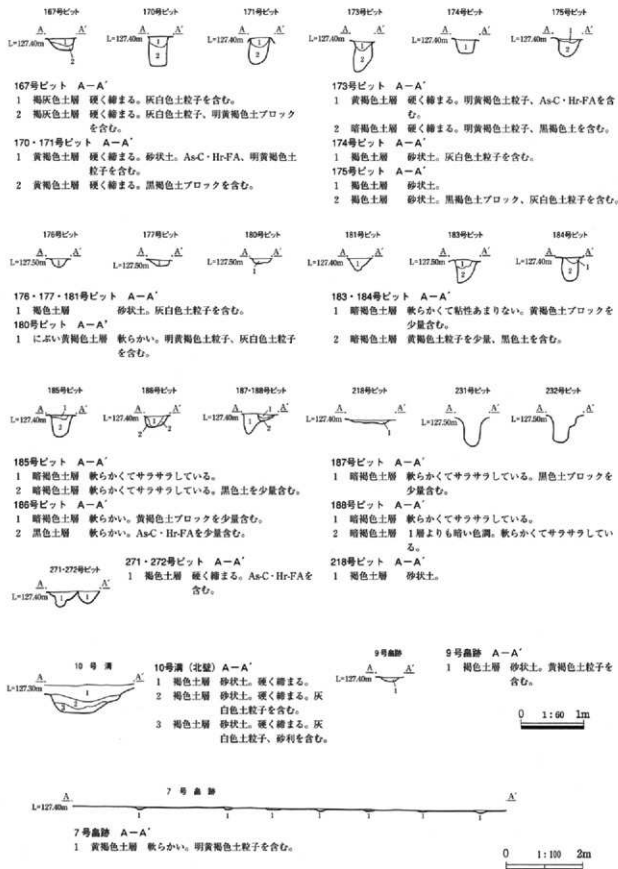


133号土坑遺物出土状況



第119図 131・133号土坑遺物出土状況、遺構群(2)一断面図(1)

第2章 引間松素遺跡



第120図 遺構群(2)-断面図(2)



10号墓群 A-A'

- 1 黄褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黒褐色土ブロックを含む。  
2 黒褐色土層 1層の土に黒褐色土ブロックを多く含む。

0 1:60 1m

第121図 遺構群(2) - 断面図(3)

## 土坑一覧表

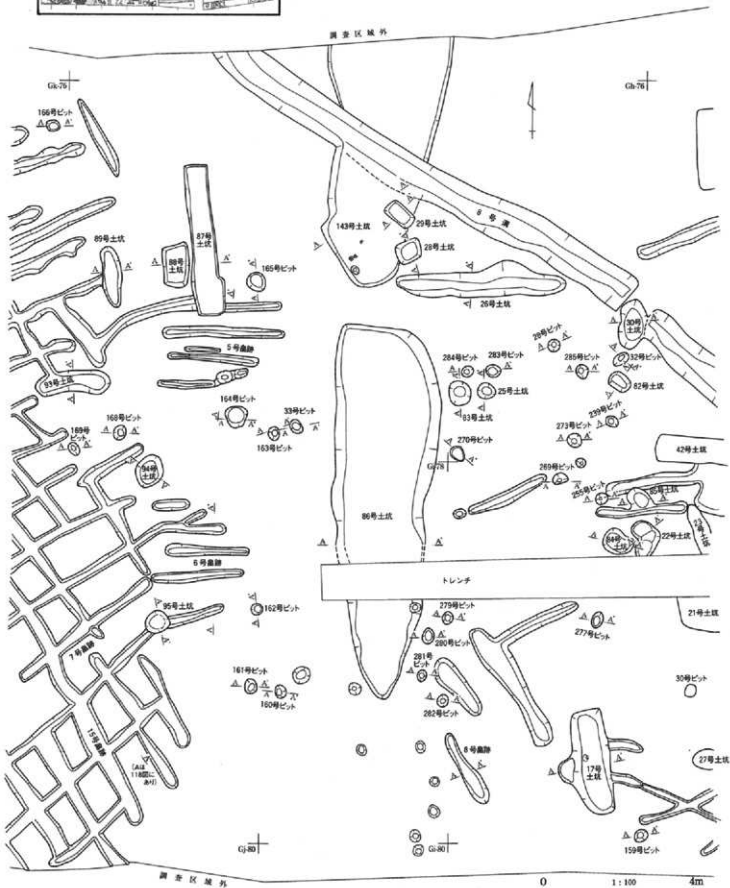
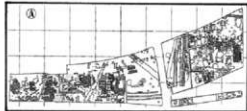
番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
91	Gk-GI-75	不整形	(139)×78×42	その他		第118 119/95		
92	Gm-76	楕円形	110×50×3		172ピットと重複	118. 119		
98	Gm-79	(長方形か)	(70)×40×5		181ピットと重複	118. 119		PL.143
100	Gm-79	楕円形	70×58×23			118. 119		143
106	Gm-79	楕円形	95×86×22	土師器片		118. 119		143
107	Gm-79	ほぼ円形	139×97×12			118. 119		143
126	Gm-77	楕円形	84×(66)×23			118. 119		143
129	GI-Gm-76-77	円形	92×90×10			118. 119		102
130	Gm-77	円形	100×100×13		2整穴と重複	118. 119		146
131	Gm-77	不整形	193×142×34			118. 119	第75図	108. 155
132	Gm-77	円形	50×46×25			118. 119		143
133	GI-76	楕円形	203×69×33			118. 119	75	108. 155
137	Gk-77-78	円形	84×76×58			118. 119		108
142	Gm-80	楕円形	109×55×32			118. 119		
144	GI-Gm-76	不整形	(212)×230×26		2整穴と重複	118. 119		109

## ピット一覧表

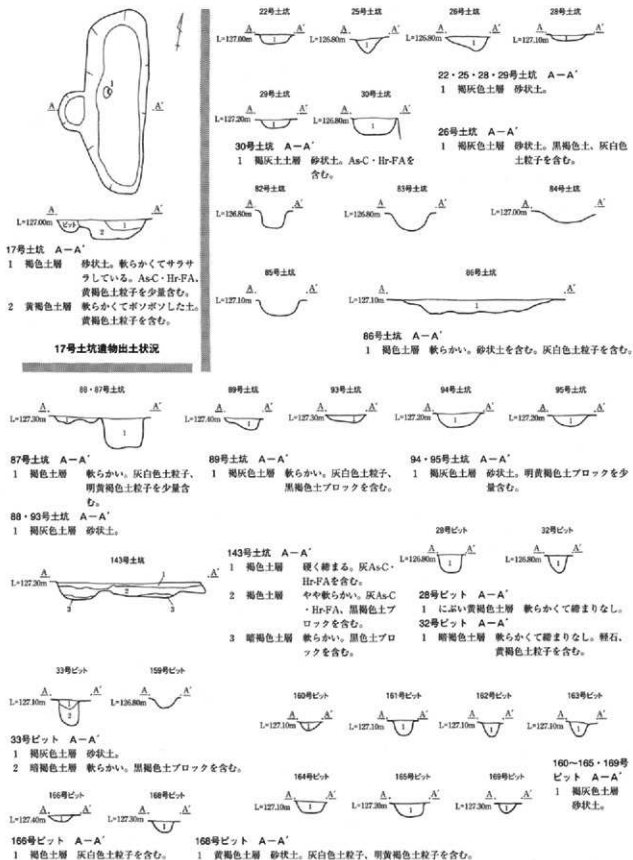
番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
167	Gk-75	楕円形	50×38×17			第118 120/8		
170	Gk-GI-76	楕円形	34×23×47			118. 120		PL.108
171	Gk-GI-76	楕円形	39×28×41			118. 120		108
172	Gm-76	円形	46×42×40			118. 119		
173	GI-77-78	円形	33×30×47			118. 120		
174	Gm-78	円形	35×30×21			118. 120		143
175	GI-78	隅丸方形	42×35×26			118. 120		143
176	Gm-77	不明	22×(8)×12			118. 120		143
177	Gm-77	不明	36×(8)×9			118. 120		143
180	Gm-79	不明	(26)×30×8		181ピットと重複	118. 120		143
181	Gm-79	円形	34×30×18		第75坑 180ピットと重複	118. 120		143
183	Gm-78	方形	34×33×35			118. 120		143
184	Gm-78	円形	31×30×36			118. 120		143
185	Gm-78	隅丸長方形	40×33×34			118. 120		143
186	Gm-79	円形	35×33×17			118. 120		143
187	Gm-78	不明	32×(25)×31		188ピットと重複	118. 120		143
188	Gm-78	不明	35×(22)×11		187ピットと重複	118. 120		143
218	Gm-79	楕円形	60×47×5			118. 120		
231	Gm-77	円形	30×30×43			118. 120		143
232	Gm-77	円形	34×30×40			118. 120		143
271	GI-76	楕円形	40×30×25			118. 120		108
272	GI-76	円形	36×35×18			118. 120		108

## 溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
10	Gk-75-GI-80	22.9×0.8~1.2×0.2		的場の10溝と同一	第118 120/9		PL.139



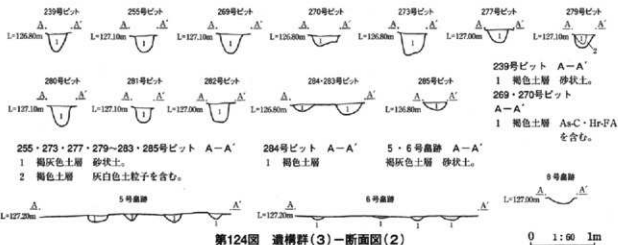
第122図 遺構群 (3)



第123図 17号土坑遺物出土状況、遺構群(3)-断面図(1)

0 1:60 1m

第2章 引間松葉道跡



土坑一覧表

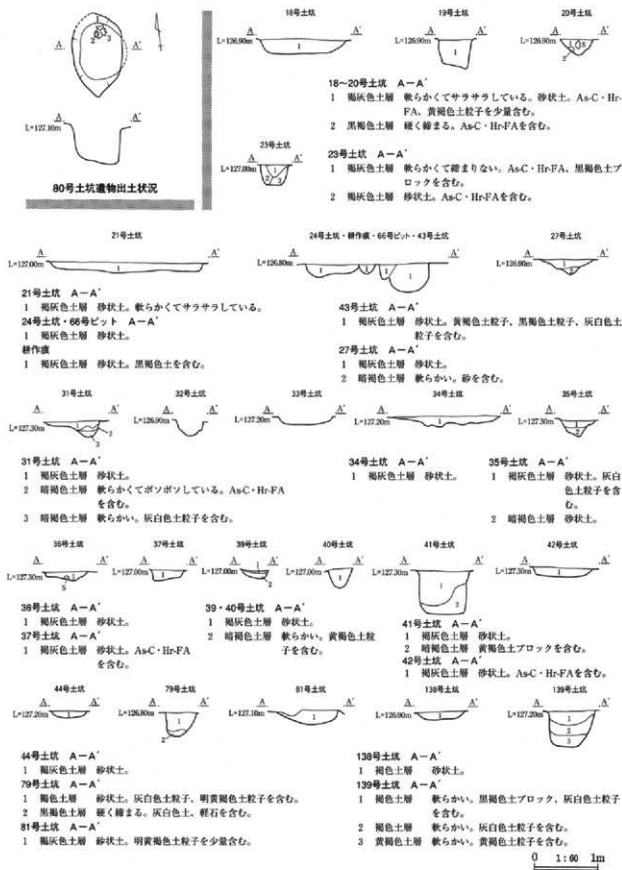
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
17	Gh-79	長方形	278×141×29	土師器片		新122,123(8)	第74(8)	PL104,154
22	Gg-Gh-78	不整形	(90)×73×12			122,123		104
25	Gh-77	ほぼ円形	47×41×21			122,123		104
26	Gh-Gi-76-77	不整形	448×92×22			122,123		104
28	Gi-76	方形	66×56×10	その他		122,123		104
29	Gi-76	長方形	79×45×13	須臾器		122,123		104
30	Gg-Gh-77	楕円形	134×70×25	その他		122,123		104
82	Gh-77	楕円形	58×40×26	土師器片		122,123		104
83	Gh-77	ほぼ円形	60×58×28			122,123		104
84	Gh-78	楕円形	79×63×15			122,123		104
85	Gg-Gh-78	楕円形	(62)×50×23			122,123		104
86	Gi-77-78	不整形	975×280×20	土師器片・須臾器片・瓦・縄文・その他		122,123		
87	Gj-76-77	長方形	400×89×49	土師器片・瓦・陶器・その他		122,123		106
88	Gj-76-77	長方形	115×70×11			122,123		106
89	Gj-76-77	楕円形	154×55×17			122,123		106
93	Gj-Gk-77	楕円形	195×57×12			122,123		106
94	Gj-77-78	楕円形	92×73×20			122,123		107
95	Gj-78	ほぼ円形	61×60×18			122,123		142
143	Gi-75-77	不明	(643)×325×28	その他		122,123		

ピット一覧表

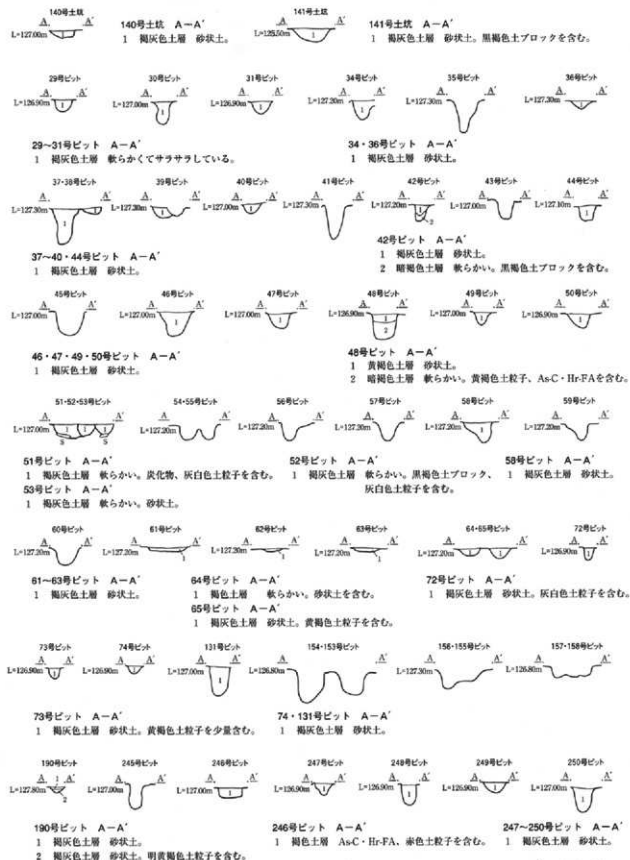
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
28	Gh-77	円形	32×32×27			新122,123(8)		PL104
32	Gh-77	楕丸長方形	48×29×28			122,123		104
33	Gi-77	楕円形	40×30×39			122,123		132
159	Gg-Gh-79	円形	37×34×15			122,123		
160	Gi-79	円形	40×36×13			122,123		142
161	Gj-79	円形	37×33×25			122,123		
162	Gi-Gj-78	円形	31×30×24			122,123		
163	Gi-77	楕円形	39×30×22			122,123		132
164	Gj-77	方形	60×57×17			122,123		132
165	Gi-Gj-77	楕丸方形	48×47×22	その他		122,123		106
166	Gk-76	楕円形	40×32×10			122,123		
168	Gj-77	楕丸方形	40×30×16			122,123		107
169	Gj-77	楕円形	35×27×15			122,123		107
239	Gh-77	楕円形	37×27×29			122,124		104
255	Gh-78	円形	32×30×26			122,124		104
269	Gh-78	楕円形	41×28×31			122,124		104
270	Gh-77	不整形	45×33×16			122,124		104
273	Gh-77	円形	40×36×33			122,124		104
277	Gh-78	—	43×30×20			122,124		
279	Gh-Gi-78	ほぼ円形	40×31×23			122,124		
280	Gi-78	楕円形	42×32×31			122,124		
281	Gi-79	円形	30×26×22			122,124		
282	Gi-79	円形	34×32×30			122,124		
283	Gh-77	楕丸方形	40×35×16			122,124		104
284	Gh-77	楕丸方形	32×27×11			122,124		104
285	Gh-77	円形	35×35×10			122,124		104







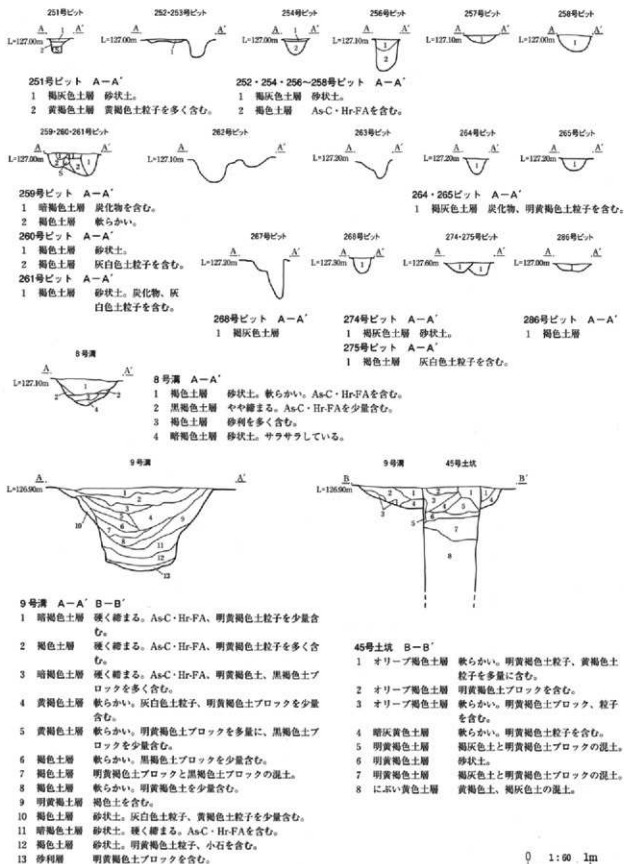
第126図 80号土坑遺物出土状況、遺構群(4)一断面図(1)



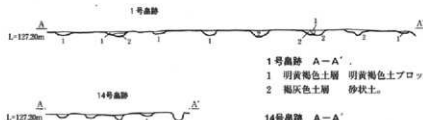
第127図 遺構群(4)一断面図(2)

0 1:60 1m

第2章 引開松葉遺跡



第128図 遺構群(4)-断面図(3)



1号土坑 A-A'

- 1 明黄褐色土層 明黄褐色土ブロックを多く含む。  
2 褐灰色土層 砂状土。

14号土坑 A-A'

- 1 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、AsC・Hr-FAを含む。

0 1:60 1m

## 土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図原	遺物図原	写真図原
18	Gf-79-80	(長方形)	(461)×148×22	土師器片・須恵器片		第125,126区		PL 104
19	Ge-78	円形	58×55×48			125, 126		104
20	Ge-78	楕円形	82×51×24			125, 126		104
21	Gg-78	(方形)	238×(94)×16			125, 126		
23	Gg-78	(楕円形小)	(138)×47×41			125, 126		104
24	Gg-78	不明	(85)×84×19	土師器片・須恵器片・瓦・その他	8溝と重複	125, 126		104
27	Gg-79	楕円形	87×53×22			125, 126		104
31	Gf-76	楕円形	84×66×25			125, 126		105
32	Gf-Gg-77	楕円形	63×40×22			125, 126		105
33	Gg-76	不明	(78)×70×12	その他	34土坑と重複	125, 126		105
34	Gf-Gg-76	楕円形	210×166×15			33土坑と重複		105
35	Gf-75	円形	62×58×23			125, 126		105
36	Ge-76	楕円形	124×68×13			41土坑と重複		105
37	Ge-77-78	ほぼ円形	59×50×32			125, 126		105
39	Ge-77	楕円形	81×40×11			140土坑と重複		132
40	Ge-77	楕円形	63×40×28			125, 126		132
41	Gf-75-76	長方形	262×81×67	土師器片・須恵器片・陶器		36土坑と重複		105
42	Gd-Ge-75	楕円形	181×95×16			125, 126		105
43	Gf-77	長方形	81×53×45	土師器片・瓦・石器・その他	8溝と重複	125, 126		104
44	Gd-75	楕円形	81×53×10			125, 126		105
79	Gf-Gg-77	楕円形	106×65×36			125, 126		106
80	Ge-77	楕円形	127×81×55			125, 126	第74区	106, 154
81	Ge-77	不整形	133×132×21			125, 126		106
138	Gg-76	長方形	209×63×12			125, 126		104
139	Gf-76	楕円形	75×55×55			125, 126		105
140	Ge-77	(長方形小)	(85)×49×11			39土坑・46ピットと重複		125, 127
141	Gf-Gg-79	楕円形	63×49×21			125, 127		104

## ピット一覧表

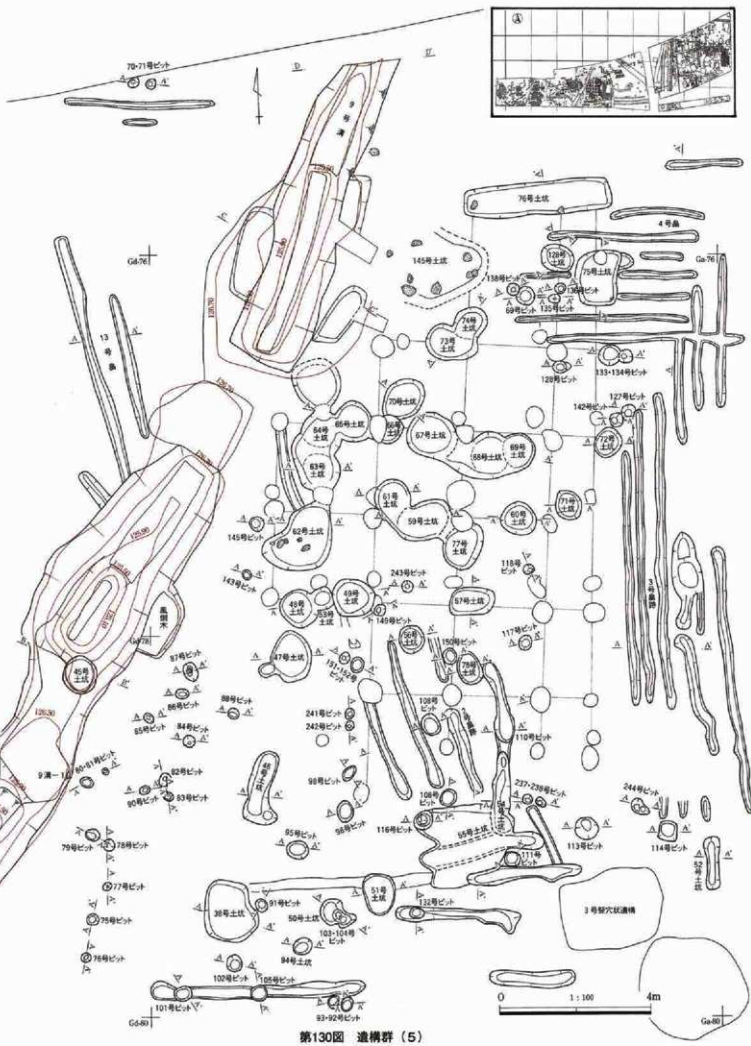
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図原	遺物図原	写真図原
29	Gf-79	円形	28×26×18			第125,127区		PL 132
30	Gg-79	円形	32×29×35			125, 127		
31	Gf-79	楕円形	43×21×20			125, 127		104
34	Gf-76	円形	37×33×30			125, 127		
35	Gf-75-76	円形	37×36×50			125, 127		105
36	Gf-75	楕円形	60×34×14			125, 127		105
37	Ge-75-76	円形	44×43×54			125, 127		105
38	Ge-75	楕円形	30×25×9			125, 127		105
39	Ge-76	不明	50×(22)×16			125, 127		
40	Ge-76	楕円形	41×30×13			125, 127		
41	Gf-75-76	円形	33×32×52			125, 127		105
42	Ge-Gf-76	溝丸長方形	35×24×26			125, 127		
43	Gf-77	円形	28×28×28			125, 127		132
44	Ge-77	円形	37×34×22			125, 127		132
45	Gf-77	ほぼ円形	51×43×36			125, 127		132
46	Ge-77	ほぼ円形	56×55×37	土師器片・その他	140土と重複	125, 127		
47	Ge-77	円形	36×30×24			125, 127		
48	Gg-76	溝丸長方形	36×30×39			125, 127		104
49	Gf-77-78	不整形	31×28×20			125, 127		132
50	Gf-80	楕円形	35×25×22			125, 127		132
51	Gf-77	(ほぼ円形小)	(30)×42×22			52, 53ピットと重複		132

## ピット一覧表

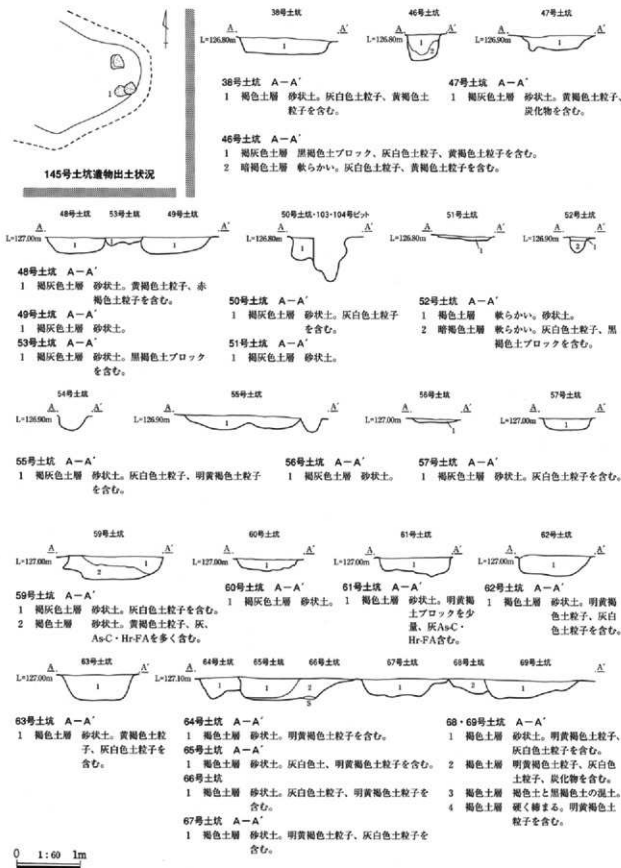
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ (cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
52	Gf-77	不整形	70×(33)×18		51.53ピットと重複	第125.127図		PL.132
53	Gf-77	(ほぼ円形か)	32×(30)×20		51.52ピットと重複	125.127		132
54	Ge-76	1412円形	30×28×23			125.127		105
55	Ge-76	円形	25×23×21			125.127		105
56	Ge-76	円形	35×30×25			125.127		
57	Ge-76	円形	31×25×29	土師器片・陶器		125.127		
58	Ge-76	円形	46×40×31			125.127		
59	Ge-76	楕円形	36×24×25			125.127		106
60	Ge-75-76	楕円形	46×37×27			125.127		105
61	Gd-76	円形	61×55×6			125.127		105
62	Ge-75	楕円形	50×32×4			125.127		105
63	Gd-75	円形	41×32×5			125.127		105
64	Gd-75	円形	32×30×10			125.127		105
65	Gd-75	円形	33×29×16			125.127		105
66	Gg-78	不明	(60)×27×23	43土坑・8溝と重複		125.126		104
72	Ge-78	楕円形	27×17×20			125.127		132
73	Gd-78	円形	28×18×18			125.127		132
74	Gd-78	楕円形	39×20×11			125.127		132
131	Gd-77	円形	29×27×44			125.127		132
153	Gf-Gg-77	楕丸方形	45×37×36			125.127		106
154	Gg-77	円形	45×45×54			125.127		106
155	Gf-75	不明	(45)×39×16		156ピットと重複	125.127		105
156	Gf-75	不明	(32)×25×31		155ピットと重複	125.127		105
157	Gg-77	不明	64×(45)×15		158ピットと重複	125.127		105
158	Gg-77	不明	(36)×25×16		157ピットと重複	125.127		105
190	Gd-79	円形	25×20×8			125.127		132
245	Ge-77	円形	25×20×39			125.127		
246	Ge-77	円形	45×38×14			125.127		132
247	Ge-78	楕円形	33×23×18			125.127		132
248	Ge-78	楕円形	32×24×30			125.127		
249	Ge-78	円形	37×33×16			125.127		
250	Ge-78	円形	36×36×36			125.127		
251	Ge-78	ほぼ円形	37×34×20			125.128		
252	Ge-77-78	方形	59×57×5			125.128		
253	Ge-77	不明	65×40×28			125.128		
254	Ge-77	不明	65×40×25			125.128		
256	Ge-77	円形	40×34×50			125.128		106
257	Gf-76-77	ほぼ円形	52×44×10			125.128		
258	Gf-77	不整形	51×42×26			125.128		
259	Gf-77	(円形か)	32×(25)×22		260ピットと重複	125.128		
260	Gf-77	(楕丸状方形か)	40×(23)×31		259.261ピットと重複	125.128		
261	Gf-77	(楕円形か)	(28)×25×32		260ピットと重複	125.128		
262	Gf-77	楕円形	72×50×34			125.128		
263	Ge-77	円形	33×29×15			125.128		
264	Gf-76	ほぼ円形	30×25×23			125.128		
265	Gg-76	円形	44×39×17			125.128		
267	Ge-76	楕丸方形	27×21×59			125.128		
268	Gf-76	円形	32×29×25			125.128		105
274	Gf-78	(楕丸状方形か)	(30)×32×16		273ピットと重複	125.128		
275	Gf-78	(楕丸方形か)	45×43×19		274ピットと重複	125.128		
286	Gg-78	楕円形	56×40×11			125.128		

## 溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ (m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
8	Gd-80-Gj-75	34.4×0.6~1.0×0.41	土師器片・須恵器片・石器・縄文	9溝に切断	第122.125図 128		138
9	Gb-73-Ge-79	34.6×1.4~3.1×1.31~1.78	土師器片・須恵器片・瓦・陶器・その他	的地の9溝と同一	125.130.139 128.134	80	138.156

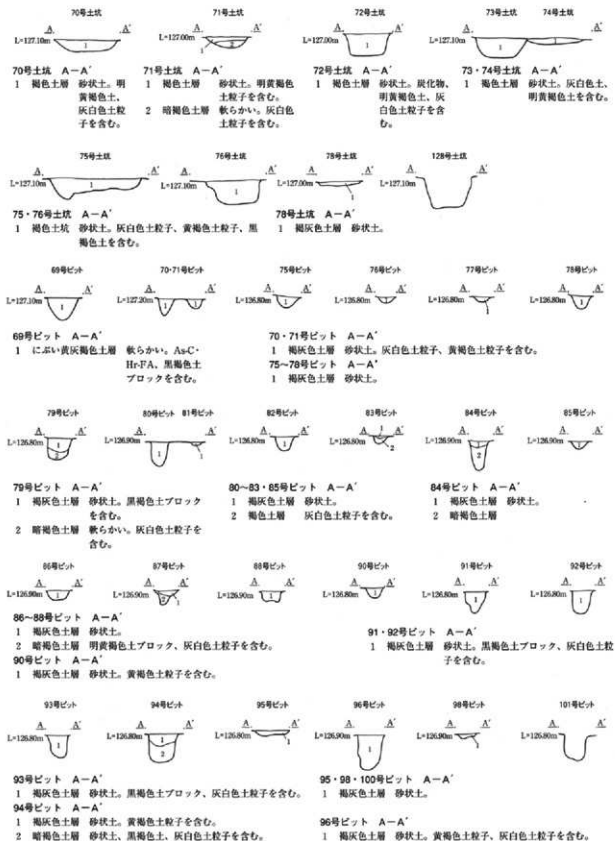


第130図 遺構群 (5)



第131図 145号土坑遺物出土状況、遺構群(5)一断面図(1)





0 1:60 1m

第132図 遺構群(5)一断面図(2)

第2章 引開松葉遺跡



106号ピット A-A'

1 褐色土層 砂状土。灰白色土粒子、明黄褐色土粒子を含む。

108号ピット A-A'

1 褐色土層 砂状土。灰白色土粒子を含む。

110号ピット A-A'

1 褐色土層 軟らかい。明黄褐色土ブロック、小石を含む。



111号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

113号ピット A-A'

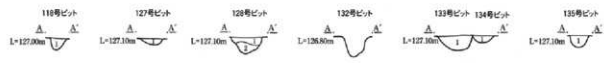
1 褐色土層 砂状土。明黄褐色土粒子、炭化物を含む。

114号ピット A-A'

1 褐色土層 砂状土。明黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。

117号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。灰白色土粒子を含む。



118・127号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

128号ピット A-A'

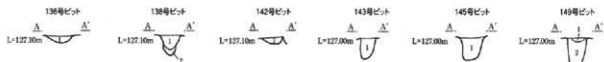
1 褐灰色土層 砂状土。

2 黒褐色土層 硬く締まる。As・C・Hr・FAを含む。

133～135号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐色土層 砂状土。明黄褐色土粒子を含む。



136・138・142号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐灰色土層 砂状土。明黄褐色土粒子を含む。

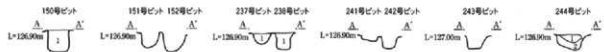
145号ピット A-A'

1 褐色土層 軟らかい。灰白色土粒子、明黄褐色土粒子を含む。

149号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐色土層 軟らかい。



150・238号ピット A-A'

1 褐灰色土層 砂状土。

2 褐色土層 軟らかい。

237号ピット A-A'

1 にぶい黄褐色土層 砂状土。明黄褐色土ブロック、粒子を含む。

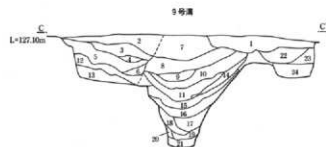
244号ピット A-A'

1 褐灰色土層

2 褐色土層

0 1:60 1m

第133図 遺構群(5)一断面図(3)

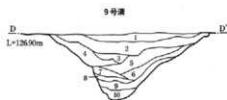


9号溝 C-C'

- 1 褐灰色土層 砂状土。
- 2 褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、灰白色土粒子を含む。
- 3 褐色土層 硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 4 褐色土層 3層より黄褐色土を多量に含む。
- 5 褐色土層 締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 6 褐色土層 軟らかい。黄褐色土を少量含む。
- 7 褐色土層 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。
- 8 褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 9 褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 10 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 11 黒褐色土層 砂状土。軟らかい。灰白色土粒子を少量含む。
- 12 褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 13 褐色土層 軟らかい。黄褐色土を少量含む。
- 14 褐色土層 砂状。細かな黄褐色土を多量に含む。
- 15 黒褐色土層 黒褐色土と黄褐色土ブロックの混土。
- 16 黒褐色土層 砂状。細かな黄褐色土粒子を微量に含む。
- 17 黄褐色土層
- 18 黒褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 19 黄褐色土層
- 20 黒褐色土層 砂状土。
- 21 黄褐色土層
- 22 褐灰色土層 砂状土。
- 23 褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 24 黄褐色土層 明黄褐色土ブロックを含む。

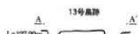
9号溝 D-D'

- 1 褐色土層 硬く締まる。AsC・Hr-FA、明黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、黒褐色土ブロックを含む。
- 4 黄褐色土層 やや硬く締まる。白色土粒子、黄褐色土粒子、小石を含む。
- 5 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 黄褐色土ブロック、砂利を含む。
- 7 暗褐色土層 サラサラしている。小石、黄褐色土粒子、黒褐色土をまばらに含む。
- 8 黄褐色土層 サラサラしている。小石、黄褐色土粒子を多く含む。
- 9 暗褐色土層 サラサラしている。小石、黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。
- 10 明黄褐色土層 砂利、小石を多量に含む。



2号畝跡 A-A'

- 1 褐灰色土層 砂状土。



0 1:60 2m

第134図 遺構群(5)-断面図(4)

## 土坑一覽表

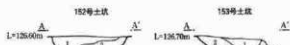
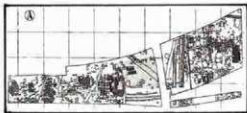
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
38	Gc-79	方形	171×142×26	土師器片				PL.105
45	Gd-78	円形	98×90×(165)	土師器片	9溝内	128, 130		
46	Gc-78	長方形	188×95×39	瓦		130, 131		105
47	Gc-77-78	楕円形	140×132×22	土師器片・その他		130, 131		100
48	Gc-77	(方形か)	100×(96)×22	土師器片	53土坑と重複	130, 131		100
49	Gb-77	ほぼ円形	111×96×27	土師器片	53土坑と重複	130, 131		100
50	Gc-79	(円形か)	69×(56)×36	土師器片	103-104ピットと重複	130, 131		106
51	Gb-79	楕円形	107×85×6			130, 131		106
52	Ga-79	楕円形	142×43×24			130, 131		106
53	Gc-77	(方形か)	57×(50)×10	土師器片	48, 49土坑と重複	130, 131		100
54	Gb-78	不整形	(222)×47×24	瓦・その他	55土坑と重複	130, 131		106
55	Gb-78-79	不整形	285×211×21	その他	54土坑と重複	130, 131		106
56	Gb-77-78	円形	75×68×7			130, 131		100
57	Gb-77	楕円形	119×74×18			130, 131		101
58					1掘立P26			
59	Gb-77	(楕円形か)	(134)×101×34	その他	61土坑と重複	130, 131		101
60	Ga-Gb-77	ほぼ円形	96×90×19			130, 131		100
61	Gb-77	(円形か)	(98)×90×30	土師器片	59土坑・1掘立と重複	130, 131		101
62	Gc-77	不整形	187×162×33	土師器片		130, 131		101
63	Gc-77	不明	110×(87)×38	土師器片・須恵器片・瓦	64土坑と重複	130, 131		101
64	Gc-76	不明	45×(40)×30	土師器片	63・65土坑と重複	130, 131		101
65	Gb-Gc-76	ほぼ円形	106×(100)×33		65土坑・1掘立と重複	130, 131		101
66	Gb-76	不明	(83)×78×31		65-70土坑・1掘立と重複	130, 131		101
67	Gb-76-77	(ほぼ円形か)	(134)×117×27		68土坑と重複	130, 131		101
68	Gb-76-77	ほぼ円形	123×(100)×25		67, 69土坑と重複	130, 131		101
69	Ga-Gb-76-77	ほぼ円形	97×(85)×29		68土坑と重複	130, 131		101
70	Gb-76	楕円形	105×104×19		66土坑と重複	130, 132		101
71	Ga-77	楕円形	75×68×15			130, 132		100
72	Ga-76-77	方形	77×68×34	土師器片		130, 132		101
73	Gb-76	楕円形	139×90×32	土師器片・須恵器片	74土坑と重複	130, 132		102
74	Gb-76	楕円形	(95)×80×9		73土坑と重複	130, 132		102
75	Ga-76	方形	144×112×32	その他		130, 132		101
76	Ga-Gb-75	長方形	391×91×37	土師器片・須恵器片・石器・その他		130, 132		101
77	Gb-77	楕円形	127×(100)×35			130		101
78	Gb-78	楕円形	88×64×7			130, 132		100
128	Ga-75-76	楕円形	86×68×50			130, 132		101
145	Gb-76	不明	計測不能			130, 131	75	100, 155

## ピット一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
69	Ga-Gb-76	円形	47×45×32	138ピットと重複				PL.101
70	Gd-75	楕円形	27×23×27			130, 132		132
71	Gc-75	楕円形	30×25×15			130, 132		132
75	Gd-79	円形	35×30×16			130, 132		132
76	Gd-79	円形	25×24×11			130, 132		132
77	Gd-79	円形	24×21×9			130, 132		132
78	Gd-79	円形	32×30×20			130, 132		132
79	Gd-79	楕円形	40×31×34			130, 132		132
80	Gd-78	楕円形	35×26×37			130, 132		132
81	Gd-78	円形	20×18×6			130, 132		132
82	Gc-78	楕円形	36×30×22			130, 132		132
83	Gc-78	円形	28×23×11			130, 132		132
84	Gc-78	円形	37×32×45			130, 132		132
85	Gc-Gd-78	円形	31×29×12			130, 132		132
86	Gc-78	楕円形	36×25×19			130, 132		132
87	Gc-78	楕丸方形	47×36×23			130, 132		132
88	Gc-78	円形	30×29×14			130, 132		132
90	Gd-78	楕円形	27×22×17			130, 132		132
91	Gc-79	円形	34×31×33			130, 132		105
92	Gb-79	円形	36×30×36			130, 132		132
93	Gc-79	ほぼ円形	35×30×34			130, 132		132
94	Gc-79	円形	49×42×45			130, 132		132
95	Gc-79	ほぼ円形	57×47×8			130, 132		105
96	Gb-Gc-78	楕丸方形	52×42×54			130, 132		102
98	Gb-78	楕円形	45×29×7			130, 132		102
101	Gc-79	ほぼ円形	45×40×42			130, 132		132

ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
102	Gc-79	円形	43×40×40			第130, 133回		Pl. 132
103	Gb-Gc-79	不明	27×(20)×50		50土坑と重複	130, 131		106
104	Gb-Gc-79	不明	30×(20)×67		50土坑と重複	130, 131		106
105	Gc-79	円形	42×38×41			130, 133		132
106	Gb-78	円形	44×40×16			130, 133		106
108	Gb-78	隅丸方形	57×48×19	その他		130, 133		100
110	Gb-78	(楕円形か)	(78)×53×24			130, 133		100
111	Gb-79	円形	39×38×9			130, 133		106
113	Ga-78-79	ほぼ円形	62×58×59			130, 133		132
114	Ga-78-79	不整形	52×51×40			130, 133		106
116	Gb-78-79	楕円形	57×44×66			130, 133		106
117	Gb-78	円形	40×32×17			130, 133		100
118	Ga-Gb-77	円形	27×27×18			130, 133		100
127	Ga-76	(円形か)	41×39×10			130, 133		101
128	Ga-76	円形	36×34×24			130, 133		102
132	Gb-79	楕円形	40×28×30			130, 133		106
133	Ga-76	円形	60×55×24		134ピットと重複	130, 133		102
134	Ga-76	(円形か)	(37)×35×10		133ピットと重複	130, 133		102
135	Ga-76	楕円形	30×23×17			130, 133		101
136	Ga-76	円形	28×28×6			130, 133		101
138	Gb-76	円形	33×31×32			130, 133		101
142	Ga-76	円形	37×35×10			130, 133		101
143	Gc-77	円形	28×25×32			130, 133		100
145	Gc-77	円形	40×38×36			130, 133		101
149	Gb-77	ほぼ円形	32×27×46			130, 133		100
150	Gb-78	円形	39×36×34	その他		130, 133		100
151	Gb-78	不整形	28×30×23			130, 133		100
152	Gb-78	円形	43×36×27			130, 133		100
237	Gb-78	ほぼ円形	27×24×21			130, 133		
238	Gb-78	不整形	31×22×35			130, 133		
241	Gb-78	円形	28×24×8			130, 133		
242	Gb-78	円形	25×22×19			130, 133		
243	Gb-77	円形	31×30×20			130, 133		
244	Ga-78	不整形	52×32×24			130, 133		



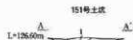
152・153号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。砂状土。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを上層より多く含む。



150号土坑 A-A'

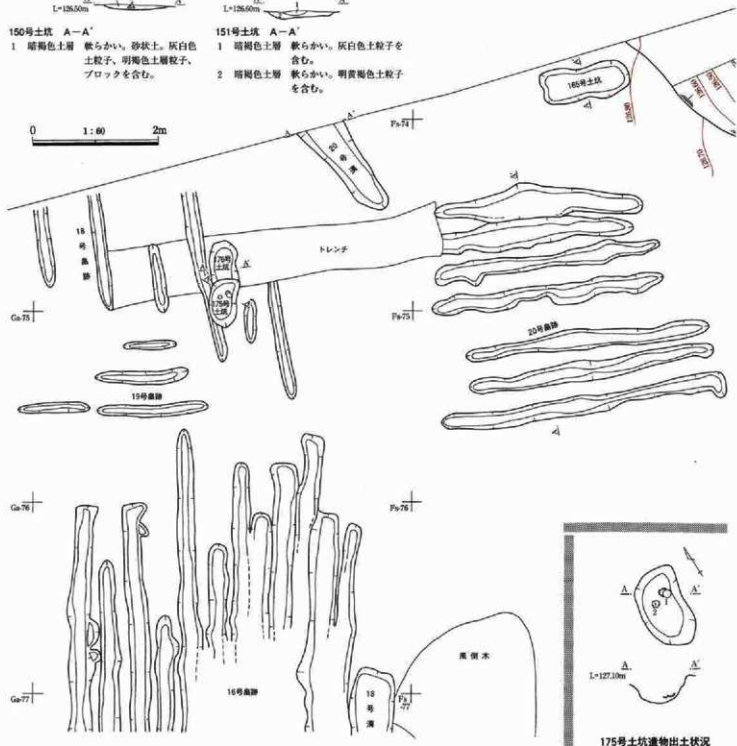
- 1 暗褐色土層 軟らかい。砂状土。灰白色土粒子、明褐色土層粒子、ブロックを含む。



151号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。灰白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。明黄褐色土粒子を含む。

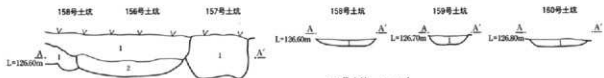
0 1:60 2m



第135図 遺構群(6)、175号土坑遺物出土状況



第2章 引間松葉道跡



156号土坑 A-A'

- 1 褐灰色土層 硬く締まる。砂状土、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 褐灰色土層 やや硬く締まる。砂状土。灰白色土粒子、明黄褐色土粒子を少量含む。

157号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 やや硬く締まる。サラサラしている。明黄褐色土ブロック、灰白色土粒子、黒褐色土ブロックを含む。

158号土坑 A-A'

- 1 黒褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。

159号土坑 A-A'

- 1 褐灰色土層 やや硬く締まる。砂状土。黒褐色土ブロックを含む。

160号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。



165号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、明黄褐色土ブロックを多く含む。

166号土坑 (13号溝内) A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。



293号ピット A-A'

- 3 暗褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。
- 4 褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。

294号ピット A-A'

- 1 褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。
- 2 褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。

299～301号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 締まり弱い。ローム粒子を含む。

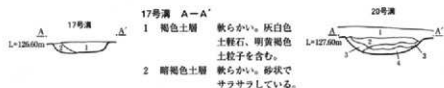
302号ピット A-A'

- 1 褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。
- 2 黒褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。
- 3 褐色土層 締まり弱い。ロームブロックを含む。



13号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、炭化物粒子、As-Bをまばらに含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。黄褐色土ブロック、灰白色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 砂利を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 7 茶褐色土層 軟らかい。壁の崩れ。



17号溝 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかい。灰白色土粒子、明黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。砂状でサラサラしている。

20号溝

20号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬い。
- 2 砂利層
- 3 暗褐色土層 軟らかい。砂利を少量含む。
- 4 砂利層

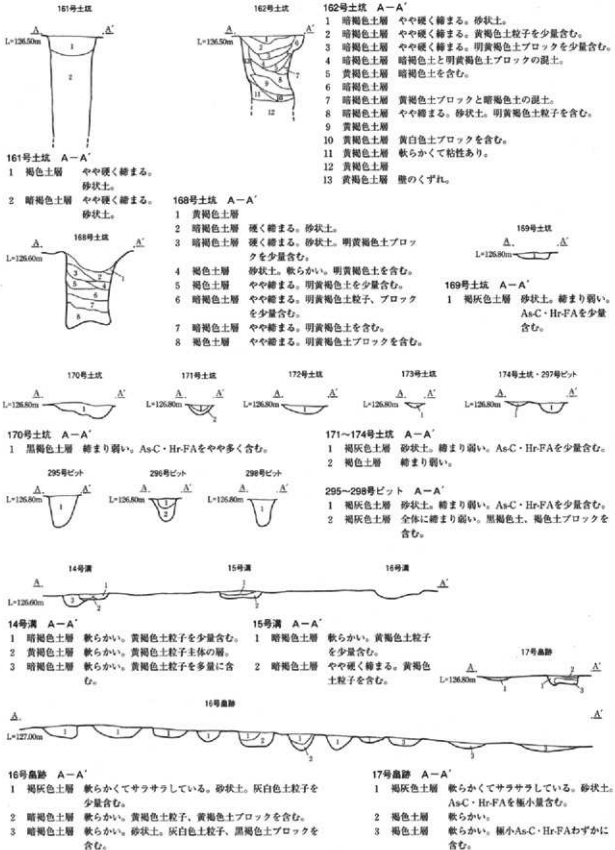


20号溝

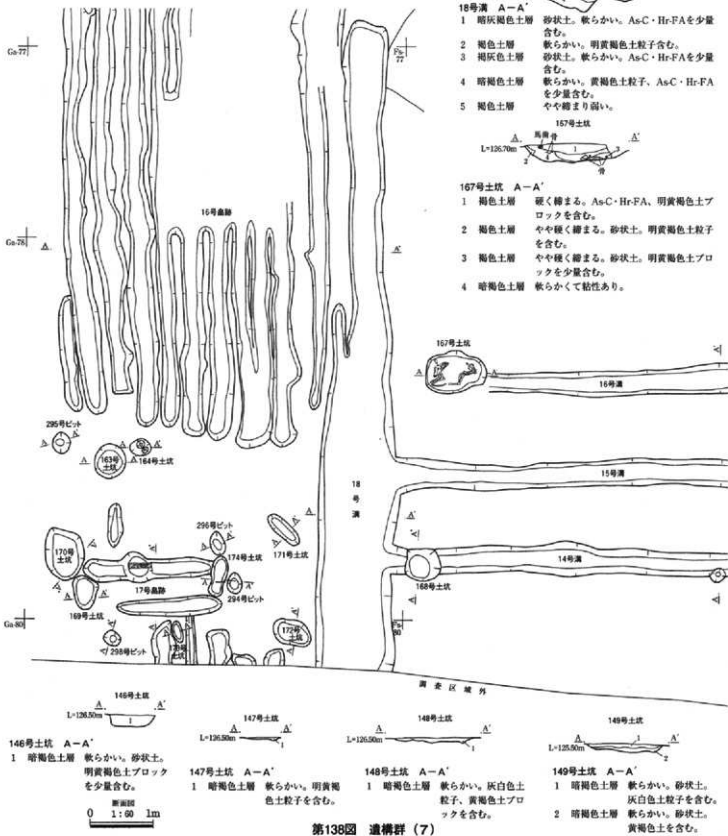
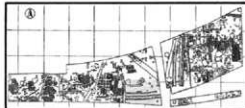
0 1:60 1m

第136図 遺構群(6)一断面図(1)





第137図 遺構群(7)-断面図(1)



第138図 遺構群 (7)



## 第2章 引開松葉遺跡

## 土坑一覽表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
146	Fm-Fs-76-77	長方形	(449)×(125)×18			第138図		PL. 109
147	Fs-77	不明	60×52×4				138	109
148	Fs-77	円形	135×131×10				138	109
149	Fo-77	ほぼ円形	126×120×14				138	109
150	Fo-76	ほぼ円形	110×98×6	その他			135	109
151	Fs-73	円形	111×107×12				135	109
152	Fs-73	ほぼ円形	120×110×25				135	109
153	Fm-Fo-72-73	楕円形	168×125×21				135	109
154	Fp-Fq-78	長方形	149×68×13				138	109
155	Fp-78	長方形	166×73×9				138	109
156	Fs-73	不明	(158)×(76)×66		158土坑と重複	135, 136		109
157	Fs-73	不明	95×(65)×70			135, 136		109
158	Fs-72-73	不明	(95)×(85)×10		156土坑と重複	135, 136		109
159	Fo-Fp-73	楕円形	160×65×14	木の實	283, 294ピットと重複	135, 136		110
160	Fp-73	長方形	285×101×10			135, 136		110
161	Fo-78	方形	75×70×(158)				137, 138	110
162	Fm-Fs-79-80	円形	125×102×(116)				137, 138	110
163	Ft-79	円形	90×82×23				138	110
164	Ft-79	楕円形	54×54×36	その他			138	110
165	Fq-Fr-73	長方形	229×95×19			135, 136		110
166	Fp-73	円形	55×50×7			135, 136		110
167	Fr-78	楕円形	157×108×28			138		110
168	Fr-79	ほぼ円形	83×84×118			137, 138		110
169	Ft-79	不整形	80×70×11			137, 138		110
170	Ft-79	不整形	132×103×19			137, 138		110
171	Fs-79	楕円形	107×38×14	土師器片・その他		137, 138		111
172	Fs-79-80	楕円形	98×67×13			137, 138		111
173	Ft-80	楕円形	58×27×9			137, 138		110
174	Fs-Ft-79	楕円形	108×43×6			137, 138		110
175	Fs-Ft-74-75	楕円形	130×72×41		176土坑と重複	135	第75図	111, 155
176	Fs-Ft-74	楕円形	(97)×75×24		175土坑と重複	135, 136		111

## ピット一覽表

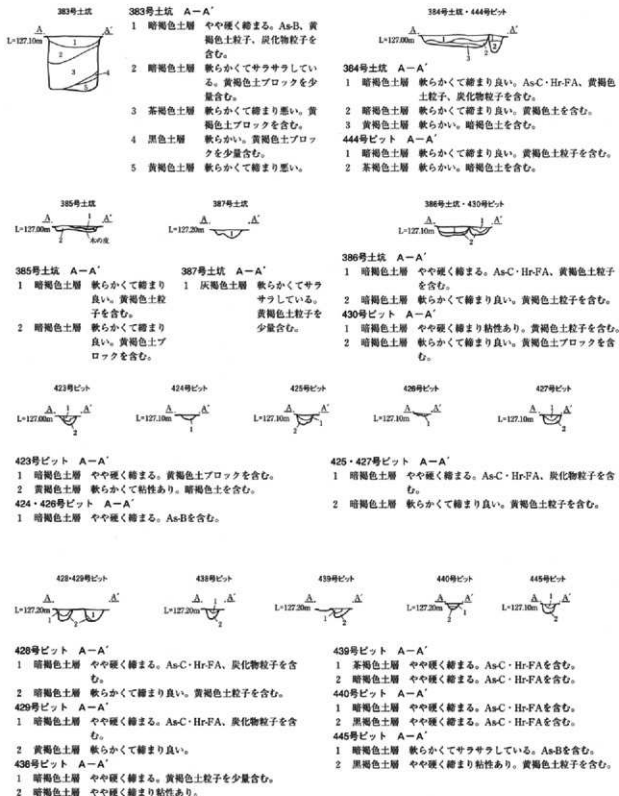
番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
293	Fo-73	不明	(65)×47×32		159土坑, 294ピットと重複	第135, 136図		PL. 110
294	Fo-73	不明	(65)×47×45		159土坑, 293ピットと重複	135, 136		110
299	Fo-73	隅丸方形	44×42×30			135, 136		110
300	Fo-73	楕円形	37×25×17			135, 136		110
301	Fo-73	楕円形	58×45×22			135, 136		110
302	Fp-73	ほぼ円形	70×62×31			135, 136		110
295	Ft-79	円形	54×49×49			137, 138		110
296	Fs-Ft-79	楕円形	61×38×35	その他		137, 138		110
297	Fs-79	楕円形	52×39×15			137, 138		110
298	Ft-80	楕円形	43×39×43			137, 138		110

## 溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ (m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
13(1)	Fm-75-76-Fq-Fr-72	29.0×3.81×0.2-0.38	須恵器片・灰油・瓦・石器・鉄器・その他		第135, 136図 141		PL. 139
17	Fs-73-Fo-73	2.0×0.8×0.18			135, 136		109
20	Fs-73-Fs-74	6.1×0.7-0.9×0.25	土師器片・須恵器片・陶器・埴輪・鉄器		135, 136, 141		140
14	Fm-79-Fs-79	28.5×0.4-1.0×0.09-0.21		18溝と合流	137, 138		139
15	Fm-78-Fs-79	27.9×0.6-0.8×0.11-0.3	土師器片・石器・縄文・その他	18溝と合流	137, 138		139
16	Fn-78-Fr-78	22.5×0.5-0.9×0.14	須恵器片・瓦		137, 138		139
18	Fs-76-Fs-80	17.1×0.9-2.0×0.2-0.41			138		139



第2章 引間松葉遺跡



0 1:60 1m

第140図 遺構群(8)一断面図(1)



## 土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
377	Ga-73	楕円形	124×93×30			第136図		PL.131
378	Ft-74	楕円形	71×66×22			139		131
379	Ga-73	楕円形	77×62×7	須恵器片		139		131
380	Gd-Ge-74	長方形	249×117×10	須恵器片		139		131
381	Gd-Ge-74	長方形	203×94×13			139		131
382	Ge-74	方形	65×36×31	土師器片・須恵器片		139		
383	Ge-74	円形	83×81×84	土師器片・須恵器片		139, 140		131
384	Gb-74	楕円形	107×78×19		444ピットと重複	139, 140		131
385	Ft-74	方形	68×43×7	土師器片		139, 140		131
386	Ge-74	方形	49×39×15			139, 140		131
387	Gb-74-75	方形	50×41×11			139, 140		

## ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
431	Fp-72	円形	29×27×16			第141図		PL.137
432	Fp-72	ほぼ円形	45×38×14			141		137
433	Fp-72	円形	40×38×38			141		137
434	Fo-72	不整形	47×40×14			141		
435	Fp-72	(円形か)	46×45×10		439ピットと重複	141		137
436	Fp-72	楕円形	47×33×49		435-437ピットと重複	141		137
437	Fp-72	不明	45×(35)×43		436ピットと重複	141		137
441	Fo-72	楕円形	45×30×15		442ピットと重複	141		
442	Fo-72	楕円形	100×56×17		441ピットと重複	141		
443	Fs-73	円形	37×36×16			141		
423	Ga-74	不整形	28×27×15			139, 140		131
424	Gd-74	円形	24×24×7			139, 140		136
425	Ge-74	円形	31×27×15			139, 140		136
426	Ge-74	円形	19×18×4			139, 140		136
427	Gd-74	円形	25×23×14			139, 140		136
428	Gd-74	円形	27×23×16	その他		139, 140		136
429	Gd-74	円形	28×25×17			139, 140		136
430	Ge-74	ほぼ円形	33×28×12			139, 140		131
438	Ge-74	隅丸方形	25×20×15			139, 140		
439	Ge-74	円形	24×20×13			139, 140		
440	Ge-74	円形	22×20×9			139, 140		137
444	Gb-74	楕円形	29×20×28		384土坑と重複	139, 140		131
445	Gd-75	円形	22×20×12			139, 140		

(151ページより)

量に出土している。セクションから判断すると25号溝によって壊されているものと思われる。26号溝が一番古く、次いで27号溝となり、24・25号溝は同一時期のものと思われる。二つの溝の間隔は1～3mで、覆土の堆積状況から判断すると土塁があったものと思われる。また、塚田中原遺跡の2号堀と走向がほぼ一致している。

**28～30号溝** (①第150・156・159図、PL.121)は、ほぼ南北走向である。接して検出された。31号溝(①第150・156・159図、PL.121)は30号溝と重複している。

**32号溝** (①第163・165図②第84図、PL.141・157)は、発掘区の東端から検出した。24号住居跡によって壊されている。現遺下に延びるために詳細は不明であ

る。

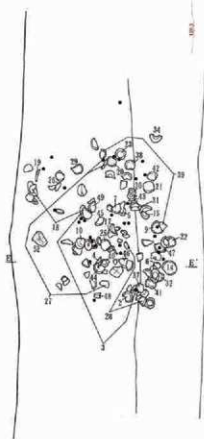
**33・34号溝** (①第156・159図)、は東西走向で、部分的な検出にとどまった。

この他に畚跡(1～28号)や道路(1号)が検出できた。  
※道路 (①第112図、PL.145)は塚田の場遺跡、7号溝内で確認できた硬化面につながるものと思われる。

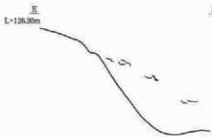
※畚跡は走向によって次のように分けられる。

- ①東西走向-4. 5. 6. 10. 14. 17. 19. 20. 23. 26号畚跡
- ②南北走向-3. 16. 18. 21. 22. 25. 27. 28号畚跡
- ③北西～南東走向-1. 2. 8. 12. 13. 15. 24号畚跡
- ④北東～南西走向-7. 9. 11号畚跡

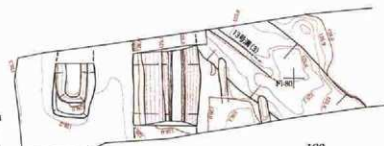
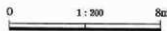
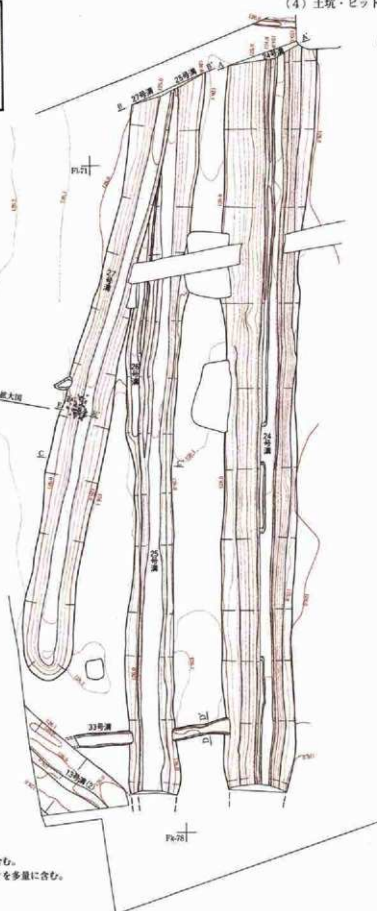




27号溝遺物出土状況



- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。





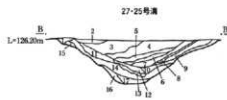
## 24号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかい。灰白色土と暗褐色土の混土。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。灰白色土ブロックを含む。
- 4 褐色土層 軟らかくて締まり良い。灰白色土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 灰白色土層 軟らかくて締まり良い。灰白色土ブロックと暗褐色土層との混土。
- 6 暗褐色土層 軟らかい。灰白色土ブロックを含む。
- 7 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、灰白色土粒子を少量含む。
- 8 灰褐色土層 軟らかい。灰白色土ブロックと黄褐色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 11 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 12 黄褐色土層 軟らかい。暗褐色土を少量含む。
- 13 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 14 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 15 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 16 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 17 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 18 茶褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土ブロック、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 19 褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土粒子、灰白色土粒子を多量に含む。

## 25号溝 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロック、AsC・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、小石を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。

※25号溝の2層と27号溝の5層は同一層の可能性あり。



## 25・27号溝 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土を含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかい。炭化物を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロック、AsC・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 5 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子、小石を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 9 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。黄褐色土ブロックを含む。
- 11 黄褐色土層 軟らかい。暗褐色土を含む。
- 12 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 13 黄褐色土層 軟らかくて締まり悪い。暗褐色土を含む。
- 14 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を多量に。炭化物粒子を少量含む。
- 15 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土を多量に含む。
- 16 茶褐色土層 軟らかくて締まり悪い。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 17 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。



## 27号溝 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 4 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に。炭化物を少量含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、小石を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、小石、炭化物粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。

第143図 溝一断面図(1)

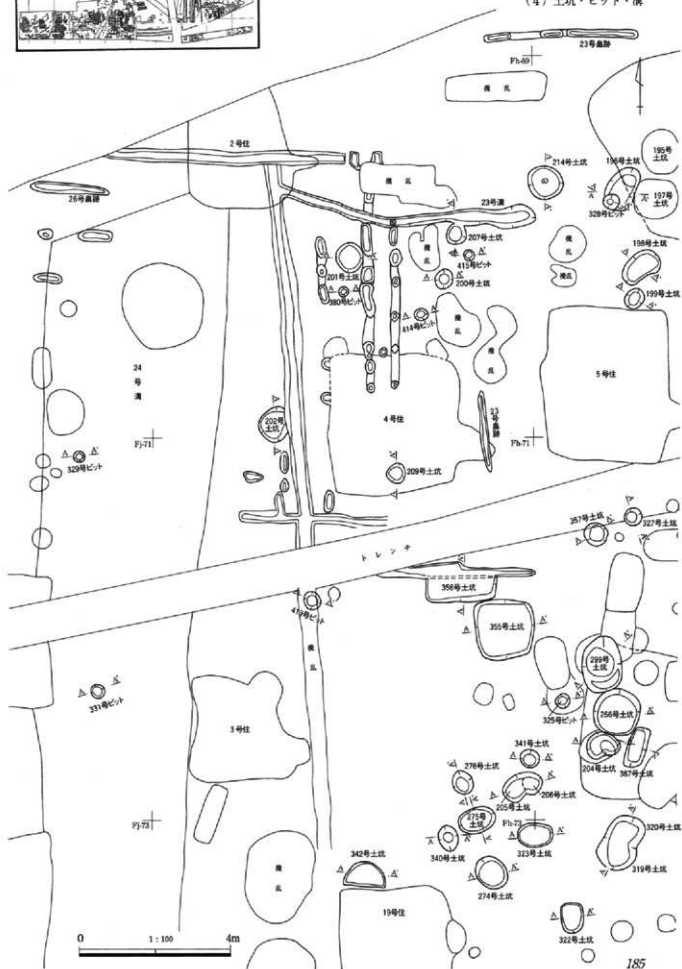


## 溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図番	遺物図番	写真図番
13(2)	Fk-77~F1-76	5.3×3.6×0.1					第142図
13(3)	Fh-80~F1-79	6.7×3.8×0.4				142	
24(1)	F1-F1-69~F1-F1-77	38.7×3.0~4.7×2.13	須恵器片・瓦・その他		142	第80図	PL141, 156
24(2)	F1-79~F1-80	4.0×3.4×				142	
25(1)	F1-Fk-70~Fk-77	37.5×1.7~2.2×0.56	その他	27溝と合流	142	143	141
25(2)	Fk-79~Fk-80	2.8×2.0×				142	
26	Fk-71~Fk-77	31.4×(0.4~0.8)×0.25	陶器・瓦・その他	25溝と重複	142	80	141, 156
27	Fk-70~F1-76	31.4×(1.7~2.8×0.8~1.14)	土師器片・須恵器片・瓦・陶器・その他・カワラケ	25溝と合流	142	143	141, 156, 157
33	F1-76~F1-77	8.2×0.5~0.8×0.2		25溝に切断	142		



(4) 土坑・ピット・溝



第144図 遺構群(10)

第2章 引間松葉遺跡



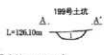
196号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。上部に石が入る。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを少量含む。



198号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物粒子を少量含む。



199号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性少しあり。軽石を含む。



200号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。軽石、黒褐色土ブロックを含む。
- 2 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。



201号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。軽石、黒褐色土ブロックを含む。



202号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性少しあり。軽石を含む。



204号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや軟らかくて粘性少しあり。炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 1・2層より黒味を帯びる。黄褐色土粒子を含む。
- 4 黄褐色土層 軟らかくてサラサラしている。暗褐色土粒子を含む。



205・206号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・HrFA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まりサラサラしている。AsC・HrFA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。暗褐色土ブロック、粒子を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、粒子を多量に、AsC・HrFAを少量含む。



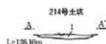
207号土坑・23号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。軽石を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。軽石、黒褐色土ブロックを含む。



209号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。粘性少しあり。黄褐色土粒子を極少量含む。



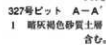
214号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。軽石、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。



325号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。焼土、AsC・HrFAを少量含む。



327号ピット A-A'

- 1 暗灰色砂質土層 締まりあり粘性弱い。AsC・HrFAを少量含む。
- 2 暗褐色土層 締まりあり粘性弱い。AsCを少量含む。
- 3 暗褐色土層 締まりあり粘性あり。ロームブロックを少量含む。



328号ピット A-A'

329号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土粒子を少量含む。



331号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。



0 1:60 1m

第145図 遺構群(10)一断面図(1)



## 土坑一覽表

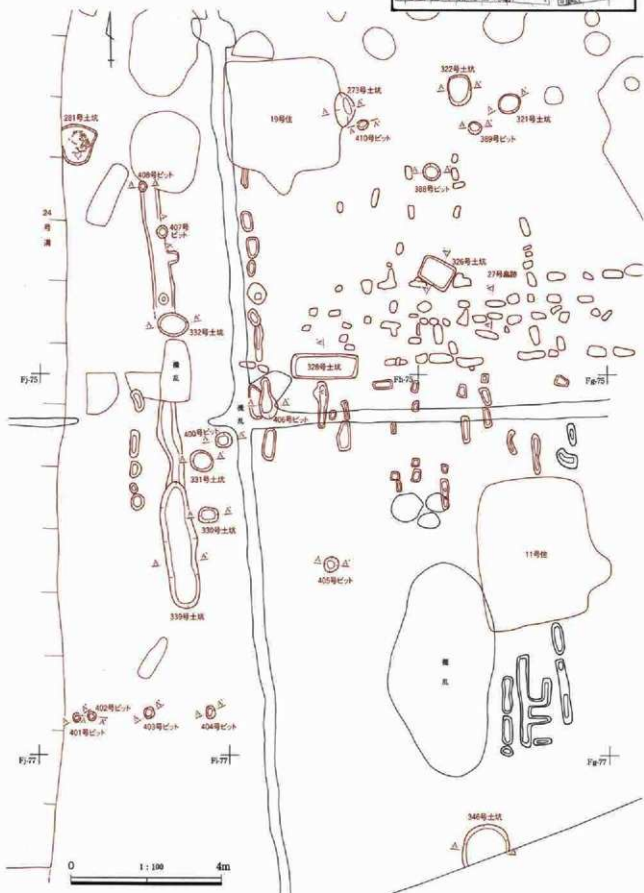
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
196	Fg-69	楕円形	118×78×36	土師器片		朝14 145B		PL 112
198	Fg-70	楕円形	109×70×32	土師器片・須恵器片・陶器・瓦・鉄器		144, 145	第76図	112, 155
199	Fg-70	ほぼ円形	96×47×11			144, 145		112
200	Fh-70	円形	50×45×12			144, 145		113
201	Fh-69-70	円形	75×73×10	土師器片・須恵器片		144, 145		113
202	Fh-70-71	(円形か)	94×(70)×11	土師器片・須恵器片・陶器		144, 145		113
204	Fg-72	不整形	87×70×46			144, 145		113
205	Fh-72	不明	110×62×20		206土坑と重複	144, 145		113
206	Fg-Fh-72	円形か	110×62×17		205土坑と重複	144, 145		113
207	Fh-69	円形	55×53×10			144, 145		113
209	Fh-71	方形	50×48×11			144, 145		113
214	Fg-Fh-69	円形	91×88×8	土師器片・須恵器片・瓦		144, 145		114
266	Fg-72	円形	127×123×11	土師器片・須恵器片		144, 146		119
267	Fg-72	長方形	106×48×21	須恵器片		144, 146		119
274	Fh-73	楕円形	89×75×15			144, 146		120
275	Fh-72-73	楕円形	99×70×7			144, 146		120
276	Fh-72	楕円形	67×55×21			144, 146		120
299	Fg-72	楕円形	147×104×(140)	須恵器片		144, 146		122
319	Fg-73	不明	151×102×17		320土坑と重複	144, 146		127
320	Fg-73	不明	151×102×29		319土坑と重複	144, 146		127
323	Fg-Fh-73	楕円形	90×65×9	須恵器片		144, 146		127
340	Fh-73	楕円形	68×52×53			144, 146		128
341	Fg-Fh-72	円形	51×47×6			144, 146		128
342	Fh-73	(円形か)	114×(67)×14			144, 146		129
355	Fh-71-72	方形	157×156×21	土師器片		144, 146		129
356	Fh-71	(長方形か)	186×(60)×19	須恵器片・鉄器・その他		144, 146		129
357	Fg-71	円形	62×59×39			144, 146		

## ピット一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
325	Fg-72	隅丸方形	36×34×26			朝14 145B		PL 133
327	Fj-71	円形	47×46×39			144, 145		133
328	Fg-69	円形	49×45×72			144, 145		112
329	Fj-71	円形	39×33×8			144, 145		133
331	Fj-72	円形	40×36×16			144, 145		133
380	Fh-Fj-70	円形	31×30×7			144, 146		135
413	Fj-71	ほぼ円形	50×44×30			144, 146		136
414	Fh-70	楕円形	38×29×12			144, 146		136
415	Fh-70	円形	28×27×9	須恵器片		144, 146		136

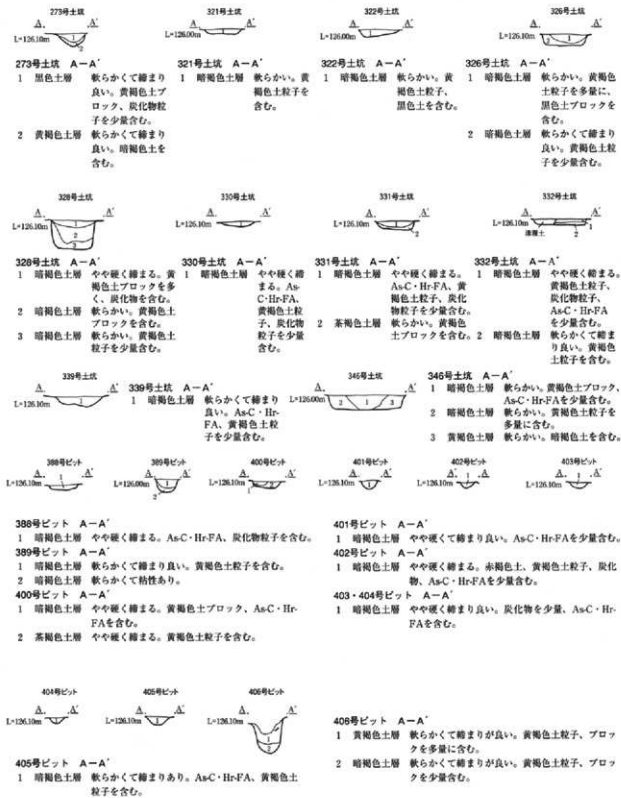
## 溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
23	Fh-69～Fj-69	6.7×0.3～0.5×-			朝14 145B		PL 113



第147図 遺構群 (11)

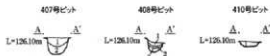
第2章 引間松業遺跡



0 1:60 1m

第148図 遺構群(11)一断面図(1)





## 407号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり良い。黄褐色土粒子を少量、黒褐色土、AsC・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。



## 27号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかくて締まり良い。

## 408号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 2 黒褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 3 黄褐色土層 軟らかい。やや締まり良い。黄褐色土粒子を多量に含む。

## 410号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。AsC・Hr-FAを含む。

0 1:60 1m

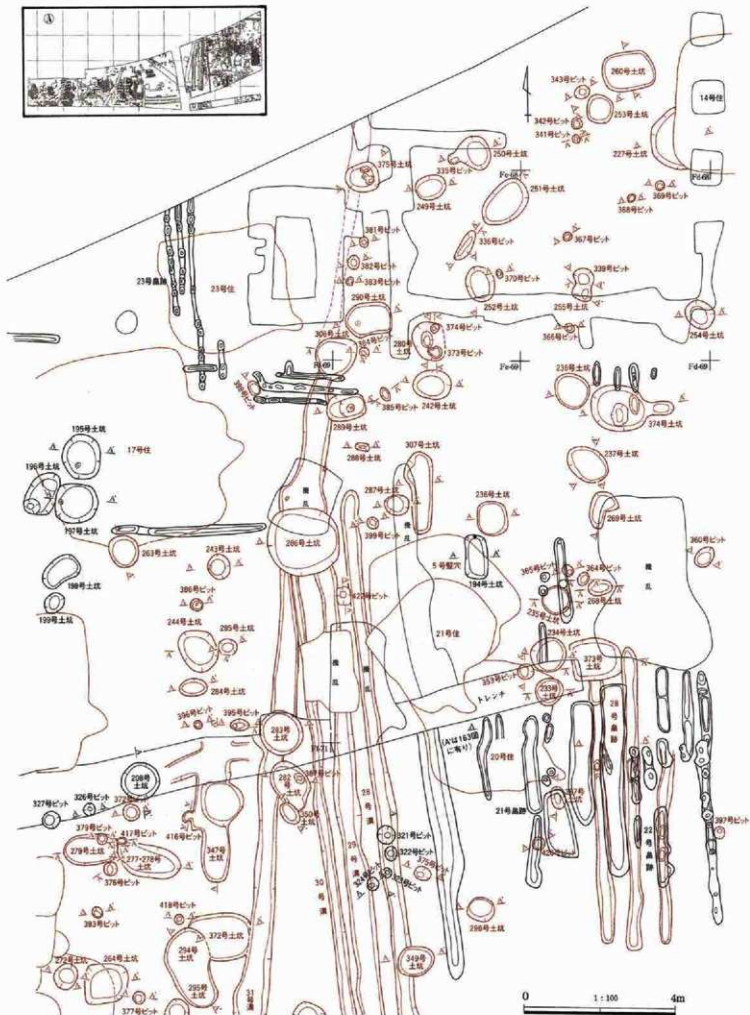
第149図 遺構群(11)一断面図(2)

## 土坑一覧表

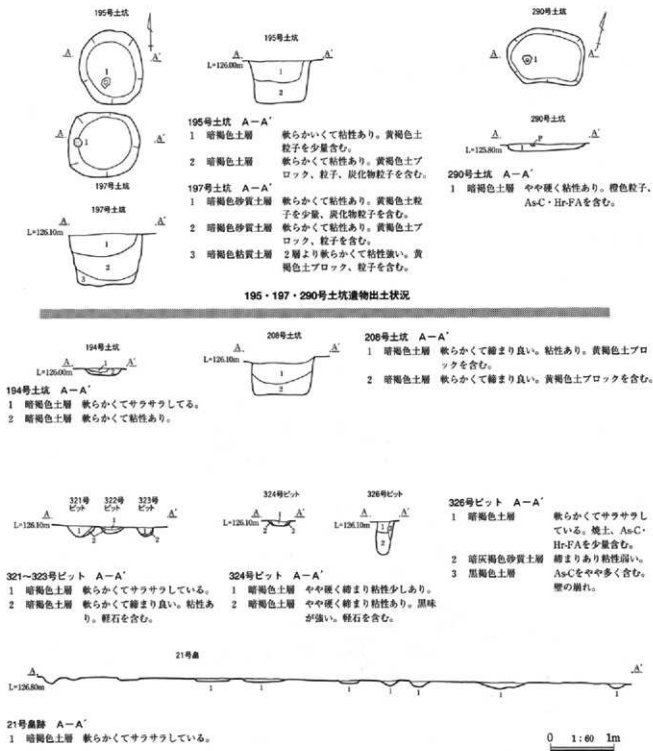
番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
273	Fh-73	(楕円形小)	92×(60)×21		19住居内			PL. 120
281	Fl-73	不整形	207×(183)×21	瓦・石器・その他		147		121
321	Fg-73	円形	60×53×8	陶器		147, 148		127
322	Fg-73	方形	77×61×9	鉄器		147, 148		127
326	Fg-74	方形	90×71×17	陶器・その他		147, 148		127
328	Fh-74-75	長方形	178×68×45	鉄器		147, 148		127
330	Fl-75	楕円形	54×40×8			147, 148		128
331	Fl-75	円形	62×55×12			147, 148		128
332	Fl-74	楕円形	81×62×10	瓦・陶器・石器・その他		147, 148		128
339	Fl-75-76	長方形	330×89×16			147, 148		128
346	Fg-77	(円形小)	123×(90)×22			147, 148		129

## ピット一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
388	Fg-73	円形	47×43×8			8147, 148図		PL. 135
389	Fg-73	円形	35×33×19			147, 148		127
400	Fh・Fl-75	円形	45×40×11			147, 148		128
401	Fl-76	円形	23×22×14			147, 148		135
402	Fl-76	方形	22×22×7			147, 148		135
403	Fl-76	楕円形	34×27×9			147, 148		135
404	Fl-76	楕円形	34×23×10			147, 148		136
405	Fh-75-76	円形	40×35×13			147, 148		136
406	Fh・Fl-75	不整形	110×49×54			147, 148		136
407	Fl-74	不整形	40×30×27			147, 149		136
408	Fl-74	方形	23×23×23			147, 149		136
410	Fh-73	ほぼ円形	30×25×9			147, 149		136



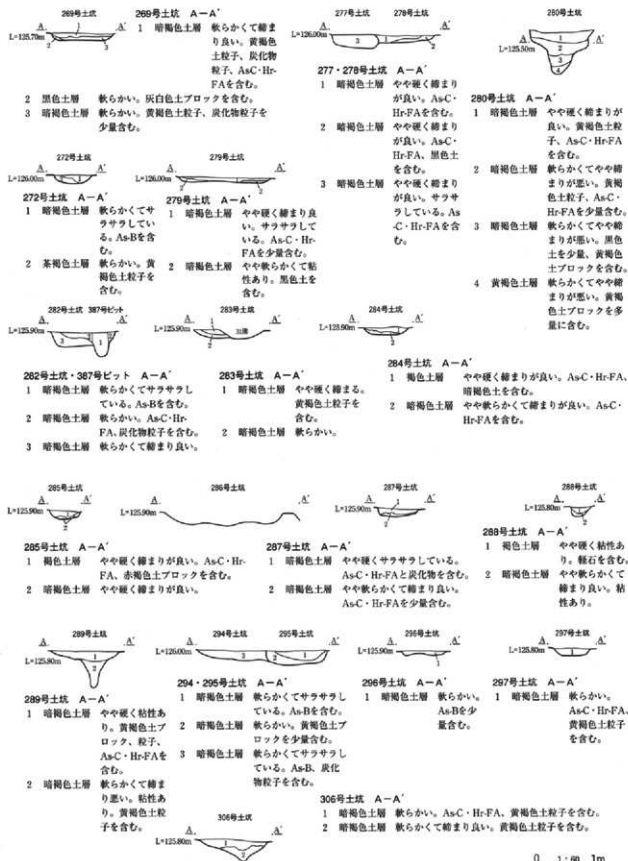
第150図 遺構群 (12)



第151図 195・197・290号土坑遺物出土状況、遺構群(12)一断面図(1)



第152図 遺構群(12)一断面図(2)



第153図 遺構群(12)一断面図(3)





第155図 遺構群(12)-断面図(5)

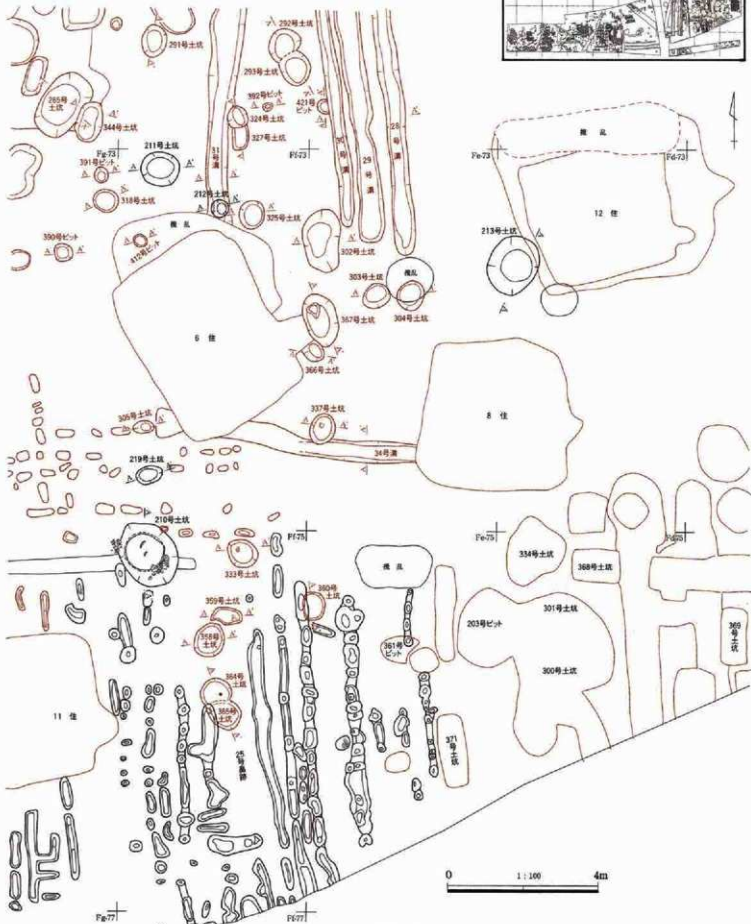
## 土坑一覽表

番号	位置	形状	奥径×横径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図原	遺物図原	写真図原
194	Fe-69-70	長方形	115×61×9	土師器片・須恵器片		新150 151原		PL. 112
195	Fe-69	円形	116×102×66	土師器片・須恵器片		150 151	第766原	112 155
197	Fe-69	ほぼ円形	113×100×81			150 151	76	112 155
208	Ff-Fg-71	円形	97×93×50	その他		150 151		113
227	Fb-67	不明	163×(60)×15	土師器片・須恵器片・瓦・その他	14住居と重複	150 152		115
233	Fb-70	ほぼ円形	72×71×29	土師器片・須恵器片		150 152		116
234	Fb-70	円形	94×87×19	その他		150 152		116
235	Fb-70	円形	75×74×12			150 152		116
236	Fe-69	方形	91×80×12			150 152		116
237	Fd-69	楕円形	117×84×15			150 152		116
238	Fd-69	ほぼ円形	91×90×8			150 152		117
242	Fe-69	楕円形	101×80×29			150 152		117
243	Ff-70	円形	67×60×11			150 152		117
244	Ff-70	楕円形	115×97×29			150 152		117
249	Fe-68	楕円形	81×65×35			150 152		118
250	Fe-67	(楕円形か)	90×(73)×20			150 152		118
251	Fd-Fe-68	楕円形	142×91×21			150 152		118
252	Fe-68	楕円形	91×75×25			150 152		118
253	Fd-67	ほぼ円形	75×67×17			150 152		118
254	Fc-Fd-68	楕円形	80×69×20			150 152		118
255	Fd-68	不明	52×(34)×23		339ピットと重複	150 152		118
260	Fd-67	方形	140×100×9			150 152		118
263	Fg-69-70	ほぼ円形	83×77×20			150 152		119
264	Fg-72	方形	115×101×18	須恵器片		150 152		119
268	Fd-70	楕円形	65×41×10	土師器片・須恵器片		150 152		119
269	Fd-69	不整形	100×75×12	その他		150 153		119
272	Fg-72	ほぼ円形	66×60×12			150 153		120
277	Ff-Fg-71	不明	175×85×20	土師器片	278土坑と重複	150 153		120
278	Ff-Fg-71	不明	175×85×10		277土坑と重複	150 153		120
279	Fg-71	楕円形	143×80×8			150 153		120
280	Fe-68	楕円形	97×83×66	須恵器片		150 153		121
282	Ff-71	楕円形	138×92×21			150 153		121
283	Ff-70-71	円形	117×117×12	須恵器片・その他		150 153		121
284	Ff-70	楕円形	76×45×12			150 153		121
285	Ff-70	円形	48×42×12			150 153		121
286	Ff-69-70	ほぼ円形	185×176×21	土師器片・須恵器片・その他		150 153		121, 155
287	Fe-69	楕円形	62×53×12			150 153		121
288	Fe-69	楕円形	36×20×15		ピットになる	150 153		122
289	Fe-69	楕円形	103×70×56			150 153		122
290	Fe-68	楕円形	122×86×9	須恵器片		150 151	77	122, 155
294	Ff-72	不明	212×110×15		295土坑と重複	150 153		122
295	Ff-72	不明	212×110×21		294土坑と重複	150 153		122
296	Fe-71	楕円形	75×68×7			150 153		122
297	Fd-71	楕円形	58×38×12			150 153		122
306	Fe-Ff-68-69	不整形	121×99×30			150 153		123
307	Fe-69	長方形	217×76×46	土師器片・須恵器片		150 154		123
347	Ff-71	楕円形	118×111×29	土師器片・須恵器片		150 154		
349	Fe-72	楕円形	100×79×39	瓦		150 154	80	129, 156
350	Ff-71	楕円形	64×41×14			150 154		
372	Ff-71-72	楕円形	(160)×126×20		294, 295土坑, 311溝と重複	150 154		130
373	Fd-70	方形	134×113×27	鉄器		150 154		130
374	Fd-69	楕円形	220×119×75			150 154		130
375	Fe-67-68	楕円形	89×74×32			150 154		130

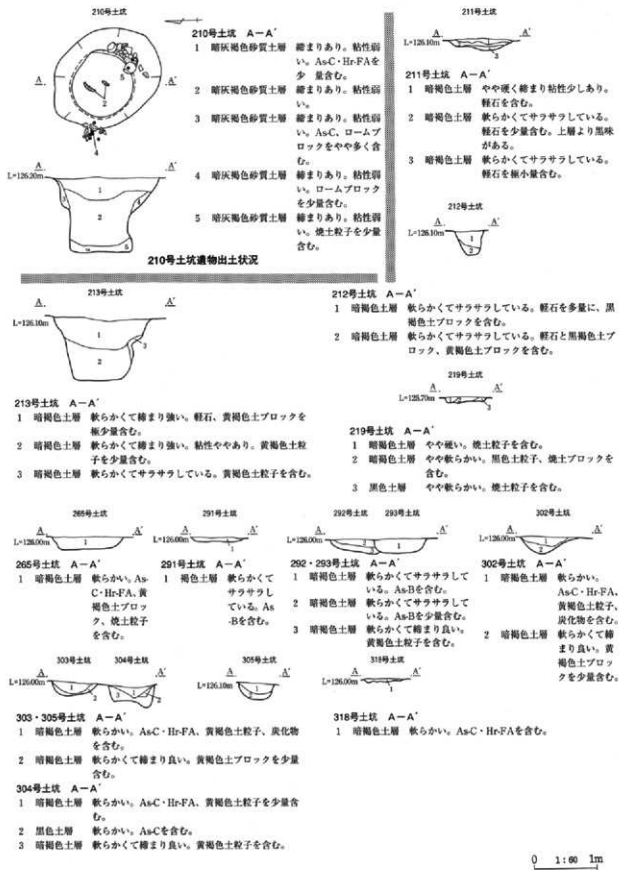


ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ (cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
321	Fe-71	ほぼ円形	50×48×17	瓦		0150.151		Pl. 133
322	Fe-71	楕円形	39×30×11	その他		150.151		133
323	Fe-71	円形	25×25×16			150.151		133
324	Fe-71	不整形	37×34×9			150.151		133
326	Fg-71	円形	33×33×52	須恵器片		150.151		133
335	Fe-67	不明	(35)×25×23		250土坑と重複	150.152		118
336	Fe-68	楕円形	89×31×15			150.154		118
339	Fd-68	不明	57×(46)		255土坑と重複	150.154		118
341	Fd-67	円形	21×18×25			150.154		118
342	Fd-67	円形	30×29×19			150.154		118
343	Fd-67	ほぼ円形	42×33×35			150.154		118
353	Fd-Fe-70	円形	43×42×25			150.154		134
360	Fe-Fd69-70	楕円形	58×42×8			150.154		134
364	Fd-70	円形	40×37×23			150.154		119
365	Fd-70	円形	30×29×28			150.154		119
366	Fd-68	円形	25×25×28			150.154		134
367	Fd-68	円形	23×20×19			150.154		134
368	Fd-68	隅丸方形	21×19×16			150.154		134
369	Fd-68	円形	25×24×14			150.154		134
370	Fe-68	円形	24×20×30			150.155		134
372	Fg-71	円形	45×45×13			150.155		134
373	Fe-68	不整形	38×30×32		280土坑内	150.155		121
374	Fe-68	方形	21×20×16		280土坑内	150.155		121
375	Fe-71	楕円形	45×36×29			150.155		135
376	Fg-71	円形	36×35×32			150.155		134
377	Ff-Fg-72	円形	33×31×33			150.155		135
379	Fg-71	円形	30×28×26		279土坑内	150.155		134
381	Fe-68	円形	27×24×15			150.155		135
382	Fe-68	円形	37×32×18			150.155		135
383	Fe-68	隅丸方形	23×18×12			150.155		135
384	Fe-68	楕円形	32×25×31			150.155		122
385	Fe-69	楕円形	38×25×40			150.155		135
386	Ff-70	ほぼ円形	32×30×20	その他		150.155		135
387	Ff-71	楕円形	30×23×38		282土坑内	150.153		121
383	Fg-71	円形	30×28×19			150.155		135
385	Ff-70	楕円形	50×30×15	その他		150.155		135
386	Ff-70	円形	22×22×10			150.155		
388	Ff-69	不整形	39×28×16			150.155		135
389	Fe-69	ほぼ円形	32×26×10			150.155		121
416	Ff-71	不明	33×(20)×18			150.155		136
417	Fg-71	楕円形	27×17×14		277. 278土坑と重複	150.155		136
418	Ff-71	円形	25×24×38			150.155		136
420	Fd-71	円形	36×34×10			150.155		136
422	Fe-70	隅丸長方形	46×37×32	土師器片・陶器・その他		150.155		



第156図 遺構群 (13)



第157図 210号土坑遺物出土状況、遺構群(13)-断面図(1)

第2章 引間松葉遺跡

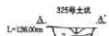


324号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかく、As・C・Hr-FAを少量含む。

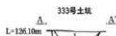
327号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかく、As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。



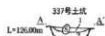
325号土坑 A-A'

1 黄褐色土ブロック  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを少量含む。  
3 黄褐色土層 軟らかくて締まり悪い。灰白色土ブロックを含む。



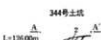
333号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。  
3 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。



337号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As・Bを含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。



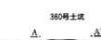
344号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まりあり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。  
2 黄褐色土層 軟らかくて締まりなし。黒褐色土ブロックを少量含む。  
3 褐色土層 軟らかくて締まりあり。粘性少しあり。焼土粒子を少量、暗褐色土を含む。  
4 褐色土層 軟らかくて締まりあり。粘性あり。焼土粒子を少量、黒褐色土、黄褐色土粒子を多量に含む。  
5 褐色土層 軟らかくて締まりあり。粘性あり。黒褐色土、黄褐色土を多量に含む。



358・359号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかく、As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。1層よりも暗い色調。



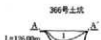
360号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。



364号土坑 365号土坑

364号土坑 A-A'  
1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。  
2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。  
365号土坑 A-A'  
1 砂利層  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子、As・C・Hr-FAを含む。



366号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかく、As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。  
2 暗褐色土層 1層よりも暗い色調。軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。



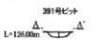
367号土坑 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。  
2 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を多量に含む。



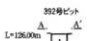
390号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。



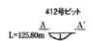
391号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FAを少量含む。



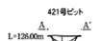
392号ピット

392号ピット A-A'  
1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。



412号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。



421号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。As・C・Hr-FAを含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を少量含む。



第158図 遺構群(13)-断面図(2)

## (4) 土坑・ピット・溝



## 28号溝 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

## 29号溝 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかい。As・C・Hr・FAを含む。

## 30号溝 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかい。As・Bを含む。

## 31号溝 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかい。As・C・Hr・FA、黄褐色土粒子を含む。

2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。

## 34号溝 A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。軽石を含む。

2 暗褐色土層 軟らかい。軽石を含む。

3 茶褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土ブロックを含む。

0 1:60 lm

第159図 遺構群(13)一断面図(3)

## 土坑一覽表

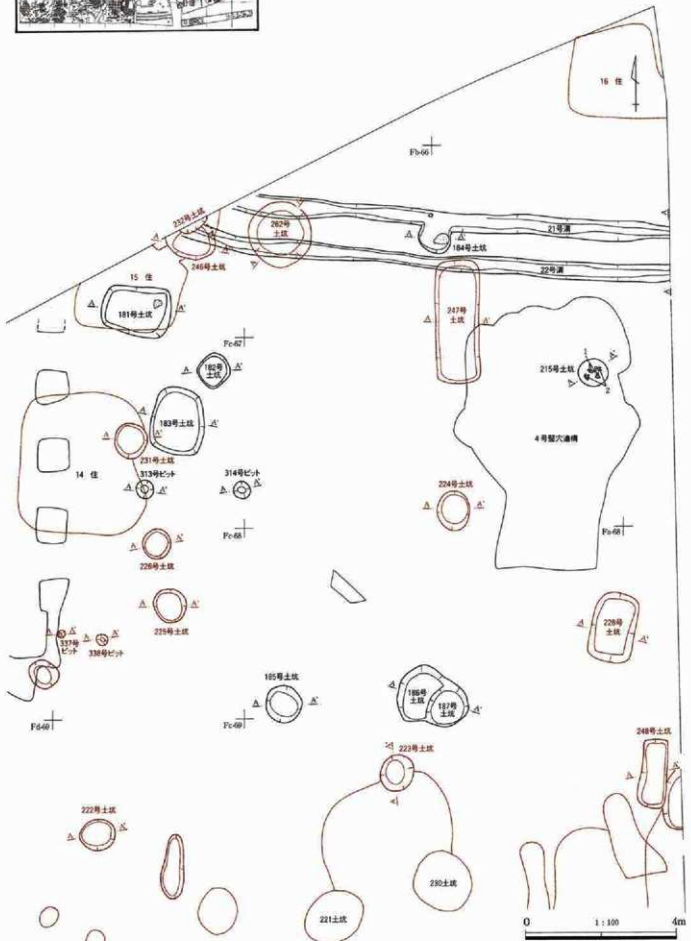
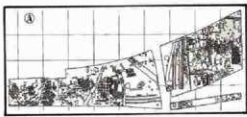
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
210	Ff-74-75	楕円形	183×144×116	土師器片・須器片・陶器・瓦・石器・鉄器・その他		第156.157図	第76.77図	PL.113.155
211	Ff-73	ほぼ円形	101×90×19	土師器片		156.157		113
212	Ff-73	円形	45×44×38	土師器片		156.157		114
213	Fd-Fe-73	楕円形	155×128×97	土師器片		156.157		114
219	Ff-74	楕円形	68×46×10			156.157		114
265	Fg-72	楕円形	184×109×19	土師器片・鉄器		156.157		119
291	Ff-72	楕円形	85×64×6			156.157		122
292	Ff-72	楕円形	92×73×22		293土坑と重複	156.157		122
293	Ff-72 (ほぼ円形か)	(87)×77×21		須器器片・その他	292土坑と重複	156.157		122
302	Fe-Ff-73	不整形	165×102×26	その他		156.157		123
303	Fe-73	楕円形	76×63×22			156.157		123
304	Fe-73	円形	77×73×33			156.157		123
305	Ff-74	楕円形	60×33×27			156.157		123
318	Fg-73	円形	65×61×5			156.157		127
324	Ff-72	楕円形	57×54×13	その他		156.158		127
325	Ff-73	円形	71×66×44			156.158		127
327	Ff-72	楕円形	(58)×44×16		324土坑と重複	156.158		127
333	Ff-75	楕円形	81×75×31	土師器片		156.158		128
337	Fe-74	楕円形	80×65×17	土師器片・陶器・その他		156.158		128
344	Fg-72 (楕円形)	106×(65)×28			265土坑と重複	156.158		129
358	Ff-75	楕円形	90×80×16	土師器片		156.158		130
359	Ff-75	不整形	80×47×13	土師器片		156.158		130
360	Fe-Ff-75	楕円形	74×(50)×8			156.158		126
364	Ff-75	円形	82×(62)×17	その他	365土坑と重複	156.158		130
365	Ff-75-76	楕円形	(83)×75×15	陶器・石器・その他	364土坑と重複	156.158		130
366	Fe-74	不明	(54)×(5)×50		6住居367土坑と重複	156.158		130
367	Fe-73 (楕円形)	141×(80)×57			6住居366土坑と重複	156.158		130

## ピット一覽表

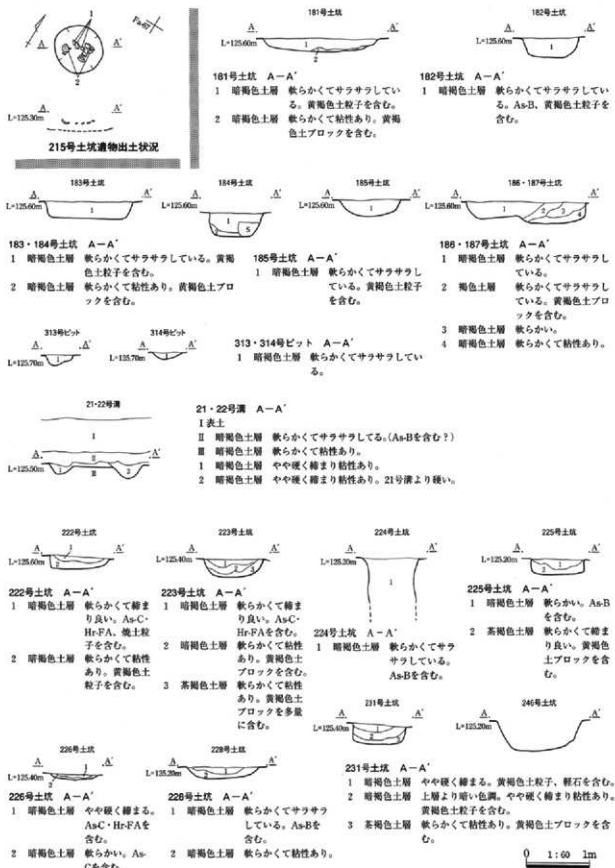
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
390	Fg-73	ほぼ円形	49×45×21			第156.158図		PL.135
391	Fg-73	円形	42×38×8			156.158		127
392	Ff-72	ほぼ円形	25×21×31			156.158		127
412	Ff-73	円形	35×33×10			156.158		136
421	Fe-72 (円形か)	40×(26)×14			30溝と重複	156.158		

## 溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
28	Fe-69~Fe-73	19.5×0.4~0.6×0.35	土師器片・灰粒・陶器・瓦・鉄器・その他		第150.156.159図		129
29	Ff-70~Fe-73	17.0×0.4~0.6×0.15	土師器片・陶器・その他		150.156.159		
30	Ff-70~Fe-73	16.6×0.2~0.5×0.15	土師器片・須器器片・陶器	31溝と重複	150.156.159		PL.121
31	Ff-69~Ff-73	21.7×0.5~1.2×0.28	土師器片	30溝と重複	150.156.159		121
34	Fe-74~Ff-74	4.9×0.5×0.36			156.159		

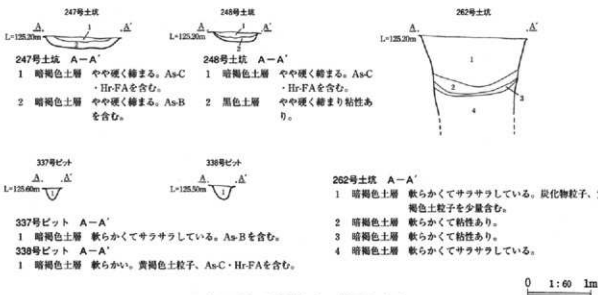


第160図 遺構群 (14)



第161図 215号土坑遺物出土状況、遺構詳(14)―断面図(1)

第2章 引間松葉遺跡



第162図 遺構群(14)－断面図(2)

土坑一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
181	Fc-66	方形	183×130×30	土師器片・須恵器片・陶器・石器・鉄器・その他		9160 161B5		PL.111
182	Fc-67	方形	85×80×30			160 161		
183	Fc-67	方形	176×143×24			160 161		111
184	Fa-Fb-66	楕円形	87×60×35		21溝と重複	160 161		111
185	Fb-68-69	ほぼ円形	96×92×24			160 161		111
186	Fa-Fb-68-69	楕円形	147×(95)×26	土師器片・須恵器片・陶器	187土坑と重複	160 161		111
187	Fa-Fb-68-69	ほぼ円形	118×(90)×32	土師器片・須恵器片・陶器	186土坑と重複	160 161		111
215	Fa-67	円形	75×75×-	土師器片・須恵器片	4壱穴内	160 161	9877B	155
222	Fc-69	ほぼ円形	95×81×20	土師器片・その他		160 161		115
223	Fb-69	円形	95×89×29			160 161		115
224	Fa-67-68	ほぼ円形	105×86×(90)	須恵器片・灰釉・その他		160 161		115
225	Fc-68	円形	87×85×25			160 161		115
226	Fc-68	円形	78×73×8			160 161		115
228	Fa-B1-68	方形	180×115×19	土師器片・須恵器片・灰釉・陶器		160 161		115
231	Fc-67	円形	92×86×30	土師器片・須恵器片		160 161		116
232	Fc-66	不明	162×(55)×(55)		246土坑と重複	160		116
246	Fc-66	楕円形	(120)×(95)×48			160 161		116
247	Fa-66-67	長方形	324×119×16	土師器片・須恵器片		160 162		117
248	Et-69	長方形	180×66×13	土師器片・須恵器片		160 162		141
262	Fb-66	円形	170×165×(120)			160 162	77	119 155

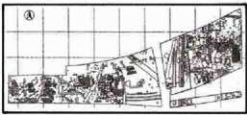
ピット一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
313	Fc-67	円形	48×47×17			9160 161B5		PL.133
314	Et-67	円形	43×40×11			160 161		133
337	Fc-68	円形	21×21×20			160 162		118
338	Fc-68	円形	31×29×21			160 162		118

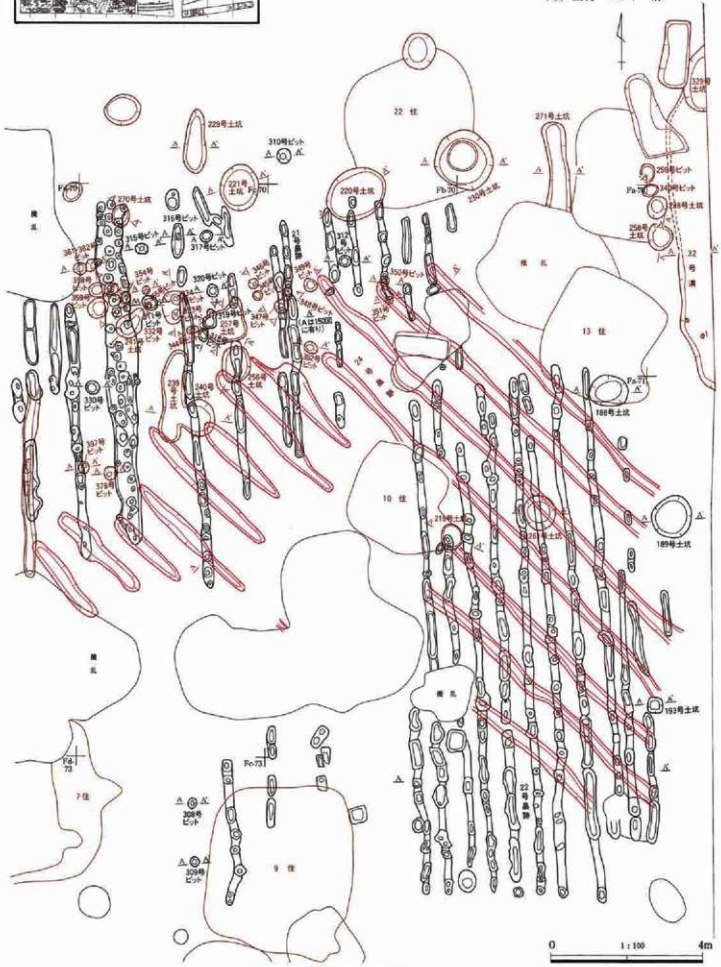
溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
21	Et-66~Fc-66	11.3×0.3~0.6×0.14	土師器片・陶器		9160 161B5		PL.140
22	Et-66~Fc-66	12.8×0.3~0.5×0.2	土師器片・陶器・鉄器・その他		160 161		140

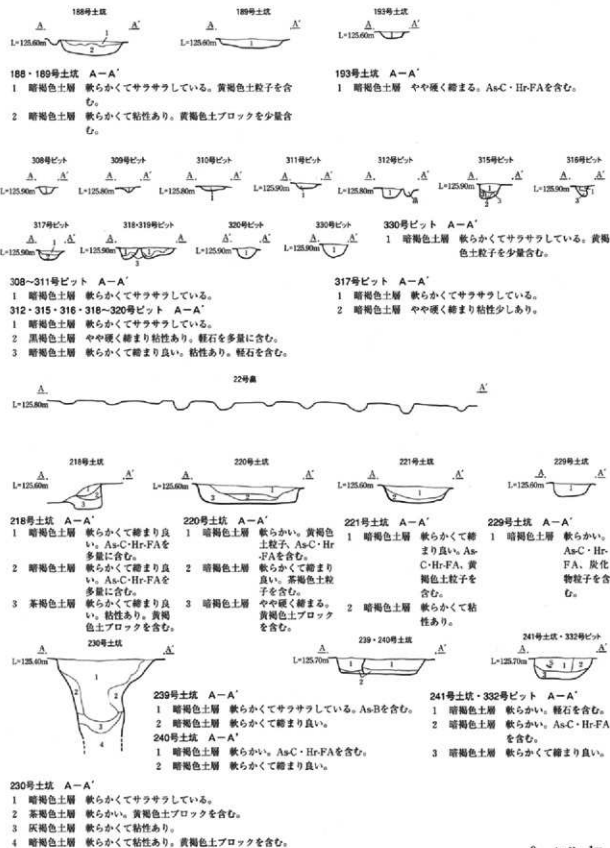




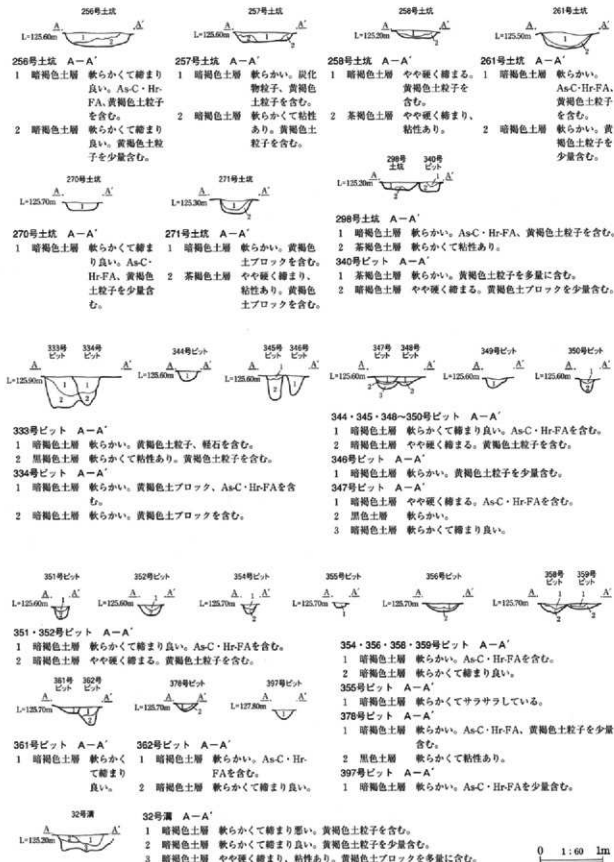
(4) 土坑・ピット・溝



第163図 遺構群 (15)



第164図 遺構群(15)一断面図(1)



0 1:60 1m

第165図 遺構群(15)-断面図(2)

第166図 遺構群(15)一断面図(3)

0 1:60 2m

## 土坑一覽表

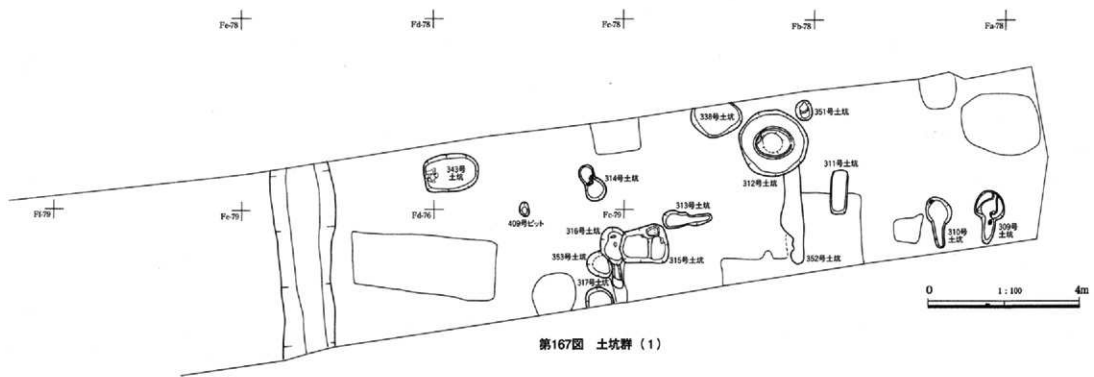
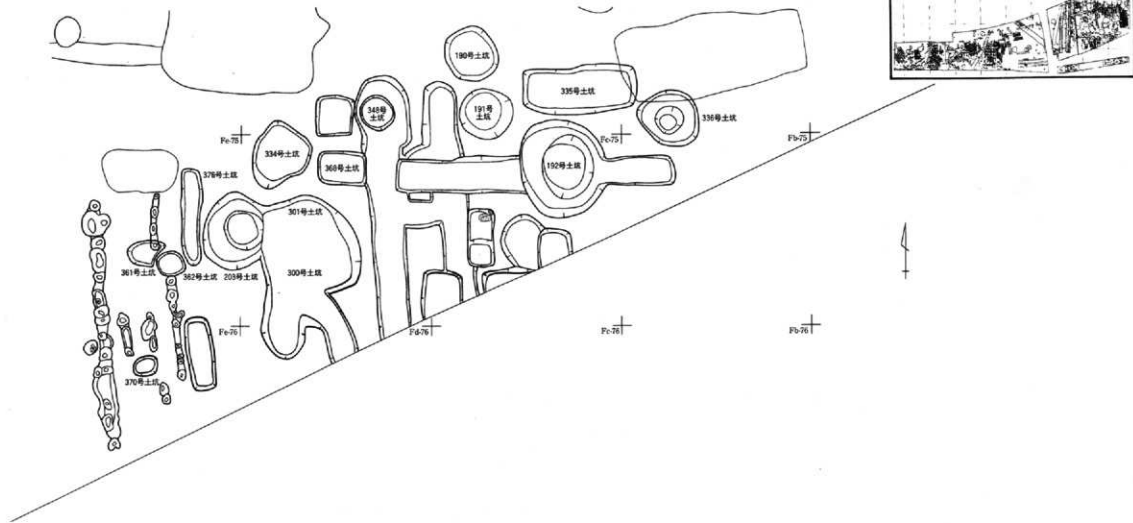
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
188	Fa-71	楕円形	103×80×21	土師器片・須恵器片		新163, 164B		PL.112
189	Et-71	ほぼ円形	111×104×15			163, 164		112
193	Et-72	方形	40×38×9	土師器片・須恵器片・灰輪・陶器	ビットになる	163, 164		112
218	Fa・Fb-71	ほぼ円形	67×56×40		10住層と重複	163, 164		114
220	Fb-69-70	楕円形	168×128×29	土師器片・須恵器片・瓦		163, 164		115
221	Fc-69-70	楕円形	118×101×25	土師器片・その他		163, 164		115
229	Fc-69	楕円形	169×60×20	土師器片		163, 164		115
230	Fa・Fb-69	ほぼ円形	159×151×(122)	土師器片・須恵器片・鉄器	22住層内	163, 164		116
239	Fc-70-71	長楕円形	247×61×24	土師器片・須恵器片・瓦・石器		163, 164		117
240	Fc-71	(円形か)	91×85×24			163, 164		117
241	Fc-70	不整形	90×60×32	須恵器片		163, 164		117
256	Fc-70-71	楕円形	103×82×20			163, 165		118
257	Fc-70	不整形	120×100×13			163, 165		118
258	Et-70	ほぼ円形	69×67×10			163, 165		118
259	Et・Fa-69	楕円形	49×38×13			163		118
261	Fa-71	ほぼ円形	90×80×25			163, 165		118
270	Fc-70	楕円形	56×50×11			163, 165		119
271	Fa-69-70	長方形	(230)×62×20			163, 165		120
298	Et-70	ほぼ円形	61×47×12			156, 165		118
329	Et-69	不明	82×(28)×70	土師器片		163		117

## ピット一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
308	Fc-73	円形	26×25×11			新163, 164B		PL.132
309	Fc-73	円形	25×25×9			163, 164		132
310	Fb-69	円形	41×40×5			163, 164		132
311	Fc-70	円形	40×38×9			163, 164		132
312	Fb-70	円形	30×28×16			163, 164		
315	Fc-70	円形	33×28×23			163, 164		134
316	Fc-70	円形	20×18×16			163, 164		132
317	Fc-70	円形	35×31×14			163, 164		132
318	Fc-70	隅丸方形	31×27×16			163, 164		132
319	Fc-70	不整形	50×37×17			163, 164		132
320	Fc-70	楕円形	35×30×16			163, 164		134
330	Fc-71	円形	36×35×22			163, 164		133
332	Fc-70	不明	計測不能	土師器片	241土坑と重複	163, 164		117
333	Fc-70	楕円形	30×24×49	須恵器片		163, 165		117
334	Fc-70	円形	30×25×45			163, 165		117
340	Et・Fa-69-70	楕円形	44×31×14			163, 165		118
344	Fc-70	楕円形	33×19×15			163, 165		
345	Fc-70	円形	27×25×38			163, 165		133
346	Fc-70	円形	26×25×31			163, 165		133
347	Fb-70	ほぼ円形	36×35×21			163, 165		133
348	Fb-70	楕円形	35×25×15	須恵器片		163, 165		133
349	Fb-70	ほぼ円形	35×35×13			163, 165		133
350	Fb-70	円形	27×26×21			163, 165		133
351	Fb-70	円形	22×21×19			163, 165		133
352	Fb-70	楕円形	39×28×17			163, 165		134
354	Fc-70	円形	22×22×15			163, 165		117
355	Fc-70	円形	19×17×12			163, 165		117
356	Fc-70	楕円形	48×27×12			163, 165		117
358	Fc-70	隅丸方形	44×37×15			163, 165		134
359	Fc-70	円形	56×50×7	須恵器片		163, 165		134
361	Fc・Fd-70	円形	35×33×11		362ピットと重複	163, 165		134
362	Fc-70	楕円形	37×30×30		361ピットと重複	163, 165		134
378	Fc-71	円形	36×35×12			163, 165		135
397	Fc-71	円形	32×29×13			163, 165		135

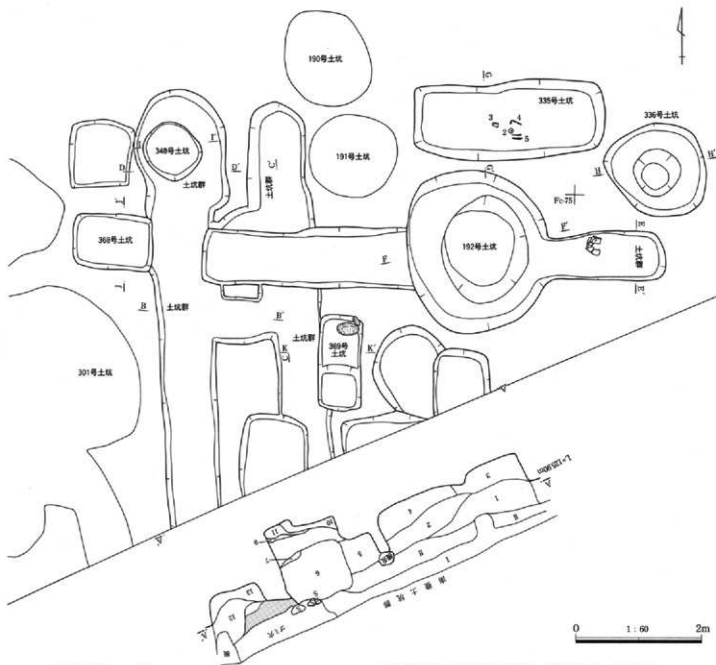
## 溝一覽表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
32	Et-69~Et-71	9.1×(0.4~1.0)×0.25			新163, 165B	新84B	PL.141, 157



第167图 土坑群 (1)





## 南壁土坑群 A-A'

## I 表土

II 暗褐色土層 やや硬く締まる。粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物を含む。

1 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に、炭化物を少量含む。

2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

5 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、炭化物を少量含む。

6 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックと暗褐色土との混土。

7 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを少量含む。

8 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

9 照褐色土層 軟らかい。炭化物を多量に含む。

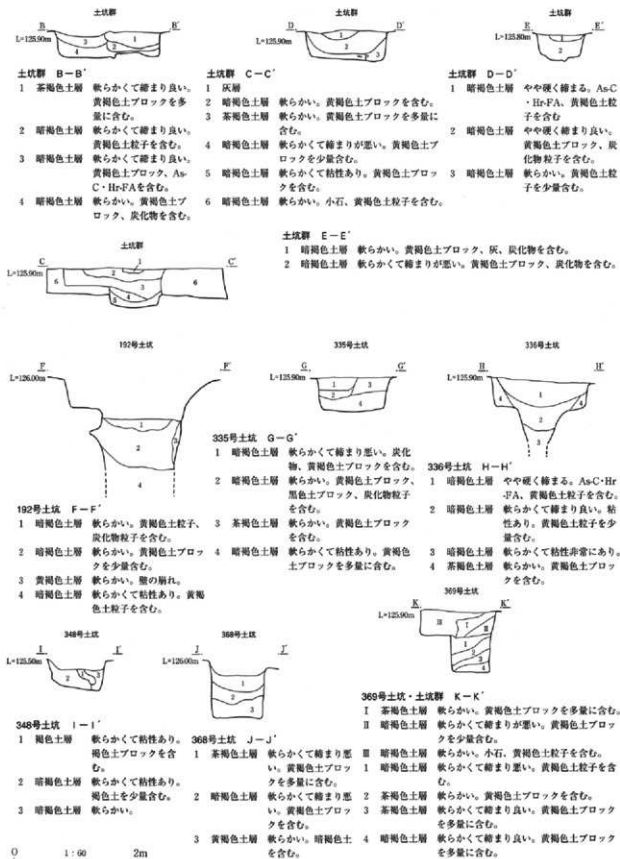
10 黄褐色土層 非常に軟らかい。暗褐色土を含む。

11 暗褐色土層 非常に軟らかい。黄褐色土粒子を含む。

12 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。

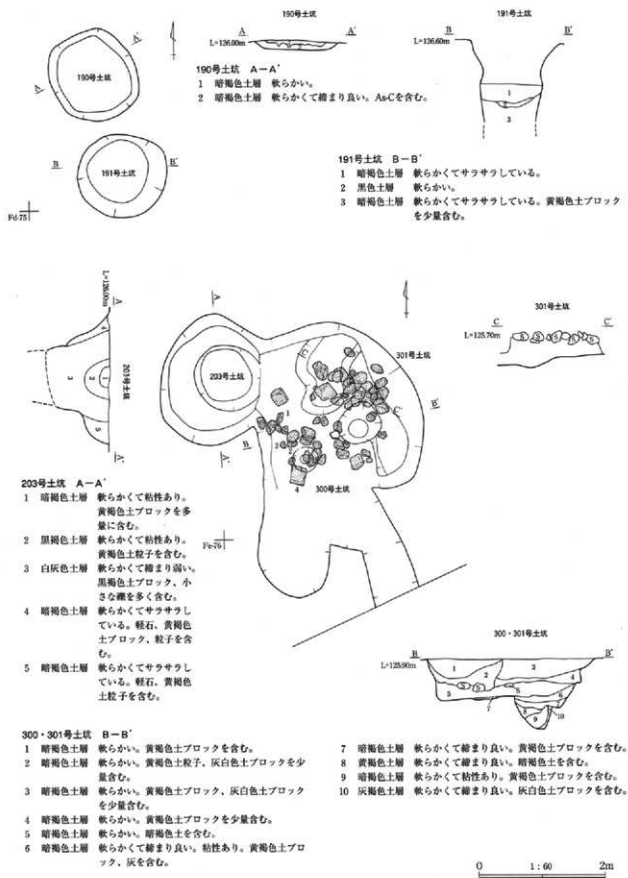
13 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

第168図 土坑群、192・335・336・348・368・369号土坑 (1)



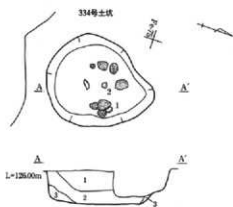
第169図 土坑群、192・335・336・348・368・369号土坑 (2)





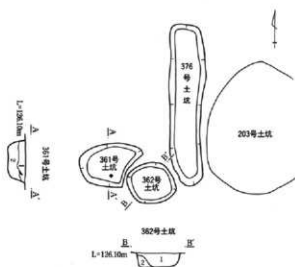
第170図 190・191・203・300・301号土坑

第2章 引間松集遺跡



334号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。AsC・Hr-FA、炭化物、礫を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 3 高褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

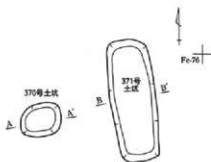


361号土坑 A-A'

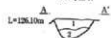
- 1 暗褐色土層 軟らかい。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。軽石を含む。

362号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。



370号土坑 A-A'



370号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土粒子を含む。

371号土坑 B-B'



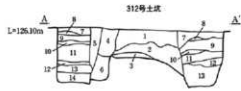
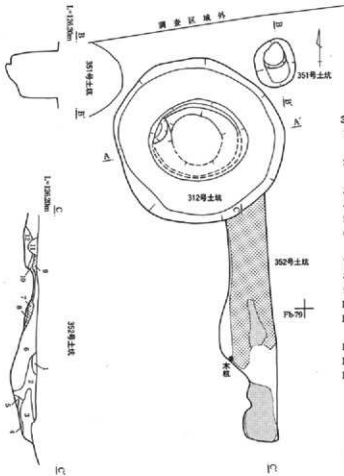
371号土坑 B-B'

371号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。AsC・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

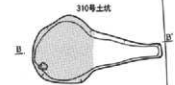
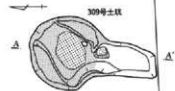


第171図 334・361・362・370・371・376号土坑



## 312号土坑 A-A'

- 1 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土と暗褐色土の混土。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。灰白色土ブロックを少量含む。
- 3 灰白色砂質土層
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子を含む。
- 5 灰白色土層 やや硬く締まる。灰白色土と暗褐色土の混土。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。粘性あり。灰白色ブロックを多く含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まる。
- 8 暗褐色土層 灰白色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 10 灰白色土層 暗褐色土を含む。
- 11 灰褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロックを少量含む。
- 12 黒褐色土層 軟らかくて締まり良い。灰白色土を含む。
- 13 灰褐色土層 軟らかく締まり良い。
- 14 灰色土層 軟らかく締まり良い。粘性あり。



## 352号土坑 C-C'

- 1 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 3 砂利層
- 4 砂利層 焼土を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。
- 6 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
- 7 灰層 焼土を含む。
- 8 褐色土層 焼土粒子、灰を含む。
- 9 灰層 焼土を含む。
- 10 砂利層 炭化物を含む。
- 11 暗褐色土層 軟らかい。
- 12 灰褐色土層 軟らかくて締まり良い。炭化物粒子を少量含む。

## 309号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
  - 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを含む。
- 壁面と底面が焼けている。

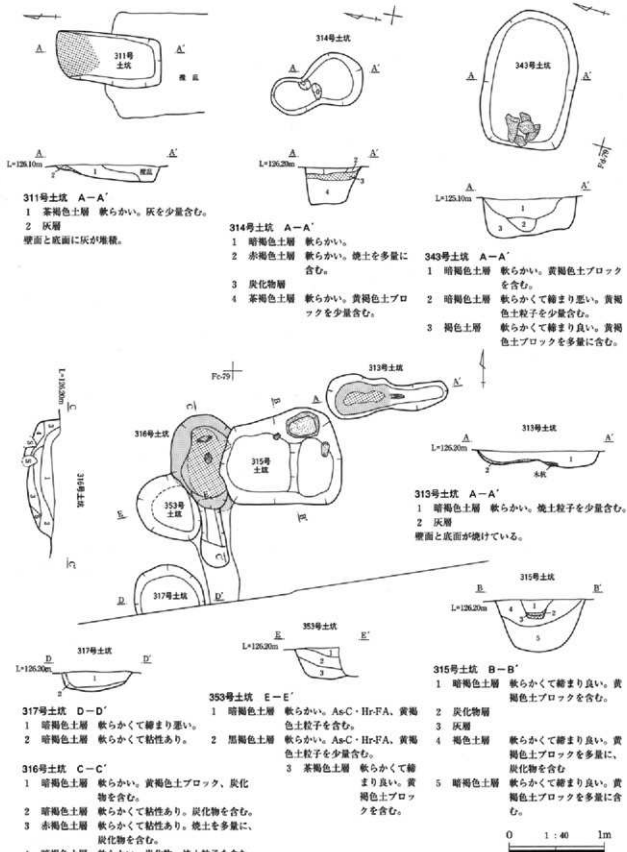
## 310号土坑 B-B'

- 1 褐色土層 軟らかい。焼土粒子を少量含む。
  - 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを含む。炭化物を含む。
- 壁面と底面が焼けている。

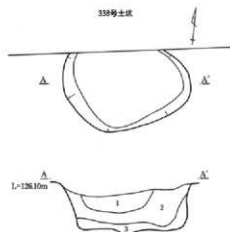
0 1 : 40 1m

第172図 309・310・312・351・352号土坑

第2章 引間松素遺跡



第173図 311・313~317・343・353号土坑



## 409号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり良い。炭化物を少量、黄褐色土、As・C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。黄褐色土ブロックを少量含む。

## 338号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり悪い。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土粒子を含む。
- 3 褐色土層 軟らかくて締まり良い。黄褐色土を多量に含む。

0 1 : 40 1m

第174図 338号土坑、409号ピット

## 土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
192	Fc-75	円形	257×225×150	土師器片・須恵器片・陶器・鉄器		第167-169図	第76図	PL.112, 155
335	Fb・Fc-74	長方形	341×125×32	土師器片・須恵器片・瓦・陶器・石器・鉄器・その他		167-169	79	128, 156
336	Fb-74-75	楕円形	160×145×100	土師器片		167-169	79	128, 156
348	Fd-74	円形	88×83×47			167-169		129
368	Fd-75	方形	125×86×91			167-169		125
369	Fc-75	長方形	152×66×94	土師器片・須恵器片		167-169		126
190	Fc-74	ほぼ円形	141×134×14	土師器片・須恵器片		167, 170		112
191	Fc-74-75	円形	142×132×130	土師器片・須恵器片		167, 170		112
303	Fd・Fe-75	楕円形	198×162×100		300.301土坑と重複	167, 170		128
300	Fd-75-76	不明	- × - × 65	土師器片・須恵器片・陶器・石器・その他	301土坑と重複	167, 170	77, 78	126, 155
301	Fd-75	不明	- × - × 110		300土坑と重複	167, 170	78	126, 156
334	Fd-74-75	不整形	176×143×32	須恵器片・瓦・その他		167, 171	79	126, 156
361	Fe-75	不整形	86×70×27	土師器片・須恵器片・陶器・その他		167, 171		126
362	Fe-75	楕円形	80×65×20			167, 171		126
370	Fe-76	楕円形	67×52×31			167, 171		126
371	Fe-75-76	長方形	192×73×10	その他		167, 171		126
376	Fe-75	長方形	251×57×13	土師器片・須恵器片		167, 171		130
309	Fa-78-79	不整形	140×77×15	土師器片・陶器・その他		167, 172	79	124, 156
310	Fa-78-79	不整形	134×68×22	須恵器片・陶器・その他		167, 172		124
312	Fb-78	円形	174×167×57	陶器・石器・その他	352土坑と重複	167, 172		123
351	Fb-78	楕円形	50×43×55			167, 172		125
362	Fb-78-79	不明	(260)×58×27	陶器・その他	312土坑と重複	167, 172		124, 156
311	Fa-78-79	長方形	115×45×17			167, 173		124
313	Fb-79	不整形	124×46×17			167, 173		124
314	Fc-78	不整形	101×58×37	須恵器片・陶器		167, 173		124
315	Fb-79	方形	132×85×53	陶器		167, 173		124
316	Fc-79	不整形	165×(55)×32	土師器片・陶器・鉄器・その他	315.353土坑と重複	167, 173		124
317	Fc-79	(円形)形	75×(47)×21			167, 173		
338	Fb-78	不整形	135×(85)×43	須恵器片・陶器・瓦・その他		167, 174		125
343	Fc・Fd-78	方形	145×99×40	須恵器片・陶器・その他		167, 173		129
353	Fc-79	楕円形	74×(50)×30		316土坑と重複	167, 173		125

## ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
409	Ec-78-79	楕円形	37×25×22			第167図		PL.136



## 第3章

# 塚田的場遺跡

## (1) 竪穴住居跡

### 1号住居跡 (①第175図②第86図、PL.160・171)

**位置** Ht・Ia-81グリッドにかけて検出した。4号住居跡の北西約5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.2m、短辺は現状で約2.3mである。完掘できなかつた。

**方位** N-85°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約14~20cmで床面に達する。北壁は検出できなかつた。

**床面** ほほ平坦である。現状での面積は約9.4㎡。

**周溝** 検出できなかつた。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向30cm、両袖方向50cmである。

**柱穴** 検出できなかつた。床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 検出できなかつた。

**遺物** 竈周辺から床面中央部にかけて土師器の甕、須恵器の坏や蓋が出土している。

**時期** 8世紀後半。

**備考** 当住居跡は現道下に延びているために、完掘できなかつた。

### 2号住居跡 (①第176図②第87図、PL.160・171)

**位置** Gm-82、Gn-81・82グリッドにかけて検出した。3号住居跡の南西約1mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.5m、短辺約3.2mの方形を呈する。

**方位** N-68°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約46~60cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約10.3㎡。

**周溝** 検出できなかつた。

**竈** 東壁のほほ中央に位置し、燃焼部の大部分

は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向47cmである。

**柱穴** 検出できなかつた。床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径63cm、短径55cm、深さ13cmを測る。

**遺物** 貯蔵穴から須恵器の坏(②第87図2)、甕や覆土から須恵器の坏や境、土師器の甕が出土している。

**時期** 9世紀前半。

### 3号住居跡 (①第177図②第88図、PL.161・171)

**位置** Gm-81・82グリッドにかけて検出した。2号住居跡の北東約1mの所に位置している。

**形状** 長辺約3.7m、短辺約2.7mの方形を呈する。

**方位** N-76°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約23~46cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約9.3㎡。

**周溝** 検出できなかつた。

**竈** 東壁のほほ中央に位置し、燃焼部の一部は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向60cm、両袖方向40cmである。

**柱穴** 床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

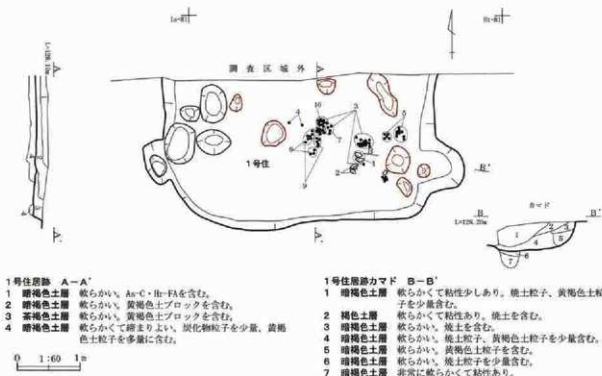
**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径45cm、短径40cm、深さ24cmを測る。

**遺物** 覆土から遺物の出土は少なかつた。

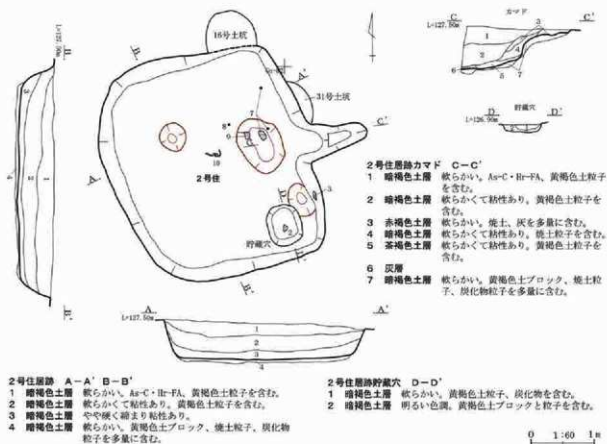
**時期** 9世紀前半。

**備考** 攪乱によって住居跡の一部が壊されている。

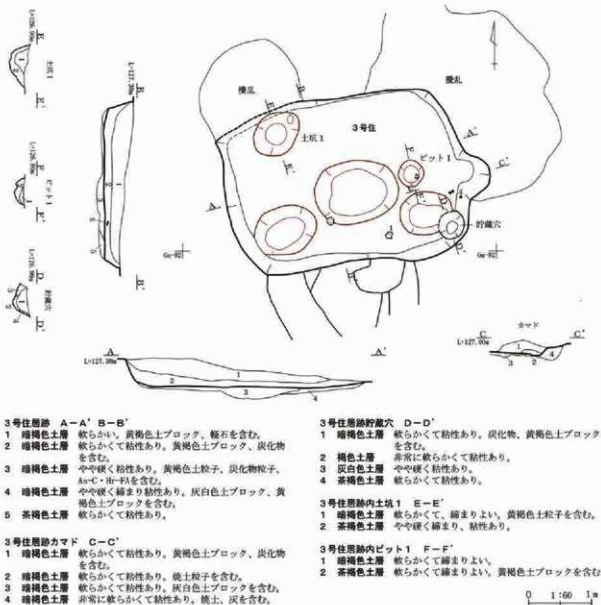




第175図 1号住居跡



第176図 2号住居跡



3号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、礫石を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子、Au-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロック、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。

3号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。礫石粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 非常に軟らかくて粘性あり。黄土、灰を含む。

3号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 褐色土層 非常に軟らかくて粘性あり。
- 3 灰白色土層 やや硬く粘性あり。
- 4 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。

3号住居跡内土坑1 E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて、締まりよい。黄褐色土粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 やや硬く締まり、粘性あり。

3号住居跡内ビット1 F-F'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。
- 2 茶褐色土層 軟らかくて締まりよい。黄褐色土ブロックを含む。

0 1:60 1m

第177図 3号住居跡

4号住居跡 (第178図②第68面、PL.161-172)

位置 Gr-82、Gs-82・83グリッドにかけて検出した。1号住居跡の南東約5mの所に位置している。

形状 一辺3.7mの正方形を呈する。

方位 N-92°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約13~50cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 やや凹凸が認められる。面積は約13.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の大部分は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向120cm、両袖方向92cmである。袖石2個と支脚が残されていた。

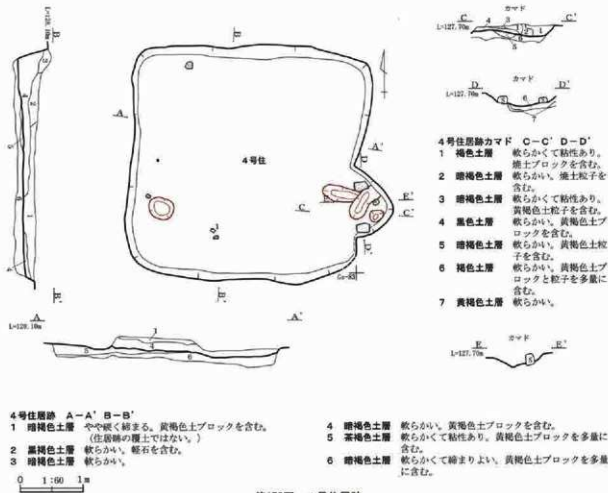
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 不明。

## (1) 竪穴住居跡



第178図 4号住居跡

## 5号住居跡 (①第179図②第88図, PL.162・172)

位置 Gm・Gn-81グリッドにかけて検出した。3号住居跡の北約1mの所に位置している。

形状 現状では、長辺4.4m、短辺約1.1mを測る。完掘できなかった。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約40~60cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

床面 やや凹凸が認められる。現状での面積は約3.9㎡。

周溝 検出できなかった。

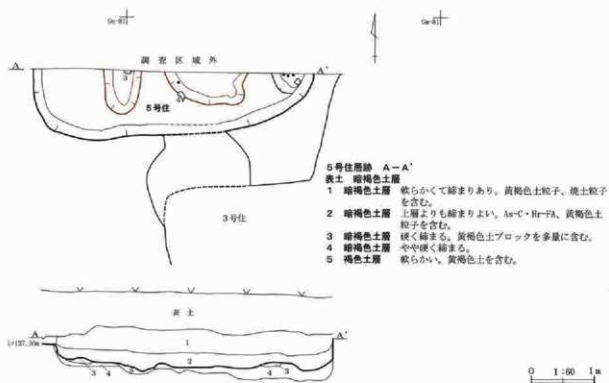
竈 検出できなかった。

柱穴 床面上にみられる土坑は、掘り方時に検出したものである。

貯蔵穴 床面の東隅の落ち込みが貯蔵穴になるものと思われる。規模は不明である。

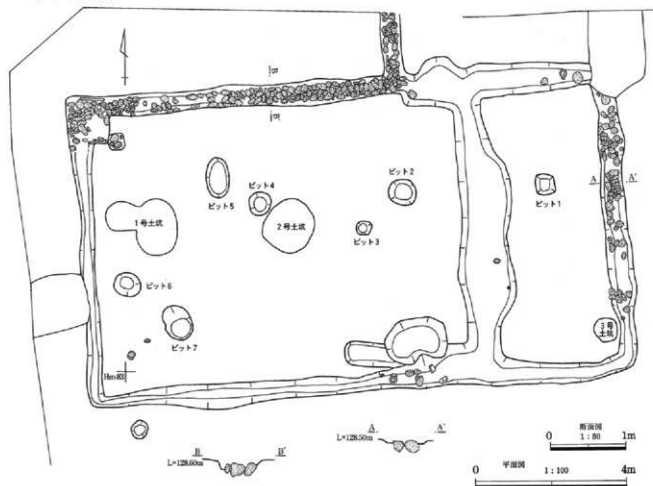
遺物 覆土から少量の遺物、土師器の甕、須恵器の坏や埴の破片が出土している。

時期 9世紀前半。



第179図 5号住居跡

## (2) 建物跡



第180図 建物跡

## 建物跡 (①第180図)

**位置** Hj-81・82、Hk~Hm-81~83グリッドにかけて検出した。発掘区の西端に位置している。

**形状** 長辺約14.5m、短辺約8.5mの長方形を呈する。

**床面** 面積は約96.6㎡。

**周溝** 外周を幅30~70cm、深さ6~12cmの溝が一周している。東側と北側では石を配置していた。

**柱穴** ビット7個を検出した。ビット1は58×50cm、深さ17cm。ビット2は78×70cm、深さ12cm。ビット3は40×35cm、深さ23cm。ビット4は62×60cm、深さ27cm。ビット5は110×60cm、深さ21cm。ビット6は72×60cm、深さ19cm。ビット7は100×70cm、深さ44cmである。

**遺物** 遺物の出土はほとんどなかった。

**備考** 周溝と内部の石は、建物構築時の地形であろう。

## (3) 土坑・ピット

土坑・ピット ①第181～192図②第89図、PL.163～167・172

塚田的場遺跡からは36基の土坑を検出した。

これらの土坑は、その形状から円形を呈するもの14基、楕円形を呈するもの12基、長方形を呈するもの2基、その他に分けることができる。

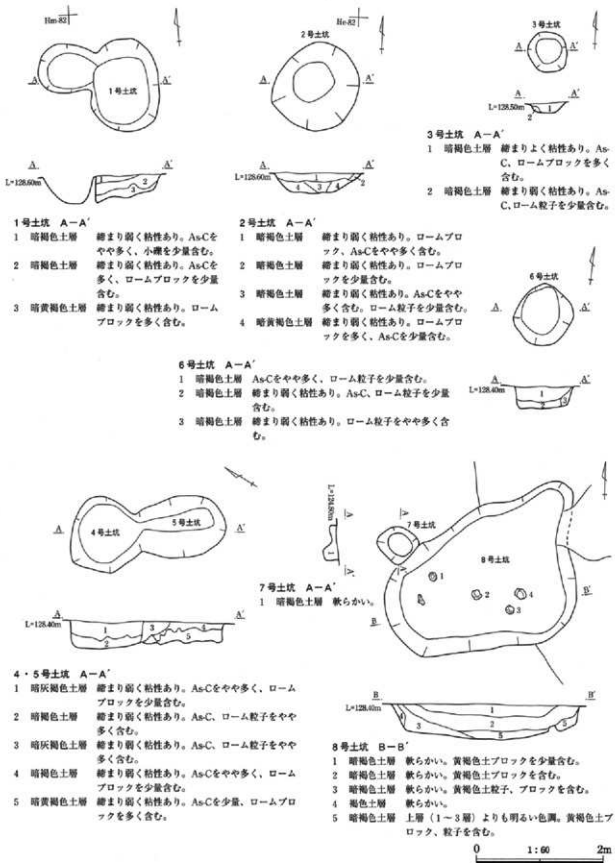
遺物の出土している土坑は、1・3・4・6・8・11・13・16・19・23・24・32・36号の計13基の土坑である。8号土坑(8世紀前半)からは土師器の坏3

点、須恵器の坏1点が出土している(②第89図1～4)。またイノシシカブタの左尺骨片1点が出土した。11号土坑からは縄文土器片1点、24号土坑(8世紀後半)の南東から須恵器の坏1点が出土している(②第89図1)。24号土坑は墓坑と考えられる。

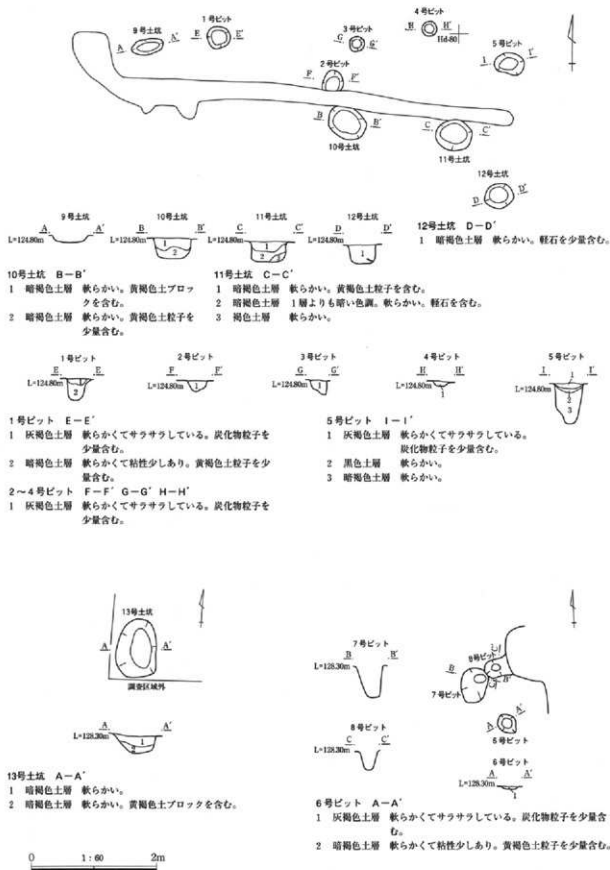
ピットは総計88基を検出した。円形・楕円形を呈するものが主体である。

土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Hb-Hm-82	楕円形	148×108×(25～40)	土師器片		第181図		PL・163
2	Hb-82	ほぼ円形	142×126×32			181		163
3	Hj-82	円形	52×40×15	土師器片		181		163
4	Hi-83	円形	121×120×53	土師器片・須恵器片	5号土坑と重複	181		163
5	Hh-Hi-83	楕円形	144×100×34		4号土坑と重複	181		163
6	Hh-83	円形	92×84×35	土師器片・須恵器片		181		163
7	Hd-He-81	方形	56×54×23		8号土坑と重複	181		163
8	Hd-He-81	不整形	362×237×55	土師器片・鉄器		181	第89図	163, 172
9	Hd-He-82	楕円形	52×23×12			182		163
10	Hd-82	楕円形	63×48×32			182		163
11	He-Hd-82	ほぼ円形	56×52×32			182	89	164, 172
12	He-82	ほぼ円形	44×40×29			182		164
13	He-83	楕円形	92×64×26	土師器片・須恵器片・灰軸		182		164
14	Gp-82	円形	81×80×12			185, 186		164
15	Go-83	方形	64×48×13			185, 186		166
16	Gn-81・82	円形	90×86×49	土師器片・須恵器片		188, 189		164
17	Gf-82	円形	50×49×36			190, 192		165
18	Gk-81	楕円形	67×50×12			190, 192		165
19	Gk-82	楕円形	74×42×32	土師器片		190, 192		164
20	Gk-82	円形	60×50×18			190, 192		165
21	Gk-82・83	円形	84×76×21			190, 192		165
22	Gj-82	円形	92×86×17			191, 192		165
23	Gj-82	ほぼ円形	90×74×14	土師器片		191, 192		165
24	Gh-81	不整形	264×106×58	土師器片		191, 192	89	164, 172
25	Gh-82	楕円形	56×45×14			191, 192		166
26	Gh-82・83	楕円形	66×50×19			191, 192		166
27	Gr-81	楕円形	126×90×49			183, 184		167
28	Gg-81・82	長方形	197×64×25			183, 184		166
29	Gn-82	楕円形	111×36×21			188, 189		164
30	Gm-81	方形	104×102×75			188, 189		164
31	Gm-Gn-82	不明	56×40×12		2号住居と重複	188, 189		165
32	Gg-81	楕円形	92×44×25	土師器片・須恵器片		183, 184		166
33	Go-82	円形	50×40×27			185, 186		166
34	Gp-Gp-81	不明	70×(32)×19			185, 186		165
35	Gn-Gp-81	不明	32×(35)×42			188, 189		166
36	Gi-82	長方形	140×28×16	須恵器壺片・瓦片		191, 192		165

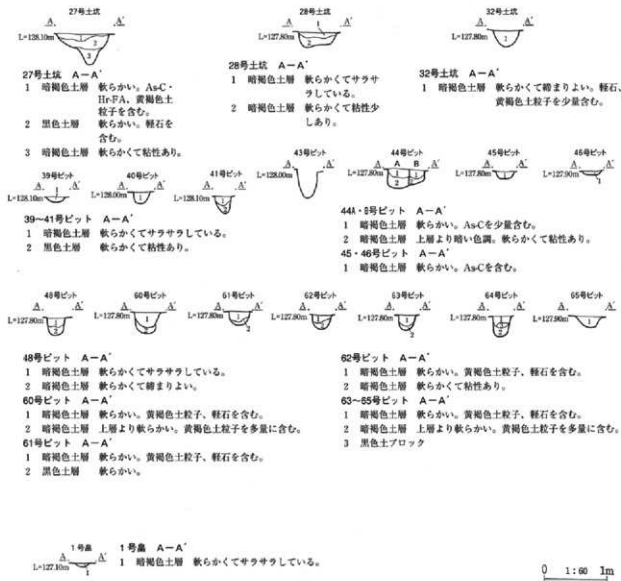


第181図 1～8号土坑



第182図 9~13号土坑、1~8号ピット

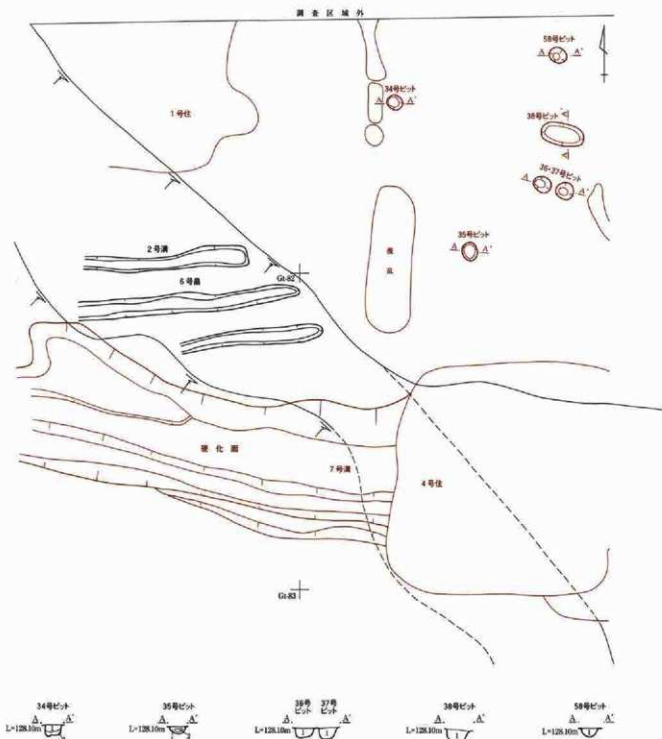




第183図 遺構群(1)-断面図(1)

ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土 遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Hd-81-82	ほぼ円形	37×32×34			第182図		Pl.163
2	Hd-82	楕円形	34×32×16			182		163
3	Hd-82	楕円形	28×21×23			182		163
4	Hd-81-82	円形	24×24×9			182		165
5	Hc-82	楕円形	47×36×63			182		165
6	Hc-83	楕円形	34×28×3			182		165
7	Hc-83	楕円形	55×40×47		8号ピットと重複	182		
8	Hc-83	不整形	40×29×29			182		
9	Gk-81	円形	26×21×11			190.192		166
10	Gj-Gk-81	円形	32×30×9			190.192		166
11	Gk-81	円形	24×20×9			190.192		166
12	Gk-82	円形	36×35×8			190.192		165
13	Gk-82	円形	34×30×19			190.192		165
14	Gk-82	円形	24×22×9			190.192		166
15	Gk-82	円形	20×18×14			190.192		166
16	Gk-82	円形	32×32×41			190.192		166



34号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、炭化物を少量含む。
- 2 暗褐色土層 上層よりも暗い色調。軟らかくて粘性あり。

35号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて、サラサラしている。
- 2 黒色土層 軟らかくて粘性あり。

36～38・58号ピット A-A'

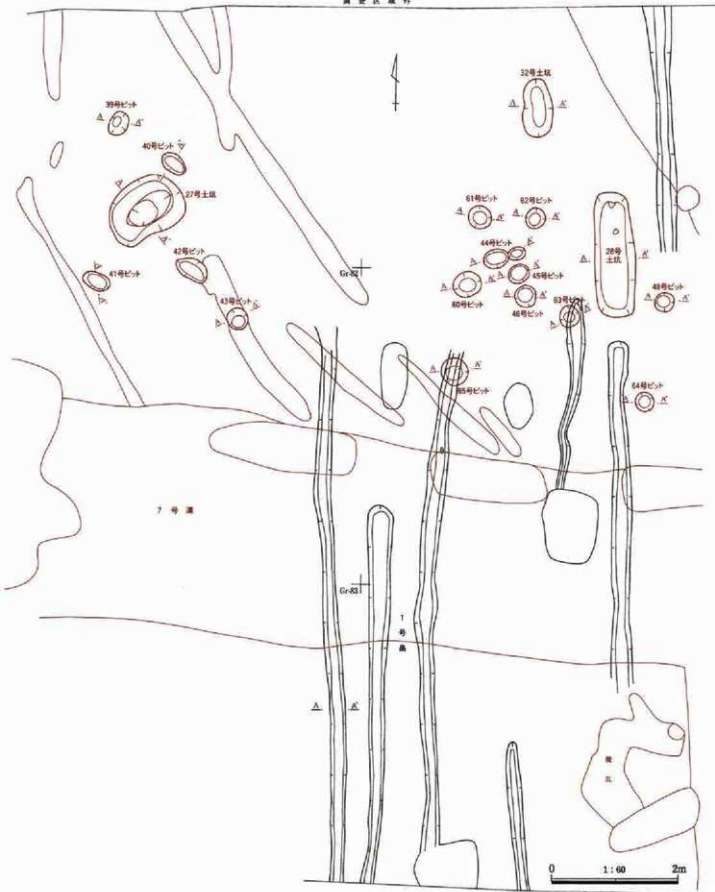
- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。

第184図 遺構群(1)



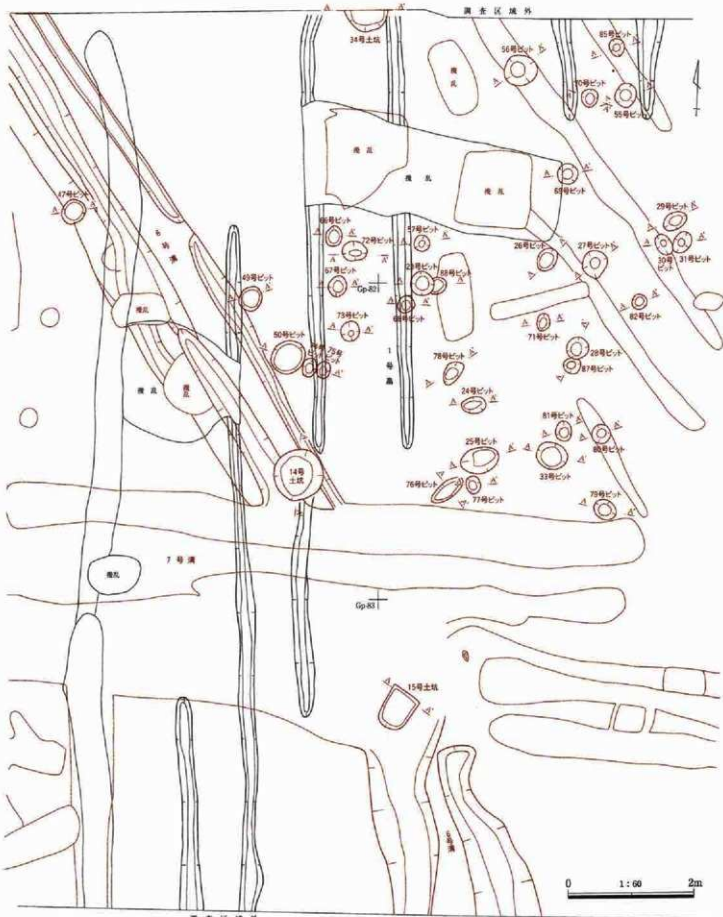
(3) 土坑・ピット

調査区域外





第3章 塚田の埴遺跡



第185図 遺構群 (2)

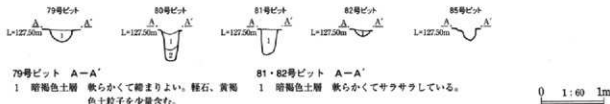
## (3) 土坑・ピット



0 1:60 1m

第186図 遺構群(2)一断面図(1)

### 第3章 塚田の場遺跡



79号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、軽石、黄褐色土粒子を少量含む。

81・82号ピット A-A'

1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。

80号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、黄褐色土粒子、軽石を少量含む。  
2 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。

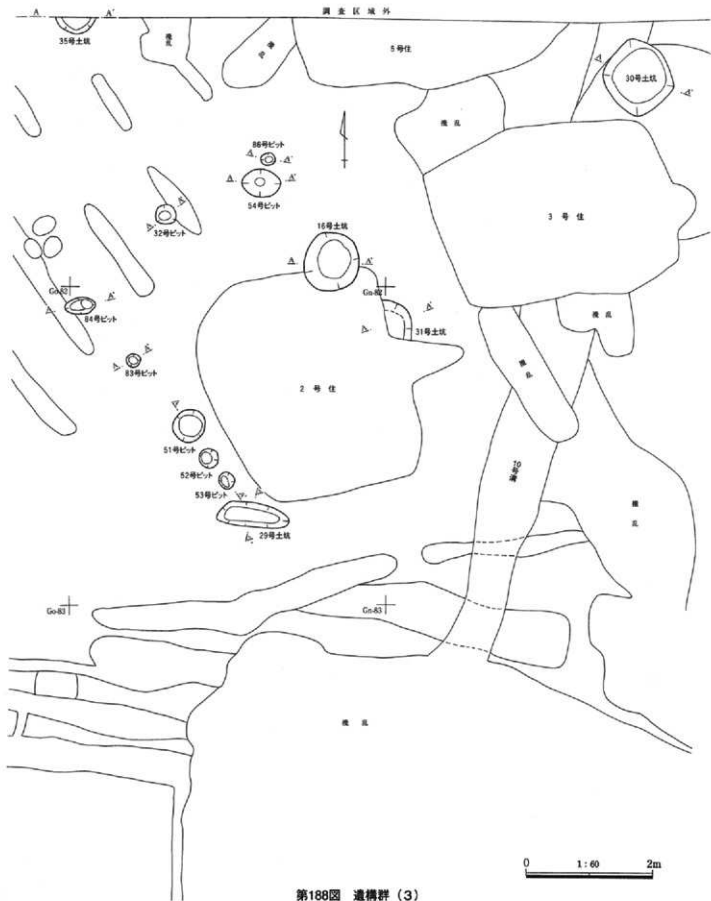
第187図 遺構群(2)-断面図(2)

ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
17	Gj-82	円形	34×32×52			第191, 192B		PL.166
18	Gi-81	円形	40×32×20			190, 192		166
19	Gi-81	ほぼ円形	37×37×23			191, 192		166
20	Gh-Gi-81	円形	38×34×24			191, 192		166
21	Gh-81	円形	30×28×32			191, 192		166
22	Gg-81	円形	23×20×21			191, 192		166
23	Go-81・82	円形	29×28×51		88ピットと重複	185, 186		167
24	Go-82	楕円形	38×26×42			185, 186		166
25	Go-82	楕円形	60×40×48	土師器片		185, 186		166
26	Go-81	円形	39×36×36			185, 186		167
27	Go-81	ほぼ円形	46×36×38			185, 186		167
28	Go-82	円形	34×32×56	須恵器片		185, 186	第89図	166, 172
29	Go-81	楕円形	39×25×35			185, 186		167
30	Go-81	楕円形	37×22×11			185, 186		167
31	Go-81	ほぼ円形	34×27×20			185, 186		167
32	Gn-81	円形	32×30×30			188, 189		166
33	Gg-82	不整形	44×40×44			191, 192		166
34	Gs-81	円形	23×22×19			184		167
35	Gs-81	円形	28×24×12			184		167
36	Gs-81	円形	28×24×15			184		167
37	Gs-81	円形	28×24×18			184		167
38	Gs-81	楕円形	68×34×19			184		167
39	Gr-81	ほぼ円形	34×30×9			183, 184		167
40	Gr-81	楕円形	44×28×17			183, 184		167
41	Gr-82	楕円形	45×26×25			183, 184		167
42	Gr-82	楕円形	54×36×10	土師器片・須恵器片		184		167
43	Gr-82	円形	32×32×39			183, 184		167
44A	Gq-81	楕円形	38×28×31			183, 184		166
44B	Gq-81	楕円形	24×18×22			183, 184		166
45	Gq-82	円形	30×26×12			183, 184		166
46	Gq-82	円形	34×31×6			183, 184		166
47	Gp-81	円形	39×38×20			185, 186		166
48	Gq-82	円形	32×30×28			183, 184		166
49	Gp-82	円形	40×37×47			185, 186		166
50	Gp-82	円形	54×54×42			185, 186		166
51	Gn-82	円形	52×50×46			188, 189		164
52	Gn-82	円形	30×30×38			188, 189		164
53	Gn-82	円形	26×24×42			188, 189		164
54	Gn-81	楕円形	61×43×52			188, 189		166
55	Go-81	円形	34×31×18			185, 186		167
56	Go-81	円形	38×36×35			185, 186		167
57	Go-81	円形	18×18×36			185, 186		167
58	Gs-81	円形	21×20×13			184		167
59			計画不備					166
60	Gq-82	円形	44×40×33			183, 184		166
61	Gq-81	円形	36×34×23			183, 184		166
62	Gq-81	円形	32×30×22			183, 184		166
63	Gq-82	ほぼ円形	34×30×24			183, 184		166
64	Gq-82	円形	30×29×32			183, 184		166
65	Gq-82	円形	42×42×17			183, 184		166

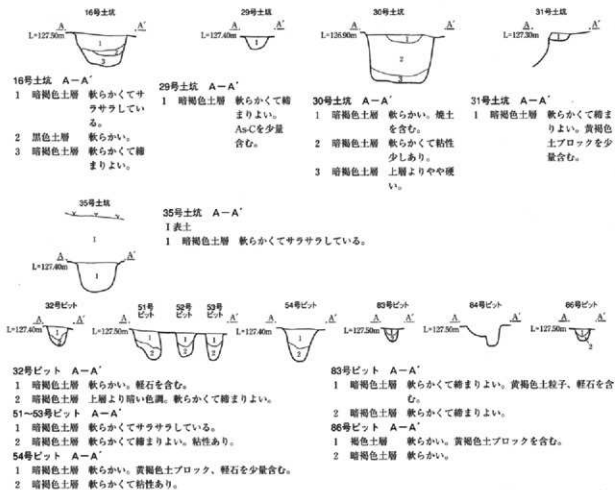


(3) 土坑・ピット



第188図 遺構群 (3)

### 第3章 塚田の場遺跡



第189図 遺構群(3)-断面図(1)

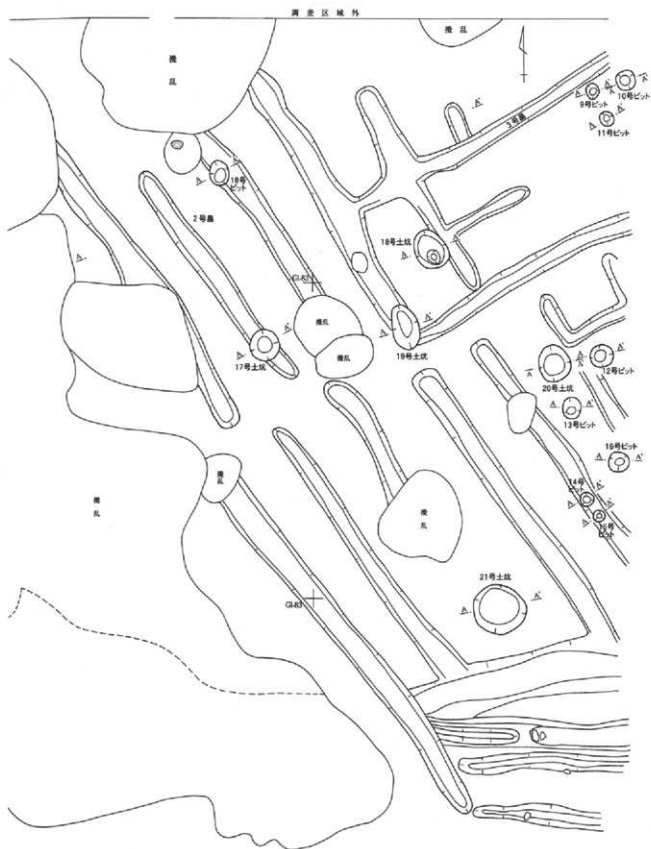
### ピット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
66	Gp-81	ほぼ円形	36×26×15			185, 186a		Pl. 166
67	Gp-82	円形	34×32×10			185, 186		166
68	Go-82	円形	26×25×12			185, 186		166
69	Go-81	円形	31×30×28			185, 186		166
70	Go-81	円形	30×26×35			185, 186		166
71	Go-82	ほぼ円形	26×17×10			185, 186		167
72	Gp-81	楕円形	40×30×25			185, 186		167
73	Gp-82	円形	30×30×19			185, 186		167
74	Gp-82	ほぼ円形	30×22×35			185, 186		166
75	Gp-82	ほぼ円形	26×21×31			185, 186		166
76	Go-82	楕円形	58×23×31			185, 186		166
77	Go-82	円形	26×23×15		土師器片	185, 186		166
78	Go-82	楕円形	42×18×37			185, 186		167
79	Go-82	円形	34×28×17			185, 187		166
80	Go-82	円形	30×30×39			185, 187		166
81	Go-82	円形	30×26×38			185, 187		166
82	Go-82	円形	22×22×9			185, 187		166
83	Gn-82	円形	23×20×18			188, 189		166
84	Gn-Go-82	楕円形	40×28×27			188, 189		166
85	Go-81	円形	26×22×20			185, 187		166
86	Gn-81	円形	22×20×19			188, 189		166
87	Go-82	円形	26×25×20			185, 186		166
88	Go-81-82	円形	20×20×45	23号ピットと重複		185, 186		166

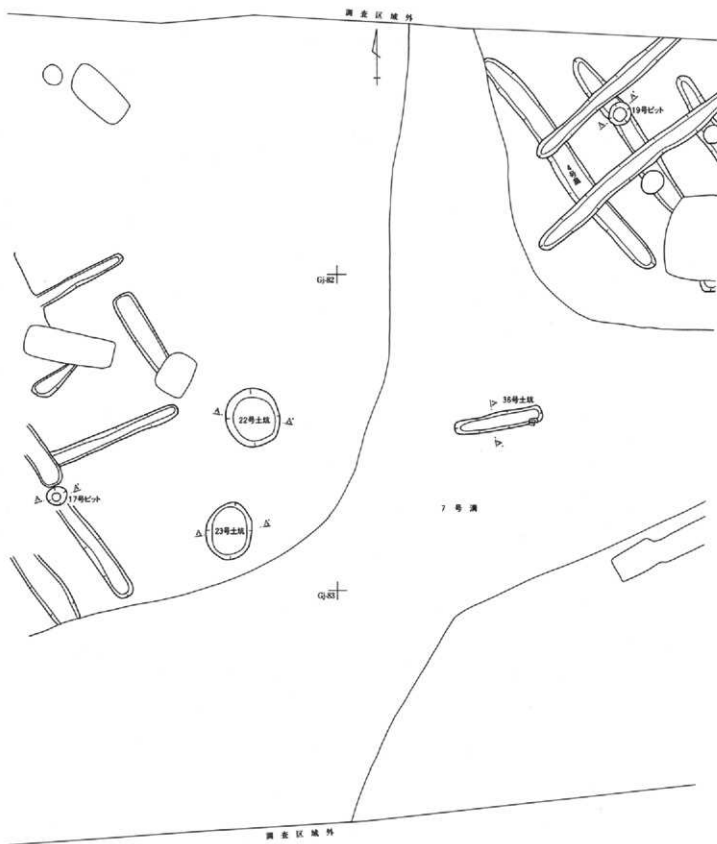




(3) 土坑・ピット



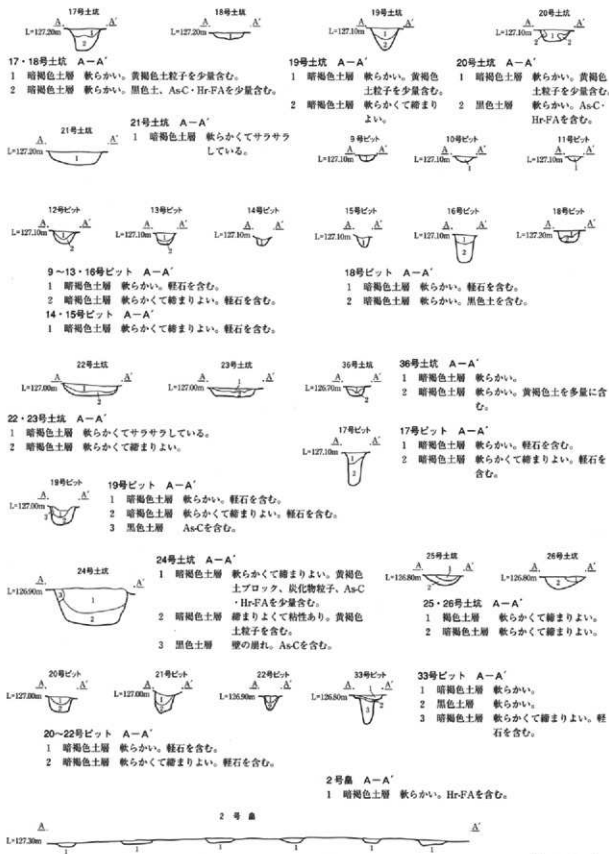
第190図 遺構群(4)



第191図 遺構群 (5)



第3章 塚田の場遺跡



0 1:60 1m

第192図 遺構群(4・5)-断面図(1)

## (4) 溝と近代遺物

溝と近代遺物 (①第193~197図と第89~96図, PL.167~170

・172)

溝6条を検出した。

1号溝は、幅28~60cm、深さ22cm、長さ14mにわたって検出した。南北走向の溝である。覆土から土師器片・陶磁器片などが出土している。

2号溝は、幅9.2~11.2m、深さ45cm、長さ17.2mにわたって検出した。南東から北西走向の溝で発掘区の北端から近代遺物(②第91~96図)がまとめて出土している。

4号溝は、幅30~40cm、深さ5cm、長さ6.3mにわたって検出した。5号溝は、幅20~30cm、深さ13cm、

長さ18mにわたって検出した。発掘時ではこの2つの遺構を溝として調査したが、溝とはならない。また、3・8号溝は欠番である。

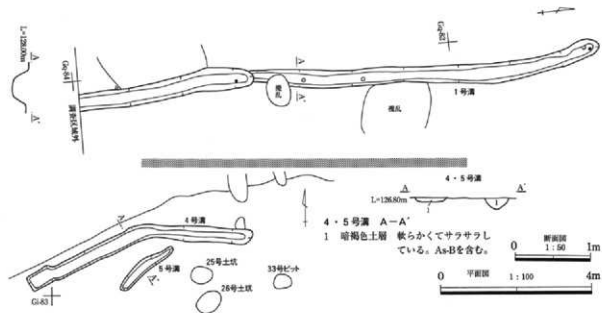
7号溝は幅1~3.8m、深さ6~52cm、長さ87mにわたって検出した。北北西から南南東に走向し、調査区の東側で北側に分岐している。

9号溝は、引間松葉遺跡検出の9号溝と同一遺構である。幅2.1~2.8m、深さ0.26~1.45m、長さ9.8mにわたって検出した。南側が浅く、南西から北東走向である。

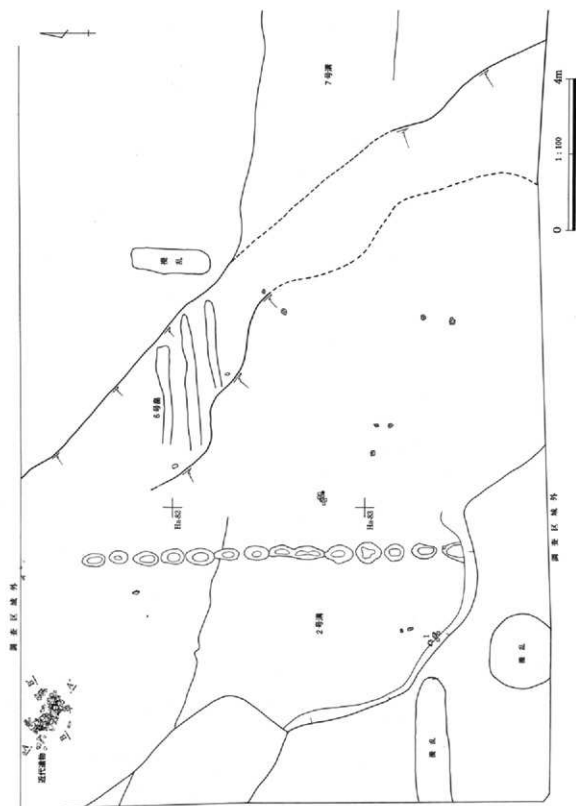
10号溝も引間松葉遺跡検出の10号溝と同一遺構である。幅0.6~1.3m、深さ10~18cm、長さ10.6mにわたって検出した。ほぼ南北走向である。南側は擾乱によって壊されている。

## 溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	溝横図版	遺物図版	写真図版
1	Gp-81-Gp-83	14.0×0.28~0.6×0.3	土師器片・陶磁器・瓦・鉄器		第193図		PL.167
2	Gr-Gt-83-Gt-Hb-81	17.2×9.2~11.2×0.45	土師器片・須恵器片・瓦		194	第89図	168, 172
4	Gg-82-Gi-81	6.3×0.3~0.4×0.05			193		166
5	Gh-82	1.8×0.2~0.3×0.13			193		166
6	Gq-81-Go-83	16.0×1.0×0.07		硬化面	185		168
7(1)	Gg-82-Hb-81-82	80.5×1.0~3.8×0.06~0.52	土師器片・須恵器片・灰輪・陶磁器・瓦・軟質・弥生・石器・鉄器・その他		196	89	169, 172
	Gi-Gj-82-Gi-81 (北へ枝分かれ)	6.4×1.0~2.7×0.92			196		
7(2)	Hc-81-82-Hj-81					90	
9	Gi-Gg-81-Gg-83	9.8×2.1~2.8×0.26~1.45	土師器片・須恵器片・鉄器・石器	引間松葉9溝と同一	197	90	170, 172
10	Gm-81-Gm-83	10.6×0.6~1.3×0.1~0.18	土師器片・須恵器片・灰輪	引間松葉10溝と同一	197		170, 172

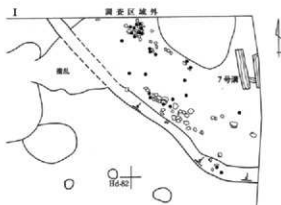
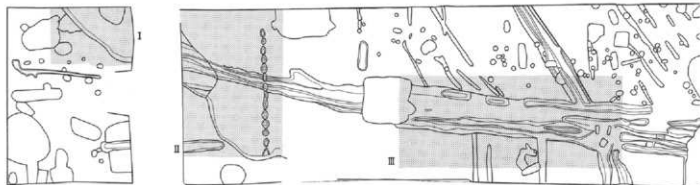


第193図 1・4・5号溝



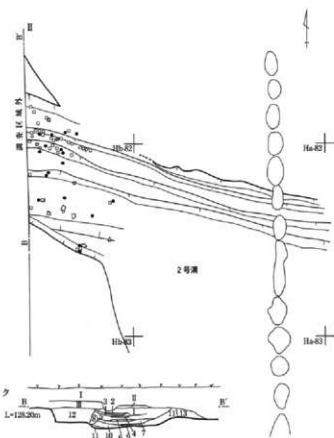
第194図 2号溝・近代遺物の出土状況(1)





7号溝 B-B'

- I 表土
- II 暗褐色土層 炭化物、砂を含む。
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 2 暗褐色土層 硬化面。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 4 暗褐色土層 硬化面。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 6 暗褐色土層 硬化面。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 8 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 硬化面。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 11 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 12 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。黄褐色土ブロックを含む。
- 13 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。



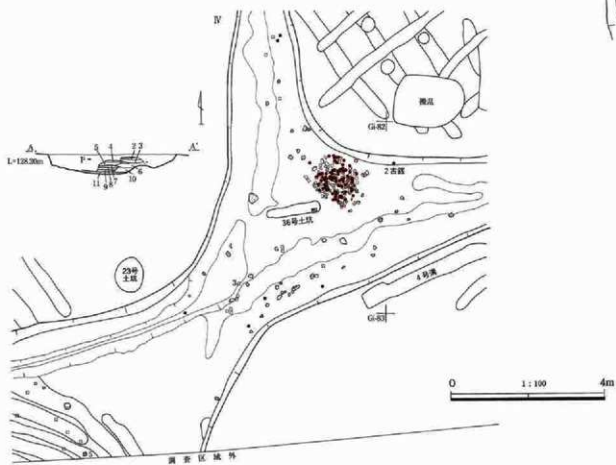
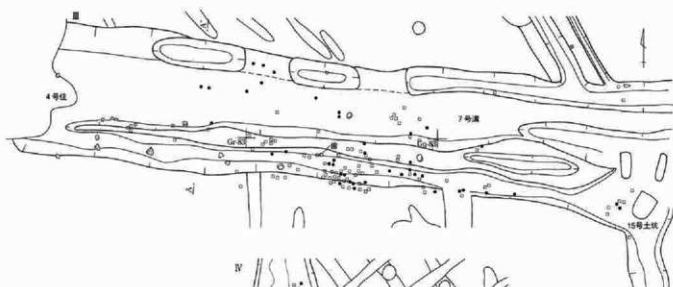
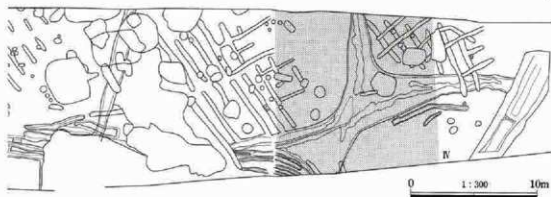
7号溝 A-A'

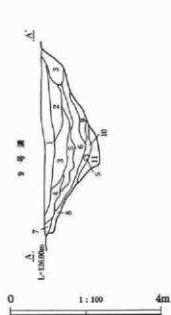
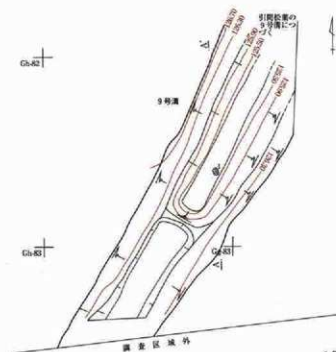
- 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。As-Bを含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-Bを含む。
- 4 暗褐色土層 硬く締まる。As-Bを含む。
- 5 褐色土層 やや硬く締まる。
- 6 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-B、炭化物粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まる。
- 8 褐色土層 硬く締まる。
- 9 暗褐色土層 硬く締まる。As-Bを含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。
- 11 暗褐色土層 硬く締まる。



第196図 7号溝・遺物出土状況







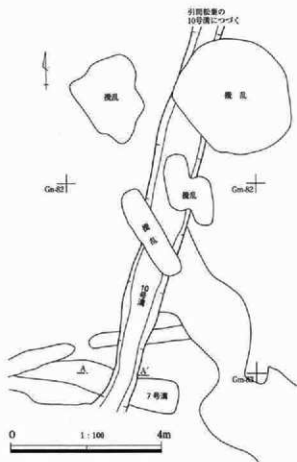
9号溝 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。AsC・HrFA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 3 褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、AsC・HrFAを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい。黄褐色土ブロック、AsC・HrFAを含む。
- 5 黒褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、AsC・HrFAを含む。
- 6 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に、黒色土を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。
- 8 茶褐色土層 軟らかい。
- 9 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。黄褐色土ブロック、黒色土を少量含む。
- 11 黄褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。黄褐色土と暗褐色土の混土。



10号溝 A-A'

- 1 褐色土層 軟らかくてサラサラしている。AsBを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。AsBを少量含む。



第197図 9・10号溝

## 第4章

# 塚田中原遺跡



**(1) 竪穴住居跡****1号住居跡** (C第198図②第97図、PL.176・177・214)

**位置** Ea・Eb-60・61グリッドにかけて検出した。

4号住居跡の北西約7.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.7m、短辺約3.5～3.8mの方形を呈するものと思われる。完掘できなかった。

**方位** N-89°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は9層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約25cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。南壁・西壁、そして東壁の一部を検出したが、北壁は路線外のために検出できなかった。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約13.3㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向60cmである。袖石が現存していた。

**柱穴** 検出できなかった。床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径48cm、短径46cm、深さ10cmを測る。

**遺物** 竈や床面から土師器の土釜、須恵器の坏や坑が出土している。

**時期** 10世紀後半。

**備考** 当住居跡は現道下に延びているために、完掘できなかった。

**2号住居跡** (C第199図②第97・98図、PL.177・214)

**位置** D1・Dm-65グリッドにかけて検出した。3

号住居跡の東約1mの所に位置している。

**形状** 現状では南壁で約4.7m、西壁で約2.6mを測る。完掘できなかった。

**方位** 不明。

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約40cmで床面に達する。

床面からは垂直に立ち上がる。南壁・西壁を検出したが、東壁・北壁を検出することはできなかった。

**床面** ほぼ平坦である。現状での面積は約7.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 検出できなかった。

**柱穴** 検出できなかった。床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。規模は不明であるが、深さ約25cmを測る。

**遺物** 床面や掘り方から須恵器の坑、灰軸陶器、羽釜が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 当住居跡は現道下に延びているために、完掘できなかった。

**3号住居跡** (C第200図②第98～100図、PL.178・214)

**位置** Dm・Dn-64・65グリッドにかけて検出した。

2号住居跡の西約1mの所に位置している。

**形状** 長辺約4m、短辺約3.7mの方形を呈するものと思われる。完掘できなかった。

**方位** N-88°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は9層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約32cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** やや凹凸が認められる。現状での面積は約13.1㎡。

**周溝** 検出できなかった。

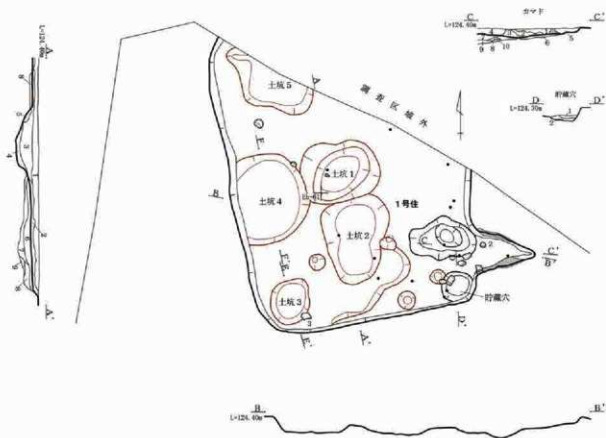
**竈** 東壁のやや南に位置し、燃焼部の一部は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向146cm、両袖方向106cmである。

**柱穴** 床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径70cm、短径56cm、深さ48cmを測る。斜めに掘削されている。

**遺物** 竈周辺から羽釜、床面や掘り方から須恵器の坏や坑、灰軸陶器が出土している。

**時期** 10世紀前半。



1号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 As-C・Hr-FAをほとんど含まない。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、炭化物を含む。
- 4 暗褐色土層 粘性が非常にある。炭化物を多量に含む。
- 5 黄褐色土層 地山ブロック、黄褐色土を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、粒子を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 7 黒褐色土層 硬く締まる。6層よりも暗い色調。黄褐色土ブロック、粒子を多量に含む。
- 8 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、粒子を含む。
- 9 黄褐色土層 地山(黄褐色土)を多量に含む。

1号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 黒褐色土層 比較的軟らかい。焼土ブロックを多量に含む。
- 3 黄褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 5 黄褐色土層 焼土粒子を少量含む。
- 6 赤褐色土層 焼土粒子、灰を多量に含む。
- 7 暗褐色土層 焼土、炭化物粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 焼土粒子を少量含む。
- 9 黄褐色土層 硬く粘性がある。
- 10 黄褐色土層 地山ブロックを多量に含む。



1号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 2 茶褐色土層 黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

1号住居跡内土坑3 E-E'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。

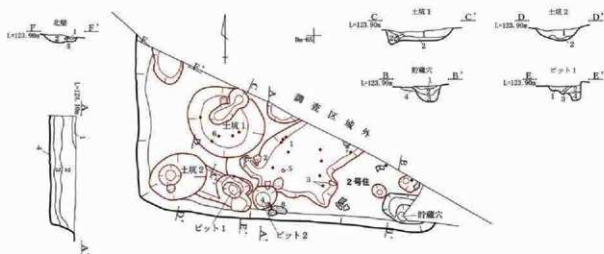
1号住居跡内土坑4 F-F'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりやや暗い色調。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

0 1:160 1m

第198図 1号住居跡

## (1) 竪穴住居跡



## 2号住居跡 A-A'

- 1 黄褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 2層よりAs-C・Hr-FAの混入が少ない。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

## 2号住居跡貯蔵穴 B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 良く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 茶褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。

## 2号住居跡内土坑 F-F'

- 1 黄褐色土層 粘り床。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

## 2号住居跡内土坑1 C-C'

- 1 茶褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土、黄褐色土ブロックを多量に、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 池山ブロック。

## 2号住居跡内土坑2 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

## 2号住居跡内ピット1 E-E'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 4 黄褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

0 1:60 1m

## 第199図 2号住居跡

備考 当住居跡は現道下に延びているために、完掘できなかった。

## 4号住居跡 (①第201図②第100図、PL179-215)

位置 Dt-62・63グリッドにかけて検出した。1号住居跡の南東約7.5mの所に位置している。

形状 不明。西壁と北壁の一部を検出した。

方位 不明。

覆土 土坑やピット覆土のみ検出した。

壁高 ほとんど検出できなかった。

床面 やや凹凸が認められる。

周溝 西壁下で明瞭に検出した。幅4cm~10cmを測る。

電 検出できなかった。

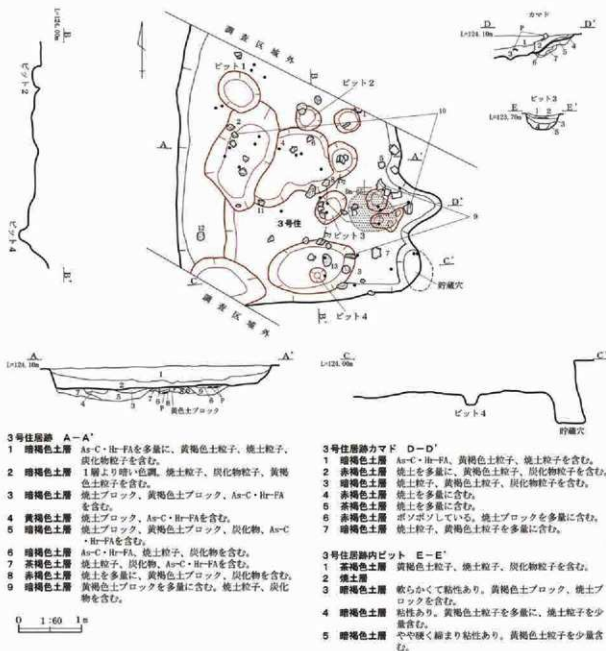
柱穴 検出できなかった。土坑やピットは掘り方時に検出したものである。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面から須恵器の坏や埴、灰釉陶器などが少量出土している。

時期 10世紀前半。

備考 当住居跡は出入り口確保のために完掘できなかった。



第200図 3号住居跡

5号住居跡 (①第202図②第101図、PL.179・215)

位置 Ds-63グリッドにおいて検出した。4号住居跡に接しているものと思われる。

形状 現状では、長辺約37m、短辺約29mを測る。完掘できなかった。

方位 N-71°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

壁 高 住居跡確認より約10cmで床面に達する。

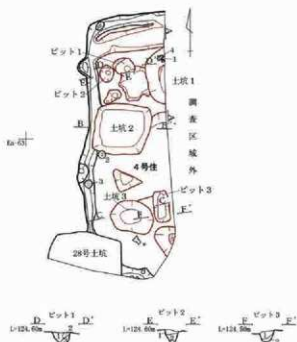
床面 やや凹凸が認められる。現状での面積は約8㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置しているが、明瞭に検出できなかった。床面に焼土と灰が分布している。

柱穴 床面上にみられる土坑やピットは、掘り方時に検出したものである。





## 4号住居跡内ピット1 D-D'

1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。

2 茶褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。

3 暗褐色土層 やや硬く締まる。

## 4号住居跡内ピット2 E-E'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子を含む。

2 暗褐色土層 サラサラしている。黄褐色土粒子を含む。

## 4号住居跡内ピット3 F-F'

1 暗褐色土層 As-C・Hr-Fh、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

2 黄褐色土層 粘性がある。地山ブロックを多量に含む。



## 4号住居跡内土坑1 A-A'

1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロック、炭化物を多量に含む。

2 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロックを多量に含む。

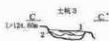
## 4号住居跡内土坑2 B-B'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Fhを含む。

2 黄褐色土層 硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロックを多量に含む。

3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性がある。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。

4 茶褐色土層 黄褐色土ブロックと粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。



## 4号住居跡内土坑3 C-C'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Fhを含む。

2 黄褐色土層 硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロックを多量に含む。

3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性がある。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。



## 第201図 4号住居跡

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面から須恵器の坏などの遺物が出土している。

時期 10世紀前半。

備考 路線外に延びているために完掘できなかった。

## 6号住居跡 (①第203図②第101図, PL.180・215)

位置 Ee・Ef-63グリッドにかけて検出した。1号竪穴状遺構の南約12mの所に位置している。

形状 長辺約4.1m、短辺約4mの方形を呈する。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築されている。

盤高 住居跡確認面より約10~14cmで床面に達す

る。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。面積は約148m<sup>2</sup>。

周溝 検出できなかった。

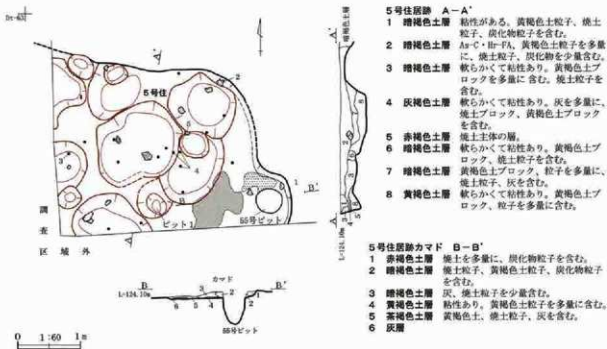
竈 検出できなかった。

柱穴 14個のピットを検出した。床面のほぼ中央には、長径66cm、短径58cm、深さ50cmの大きなピットがある。また、南壁寄りに3個のピット、東壁には2個が一対となるような小規模なピットがある。いずれも深さ7cm~17cmを測る。ピット2・3は出入口の施設であろうか。

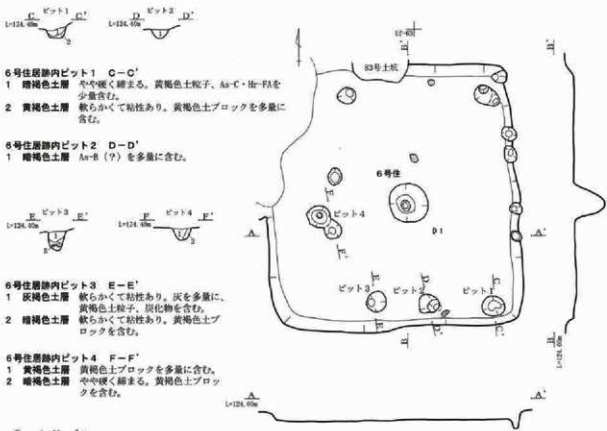
貯蔵穴 床面東南隅のピット1が該当するのであろうか。長径36cm、短径32cm、深さ16cmを測る。

遺物 覆土中から遺物の出土はほとんどない。

時期 竈をとまわず、遺物もほとんど出土していないため、時期は不明である。



第202図 5号住居跡



第203図 6号住居跡

**7号住居跡** (①第204図②第101~106図, PL.180-181・215~217)

**位置** E1・Em-64・65グリッドにかけて検出した。13号住居跡と接している。

**形状** 長辺約3.8m、短辺約3mの方形を呈する。

**方位** N-84°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約28~34cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。面積は約10.6㎡。北西隅から土坑を検出した。長径80cm、短径78cm、深さ55cmを測る。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の一部は壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向96cm、両袖方向60cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径70cm、短径52cm、深さ22cmを測る。

**遺物** 覆土から多量の礫が出土し、また床面や竈から多量の須恵器の坏や坑、羽釜などが出土している。灰釉陶器の長頸壺は東壁下から出土している。

**時期** 10世紀前半。

**8号住居跡** (①第205-206図②第107図, PL.182・183・217・218)

**位置** Em-63・64・En-64グリッドにかけて検出した。9号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.1m、短辺約3.1mの方形を呈する。

**方位** N-89°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約48~56cmで床面に達する。床面からは垂直に立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約12㎡。土坑やピットが掘り方時に検出している。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向74cmである。袖石が残っていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径69cm、短径60cm、深さ30cmである。須恵器の坑が出土している。

**遺物** 竈周辺や床面から、須恵器の坏や坑が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 当住居跡は9号住居跡よりも新しい。

**9号住居跡** (①第205-206図②第108図, PL.184-218)

**位置** Em-63・64グリッドにかけて検出した。8号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4.4m、短辺約2.8mの長方形を呈するものと思われる。

**方位** N-97°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約38cmで床面に達する。床面からは垂直に立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向60cmである。

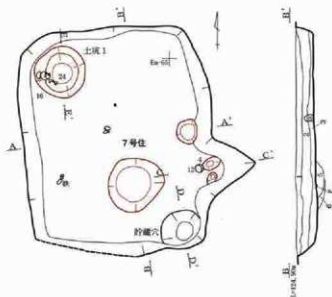
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 検出できなかった。

**遺物** 床面から須恵器の坑、掘り方から灰釉陶器の皿が出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 当住居跡は8号住居跡よりも古い。



7号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子をやや多く含む。
- 2 暗褐色土層 粘性がある。焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 4 黄褐色土層 黄褐色土主体の層。

7号住居跡内土坑 E-E'

- 1 暗褐色土層 焼土、炭化物、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 灰色土層 灰を主体に焼土を含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 4 黄褐色粘質土層 硬く締まり粘性がある。黄褐色土、白色土を多量に含む。
- 5 黄褐色粘質土層 硬く締まる。黄褐色土、白色土を少量含む。



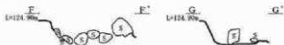
7号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 1・2層に比べてやや明るい色調。黄褐色土ブロック、焼土、炭化物をやや多く含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 硬く締まる。焼土粒子を多量に、炭化物、黄褐色土粒子を含む。

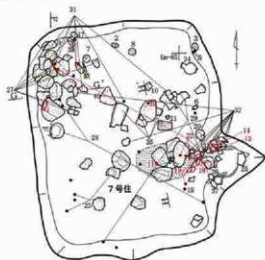


7号住居跡カマド C-C'

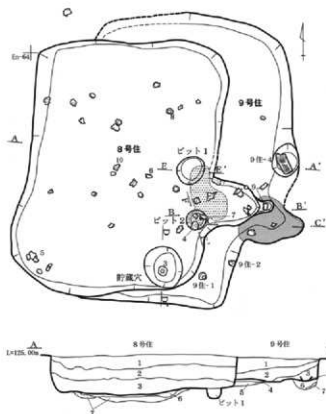
- 1 暗褐色土層 焼土、黄褐色土粒子、炭化物、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 1・2層に比べてやや明るい色調。焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロックを多量に、炭化物を含む。
- 5 焼土層
- 6 赤褐色土層 焼土を多量に、As-C・Hr-FA、炭化物を含む。
- 7 赤褐色土層 焼土を多量に、炭化物粒子を含む。



遺物出土状況



第204図 7号住居跡



## 8号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 焼土ブロック、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 黄褐色土を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 焼土、黄褐色土を多量に、炭化物粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土、黄褐色土、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。4層より暗い色調。焼土を多量に、黄褐色土、炭化物粒子を含む。
- 6 灰層
- 7 灰褐色土層 軟らかい。灰を多量に、焼土、炭化物を含む。
- 8 暗褐色土層 焼土、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に、炭化物を含む。
- 11 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰を多量に、焼土、炭化物を含む。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 13 赤褐色土層 焼土主体の層。
- 14 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土を含む。
- 15 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。
- 16 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

## 8号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
  - 2 暗褐色土層 硬く締まる。1層より明るい色調。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を多く含む。
  - 3 黒褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
  - 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
  - 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
  - 6 黄褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。貼り床。
  - 7 暗褐色土層 粘り強く、黄褐色土ブロックを多量に、炭化物、焼土粒子を少量含む。
- 9号住居跡 A-A'
- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土、焼土、炭化物粒子を含む。
  - 2 暗褐色土層 やや軟らかい。黄褐色土、焼土、炭化物粒子を含む。
  - 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を多量に含む。
  - 4 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土粒子を多量に含む。貼り床。
  - 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土ブロック、炭化物粒子を含む。
  - 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
  - 7 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。

## 9号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より明るい色調。やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを少量、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 焼土主体の層。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物、灰を含む。
- 7 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 9 灰層
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を多量に含む。

## 8号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土、炭化物、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰を多量に含む。

0 1:60 1m



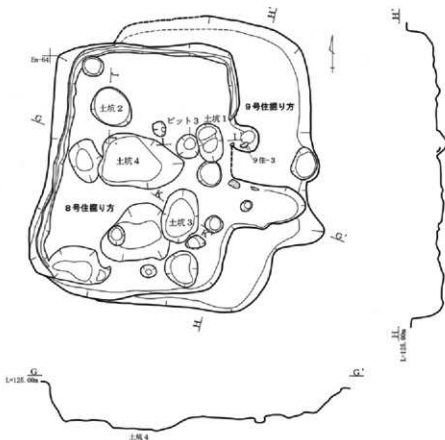
8号住居跡内ピット1 E-E'

- 1 灰層
- 2 黄褐色土層 粘性非常にあり。黄褐色土を多量に、灰と焼土粒子を含む。
- 3 灰層
- 4 黄褐色土層 粘性非常にあり。2層とほぼ同じ層。



8号住居跡内ピット2 F-F'

- 1 暗褐色土層 灰、焼土、黄褐色土の混土。
- 2 灰層 黄褐色土を含む。
- 3 暗褐色土層 粘性あり。焼土を多量に含む。
- 4 黄褐色土層 粘性あり。



8号住居跡内土坑1 I-I'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、灰を含む。貼り床。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性がある。黄褐色土ブロックを含む。

8号住居跡内ピット3

- 4 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土を多量に、焼土ブロックを含む。貼り床。
- 6 暗褐色土層 粘性がある。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を含む。

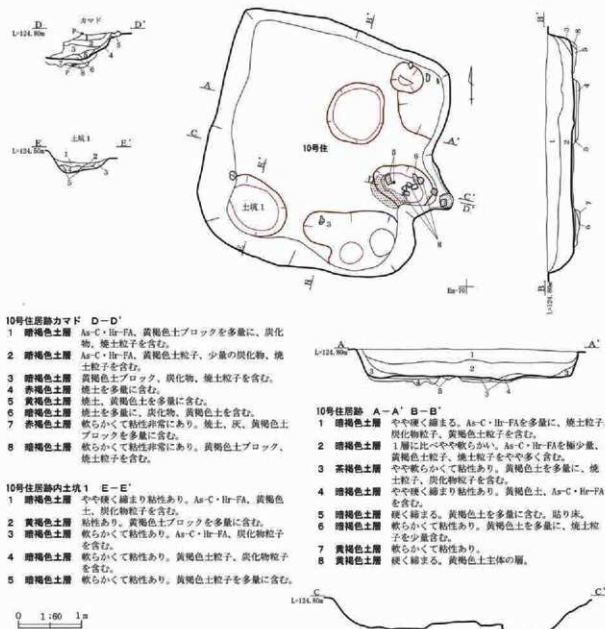
8号住居跡内土坑2 J-J'

- 1 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を多量に、炭化物を少量含む。貼り床。
- 2 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土を少量含む。

8号住居跡内土坑3 K-K'

- 1 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を多量に、炭化物を少量含む。貼り床。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 粘性非常にあり。黄褐色土を多量に含む。

第206図 8・9号住居跡掘り方



第207図 10号住居跡

## 10号住居跡 (③第207図②第109図, PL.185-218)

**位置** Em 69グリッドにおいて検出した。18号住居跡と重複している。

**形状** 長辺約4m、短辺約3.6mの方形を呈する。

**方位** N-106°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約40cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

## 10号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層に比べやや軟らかい。As-C・Hr-FAを極少量、黄褐色土粒子、焼土粒子をやや多く含む。
- 3 茶褐色土層 やや軟らかくて粘性あり。黄褐色土を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土、As-C・Hr-FAを含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土を多量に含む。貼り床。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 7 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 8 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土主体の層。

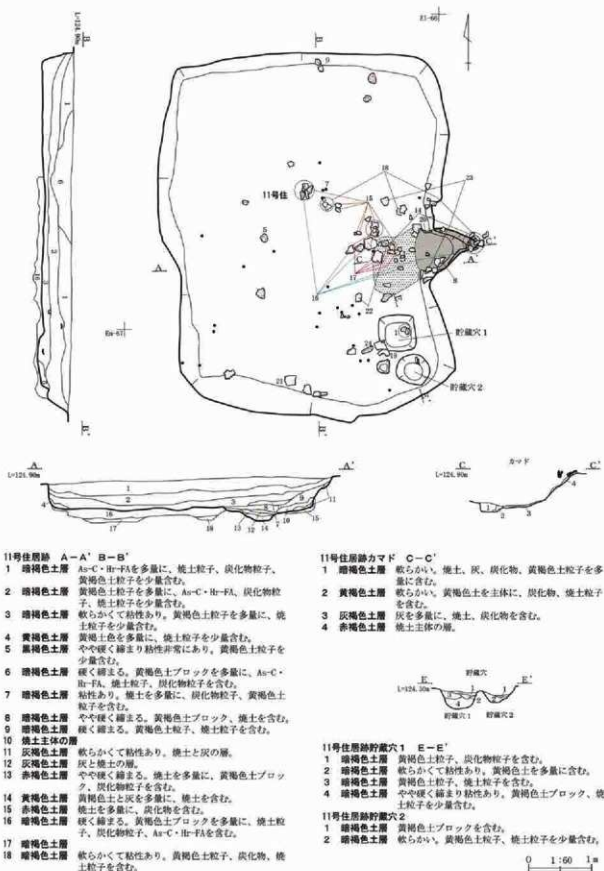
**床面** ほほ平坦である。面積は約132m<sup>2</sup>。長径94cm、短径83cm、深さ16cmの床下土坑を検出した。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向132cm、両袖方向88cmである。

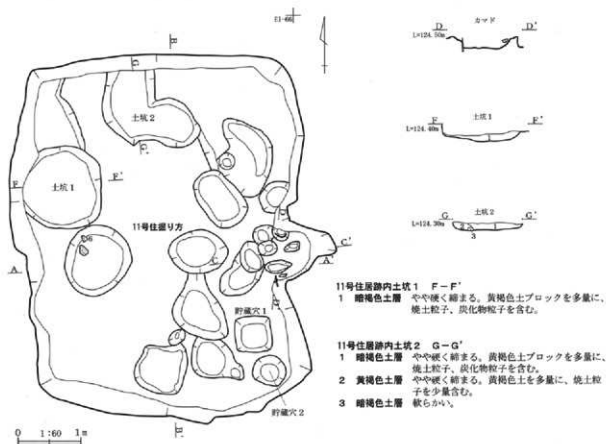
**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径70cm、短径60cm、深さ15cmを測る。



第208図 11号住居跡





第209図 11号住居跡掘り方

**遺物** 竈と覆土中から、須恵器の坏や埴、土師器の甕が出土している。

**時期** 9世紀後半。

**備考** 覆土から馬の歯が出土している。

**11号住居跡** ①第208・209図 ②第110~114図、PL.106・107・219・220

**位置** Ek・E166・67グリッドにかけて検出した。13号住居跡に接している。

**形状** 長辺約5.8m、短辺約4.5mの方形を呈する。

**方位** N-85°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は18層に分かれた。ただしこの中には竈の覆土も含まれている。

**壁高** 住居跡確認面より約40~50cmで床面に達する。床面からは垂直に立ち上がる。

**床面** やや凹凸がある。面積は約23.9㎡。

**周溝** 検出できなかった。

**竈** 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向168cm、両袖方向68cmである。瓦(②第112図20)が袖に使用されていた。

**柱穴** 検出できなかった。土坑やピットは掘り方に時に検出したものである。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から2個検出した。1は方形を呈し、長辺58cm、短辺54cm、深さ28cmである。2は楕円形で長径52cm、短径46cm、深さ16cmである。

**遺物** 竈や貯蔵穴の周辺を中心に土師器の坏や甕、須恵器の坏や埴が出土している。緑釉陶器は覆土中からの出土であった。

**時期** 9世紀後半。



12号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 赤褐色土層 焼土を多量に、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 4 茶褐色土層 黄褐色土を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 焼土粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 6 暗褐色土層 焼土ブロック、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 黄褐色土層を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。



12号住居跡内土坑 E-E'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。



12号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 4 黄褐色土層 焼土を含む。
- 5 黒褐色土層 硬く締まる。焼土、黄褐色土粒子を含む。
- 6 黄褐色土層 黄褐色土と黒色土の混土。貼り床。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 8 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土、炭化物、焼土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物、黄褐色土を多量に含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

第210図 12号住居跡

12号住居跡 (①第210図②第114・115図, PL.188-220)

位置 Ep・Eq-68・69グリッドにかけて検出した。

21号住居跡の南約5.5mの所に位置している。

形状 長辺約3.5m、短辺約2.8mの方形を呈する。

方位 N-96°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は11層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約40~56cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は約9㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向106cm、両袖方向50cmである。軸石(②第115図7・8)が残されていた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面や掘り方覆土から土師器の甕、須恵器の坏や埴、さらに縄文土器片が出土している。

時期 10世紀前半。

## 13号住居跡 (①第211図②第116図, PL.189-221)

**位置** E1・Em-65・66グリッドにかけて検出した。7号住居跡と接している。

**形状** 長辺約3.8m、短辺約3.2mの方形を呈する。

**方位** N-108°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は10層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約40~46cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

**床面** ほほ平坦である。面積は約11.8㎡。

**周溝** 東壁から北壁にかけて検出できた。幅8~14cm、深さ4cmである。

**竈** 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向160cm、両袖方向50cmである。煙道の先端部には、堯と羽釜(②第116図8・9)が使用されていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径52cm、短径48cm、深さ20cmを測る。

**遺物** 竈と住居内土坑から須恵器の坏や壺が出土している。

**時期** 10世紀前半。

## 14号住居跡 (①第212図②第117~120図, PL.118-221-222)

**位置** Ek・E1-64・65グリッドにかけて検出した。7号住居跡の東約2mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.8m、短辺約4mの方形を呈する。

**方位** N-90°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は13層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約38~50cmで床面に達する。

**床面** ほほ平坦である。面積は約17.8㎡。

**周溝** 東壁と北壁の一部で検出した。幅7~17cm、深さ2~6cmである。

**竈** 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向148cm、両袖方向56cmである。瓦(②第118図13)と石が袖に

使用されていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径100cm、短径54cm、深さ16cmを測る。石と須恵器、灰釉陶器(②第117図8)が出土している。

**遺物** 竈周辺や床面上から土師器の甕、須恵器の壺や羽釜が出土している。また覆土から権衡が出土した。

**時期** 10世紀前半。

## 15号住居跡 (①第213図②第120図, PL.191-222)

**位置** En-67・68グリッドにかけて検出した。2号掘によって壊されている。

**形状** 長辺約2.9m、短辺は現状で約1.7m。

**方位** N-99°-E

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。

**床面** やや凹凸がある。現状での面積は約3.7㎡。

**周溝** 検出できなかった。

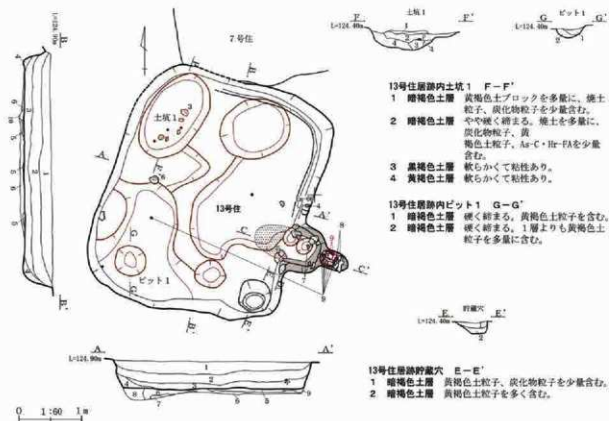
**竈** 東壁のほほ中央に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向86cm、両袖方向44cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 長径53cm、短径43cm、深さ12cmを測る。

**遺物** 貯蔵穴から須恵器と灰釉陶器の壺が出土している。

**時期** 9世紀後半。



13号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-Faを多量に、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-Faを少量、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を多く含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。貼り床。
- 6 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 7 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 8 黒色土層 硬く締まり粘性あり。
- 9 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物を含む。
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

カマド遺物出土状況



13号住居跡内土坑1 F-F'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-Faを少量含む。
- 3 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 4 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。

13号住居跡内ピット1 G-G'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。1層よりも黄褐色土粒子を多量に含む。

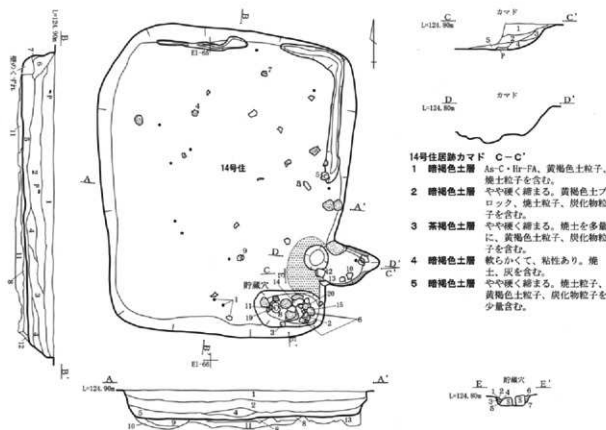
13号住居跡貯蔵穴 E-E'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子を多く含む。

13号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。
- 5 黄土層
- 6 灰層
- 7 黄褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、灰を含む。
- 8 灰層
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土を多量に含む。
- 10 灰褐色土層 焼土と灰を多量に含む。
- 11 褐色土層 焼土と灰を多量に含む。
- 12 黄土層
- 13 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

第211図 13号住居跡・カマド



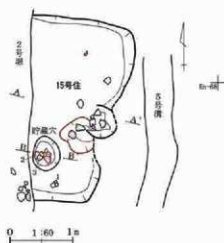
## 14号住居跡A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。黄褐色土粒子, 焼土粒子, 炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。黄褐色土粒子, 焼土粒子, 炭化物粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に, 焼土粒子, 炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子, 焼土粒子, 炭化物粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック, 炭化物粒子, 焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子, 炭化物粒子, 焼土粒子を少量含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子, 炭化物粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 硬く締まる。焼土粒子, 黄褐色土粒子, As-C・Hr-FAを含む。
- 9 黄褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子, 少量の焼土粒子, 炭化物粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック, 粒子を多量に含む。
- 11 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子, 焼土粒子を多量に, 炭化物粒子を含む。
- 12 黄褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 13 暗褐色土層 焼土を多量に, 炭化物を含む。

## 14号住居跡野庭穴 E-E'

- 1 赤褐色土層 焼土を多量に, 炭化物を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子, 焼土粒子, 炭化物粒子を少量含む。
- 3 灰層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子, 炭化物粒子を極少量含む。

第212図 14号住居跡・掘り方



15号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 白色粒子を多量に、焼土、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 赤褐色土層 焼土粒子を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土ブロックを多量に、炭化物を少量含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 焼土粒子を極少量含む。

15号住居跡貯蔵穴 B-B'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。

第213図 15号住居跡

16号住居跡 (①第214図②第120図、PL.192・222)

位置 Em・En-69・70グリッドにかけて検出した。

17号・18号住居跡、79号土坑と重複している。

形状 長辺約4.5m、短辺で約3.5mの方形を呈するものと思われる。

方位 N-103°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約22~30cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。現状での面積は約12.3㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向60cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径65cm、短径55cm、深さ10cmを測る。

遺物 覆土中から須恵器の坏や灰軸陶器が出土している。

時期 9世紀後半。

備考 79号土坑によって西側部分を壊されている。

17号住居跡 (①第214図②第121図、PL.193・222)

位置 Em-70グリッドにおいて検出した。16号・18号住居跡と重複している。

形状 現状で長辺約4m、短辺約3.2mの方形を呈するものと思われる。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20~26cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 調査区域外に延びている。東南の床面に灰の分布が認められた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土からの遺物出土はわずかであった。

時期 9世紀。

備考 当住居跡は16号住居跡よりも古い。

18号住居跡 (①第214図②第121図、PL.193・222)

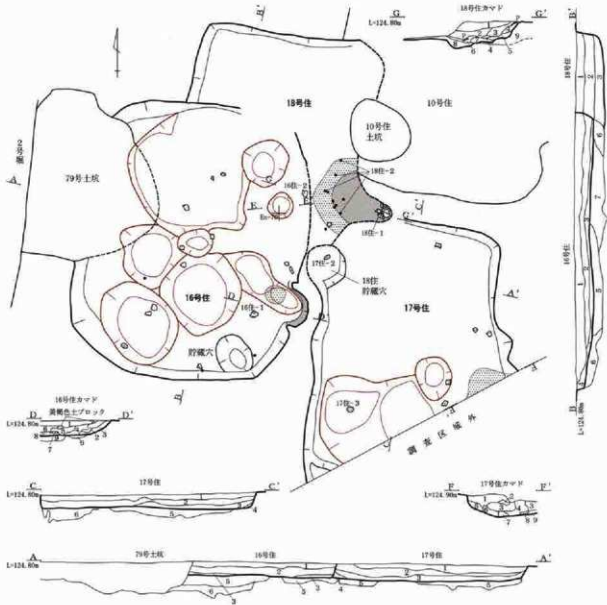
位置 Em-69・70、En-69グリッドにかけて検出した。10・16・17号住居跡と重複している。

形状 現状で短辺約2.9mを確認できる。

方位 N-102°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約32~46cmで床面に達する。床面からほほ垂直に立ち上がる。



## 16号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 6 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 7 暗褐色土層

## 17号住居跡 A-A' C-C'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 4 褐色土層 壁の崩れ。
- 5 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FA、炭化物、焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土を多量に含む。

## 16号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より黄褐色土粒子を多く、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色ブロックを多量に、As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

## 16号住居跡内ビット E-E'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 硬く締まる。黄褐色ブロックを含む。

第214図 16・17・18号住居跡

## 16号住居跡カマド D-D'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土層を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。  
 2 赤褐色土層 焼土を多量に、炭化物、黄褐色土層を含む。  
 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土層を含む。  
 4 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土層を含む。  
 5 茶褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土層を含む。  
 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量、灰を含む。  
 7 灰層  
 8 茶褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA, 黄褐色土層を含む。  
 9 暗褐色土層 黄褐色土層を多量に、炭化物、焼土粒子を含む。

## 18号住居跡カマド G-G'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土層、焼土粒子を含む。  
 2 暗褐色土層 黄褐色土層を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。  
 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土層、焼土粒子を含む。  
 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に、炭化物を含む。  
 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土層、As-C・Hr-FAを含む。

床面 ほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁で検出された。燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られているものと思われる。現状での規模は煙道方向132cm、両袖方向90cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 竈南から検出された土坑が、貯蔵穴になるものと思われる。長径65cm、短径62cm、深さ6cmを測る。

遺物 竈から土師器の甕(②第121図1・2)が出土している。

時期 9世紀。

備考 16号住居跡によって壊されている。

## 19号住居跡(①第215図②第121図、PL.194-222)

位置 Er-72グリッドにおいて検出した。

形状 現状で東西約3.7m、南北約3.5mを確認できる。北側は溝によって壊されている。また西壁は現道下に入っている。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約16cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。現状での面積は約10.5㎡。

## 17号住居跡カマド F-F'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土、炭化物、黄褐色土層を含む。  
 2 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土層の層。  
 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物、黄褐色土層を少量含む。  
 4 茶褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物、黄褐色土層を多量に含む。  
 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土層を少量含む。  
 6 赤褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。  
 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰、炭化物を含む。  
 8 灰層  
 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰を多量に、黄褐色土層、焼土粒子を少量含む。

## 6 灰色土層 灰を主体に、焼土粒子を含む。

## 7 暗褐色土層 軟らかい。灰を多量に、焼土、炭化物を含む。

## 8 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土層を多量に、焼土粒子を含む。

## 9 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土層を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。新しい遺構によって壊されている。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 床面の東南隅から検出した。長径66cm、短径60cm、深さ34cmを測る。

遺物 覆土中から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 10世紀。

## 20号住居跡(①第216図②第122-127図、PL.194-195・222-224)

位置 Er-70・71グリッドにかけて検出した。19号住居跡の北約4mの所に位置している。

形状 現状で長辺約4.9m、短辺約3.1mを確認できる。

方位 N-106°-E

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

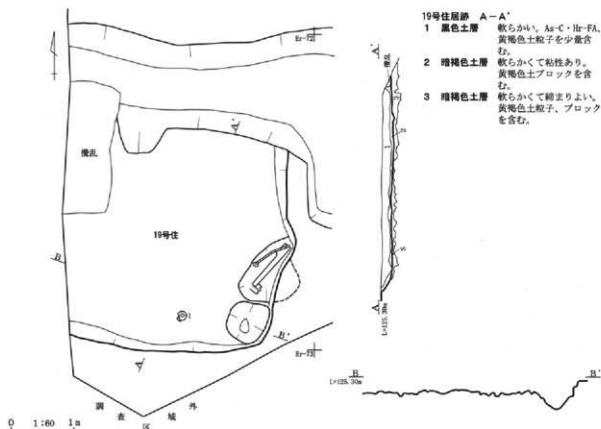
壁高 住居跡確認面より約36~50cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 ほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置している。石組み竈で、さらに羽釜の破片と瓦で構築されている。燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は





第215図 19号住居跡

煙道方向110cm、両袖方向60cmである。袖石と竈構築材の石と支脚が残されていた。

**柱穴** 検出できなかった。

**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出された。長径62cm、短径60cm、深さ21cmである。

**遺物** 竈を中心に羽釜の破片と瓦が出土し、覆土から馬の骨片も出土している。陶磁器は覆土上層(ゴミ穴と思われる)から出土している。

**時期** 10世紀前半。

**備考** 当住居跡は、路線外に延びているために完掘できなかった。

#### 21号住居跡 (①第217図②第127図、PL.196・224)

**位置** Ep・Eq.66・67グリッドにかけて検出した。12号住居跡の北約5.5mの所に位置している。

**形状** 長辺約4.9m、短辺約4mの方形を呈する。

**方位** N-97°-E(竈1)、N-95°-W(竈2)

**覆土** 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

**壁高** 住居跡確認面より約36~46cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

**床面** ほぼ平坦である。面積は約17.4㎡。

**周溝** 東壁と西壁下の一部で検出した。幅5~17cm、深さ2cmである。

**竈** 東壁の中央やや南と西南隅に位置している。竈1の燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向166cm、両袖方向92cmである。袖石が残る。竈2は、同じく燃焼部の多くを壁を掘り込んで造られている。煙道方向168cm、両袖方向70cmである。

**柱穴** 検出できなかった。

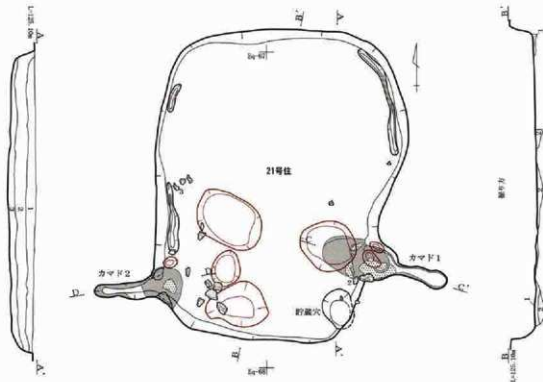
**貯蔵穴** 床面の東南隅から検出した。長径62cm、短径48cm、深さ37cmである。

**遺物** 竈周辺から少量の遺物が出土している。

**時期** 10世紀後半。

**備考** 竈2基を検出したが、同時使用されていたものかどうかは、不明である。





## 21号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 締まり良い、As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まりよい、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

## 21号住居跡掘り方 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる、As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり、黄褐色土ブロックを多量に、As-C・Hr-FAを少量含む。



## 21号住居跡カマド2 D-D'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 焼土を多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 焼土を多量に、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 焼土を多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 6 焼土層
- 7 炭化物層 炭化物と灰を含む。



## 21号住居跡カマド1 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる、黄褐色土ブロック、粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 焼土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかい、焼土、黄褐色土粒子を含む。
- 8 黄褐色土層 軟らかくて粘性あり、焼土を含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかい、焼土を含む。
- 10 焼土層
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる、As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 12 赤褐色土層 焼土を多量に含む。
- 13 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

0 1:60 1m